

水道管路施設設計標準図

令和 5 年 2 月

鹿児島市水道局

水道管路施設設計標準図 主要目次

分 類	種 別	整 理 番 号
1 掘削標準断面図	掘削標準断面図	1 - 1 - 1 ~ 2
2 管構造寸法表 及び付帯設備布設標準図	ダクティル鑄鉄管構造寸法表 (GX・NS・K形)	2 - 1 - 1 ~ 3 7
	ダクティル鑄鉄管 Sベンド寸法表	2 - 2 - 1
	ダクティル鑄鉄管 継手の許容曲げ角度表	2 - 3 - 1
	配水用ポリエチレン管構造寸法表	2 - 4 - 1 ~ 9
	ロケーティングワイヤー設置標準図	2 - 5 - 1 ~ 2
	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管構造寸法表	2 - 6 - 1 ~ 3
	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管構造寸法表	2 - 7 - 1
	水道用ポリエチレン管構造寸法表	2 - 8 - 1
	給水管布設標準図	2 - 9 - 1 ~ 4
	水道用明示シート布設標準図	2 - 10 - 1
	水道用明示テープ布設標準図	2 - 11 - 1
	通信ケーブル布設標準図	2 - 12 - 1
3 弁栓類及び弁栓類室等構造図	仕切弁及び仕切弁室構造図	3 - 1 - 1 ~ 1 1
	消火栓及び消火栓室構造図	3 - 2 - 1 ~ 4
	空気弁及び空気弁室構造図	3 - 3 - 1 ~ 4
	水道用補修弁	3 - 4 - 1 ~ 2
	バタフライ弁及びバタフライ弁室構造図	3 - 5 - 1 ~ 2
	鉄蓋仕様・寸法表	3 - 6 - 1 ~ 6
4 その他 (基準・決定事項)	弁類の設置基準	4 - 1 - 1
	離脱防止継手による一体化長さ (L寸法表)	4 - 2 - 1
	空気弁口径選定表	4 - 3 - 1 ~ 2
5 参考	最小切管寸法	5 - 1 - 1
	配水管配管施工例	5 - 2 - 1 ~ 7
	排水弁及び排水弁室構造図	5 - 3 - 1 ~ 2
	減圧弁配管及び減圧弁室詳細図	5 - 4 - 1 ~ 2
	凍結、エアーバッグ式止水工法	5 - 5 - 1 ~ 5
	推進工法さや管内挿入工法	5 - 6 - 1
	橋梁添架等露出管	5 - 7 - 1 ~ 2

水道管路施設設計標準図 詳細目次 (1/4)

分類	種別	図名 (図面内容)	整理番号
1 掘削標準断面図	掘削標準断面図	掘削標準断面図 (土留なし)	1 - 1 - 1
		掘削標準断面図 (土留有り)	1 - 1 - 2
2 管構造寸法表 及び付帯設備 布設標準図	ダクタイトイル鑄鉄管構造寸法表 (GX・NS・K形)	ダクタイトイル鑄鉄管 (GX形) 《直管》	2 - 1 - 1
		ダクタイトイル鑄鉄異形管 (GX形) 《異形管・二受T字管》	2 - 1 - 2
		〃 《片落管・曲管90°》	2 - 1 - 3
		〃 《曲管45°・22 1/2°》	2 - 1 - 4
		〃 《曲管11 1/4°・5 5/8°》	2 - 1 - 5
		〃 《両受曲管45°・22 1/2°》	2 - 1 - 6
		〃 《フランジ付きT字管》	2 - 1 - 7
		〃 《うず巻き式フランジ付きT字管》	2 - 1 - 8
		〃 《継輪・両受短管》	2 - 1 - 9
		〃 《乙字管・帽》	2 - 1 - 10
		〃 《押輪》	2 - 1 - 11
		〃 《P-Link》	2 - 1 - 12
		〃 《G-Link》	2 - 1 - 13
		〃 《ロックリング・ライナ》	2 - 1 - 14
		〃 《切管用挿しロッキング・T頭ボルト・ナット》	2 - 1 - 15
		〃 《ゴム輪》	2 - 1 - 16
		〃 《ロックリングホルダ・ライナボード》	2 - 1 - 17
		ダクタイトイル鑄鉄管 (NS形) 《直管》	2 - 1 - 18
		ダクタイトイル鑄鉄異形管 (NS形) 《異形管》	2 - 1 - 19
		〃 《異形管 継輪用及び帽用》	2 - 1 - 20
		〃 《三受十字管・二受T字管》	2 - 1 - 21
		〃 《片落管》	2 - 1 - 22
		〃 《曲管》	2 - 1 - 23
		〃 《両受曲管》	2 - 1 - 24
		〃 《フランジ付きT字管》	2 - 1 - 25
		〃 《排水T字管・継輪》	2 - 1 - 26
		〃 《短管・帽》	2 - 1 - 27
		ダクタイトイル鑄鉄管 (K形) 《直管》	2 - 1 - 28
		ダクタイトイル鑄鉄異形管 (K形) 《異形管》	2 - 1 - 29
		〃 《三受十字管・二受T字管》	2 - 1 - 30
		〃 《片落管》	2 - 1 - 31
		〃 《曲管》	2 - 1 - 32
〃 《フランジ付きT字管》	2 - 1 - 33		
〃 《うず巻き式フランジ付きT字管》	2 - 1 - 34		
〃 《排水T字管・継輪》	2 - 1 - 35		
〃 《短管》	2 - 1 - 36		
〃 《栓》	2 - 1 - 37		

水道管路施設設計標準図 詳細目次 (2/4)

分類	種別	図名 (図面内容)	整理番号		
(2の続き)	ダクタイル鋳鉄管 Sベンド寸法表	Sベンド寸法表 (GX・NS・K形)	2 - 2 - 1		
	ダクタイル鋳鉄管 継手の許容曲げ角度表	継手の許容曲げ角度表 (GX・NS・K形)	2 - 3 - 1		
	配水用ポリエチレン管構造寸法表	水道配水用ポリエチレン管 《直管・EFソケット》	水道配水用ポリエチレン管 《直管・EFソケット》	2 - 4 - 1	
		《ベンド》	《ベンド》	2 - 4 - 2	
		《Sベンド》	《Sベンド》	2 - 4 - 3	
		《EFチーズ》	《EFチーズ》	2 - 4 - 4	
		《挿し口付鋳鉄異形管フランジT字管》	《挿し口付鋳鉄異形管フランジT字管》	2 - 4 - 5	
		《挿し口付鋳鉄異形管うず巻式フランジT字管》	《挿し口付鋳鉄異形管うず巻式フランジT字管》	2 - 4 - 6	
		《ダクタイル鋳鉄管用異種管継手》	《ダクタイル鋳鉄管用異種管継手》	2 - 4 - 7	
		《ダクタイル鋳鉄管用径違い異種管継手》	《ダクタイル鋳鉄管用径違い異種管継手》	2 - 4 - 8	
		《フランジ接合用部品》	《フランジ接合用部品》	2 - 4 - 9	
	ロケーティングワイヤー設置標準図	ロケーティングワイヤーの設置方法	ロケーティングワイヤーの設置方法	2 - 5 - 1	
		ロケーティングワイヤーの接続方法	ロケーティングワイヤーの接続方法	2 - 5 - 2	
	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管構造寸法表	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (水道用SGP-VB) 《直管》	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (水道用SGP-VB) 《直管》	2 - 6 - 1	
		《エルボ》	(水道用SGP-VD) 《エルボ》	2 - 6 - 2	
		《径違いエルボ》	(水道用SGP-VD) 《径違いエルボ》	2 - 6 - 3	
	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管構造寸法表	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (水道用HI-VP) 《直管》	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (水道用HI-VP) 《直管》	2 - 7 - 1	
	水道用ポリエチレン管構造寸法表	水道用ポリエチレン管二層管 (1種) (水道用PN管)	水道用ポリエチレン管二層管 (1種) (水道用PN管)	2 - 8 - 1	
	給水管布設標準図	給水管布設標準図 (口径20mm~25mm) 《公道切替 既設管がPP、PNの場合》	給水管布設標準図 (口径20mm~25mm) 《公道切替 既設管がPP、PNの場合》	2 - 9 - 1	
		《公道切替 既設管がSVの場合》	(口径40mm~50mm) 《公道切替 既設管がSVの場合》	2 - 9 - 2	
		《宅内切替 既設管がPP、PN以外の場合》	(口径20mm~25mm) 《宅内切替 既設管がPP、PN以外の場合》	2 - 9 - 3	
		《宅内切替 既設管がSV以外の場合》	(口径40mm~50mm) 《宅内切替 既設管がSV以外の場合》	2 - 9 - 4	
	水道用明示シート布設標準図	水道用明示シート	水道用明示シート	2 - 10 - 1	
	水道用明示テープ布設標準図	水道用明示テープ	水道用明示テープ	2 - 11 - 1	
	通信ケーブル布設標準図	通信ケーブル(地下埋設)布設	通信ケーブル(地下埋設)布設	2 - 12 - 1	
	3 弁栓類及び弁栓類室等構造図	仕切弁及び仕切弁室構造図	水道用ソフトシール仕切弁 (GX形) 両受	水道用ソフトシール仕切弁 (GX形) 両受	3 - 1 - 1
			受挿し	受挿し	3 - 1 - 2
水道用ソフトシール仕切弁 (フランジ形) (構造、形状、寸法及び回転数)			水道用ソフトシール仕切弁 (フランジ形) (構造、形状、寸法及び回転数)	3 - 1 - 3	
(主要部品の名称及び材料)			(主要部品の名称及び材料)	3 - 1 - 4	
水道用ダクタイル鋳鉄仕切弁 (構造、形状、寸法及び回転数)			水道用ダクタイル鋳鉄仕切弁 (構造、形状、寸法及び回転数)	3 - 1 - 5	
(主要部品の名称及び材料)			(主要部品の名称及び材料)	3 - 1 - 6	
水道用ダクタイル鋳鉄仕切弁 (K形) 両受 (構造、形状、寸法)			水道用ダクタイル鋳鉄仕切弁 (K形) 両受 (構造、形状、寸法)	3 - 1 - 7	
水道配水用ポリエチレン挿し口付メタルシール仕切弁 (構造、形状、寸法)			水道配水用ポリエチレン挿し口付メタルシール仕切弁 (構造、形状、寸法)	3 - 1 - 8	
水道配水用ポリエチレン挿し口付きソフトシール仕切弁			水道配水用ポリエチレン挿し口付きソフトシール仕切弁	3 - 1 - 9	
仕切弁室組合せ (φ50~100)			仕切弁室組合せ (φ50~100)	3 - 1 - 10	
(φ150~300)			(φ150~300)	3 - 1 - 11	

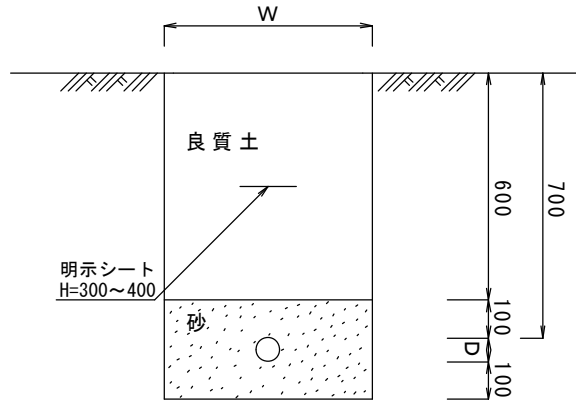
水道管路施設設計標準図 詳細目次 (3/4)

分類	種別	図名 (図面内容)	整理番号	
(3の続き)	消火栓及び消火栓室構造図	水道用地下式消火栓 (単口)	3 - 2 - 1	
		" (単口用口金) : 鹿児島市型	3 - 2 - 2	
		消火栓 (単口) 室組合せ (消火栓鉄蓋φ500)	3 - 2 - 3	
		空気弁付消火栓室組合せ (消火栓鉄蓋φ600)	3 - 2 - 4	
	空気弁及び空気弁室構造図	水道用急速空気弁 (簡易分解・消火栓ホース連結可能、フランジ型)	3 - 3 - 1	
		水道用急速空気弁	3 - 3 - 2	
		空気弁室組合せ (空気弁鉄蓋φ500)	3 - 3 - 3	
		消火栓付空気弁室組合せ (空気弁鉄蓋φ600)	3 - 3 - 4	
	水道用補修弁	水道用補修弁 (キャップ式バタフライ弁)	3 - 4 - 1	
		" (キャップ式ボール弁)	3 - 4 - 2	
	バタフライ弁及びバタフライ弁室構造図	水道用耐震NS形バタフライ弁 センターキャップ (φ400~1000)	3 - 5 - 1	
		バタフライ弁室組合せ (バタフライ弁鉄蓋φ600) (呼び径φ400~500)	3 - 5 - 2	
	鉄蓋仕様・寸法表	仕切弁・排水弁鉄蓋	3 - 6 - 1	
		消火栓鉄蓋	3 - 6 - 2	
		空気弁鉄蓋	3 - 6 - 3	
		バタフライ弁鉄蓋	3 - 6 - 4	
		減圧弁鉄蓋 (T-14)	3 - 6 - 5	
		減圧弁鉄蓋 (T-25)	3 - 6 - 6	
	4 その他 (基準・決定事項)	弁類の設置基準	仕切弁・排水弁・消火栓の設置基準	4 - 1 - 1
		離脱防止継手による一体化長さ (L寸法表)	GX・NS形継手管路の一体化長さ早見表	4 - 2 - 1
空気弁口径選定表		空気弁口径選定表	4 - 3 - 1	
		空気弁構造図 (参考例)	4 - 3 - 2	
5 参考	最小切管寸法	DIPE (GX・NS・K形)、PEPの最小切管寸法	5 - 1 - 1	
	配水管配管施工例	ダクタイル鋳鉄管 (GX形) の施工例 (1/4)	5 - 2 - 1	
		" (2/4)	5 - 2 - 2	
		" (3/4)	5 - 2 - 3	
		" (4/4)	5 - 2 - 4	
		ダクタイル鋳鉄管 (NS形) の施工例	5 - 2 - 5	
		水道配水用ポリエチレン管の施工例 (1/2)	5 - 2 - 6	
	水道配水用ポリエチレン管の施工例 (2/2)	5 - 2 - 7		
	排水弁及び排水弁室構造図	排水弁設置構造図 (参考図) (管路末端に側溝がある場合)	5 - 3 - 1	
		排水弁及び排水弁室構造図 (参考図) (管路末端に側溝が無い場合)	5 - 3 - 2	
	減圧弁配管及び減圧弁室詳細図	水道用減圧弁室 (φ100参考図) (新設管の場合)	5 - 4 - 1	
		" (既設管切込の場合)	5 - 4 - 2	
	凍結、エアーバッグ式止水工法	凍結工法 (1) (参考図)	5 - 5 - 1	
		" (2) (参考図)	5 - 5 - 2	
		エアーバッグ式止水工法 (1) (参考図)	5 - 5 - 3	
		" (2)	5 - 5 - 4	
" (3) (参考図)		5 - 5 - 5		

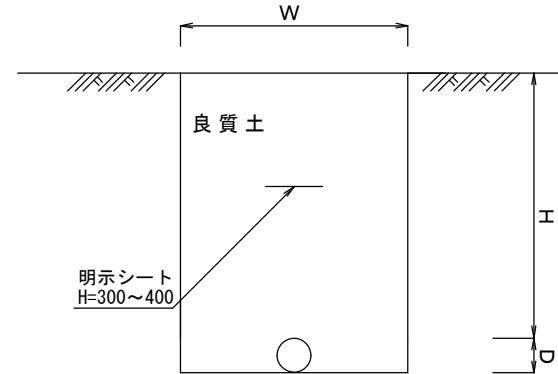
掘削標準断面図 S=1:20

(土留なし)

水道配水用ポリエチレン管 (PEP)



ダクタイル鋳鉄管 (DIPE)



単位：mm

単位：mm

口径	外径寸法 (D)	掘削幅 (W)
φ50	63	600
φ75	90	
φ100	125	

口径	外径寸法 (D)	掘削幅 (W)		土被り (H)
		G X	K	
φ75	93	600	600	700
φ100	118	600	650	
φ150	169	600	700	
φ200	220	600	750	
φ250	271.6	650	800	800
φ300	322.8	700	850	

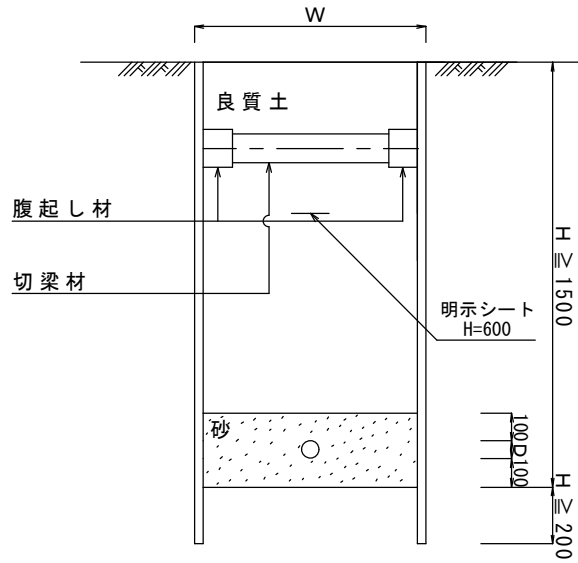
※連結部のみK形を使用する場合は、前後の管種等で掘削幅を決定する。

図名	掘削標準断面図 (土留なし)		
制定	2015.	4.	1 整理
改定	2022.	5.	13 番号
			1 - 1 - 1

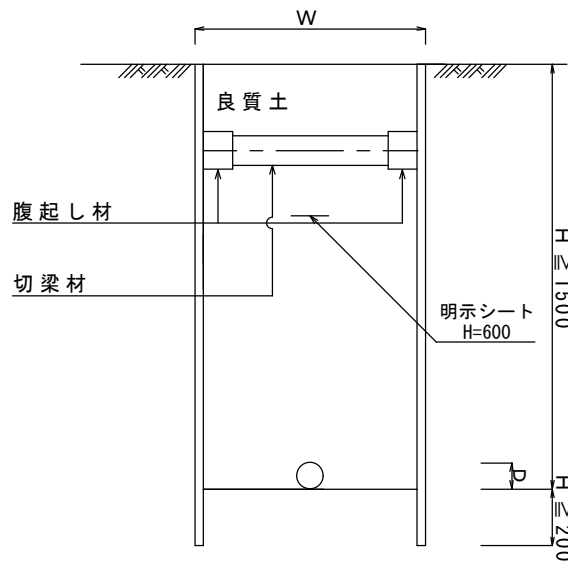
掘削標準断面図 S=1:30

(土留有り)

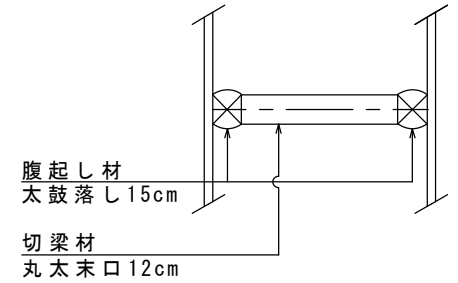
水道配水用ポリエチレン管 (PEP)



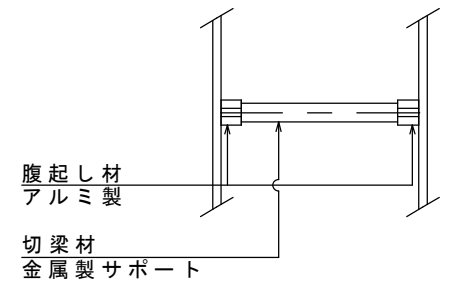
ダクタイル鋳鉄管 (DIPE(GX))



木製支保設置例



軽量金属支保設置例



単位：mm

口径	外径寸法 (D)	掘削幅 (W)		
		木矢板	軽量鋼矢板	
			木製支保	軽量金属支保
φ50	63	1000	1000	900
φ75	90			
φ100	125			

単位：mm

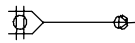
口径	外径寸法 (D)	掘削幅 (W)		
		木矢板	軽量鋼矢板	
			木製支保	軽量金属支保
φ75	93	1000	1000	900
φ100	118			
φ150	169			
φ200	220			
φ250	271.6			
φ300	322.8			

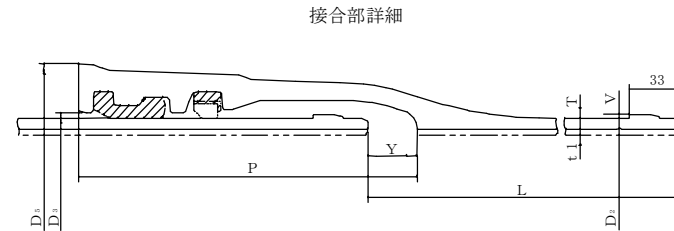
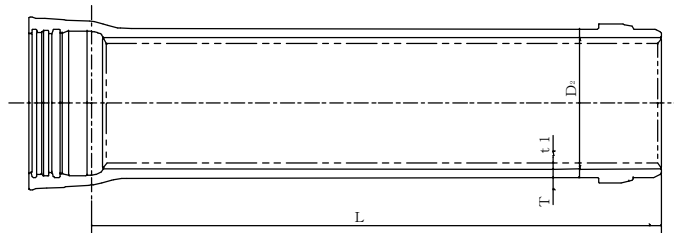
※ 掘削深がH=2.0mを超える場合は、支保工を2段とする。木矢板は、5回使用、腹起し材は、10回使用、切梁材は、5回使用とする。

※ 土留めの種類選定については、経済比較を行い決定すること。

図名	掘削標準断面図 (土留有り)		
制定	2015. 4. 1	整理	1 - 1 - 2
改定	2022. 5. 13	番号	

ダクティル鑄鉄管（GX形）

《直管》 



単位 mm

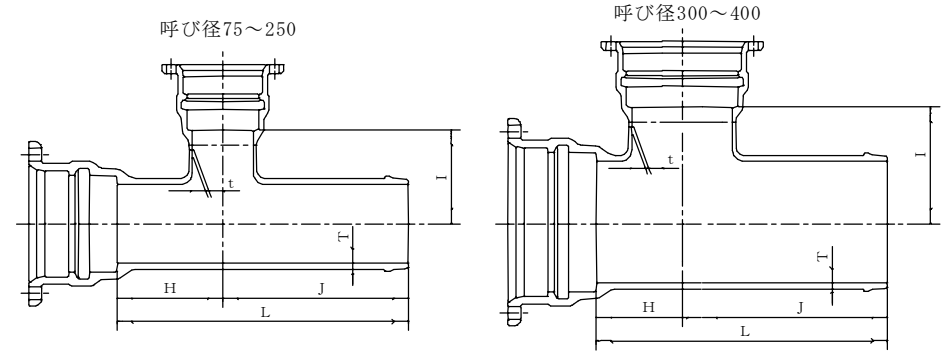
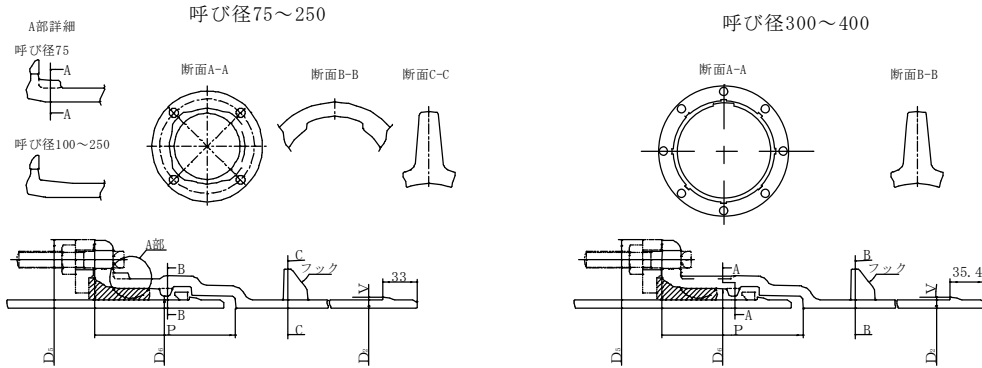
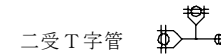
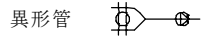
呼び径 D	管厚		外径 D ₂	各部寸法					有効長 L	受口 突部	挿し口 突部	鉄部				モルタルライニング [※] (参考)		呼び径 D	
	T			D ₃	D ₅	P	V	Y				直部 1 m		1本当たり		厚さ t ₁	質量 (kg)		
	D 1	D S										D 1	D S	D 1	D S		直部 1 m		1本 当たり
75	7.5	6.0	93.0	100.8	159	204.5	2.5	45	4000	9.2	0.08	14.40	11.73	66.2	55.7	4	2.23	8.83	75
100	7.5	6.0	118.0	126.8	190	210.0	3.0	45	4000	12.1	0.12	18.62	15.09	85.8	71.9	4	2.99	11.8	100
150	7.5	6.5	169.0	177.8	242	246.0	3.0	60	5000	18.8	0.22	27.21	23.73	153	136	4	4.52	22.3	150
200	7.5	6.5	220.0	229.0	294	255.0	3.0	60	5000	25.0	0.36	35.80	31.17	202	179	4	6.06	29.9	200
250	7.5	6.5	271.6	280.6	346	256.0	3.0	60	5000	29.9	0.44	44.49	38.71	250	222	4	7.62	37.6	250
300	7.5	7.0	322.8	331.8	408	298.0	3.0	72	6000	51.3	0.16	53.12	49.66	366	346	6	13.65	80.9	300
400	8.5	7.0	425.6	435.2	521	316.0	3.0	75	6000	71.2	0.21	79.64	65.82	543	461	6	18.21	108.0	400

注記 挿し口突部の形成は、溶接、鑄出しなど適切な方法で行わなければならない。この場合、離脱防止力は、3DkN (Dは、呼び径mm) 以上でなければならない。

図名	ダクティル鑄鉄管（GX形） 《直管》			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				2 - 1 - 1

ダクタイトル鑄鉄異形管（GX形）

《異形管・二受T字管》



単位 mm

呼び径	外径	各部寸法				ボルト あなの 数	質量 (kg)	
		D ₅	D ₆	P	V		受口 突部	挿し口 突部
75	93.0	210	100.8	136.5	2.5	4	6.92	0.04
100	118.0	244	126.8	137.5	3.0	4	8.67	0.06
150	169.0	305	177.8	142.0	3.0	6	13.5	0.09
200	220.0	354	229.0	144.0	3.0	6	17.0	0.12
250	271.6	409	280.6	145.0	3.0	8	20.9	0.14
300	322.8	477	331.8	150.0	3.0	8	33.6	0.17
350	374.0	528	383.6	150.0	3.0	10	38.8	0.19
400	425.6	582	435.2	152.0	3.0	12	46.2	0.22

注記1 ボルト穴の配置は、管のすべての軸線を水平にした場合に、その受口面の水平中心線に対し円周率分に振り分けとする。ただし、呼び径250、300及び400は、垂直及び水平中心線上にボルトあながくるように円周率分に振り分ける。

注記2 フックは、曲管及び乙字管の挿し口側の管体部に設ける。この場合、フックの配置は、管のすべての軸線を水平にした場合の水平中心線上の左右2カ所とする。

単位 mm

呼び径		管厚		各部寸法				質量 (kg)
D	d	T	t	H	I	J	L	
75	75	8.0	8.0	100	100	340	440	21.3
100	75	8.0	8.0	100	120	340	440	25.1
150	100	8.0	8.0	120	120	350	470	27.7
150	75	8.5	8.0	100	140	350	450	35.0
150	100	8.5	8.0	120	140	360	480	37.8
150	150	8.5	8.5	150	150	410	560	45.7
200	100	9.5	8.0	120	170	380	500	49.2
200	150	9.5	8.5	150	170	410	560	57.0
200	200	9.5	9.5	170	170	470	640	64.6
250	100	10.5	8.0	120	190	380	500	61.3
250	150	10.5	8.5	150	200	410	560	70.3
250	250	10.5	10.5	200	200	460	660	84.8
300	100	10.5	8.0	115	235	365	480	79.4
300	150	10.5	8.5	145	235	395	540	88.6
300	200	10.5	9.5	175	235	475	650	100
300	300	10.5	10.5	235	235	555	790	128
400	300	12.0	10.5	235	285	575	810	172
400	400	12.0	12.0	295	295	650	945	202

図名 ダクタイトル鑄鉄異形管（GX形）
《異形管・二受T字管》

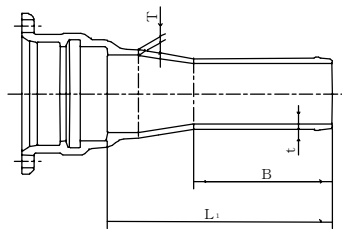
制定 2015. 4. 1 整理
改定 2020. 7. 1 番号

2 - 1 - 2

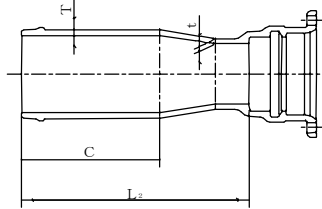
ダクティル鑄鉄異形管（GX形）

《片落管・曲管》

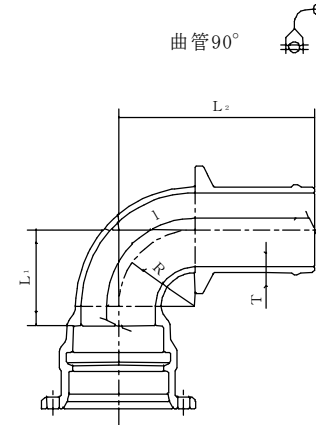
受挿し片落管



挿し受片落管



曲管90°



単位 mm

呼び径		管厚		各部寸法				質量 (kg)	
D	d	T	t	B	C	L ₁	L ₂	受挿し	挿し受
100	75	8.0	8.0	270	270	410	410	15.4	14.7
150	100	8.5	8.0	270	280	410	420	22.4	20.6
200	150	9.5	8.5	280	300	420	440	31.3	31.9
250	200	10.5	9.5	300	300	440	440	42.4	42.8
300	100	10.5	8.0	285	285	720	705	59.8	48.2
300	150	10.5	8.5	285	285	620	605	60.3	50.6
300	200	10.5	9.5	285	285	520	505	60.9	50.8
300	250	10.5	10.5	285	285	420	405	60.6	50.1
400	200	12.0	9.5	290	290	730	710	94.3	81.0
400	300	12.0	10.5	290	290	530	525	90.6	87.1

単位 mm

呼び径	管厚	各部寸法			管心長	質量 (kg)
D	T	R	L ₁	L ₂	l	
75	8.0	70	110	370	450	14.0
100	8.0	95	130	390	479	18.4
150	8.5	145	180	450	568	31.2
200	9.5	195	230	520	666	47.4
250	10.5	240	280	570	747	67.4
300	10.5	230	265	550	716	86.7
400	12.0	335	375	660	891	146

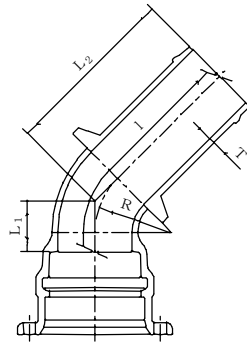
注記 フックを2カ所に設ける。

図名	ダクティル鑄鉄異形管（GX形） 《片落管・曲管90°》		
制定	2015. 4. 1	整理	2 - 1 - 3
改定	2020. 7. 1	番号	

ダクティル鑄鉄異形管（GX形）

《曲管》

曲管45°

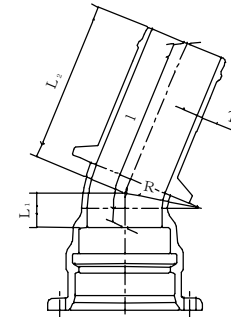


単位 mm

呼び径	管厚	各部寸法			管心長	質量 (kg)
		R	L ₁	L ₂		
75	8.0	70	70	330	397	13.2
100	8.0	95	80	340	416	17.1
150	8.5	145	100	370	464	28.0
200	9.5	195	120	410	522	40.9
250	10.5	240	140	430	560	55.9
300	10.5	230	130	440	560	75.2
400	12.0	335	175	480	641	118

注記 フックを2カ所に設ける。

曲管22 1/2°



単位 mm

呼び径	管厚	各部寸法			管心長	質量 (kg)
		R	L ₁	L ₂		
75	8.0	70	50	310	360	12.6
100	8.0	95	60	320	380	16.4
150	8.5	145	70	340	409	26.3
200	9.5	195	80	370	449	37.6
250	10.5	240	80	380	459	49.6
300	10.5	230	85	385	469	68.5
400	12.0	335	105	395	498	102

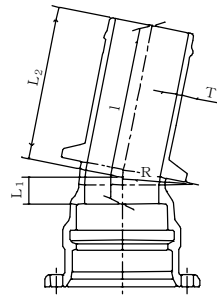
注記 フックを2カ所に設ける。

図名	ダクティル鑄鉄異形管（GX形） 《曲管45°・22 1/2°》			
制定	2014.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				2 - 1 - 4

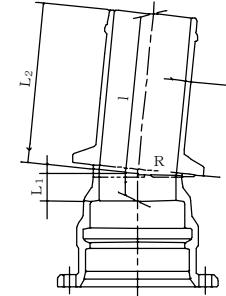
ダクティル鑄鉄異形管（GX形）

《曲管》

曲管11 1/4°



曲管5 5/8°



単位 mm

呼び径	管厚	各 部 寸 法			管心長 l	質量 (kg)
		R	L ₁	L ₂		
D	T	R	L ₁	L ₂	l	(kg)
75	8.0	70	40	300	340	12.3
100	8.0	95	50	310	360	16.0
150	8.5	145	50	320	370	25.1
200	9.5	195	60	350	410	35.9
250	10.5	240	60	350	410	46.6
300	10.5	230	60	340	400	63.4
400	12.0	335	70	350	420	93.4

注記 フックを2カ所に設ける。

単位 mm

呼び径	管厚	各 部 寸 法			管心長 l	質量 (kg)
		R	L ₁	L ₂		
D	T	R	L ₁	L ₂	l	(kg)
75	8.0	70	40	300	340	12.3
100	8.0	95	50	310	360	16.0
150	8.5	145	50	320	370	25.1
200	9.5	195	60	350	410	35.9
250	10.5	240	60	350	410	46.6
300	10.5	230	50	325	375	61.5
400	12.0	335	55	335	390	90.0

注記 フックを2カ所に設ける。

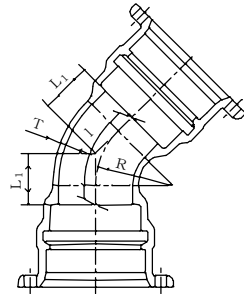
図名	ダクティル鑄鉄異形管（GX形） 《曲管11 1/4°・5 5/8°》		
制定	2015.	4.	1 整理
改定	2020.	7.	1 番号

2 - 1 - 5

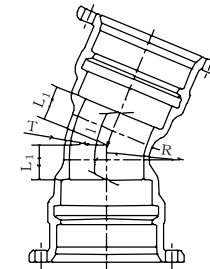
ダクティル鑄鉄異形管（GX形）

《両受曲管》

両受曲管45°



両受曲管22 1/2°



単位 mm

呼び径	管厚	各部寸法		管心長	質量 (kg)
		R	L ₁		
75	8.0	70	70	137	15.9
100	8.0	95	80	156	20.4
150	8.5	145	100	194	32.5
200	9.5	195	120	232	44.6
250	10.5	240	140	270	58.6
300	10.5	230	130	250	85.6
400	12.0	335	175	336	130

単位 mm

呼び径	管厚	各部寸法		管心長	質量 (kg)
		R	L ₁		
75	8.0	70	50	100	15.4
100	8.0	95	60	120	19.7
150	8.5	145	70	139	30.9
200	9.5	195	80	159	41.3
250	10.5	240	80	159	51.8
300	10.5	230	85	169	79.6
400	12.0	335	105	208	116

図名	ダクティル鑄鉄異形管（GX形） 《両受曲管45°・22 1/2°》			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				2 - 1 - 6

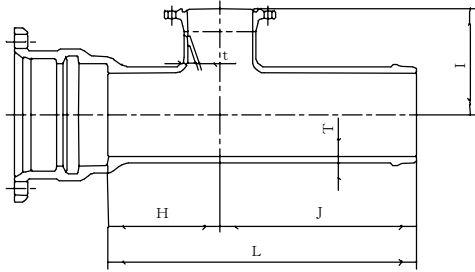
ダクタイル鋳鉄異形管（GX形）

《フランジ付きT字管》

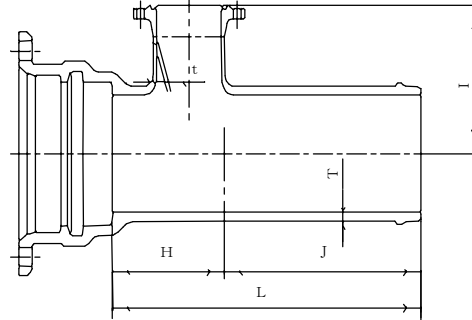
フランジ付きT字管
(空気弁用・消火栓用)



呼び径75～250



呼び径300～400



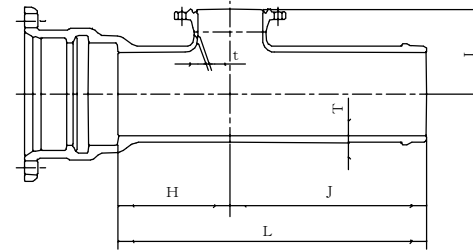
単位 mm

呼び径		管厚		各部寸法				質量(kg)		
D	d	T	t	H	I	J	L	形式2		
								7.5K	10K	16K
75	75	8.0	8	100	200	340	440	19.6	18.1	18.8
100	75	8.0	8	100	200	340	440	23.5	22.0	22.7
150	75	8.5	8	100	250	350	450	33.6	32.1	32.8
200	75	9.5	8	100	250	370	470	44.3	42.8	43.6
250	75	10.5	8	100	300	370	470	56.7	55.2	56.0
300	75	10.5	8	105	300	355	460	73.5	72.0	72.7
300	100	10.5	8	115	300	370	485	76.6	74.8	76.0
400	75	12.0	8	105	350	360	465	104	103	104
400	100	12.0	8	115	350	370	485	108	106	107

注記 受口のボルト穴の配置は、管のすべての軸線を水平にした場合に、その受口面の垂直中心線に対し円周等分に振り分けとする。ただし、呼び径250、300及び400は、垂直及び水平中心線上にボルト穴がくるように円周等分に振り分ける。

備考 フランジの詳細は、JIS G 5527の7.5K、10K、16K GF形による。

浅層埋設形フランジ付きT字管
(空気弁用・消火栓用)



単位 mm

呼び径		管厚		各部寸法				質量(kg)	
D	d	T	t	H	I	J	L	形式2	
								7.5K	10K
75	75	8.0	8	140	105	380	520	19.3	
100	75	8.0	8	140	120	380	520	23.7	
150	75	8.5	8	140	170	390	530	34.6	
200	75	9.5	8	140	200	410	550	47.0	
250	75	10.5	8	140	230	410	550	60.3	

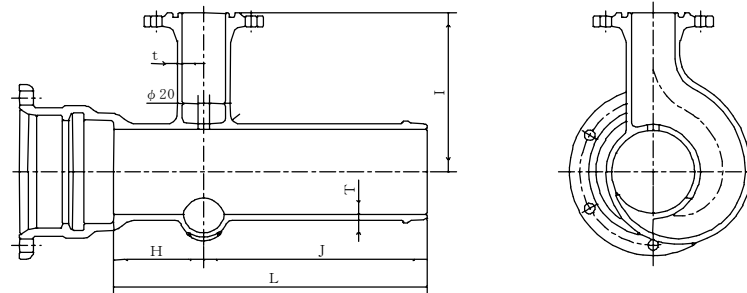
注記 受口のボルト穴の配置は、管のすべての軸線を水平にした場合に、その受口面の垂直中心線に対し円周等分に振り分けとする。ただし、呼び径250は、垂直及び水平中心線上にボルト穴がくるように円周等分に振り分ける。

備考 フランジの詳細は、JIS G 5527の7.5K、10K、16K GF形による。

図名	ダクタイル鋳鉄異形管（GX形） 《フランジ付きT字管》		
制定	2015.	4.	1 整理
改定	2020.	7.	1 番号
			2-1-7

ダクタイル鋳鉄異形管（GX形）

《うず巻式フランジ付きT字管》



単位 mm

呼び径		管厚		各部寸法				質量(kg)
D	d	T	t	H	I	J	L	形式2 7.5K
75	75	8.0	8	100	250	450	550	24.9
100	75	8.0	8	100	250	470	570	30.2
150	75	8.5	8	100	280	470	570	41.9
200	75	9.5	8	100	300	470	570	54.6
250	75	10.5	8	100	330	470	570	69.0
300	75	10.5	8	105	350	475	580	89.8
300	100	10.5	8	115	350	490	605	95.2

注記 受口のボルトあなの配置は、管のすべての軸線を水平にした場合に、その受口面の垂直中心線に対し円周等分に振り分けとする。ただし、呼び径250は、垂直及び水平中心線上にボルトあながくるように円周等分に振り分ける。

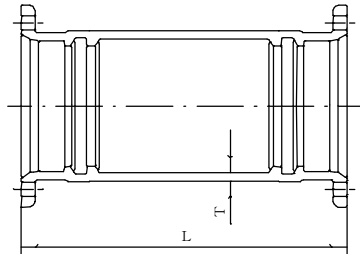
備考 フランジの詳細は、JIS G 5527の7.5K GF形による。

図名	ダクタイル鋳鉄異形管（GX形） 《うず巻式フランジ付きT字管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-1-8
改定		番号	

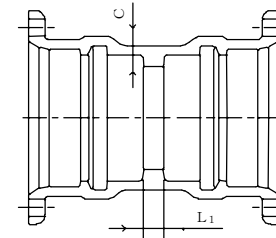
ダクタイル鋳鉄異形管（GX形）

《継輪・両受短管》

継輪 



両受短管 



単位 mm

呼び径	管厚	寸法	質量
D	T	L	(kg)
75	11	490	20.8
100	11	500	26.0
150	12	550	41.7
200	12	560	52.5
250	12	560	63.5
300	14	645	102
400	15	645	140

単位 mm

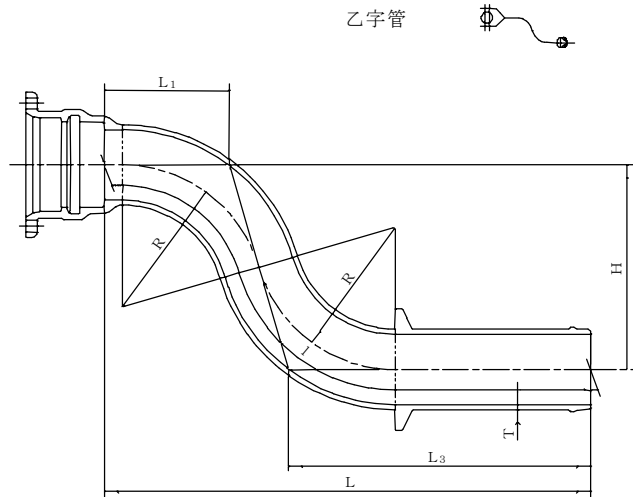
呼び径	寸法	有効長	質量
D	C	L ₁	(kg)
75	10	20	14.2
100	10	20	17.7
150	11	20	27.6
200	11	20	35.0
250	11	20	43.1
300	15	20	67.0
400	16	20	92.0

図名	ダクタイル鋳鉄異形管（GX形） 《継輪・両受短管》		
制定	2015.	4.	1 整理
改定	2020.	7.	1 番号
			2 - 1 - 9

ダクタイトル鋳鉄異形管（GX形）

《乙字管・帽》

乙字管



単位 mm

呼び径	管厚	各部寸法					管心長	質量
		D	T	R	L	L ₁		
75	8.0	177	680	184.9	448.8	300	832	19.9
75	8.0	201	730	232.0	498.0	450	1007	22.5
100	8.0	208	730	188.7	454.2	300	866	26.1
100	8.0	225	780	257.0	523.0	450	1037	29.4
150	8.5	267	820	199.9	473.9	300	937	42.5
150	8.5	281	890	261.9	536.6	450	1109	47.8
200	9.5	327	910	213.5	503.4	300	1013	62.9
200	9.5	347	1010	275.7	565.3	450	1201	71.3
250	10.5	375	960	221.5	513.5	300	1055	86.3
250	10.5	385	1060	281.0	573.4	450	1239	97.7
300	10.5	460	1050	259.3	517.0	300	1135	118
300	10.5	468	1170	319.3	577.3	450	1329	132

注記 フックを2カ所に設ける。

帽

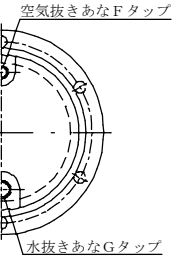
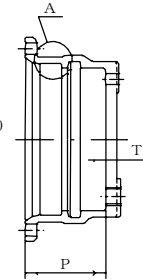
呼び径75~250

呼び径300~400

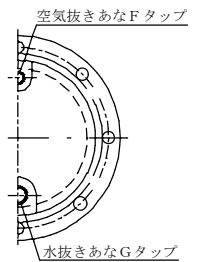
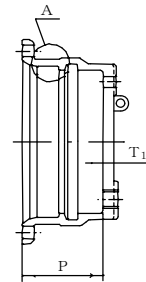
A部詳細

呼び径75

呼び径100~250

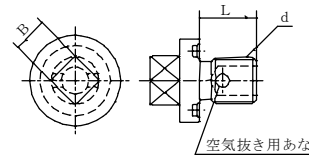


A部詳細

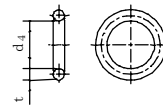


空気抜き用及び水抜き用ボルト
(SUS304)

単位 mm



シーリング



単位 mm

空気抜き用及び水抜き用ボルト		シーリング		
ねじの呼び	各部寸法		各部寸法	
d	B	L	t	d ₄
G1/4	12	21	5	19
G1/2	14	22	5	21
G1	22	27	5	35
G2	25	30	5.7	60

注記 シーリングの材質は、SBRとし、デュロメータ硬さ H_A70、引張強さ18MPa以上とする。

呼び径	各部寸法		タップあな		質量
	D	T ₁	F	G	
75	18.0	136.5	G1/4	G1/2	7.9
100	18.0	137.5	G1/4	G1/2	10.2
150	18.0	142.0	G1/4	G1/2	16.7
200	18.0	144.0	G1/2	G1	22.3
250	19.5	145.0	G1/2	G1	29.6
300	23	150	G1	G2	48.1
400	25	152	G1	G2	72.9

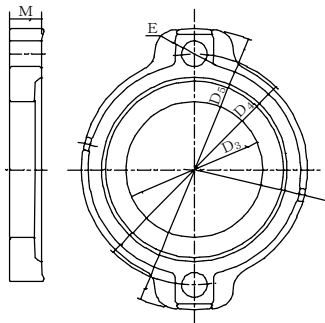
注記1 この帽の最大使用静水圧は、0.75MPaとする。
 注記2 受口外面の形状は、破線の形状でもよい。
 注記3 タップあなのねじは、JIS B 0202の管用平行ねじとする。
 注記4 帽には、シーリングをセットした空気抜き用及び水抜き用ボルトを取り付ける。

図名	ダクタイトル鋳鉄異形管（GX形） 《乙字管・帽》			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				2-1-10

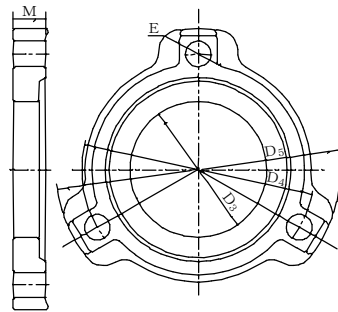
ダクタイル鑄鉄異形管（GX形）

《押輪》

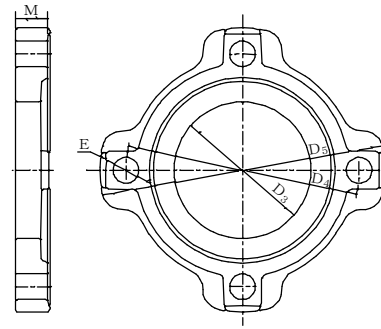
呼び径75・100



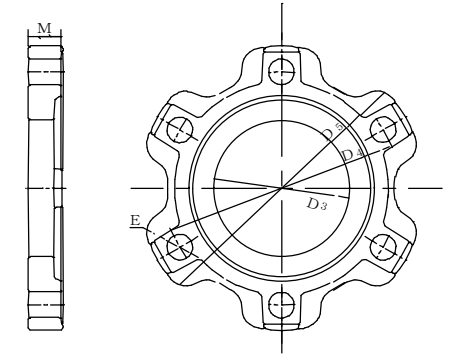
呼び径150・200



呼び径250・300



呼び径400



単位 mm

呼び径	各部寸法					ボルト あなの 数	質量 (kg)
	D ₃	D ₄	D ₅	E	M		
75	101	172	210	19	19	2	1.80
100	127	202	244	23	20	2	2.20
150	178	259	305	23	21	3	3.42
200	229	308	354	23	22	3	4.84
250	281	363	409	23	23	4	6.32
300	332	431	477	26	23	4	8.47
400	435	536	582	28	23	6	12.4

各部寸法及び質量の許容差

単位 mm

呼び径	押輪			
	D ₃	D ₄	D ₅	質量
75~250	+2 -1	±1.5	+規定せず -2	+規定せず -8%
300~400	+3 -1			

注記 質量のマイナス側許容差の有効数字は小数点以下2けたとする。
なお、有効数字より小さいけたは、切り捨てる。

図名	ダクタイル鑄鉄異形管（GX形） 《押輪》			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				2-1-11

ダクティル鑄鉄異形管（GX形）

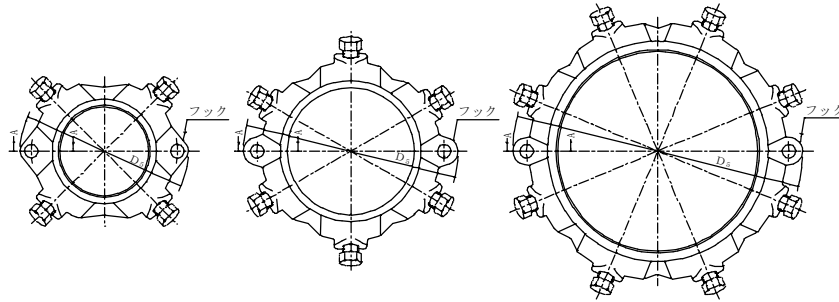
《P-Link》



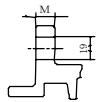
呼び径75・100

呼び径150・200

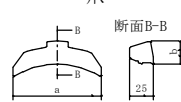
呼び径250・300



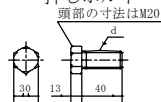
断面A-A



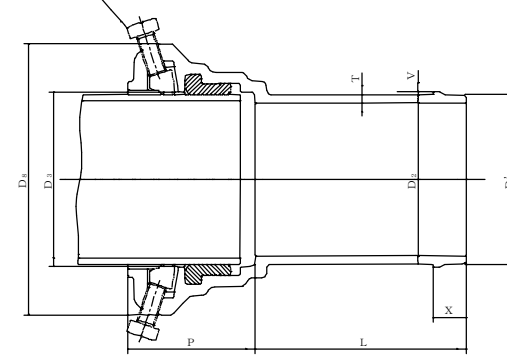
爪



押しボルト
頭部の寸法はM20



頭部の寸法はM20



各部寸法及び質量の許容差

単位 mm

単位 mm

呼び径	本 体											爪		押しボルト			
	管厚 T	外径		各部寸法							有効長 L	質量 (kg)	各部寸法		1つットの数	ボルトの呼び d	1つットの数
75	8.0	93.0	93.0	97.8	203	199	14	115	2.5	33	180	8.2	74	24.6	4	M22	4
100	8.0	118.0	118.0	122.8	233	225	16	123	3.0	33	180	10.7	91	24.6	4	M22	4
150	8.5	169.0	169.0	173.8	297	270	16	127	3.0	33	210	16.8	93	24.6	6	M18	6
200	9.5	220.0	220.0	225.0	356	323	18	140	3.0	33	220	25.0	117	26.6	6	M18	6
250	10.5	271.6	271.6	276.6	401	375	18	141	3.0	33	220	32.0	111	26.6	8	M18	8
300	10.5	322.8	322.8	327.8	469	430	20	152	3.0	35.4	267	50.0	131	26.6	8	M18	8

注記1 爪の材質は、JIS G 5502のFCD450-10とし、適切な熱処理を行う。
なお、爪は、ゴムなどの適切な方法によって溝部に取り付ける。

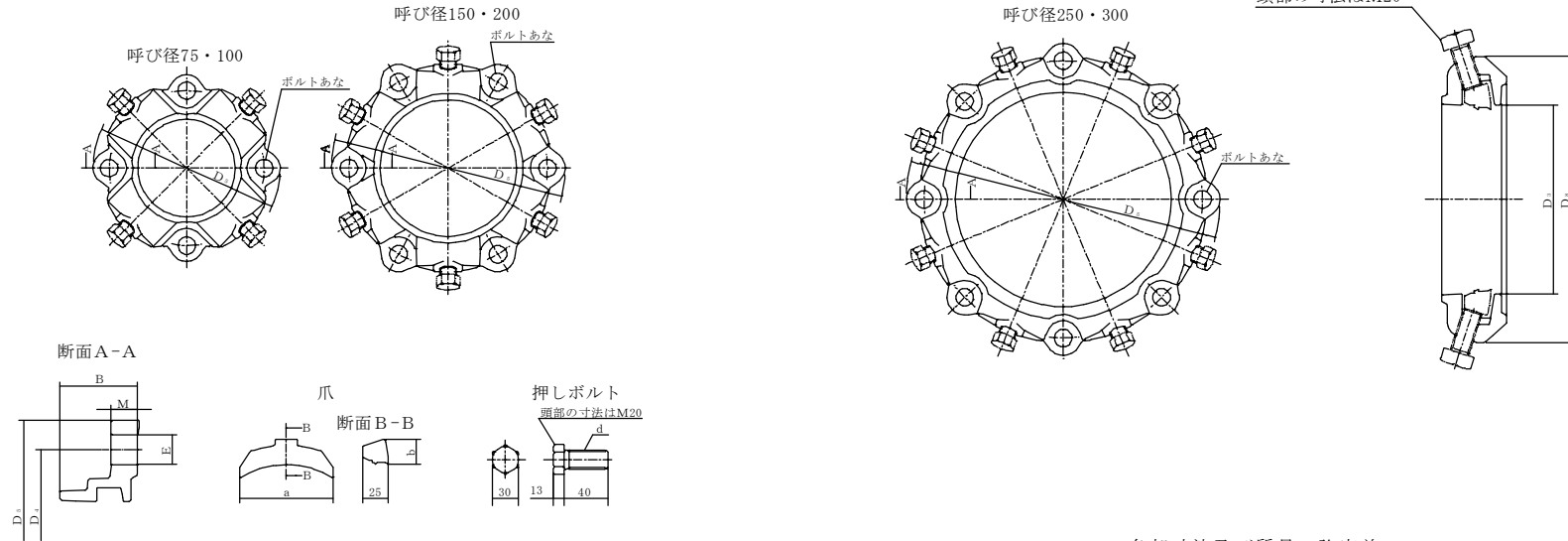
注記2 押しボルトの材質は、JIS G 4303、JIS G 4308、JIS G 4309のSUS304、SUS304J3又はSUSXM7とする。
なお、頭部の形状及び寸法は、JIS B 1180の附属書1の並以上のM20に準じる。

呼び径	P-Link							
	本 体							
	T	D ₂	D ₃	D ₅ ・D ₈	P	V	L	質量
75・100	+規定せず -2.3	±1.5	+1.5 -1.0	+規定せず -2	±4	+規定せず -0.5	±10	+規定せず -8%
150								
200・250	+規定せず -2.5	±1.5	+1.8 -1.3					
300								

図名	ダクティル鑄鉄異形管（GX形） 《P-Link》			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				2-1-12

ダクティル鑄鉄異形管 (GX形)

《G-Link》



各部寸法及び質量の許容差

単位 mm

呼び径	本 体									爪			押しボルト	
	各部寸法							ボルトあなの数	質量 (kg)	各部寸法		1セットの数	ボルトの径 d	1セットの数
	D ₃	D ₄	D ₅	D ₈	B	E	M			a	b			
75	101	172	210	199	58	19	19	4	3.99	74	24.6	4	M22	4
100	127	202	244	225	61	23	20	4	5.00	91	24.6	4	M22	4
150	178	259	305	270	61	23	21	6	6.90	93	24.6	6	M18	6
200	229	308	354	323	68	23	22	6	9.36	117	26.6	6	M18	6
250	281	363	409	375	68	23	23	8	12.5	111	26.6	8	M18	8
300	332	431	477	430	77	23	26	8	19.0	131	26.6	8	M18	8

単位 mm

呼び径	G-Link						
	本 体						質量
	D ₃	D ₄	D ₅	D ₈	B	M	
75~150	+1.5 -1.0						
200・250	+1.8 -1.3	±1.5	+規定せず -2		+4 +1	+3.0 -1.5	+規定せず -8%
300	+3.0 -1.0					+4.0 -2.0	

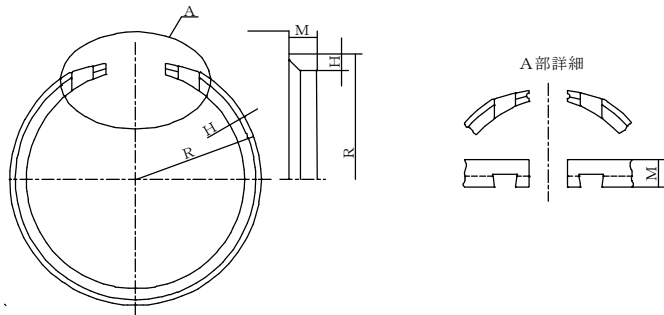
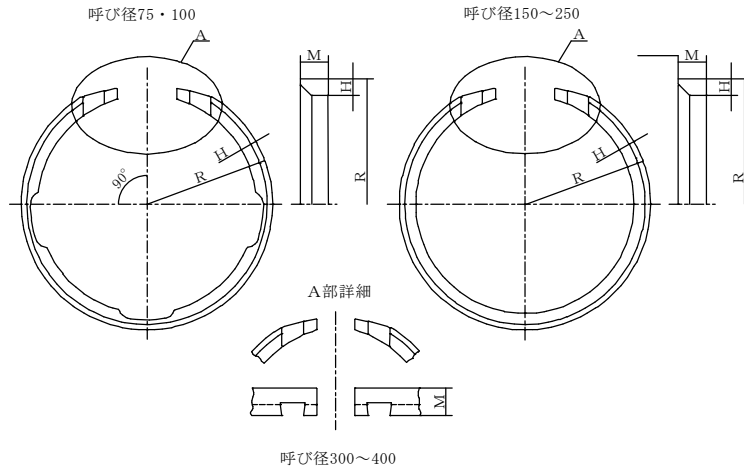
注記 1 爪の材質は、JIS G 5502のFCD450-10とし、適切な熱処理を行う。
 なお、爪は、ゴムなどの適切な方法によって溝部に取り付ける。

注記 2 押しボルトの材質は、JIS G 4303、JIS G 4308、JIS G 4309のSUS304、SUS304J3又はSUSXM7とする。
 なお、頭部の形状及び寸法は、JIS B 1180の付属書1の並以上のM20に準じる。

図名	ダクティル鑄鉄異形管 (GX形) 《G-Link》			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				2-1-13

ダクティル鑄鉄異形管 (GX形)

《ロックリング》



単位 mm

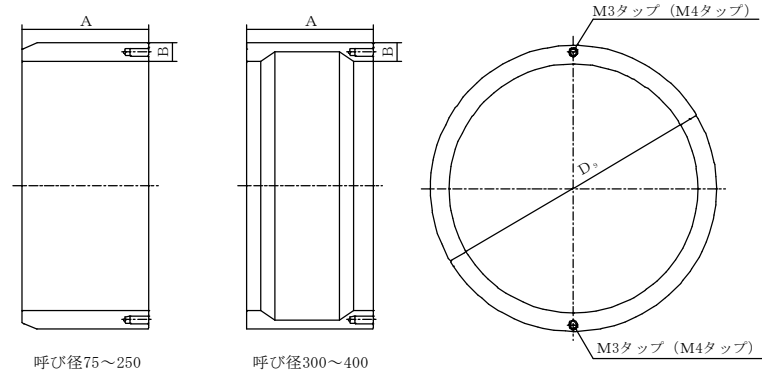
呼び径	各部寸法			質量 (kg)
	H	M	R	
75	8	15	54.5	0.154
100	9	15	68.0	0.225
150	9	15	93.5	0.400
200	9	15	119.0	0.523
250	9	15	144.8	0.649
300	11	20	160.4	1.340
400	11	20	211.8	1.770

各部寸法の許容差

単位 mm

呼び径	ロックリング	
	H	M
75~400	+0.5	0
	0	-1

《ライナ》



単位 mm

呼び径	各部寸法			質量 (kg)
	D ₉	A	B	
75	93.0	74	6.0	0.78
100	118.0	74	6.0	1.02
150	169.0	99	6.5	2.20
200	220.0	99	6.5	2.93
250	271.6	99	6.5	3.66
300	326.5	126	20	9.93
400	428.5	130	20	13.5

各部寸法の許容差

単位 mm

呼び径	ライナ		
	D ₉	A	B
75・100	+2.5	0	+規定せず -1.4
	-1.5	-2	+規定せず -1.5
300~400	+2.0	0	+規定せず -1.0
	-1.5	-3.5	

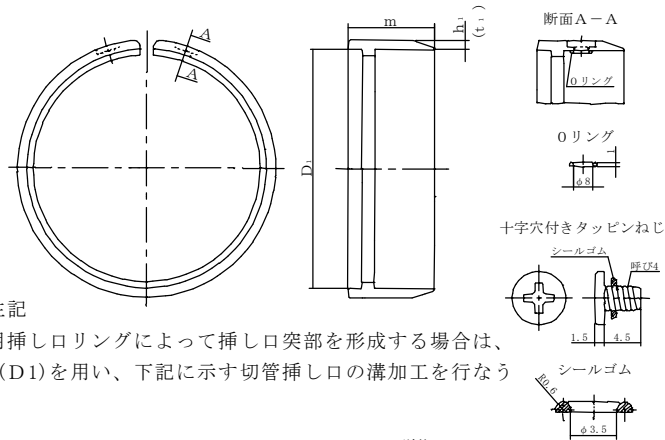
注記1 ライナの端面には、タップあなを設けてもよい。この場合、タップあなは、2か所以内とし、エポキシ樹脂で充てんする。
なお、図は、タップあなを2か所に設ける場合の一例を示す。

注記2 () 内の寸法は、呼び径300・400の場合を示す。

図名	ダクティル鑄鉄異形管 (GX形) 《ロックリング・ライナ》			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				2-1-14

ダクタイトル鋳鉄異形管 (GX形)

《切管用挿しロリング》



編集注記

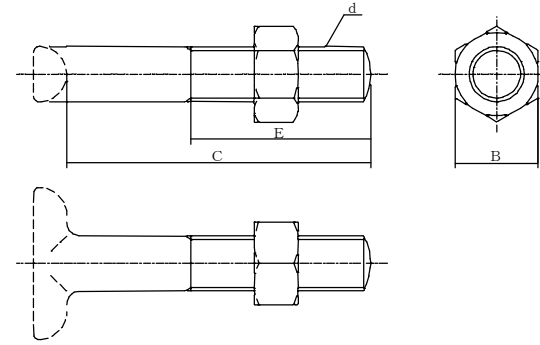
切管用挿しロリングによって挿し口突部を形成する場合は、1種管(D1)を用い、下記に示す切管挿し口の溝加工を行なうこと。

呼び径	各部寸法				質量 (kg)
	D ₁	h ₁	t ₁	m	(1セット)
75	93.0	2.5	-	25.5	0.316
100	118.0	3.0	-	25.5	0.206
150	169.0	3.0	-	25.5	0.295
200	220.0	3.0	-	25.5	0.384
250	271.6	3.0	-	25.5	0.474
300	322.8	-	11.5	38.0	1.010
400	425.6	-	12.5	38.0	1.410

単位 mm

注記1 十字穴付きタッピンねじの材質は、JIS G 4308 の SUS410とする。
注記2 シールゴム及びOリングの材質は、SBRとし、デュロメータ硬さはHA50程度とする。

《T頭ボルト・ナット》



呼び径	各部寸法			1セットの数	
	ボルトの呼び d	B	C		E
75	M16	24	100	70	2 (4)
100	M20	30	100	70	2 (4)
150	M20	30	100	70	3 (6)
200	M20	30	100	70	3 (6)
250	M20	30	100	70	4 (8)
300	M20	30	110	75	4 (8)
400	M20	30	110	75	6 (-)

単位 mm

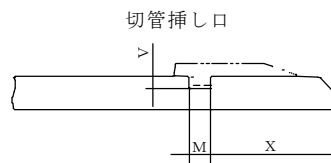
注記1 T頭部の形状は、規定しない。
注記2 ナットの形状は、破線の形状でもよい。
注記3 ナットの厚さは、JIS B 1181の付属書1の並以上の1種又は2種とする。
注記4 ()内の1セットの数は、G-Linkに使用する場合を示す。

寸法の許容差

呼び径	T頭ボルト・ナット
	C
75~400	+5 0

単位 mm

各部寸法及びその許容差



呼び径	切管挿し口					
	M		V		X	
75~250	4.5	+1 0	2.5	0 -0.5	24.5	+1 -2
300~400	4.5	+1 0	2.5	0 -0.5	20.0	+1 -2

単位 mm

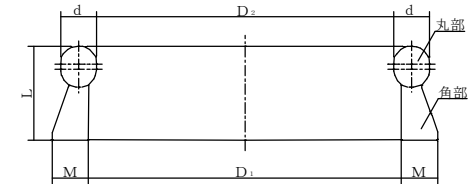
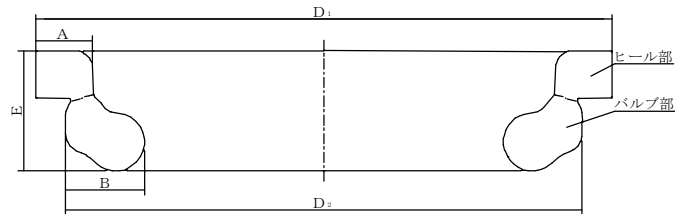
図名	ダクタイトル鋳鉄異形管 (GX形) 《切管用挿しロリング・T頭ボルト・ナット》			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				2-1-15

ダクティル鑄鉄異形管（GX形）

《ゴム輪》

直管用、P-Link用

異形管用



単位 mm

呼び径	各部寸法				
	D ₁	D ₂	A	B	E
75	127.7	112.3	13.9	18.4	29.3
100	159.3	142.9	15.7	21.8	33.2
150	212.8	196.4	16.1	22.3	35.5
200	270.9	251.7	20.1	25.9	40.9
250	324.1	304.7	20.2	25.9	41.9
300	386.5	366.5	23.3	31.4	43.7
400	500.8	478.8	27.5	38.9	51.1

各部寸法の許容差

単位 mm

呼び径	ゴム輪	
	A	E
75~400	±0.3	±0.5

単位 mm

呼び径	各部寸法				
	D ₁	D ₂	d	L	M
75	93	84	20	49	20
100	116	107	20	49	20
150	165	156	20	50	20
200	216	207	20	50	20
250	266	257	20	50	20
300	316	306.5	21.5	54	22
400	416	406.5	21.5	55	22

各部寸法の許容差

単位 mm

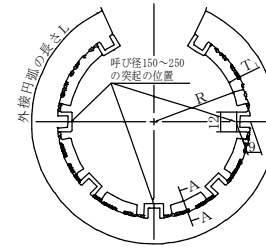
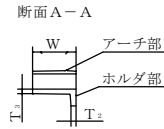
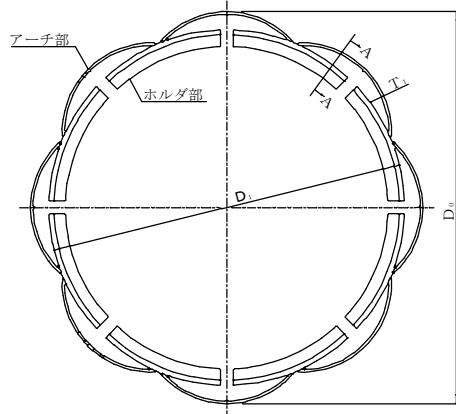
呼び径	ゴム輪		
	d	L	M
75~250	±0.25	±0.5	±0.3
300~400	±0.30		+0.5 0

図名	ダクティル鑄鉄異形管（GX形） 《ゴム輪》		
制定	2015.	4.	1 整理
改定	2020.	7.	1 番号
			2-1-16

ダクティル鑄鉄異形管（GX形）

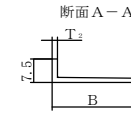
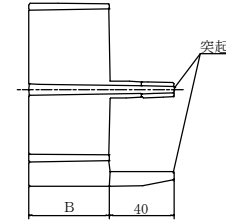
《ロックリングホルダ》
(PP, PE)

《ライナボード》
(PA6)



呼び径75・100

呼び径150~250



呼び径	各部寸法						ホルダ部の分割数
	D ₀	D ₁	T ₁	T ₂	T ₃	W	
75	126.3	113.0	1	2	2	17	6
100	154.3	140.0	1	2	2	17	8
150	205.3	191.0	1	2	2	17	10
200	256.5	242.0	1	2	2	17	12
250	308.1	293.6	1	2	2	17	16
300	361.3	346.8	1	2	2	22	12
400	464.7	449.6	1	2	2	22	16

各部寸法の許容差

呼び径	ロックリングホルダ		
	T ₂	T ₃	W
75~400	±0.2	±0.2	0 -1

呼び径	各部寸法				
	R	B	L	T ₁	T ₂
75	60.0	50	307	1.5	1.5
100	74.0	50	389	1.5	1.5
150	99.5	50	549	1.5	1.5
200	125.0	50	704	1.5	1.5
250	150.0	50	866	1.5	1.5
300	188.3	90	1047	1.5	1.5
400	240.0	90	1369	1.5	1.5

注記 呼び径150~250は、図に示す3か所に、呼び径300は29か所、呼び径400は37か所に突起を設ける。

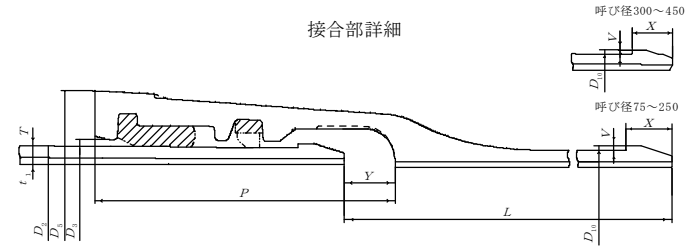
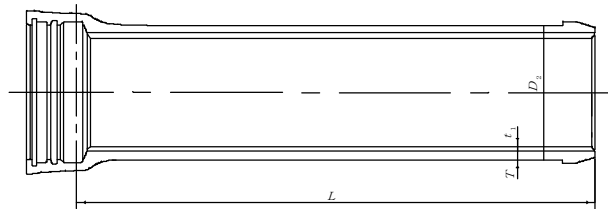
各部寸法の許容差

呼び径	ライナボード	
	L	T ₁
75~250	0 -1	±0.2
300~400	+30 -5	

図名	ダクティル鑄鉄異形管（GX形） 《ロックリングホルダ・ライナボード》			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				2-1-17

ダクティル鑄鉄管（NS形）

《直管》 



単位 mm

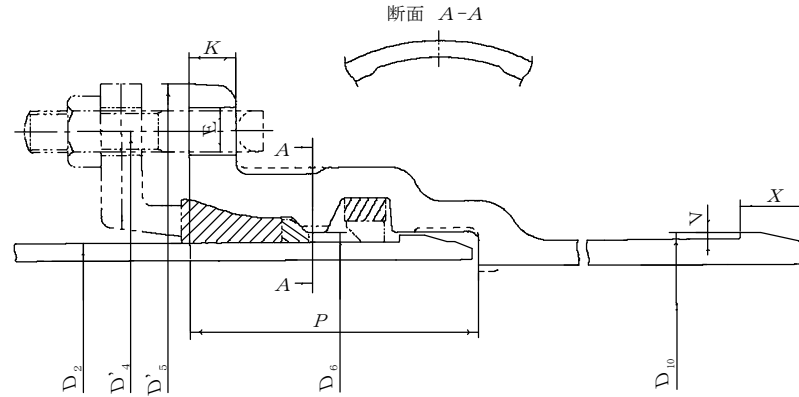
呼び径 <i>D</i>	管厚		ライニング厚 <i>t</i> ₁	外径		各部寸法						有効長 <i>L</i>	質量(kg)						呼び径 <i>D</i>		
	<i>T</i>			<i>D</i> ₂	<i>D</i> ₃	<i>D</i> ₅	<i>D</i> ₁₀	<i>P</i>	<i>V</i>	<i>X</i>	<i>Y</i>		直部1m			1本当たり					
	<i>D</i> 1	<i>D</i> 3											<i>D</i> 1	<i>D</i> 3	ライニング	<i>D</i> 1	<i>D</i> 3	ライニング			
75	7.5	6.0	4	93.0	100.8	161	98.0	212	2.5	30.4	45	4000	12.6	0.040	14.40	11.73	2.23	69.6	59	8.83	75
100	7.5	6.0	4	118.0	126.8	190	124.0	217	3.0	30.4	45	4000	15.9	0.078	18.62	15.09	2.99	89.6	75.7	11.8	100
150	7.5	6.0	4	169.0	177.8	242	175.0	255	3.0	30.4	60	5000	24.8	0.110	27.21	21.97	4.52	159	133	22.3	150
200	7.5	6.0	4	220.0	229.0	294	226.0	255	3.0	30.4	60	5000	30.9	0.142	35.80	28.84	6.06	208	174	29.9	200
250	7.5	6.0	4	271.6	280.6	346	277.6	255	3.0	30.4	60	5000	37.3	0.174	44.49	35.80	7.62	257	214	37.6	250
300	7.5	6.5	6	322.8	331.8	408	328.8	300	3.0	35.4	69	6000	57.3	0.161	53.12	46.18	13.65	373	331	81	300

- 注記 1 受口突部、挿し口突部及び直部1mの質量は、有効数字に丸めたので、その総和である1本当たりの質量とは必ずしも一致しない。
 注記 2 受口外面の形状は、破線の形状でもよい。
 注記 3 受口内面の形状は、破線の形状でもよい。
 注記 4 挿し口突部の形成は、溶接、鑄出しなど適切な方法で行わなければならない。この場合、離脱防止力は、30kN(Dは、呼び径mm)以上でなければならない。

図名	ダクティル鑄鉄管（NS形） 《直管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-1-18
改定		番号	

ダクタイル鋳鉄異形管（NS形）

《異形管》 $\nabla \rightarrow$



単位 mm

呼び径	外径	各部寸法									ボルト の数	質量 (kg)		呼び径 D
		D_2	D_4	D_5	D_6	D_{10}	P	K	E	V		X	受口 突部	
300	322.8	431	477	331.8	328.8	141	23	23	3	35.4	8	33.5	0.167	300

注記1 受口内面の形状は、破線の形状でもよい。


注記2 管内面の形状は、破線の形状でもよい。この場合、破線で示す突部の高さは5mm程度までとする。

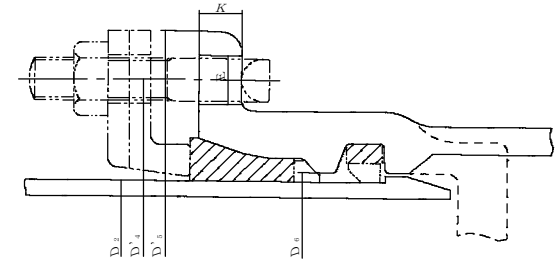
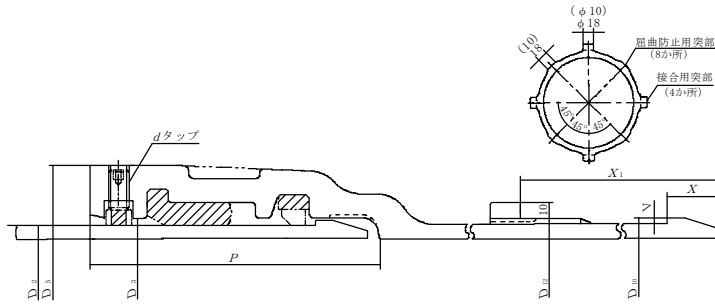
注記3 D_6 寸法部の切欠きは、円周上1か所とする。

注記4 受口のボルトあなは、円周上の等分の位置に設ける。

図名	ダクタイル鋳鉄異形管（NS形） 《異形管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-1-19
改定		番号	

ダクティル鑄鉄異形管（NS形）

《異形管 継輪用及び帽用》 



単位 mm

呼び径	外径	各部寸法									質量 (kg)		呼び径	
		D_2	D_3	D_5	D_{10}	D_{12}	P	V	X	X_1	受口 突部	挿し口 突部		
D	D_2	D_3	D_5	D_{10}	D_{12}	P	V	X	X_1	タップあな d	数	受口 突部	挿し口 突部	D
75	93.0	100.8	153	98.0	98.0	154	2.5	30.4	150	M10	4	8.15	0.172	75
100	118.0	126.8	184	124.0	124.0	164	3.0	30.4	160	M12	6	11.0	0.398	100
150	169.0	177.8	240	175.0	175.0	170	3.0	30.4	166	M12	6	16.3	0.430	150
200	220.0	229.0	294	226.0	226.0	178	3.0	30.4	174	M16	8	21.3	0.462	200
250	271.6	280.6	346	277.6	277.6	178	3.0	30.4	174	M16	8	25.7	0.494	250

- 注記 1 受口内面の形状は、破線の形状でもよい。
 注記 2 挿し口部の屈曲防止用突部の形状は、破線の形状でもよい。
 注記 3 屈曲防止リング、屈曲防止用固定ゴム及びセットボルトは、受口に取り付けた状態で出荷する。
 注記 4 受口のタップあなは、円周上の等分の位置に設ける。
 注記 5 図の（ ）内の寸法は、呼び径75の場合を示す。

単位 mm

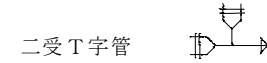
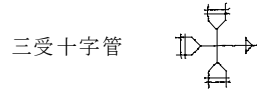
呼び径	外径	各部寸法						ボルト の数	呼び径 D
		D_4	D_5	D_6	K	E			
75	93.0	186	224	100.8	18	19	4	75	
100	118.0	209	255	126.8	19	23	4	100	
150	169.0	264	310	177.8	20	23	6	150	
200	220.0	318	364	229.0	21	23	6	200	
250	271.6	370	416	280.6	22	23	8	250	

- 注記 1 破線の形状は、帽の場合を示す。
 注記 2 受口のボルトあなは、円周上の等分の位置に設ける。

図名	ダクティル鑄鉄異形管（NS形） 《異形管 継輪用及び帽用》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-1-20
改定		番号	

ダクタイトル鑄鉄異形管（NS形）

《三受十字管・二受T字管》

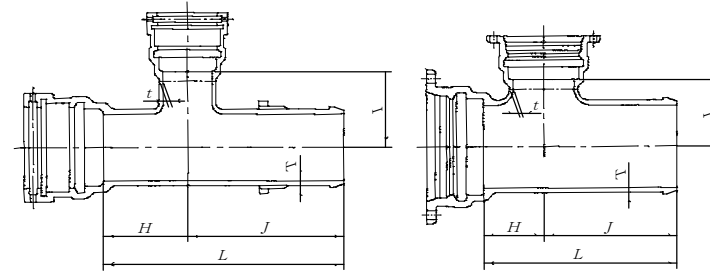
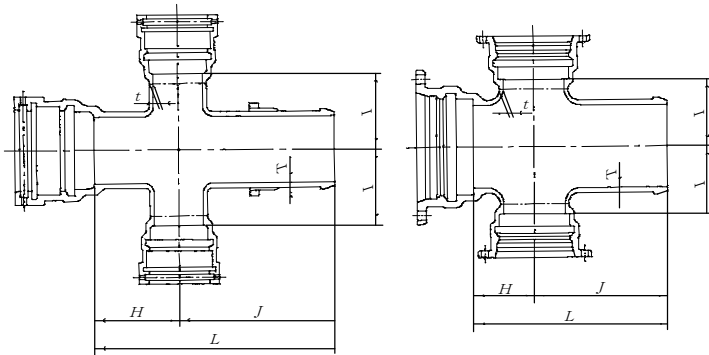


呼び径75～250

呼び径300

呼び径75～250

呼び径300



単位 mm

単位 mm										
呼び径		管厚		各部寸法				質量	呼び径	
D	d	T	t	H	I	J	L	(kg)	D	d
75	75	8.5	8.5	150	150	300	450	35.0	75	75
100	100	8.5	8.5	200	200	300	500	49.3	100	100
150	100	9.0	8.5	200	200	350	550	60.7	150	100
150	150	9.0	9.0	200	200	350	550	73.5	150	150
200	150	11.0	11.0	200	200	350	550	92.2	200	150
200	200	11.0	11.0	250	250	400	650	110	200	200
250	150	12.0	11.0	200	250	400	600	108	250	150
250	250	12.0	12.0	250	250	450	700	139	250	250
300	200	12.5	11.0	170	345	370	540	140	300	200
300	300	12.5	12.5	235	235	430	685	165	300	300

注記1 Dの呼び径300のdの呼び径200・250の受口形状は、表16(1)による。

注記2 本管と枝管との交差部には、丸みを設ける。この場合、内面側の丸みは枝管の管厚(t)の2倍以上の半径とする。

単位 mm										
呼び径		管厚		各部寸法				質量	呼び径	
D	d	T	t	H	I	J	L	(kg)	D	d
75	75	8.5	8.5	150	150	300	450	25.3	75	75
100	75	8.5	8.5	150	150	300	450	31.1	100	75
100	100	8.5	8.5	200	200	300	500	35.6	100	100
150	75	9.0	8.5	150	200	300	450	41.1	150	75
150	100	9.0	8.5	200	200	350	550	47.6	150	100
150	150	9.0	9.0	200	200	350	550	54.0	150	150
200	100	11.0	10.0	200	250	350	550	64.1	200	100
200	150	11.0	11.0	200	250	350	550	71.2	200	150
200	200	11.0	11.0	250	250	400	650	82.7	200	200
250	100	12.0	10.0	200	250	350	550	77.9	250	100
250	150	12.0	11.0	200	250	400	600	87.9	250	150
250	250	12.0	12.0	250	250	450	700	107	250	250
300	100	12.5	10.0	115	345	315	430	86.7	300	100
300	150	12.5	11.0	145	345	345	490	99.2	300	150
300	200	12.5	11.0	170	345	370	540	110	300	200
300	300	12.5	12.5	235	235	430	665	129	300	300

注記1 Dの呼び径300のdの呼び径200・250の受口形状は、表16(1)による。

注記2 本管と枝管との交差部には、丸みを設ける。この場合、内面側の丸みは枝管の管厚(t)の2倍以上の半径とする。

図名	ダクタイトル鑄鉄異形管（NS形） 《三受十字管・二受T字管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-1-21
改定		番号	

ダクティル 鋳鉄異形管 (NS形)

《片落管》

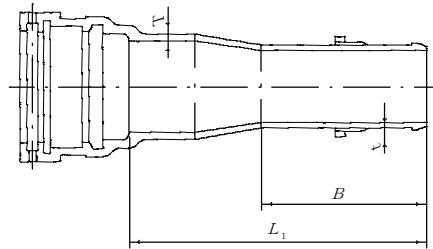
受挿し片落管



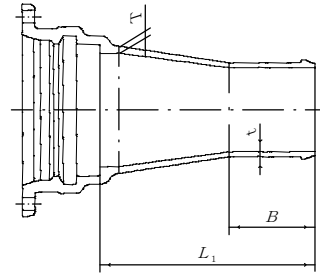
挿し受片落管



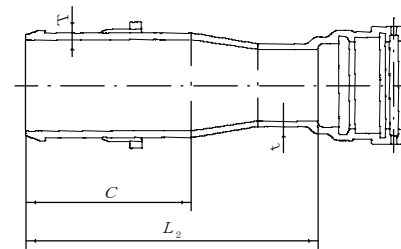
呼び径75~250



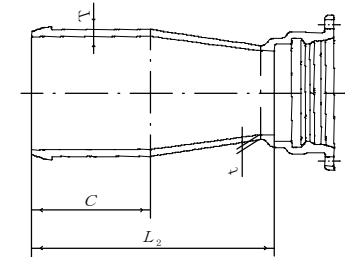
呼び径300



呼び径75~250



呼び径300



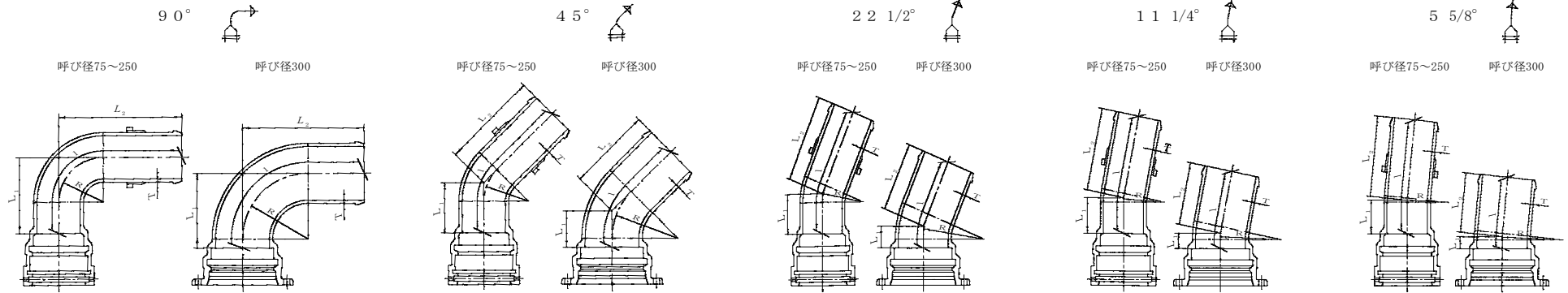
単位 mm

呼び径		管厚		各部寸法				質量 (kg)		呼び径	
D	d	T	t	B	C	L ₁	L ₂	受挿し	挿し受	D	d
100	75	8.5	8.5	250	250	450	450	19.1	17.2	100	75
150	100	9.0	8.5	250	250	450	450	27.8	24.3	150	100
200	100	11.0	10.0	250	250	550	550	40.4	34.3	200	100
200	150	11.0	11.0	250	250	450	450	41.2	38.1	200	150
250	100	12.0	10.0	250	300	650	700	53.0	48.7	250	100
250	150	12.0	11.0	250	300	550	600	53.7	52.5	250	150
250	200	12.0	11.0	250	300	450	500	52.1	54.0	250	200
300	100	12.5	10.0	250	235	685	735	64.5	55.6	300	100
300	150	12.5	11.0	250	235	585	635	65.4	59.5	300	150
300	200	12.5	11.0	250	235	485	535	63.7	60.9	300	200
300	250	12.5	12.0	300	235	435	435	65.9	61.2	300	250

図名	ダクティル 鋳鉄異形管 (NS形) 《片落管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-1-22
改定		番号	

ダクタイル鋳鉄異形管（NS形）

《曲管》



単位 mm

呼び径 <i>D</i>	管厚 <i>T</i>	90°					45°					22 1/2°					11 1/4°					5 5/8°					呼び径 <i>D</i>
		各部寸法			管心長 <i>I</i>	質量 (kg)	各部寸法			管心長 <i>I</i>	質量 (kg)	各部寸法			管心長 <i>I</i>	質量 (kg)	各部寸法			管心長 <i>I</i>	質量 (kg)						
		<i>R</i>	<i>L</i> ₁	<i>L</i> ₂			<i>R</i>	<i>L</i> ₁	<i>L</i> ₂			<i>R</i>	<i>L</i> ₁	<i>L</i> ₂			<i>R</i>	<i>L</i> ₁	<i>L</i> ₂			<i>R</i>	<i>L</i> ₁	<i>L</i> ₂	<i>R</i>	<i>L</i> ₁	
75	8.5	70	200	300	470	15.9	70	150	250	397	14.7	70	100	250	350	14.0	70	100	250	350	14.0	70	100	250	350	14.0	75
100	8.5	95	200	350	509	22.0	95	150	300	446	20.7	95	150	250	400	19.8	95	100	250	350	18.7	95	100	250	350	18.7	100
150	9.0	145	250	400	588	35.7	145	150	300	444	31.1	145	150	300	449	31.3	145	100	250	350	28.0	145	100	250	350	28.0	150
200	11.0	195	300	450	666	56.2	195	200	350	542	49.7	195	150	350	449	44.9	195	150	300	450	45.0	195	150	300	450	45.0	200
250	12.0	240	350	500	747	78.5	240	200	400	590	67.5	240	150	350	499	61.1	240	150	300	450	57.7	240	150	300	450	57.7	250
300	12.5	230	265	465	631	88.7	230	130	330	450	72.9	230	85	280	364	65.4	230	60	260	320	61.5	230	50	245	295	59.4	300

図名	ダクタイル鋳鉄異形管（NS形） 《曲管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-1-23
改定		番号	

ダクタイル鋳鉄異形管（NS形）

《両受曲管》

45°



22 1/2°

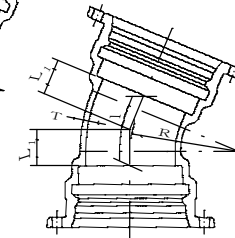
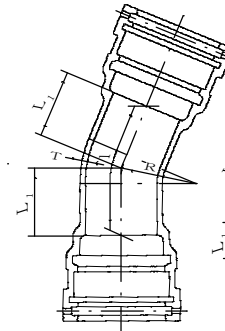
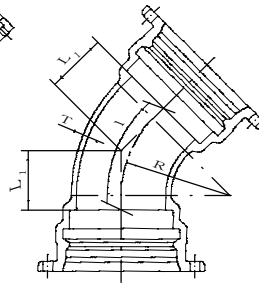
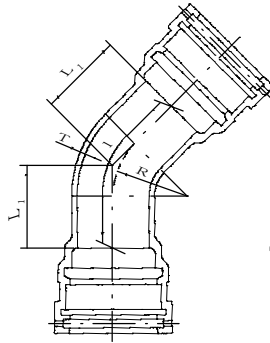


呼び径75~250

呼び径300

呼び径75~250

呼び径300



単位 mm

呼び径 <i>D</i>	管厚 <i>T</i>	45°				22 1/2°				呼び径 <i>D</i>
		各部寸法		管心長	質量	各部寸法		管心長	質量	
		<i>R</i>	<i>L</i> ₁	<i>l</i>	(kg)	<i>R</i>	<i>L</i> ₁	<i>l</i>	(kg)	
75	8.5	70	150	297	21.1	70	100	200	19.5	75
100	8.5	95	150	296	28.2	95	150	300	28.3	100
150	9.0	145	150	294	42.1	145	150	299	42.3	150
200	11.0	195	200	392	62.8	195	150	299	58.0	200
250	12.0	240	200	390	78.7	240	150	299	72.3	250
300	12.5	230	130	250	88.8	230	85	169	81.7	300

図名	ダクタイル鋳鉄異形管（NS形） 《両受曲管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-1-24
改定		番号	

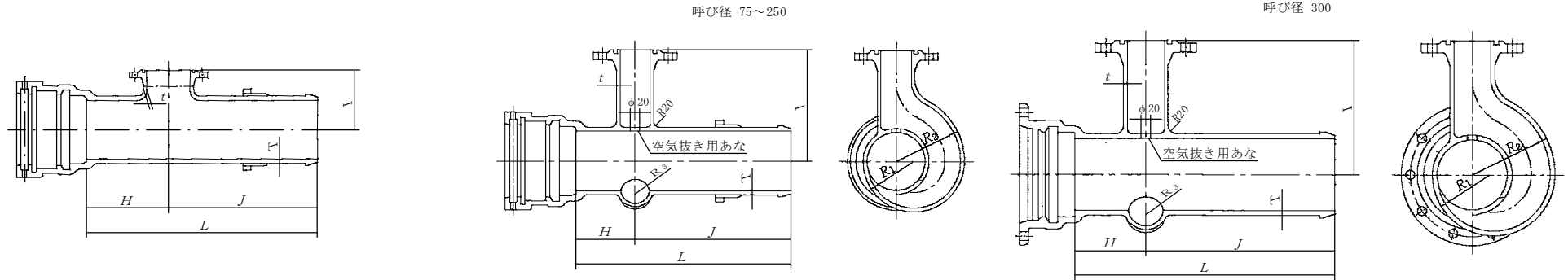
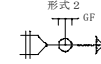
ダクティル鑄鉄異形管（NS形）

《フランジ付きT字管》

浅層埋設形フランジ付きT字管（空気弁用・消火栓用）



うず巻式フランジ付きT字管（消火栓用）



単位 mm

呼び径		管厚		各部寸法				質量 (kg)	呼び径	
D	d	T	t	H	I	J	L	形式2	D	d
								7.5K		
75	75	8.5	8.5	200	105	350	550	21.7	75	75
150	75	8.5	8.5	200	120	350	550	27.4	150	75
150	75	9.0	8.5	200	170	350	550	39.4	150	75
150	100	9.0	8.5	250	170	400	650	43.6	150	100
200	75	11.0	10.0	200	200	400	600	57.9	200	75
200	100	11.0	10.0	250	200	400	650	61.5	200	100
250	75	12.0	10.0	200	230	400	600	73.5	250	75
250	100	12.0	10.0	250	230	400	650	77.8	250	100

注記 本管と枝管との交差点部には、丸みを設ける。この場合、内面側の丸みは枝管の管厚（ ）の2倍以上の半径とする。

単位 mm

呼び径		管厚		各部寸法							質量 (kg)	呼び径	
D	d	T	t	H	I	J	L	R ₁	R ₂	R ₃	形式2	D	d
											7.5K		
75	75	8.5	8.5	150	250	300	450	90.8	135.1	38.0	26.1	75	75
100	75	8.5	8.5	150	250	300	450	103.3	147.6	38.0	31.1	100	75
150	75	9.0	8.5	150	280	300	450	128.5	172.5	38.0	43.3	150	75
150	100	9.0	8.5	200	280	350	550	141.0	197.5	50.5	48.9	150	100
200	75	11.0	10.0	200	300	350	550	154.5	199.0	36.5	64.2	200	75
200	100	11.0	10.0	200	300	350	550	167.0	224.0	49.0	66.6	200	100
250	75	12.0	10.0	200	330	350	550	179.8	223.8	36.5	80.2	250	75
250	100	12.0	10.0	200	330	350	550	192.3	248.8	49.0	82.6	250	100
300	75	12.5	10.0	105	350	460	565	205.2	249.0	36.5	100	300	75
300	100	12.5	10.0	115	350	475	590	217.7	274.0	49.0	105	300	100

注記 空気抜き用あなは、あな径50mmとすることができる。

図名	ダクティル鑄鉄異形管（NS形） 《フランジ付きT字管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-1-25
改定		番号	

ダクティル鑄鉄異形管（NS形）

《排水T字管・継輪》

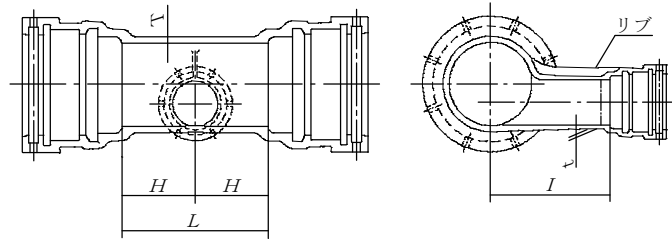
NS形排水T字管



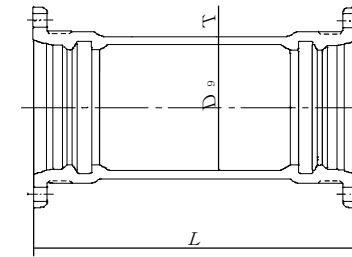
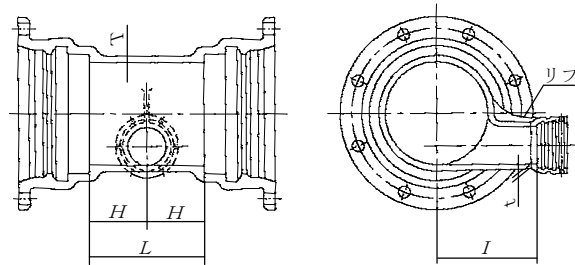
NS形継輪



呼び径200・250



呼び径300



単位 mm

呼び径	管厚	各部寸法		質量 (kg)	呼び径
		D_9	L		D
75	12	117	550	28.2	75
100	12	145	550	34.9	100
150	13	196	600	52.2	150
200	13	247	600	65.7	200
250	13	297	600	78.6	250
300	14	350	620	103	300

単位 mm

呼び径	管厚		各部寸法			重量 (kg)	呼び径	
	D	d	H	I	L		D	d
200	100	11.0	10	200	250	400	200	100
250	100	12.0	10	200	250	400	250	100
300	100	12.5	10	140	270	280	300	100

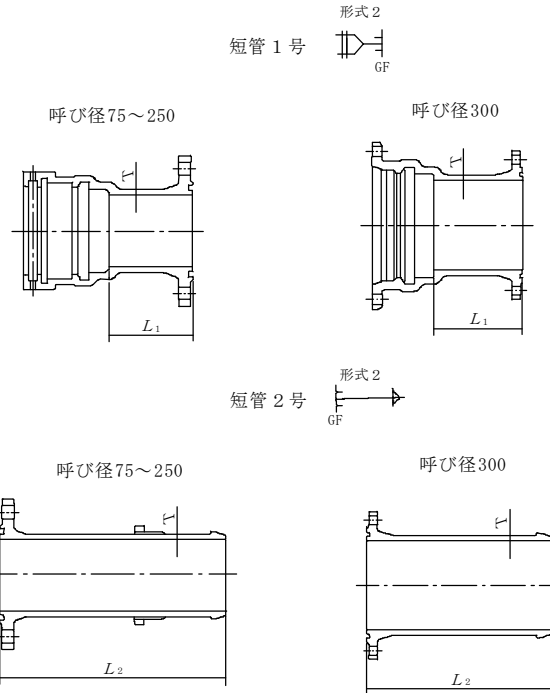
注記1 リブの厚さは、枝管の管厚（ t ）と同じとする。
 注記2 本管と枝管との交差点部には、丸みを設ける。この場合、内面側の丸みは枝管の管厚（ t ）の2倍以上の半径とする。

図名	ダクティル鑄鉄異形管（NS形） 《排水T字管・継輪》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-1-26
改定		番号	

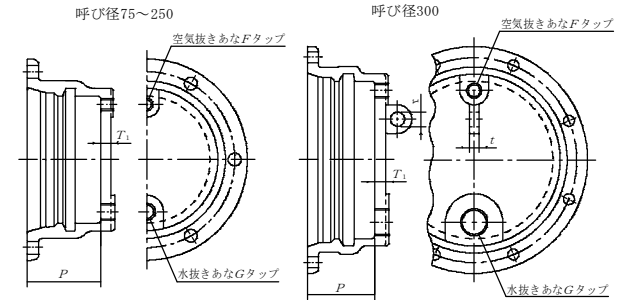
ダクティル鑄鉄異形管（NS形）

《短管・帽》

NS形短管（短管1号・短管2号）



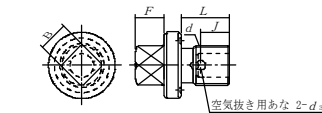
NS形帽



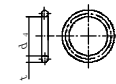
呼び径 <i>D</i>	各部寸法		タップあな		つり手寸法		質量 (kg)	呼び径 <i>D</i>
	<i>T</i> ₁	<i>P</i>	<i>F</i>	<i>G</i>	<i>r</i>	<i>t</i>		
75	18.0	133	G1/4	G1/2	-	-	10.9	75
100	18.0	133	G1/4	G1/2	-	-	13.9	100
150	18.0	133	G1/4	G1/2	-	-	20.3	150
200	18.0	133	G1/2	G1	-	-	27.0	200
250	19.5	133	G1/2	G1	-	-	34.8	250
300	23.0	141	G1	G2	30	20	48.9	300

注記1 この帽の最大使用静水圧は、0.7MPaとする。
 注記2 タップあなのねじは、JIS B 0202の管用平行ねじとする。
 なお、帽には、シーリングをセットした空気抜き用及び水抜き用ボルトを取り付ける。

空気抜き用及び水抜き用ボルト
(JIS G 4303 の SUS304)



シーリング
(JWWA K 156 の SBR IA・70)



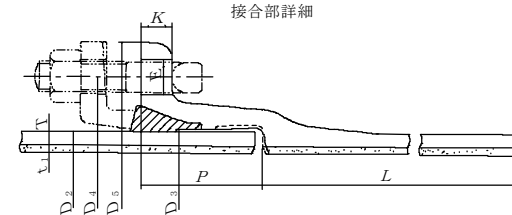
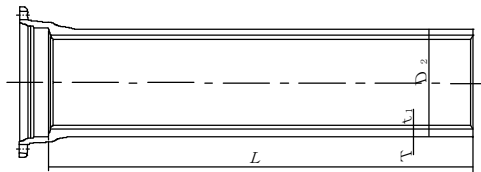
ねじの呼び	各部寸法						シーリング	
	<i>B</i>	<i>F</i>	<i>J</i>	<i>L</i>	<i>d</i> ₃	<i>t</i>	<i>d</i> ₁	
G1/4	12	10	16.5	21	4	5.0	19	
G1/2	14	12	16.5	22	6	5.0	21	
G1	22	14	20.5	27	8	5.0	35	
G2	25	18	22.0	30	10	5.7	60	

呼び径 <i>D</i>	管厚 <i>T</i>	有効長 <i>L</i> ₁	有効長 <i>L</i> ₂	質量 (kg)								呼び径 <i>D</i>
				短管1号				短管2号				
				形式2				形式2				
				7.5K	10K	16K	20K	7.5K	10K	16K	20K	
75	8.5	150	350	14.2	12.7	13.5	13.8	9.48	7.99	8.71	9.00	75
100	8.5	150	350	18.5	16.7	18.0	18.3	12.1	10.3	11.6	11.9	100
150	9.0	150	400	27.2	26.5	28.7	29.9	19.4	18.8	20.9	22.1	150
200	11.0	150	400	36.8	35.5	38.8	40.0	28.9	27.6	30.7	32.1	200
250	12.0	200	400	50.8	50.1	55.9	59.0	39.6	38.9	44.7	47.8	250
300	12.5	135	410	59.1	56.3	64.6	68.0	49.7	46.9	55.2	58.6	300

図名	ダクティル鑄鉄異形管（NS形） 《短管・帽》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-1-27
改定		番号	

ダクタイル鋳鉄管（K形）

《直管》 



単位 mm

呼び径 <i>D</i>	管厚				ライニング厚 <i>t</i> ₁	外径 <i>D</i> ₂	各部寸法							ボルト の数	有効長 <i>L</i>	質量 (kg)											呼び径 <i>D</i>
	<i>T</i>						<i>D</i> ₃	<i>D</i> ₄	<i>D</i> ₅	<i>E</i>	<i>P</i>	<i>K</i>	受口 突部			直部 1 m					1 本当たり						
	<i>D</i> ₁	<i>D</i> ₂	<i>D</i> ₃	<i>D</i> ₄												<i>D</i> ₁	<i>D</i> ₂	<i>D</i> ₃	<i>D</i> ₄	ライニング	<i>D</i> ₁	<i>D</i> ₂	<i>D</i> ₃	<i>D</i> ₄	ライニング		
75	7.5	-	6.0	-	4	93.0	96.5	159	197	19	80	18	4	4000	5.15	14.40	-	11.73	-	2.23	62.7	-	52.1	-	8.93	75	
100	7.5	-	6.0	-	4	118.0	121.5	186	232	23	80	19	4	4000	6.68	18.62	-	15.09	-	2.99	81.2	-	67.0	-	11.9	100	
150	7.5	-	6.0	-	4	169.0	172.5	241	287	23	80	20	6	5000	9.64	27.21	-	21.97	-	4.52	146	-	119	-	22.6	150	
200	7.5	-	6.0	-	4	220.0	223.5	292	338	23	80	21	6	5000	12.5	35.80	-	28.84	-	6.06	192	-	157	-	30.3	200	
250	7.5	-	6.0	-	4	271.6	275.1	348	394	23	80	22	8	5000	15.6	44.49	-	35.80	-	7.62	238	-	195	-	38.1	250	
300	7.5	-	6.5	-	6	322.8	326.8	399	445	23	110	23	8	6000	24.0	53.12	-	46.18	-	13.65	343	-	301	-	81.9	300	

注記 1 受口突部及び直部 1 m の質量は、有効数字に丸めたもので、その総和である 1 本当たりの質量とは必ずしも一致しない。

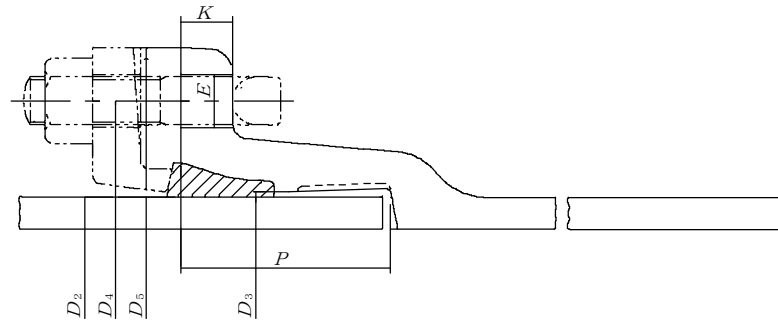
注記 2 受口内面の形状は、破線の形状でもよい。

注記 3 受口のボルトあなは、円周上の等分の位置に設ける。

図名	ダクタイル鋳鉄管（K形） 《直管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2 - 1 - 2 8
改定		番号	

ダクタイル鋳鉄異形管（K形）

《異形管》



単位 mm

呼び径	外径	各部寸法						ボルト の数	質量 (kg)	呼び径
		D_3	D_4	D_5	E	P	K			
75	93.0	96.5	159	197	19	80	18	4	5.06	75
100	118.0	121.5	186	232	23	80	19	4	6.56	100
150	169.0	172.5	241	287	23	80	20	6	9.45	150
200	220.0	223.5	292	338	23	80	21	6	12.1	200
250	271.6	275.1	348	394	23	80	22	8	15.1	250
300	322.8	326.8	399	445	23	110	23	8	23.6	300

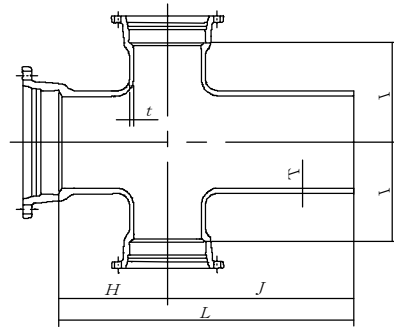
注記1 受口内面の形状は、破線の形状でもよい。
 注記2 受口のボルトあなは、円周上の等分の位置に設ける。

図名	ダクタイル鋳鉄異形管（K形） 《異形管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2 - 1 - 29
改定		番号	

ダクタイル鑄鉄異形管（K形）

《三受十字管・二受T字管》

K形三受十字管

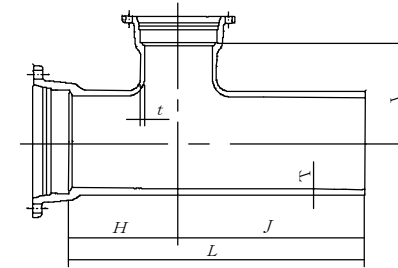


単位 mm

呼び径		管厚		各部寸法				質量 (kg)	呼び径	
D	d	T	t	H	I	J	L		D	d
75	75	8.5	8.5	160	140	480	640	28.3	75	75
100	100	8.5	8.5	180	160	530	710	38.3	100	100
150	100	9.0	8.5	190	190	600	790	51.9	150	100
150	150	9.0	9.0	190	190	600	790	59.7	150	150
200	150	11.0	11.0	250	250	630	880	85.9	200	150
200	200	11.0	11.0	250	250	630	880	94.0	200	200
250	150	12.0	11.0	230	250	600	830	98.9	250	150
250	250	12.0	12.0	280	260	670	950	125	250	250
300	200	12.5	11.0	330	300	700	1030	148	300	200
300	300	12.5	12.5	330	300	700	1030	179	300	300

注記 本管と枝管との交差点部には、丸みを設ける。この場合、内面側の丸みは枝管の管厚（ t ）の5倍以上の半径とする。

K形二受T字管



単位 mm

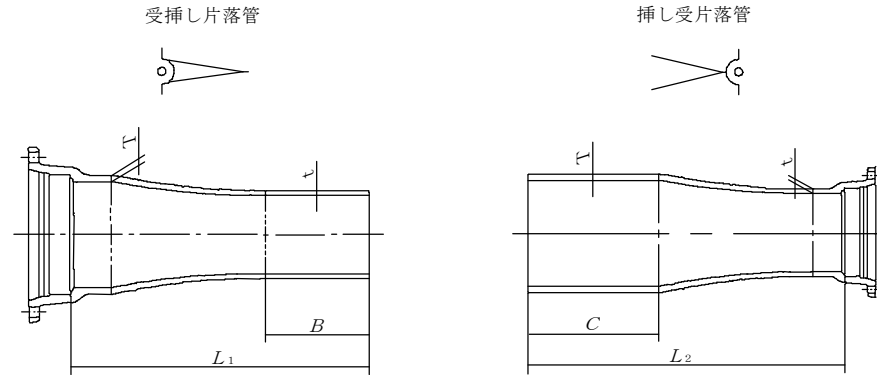
呼び径		管厚		各部寸法				質量 (kg)	呼び径	
D	d	T	t	H	I	J	L		D	d
75	75	8.5	8.5	160	140	480	640	21.9	75	75
100	100	8.5	8.5	180	160	530	710	28.0	100	100
100	100	8.5	8.5	180	160	530	710	29.9	100	100
150	75	9.0	8.5	190	190	600	790	41.6	150	75
150	100	9.0	8.5	190	190	600	790	43.4	150	100
150	150	9.0	9.0	190	190	600	790	47.3	150	150
200	100	11.0	10.0	200	230	560	760	60.4	200	100
200	150	11.0	11.0	250	250	630	880	71.7	200	150
200	200	11.0	11.0	250	250	630	880	75.8	200	200
250	100	12.0	10.0	230	250	600	830	82.0	250	100
250	150	12.0	11.0	230	250	600	830	86.1	250	150
250	250	12.0	12.0	280	260	670	950	103	250	250
300	100	12.5	10.0	240	280	600	840	106	300	100
300	150	12.5	11.0	240	280	600	840	110	300	150
300	200	12.5	11.0	330	300	700	1030	131	300	200
300	300	12.5	12.5	330	300	700	1030	146	300	300

注記 本管と枝管との交差点部には、丸みを設ける。この場合、内面側の丸みは枝管の管厚（ t ）の5倍以上の半径とする。

図名	ダクタイル鑄鉄異形管（K形） 《三受十字管・二受T字管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-1-30
改定		番号	

ダクタイル鋳鉄異形管（K形）

《片落管》



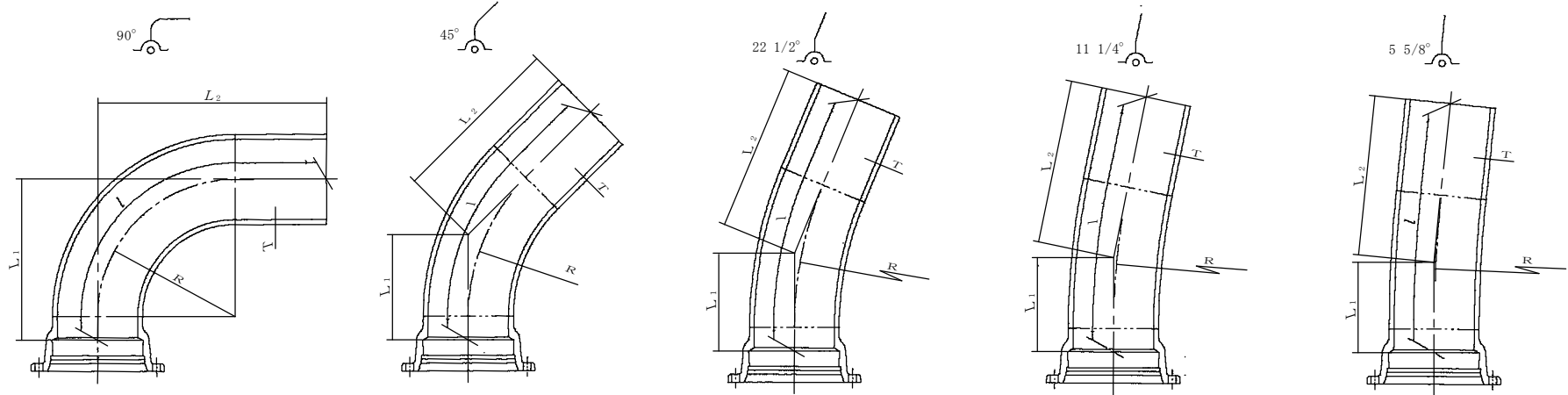
単位 mm

呼び径		管厚		各部寸法				質量 (kg)		呼び径	
D	d	T	t	B	C	L_1	L_2	受挿し	挿し受	D	d
100	75	8.5	8.5	200	200	550	550	16.2	15.4	100	75
150	100	9.0	8.5	200	200	555	550	22.9	21.6	150	100
200	100	11.0	10.0	200	200	560	550	30.5	28.5	200	100
200	150	11.0	11.0	200	200	560	555	36.1	35.0	200	150
250	100	12.0	10.0	200	200	670	650	41.4	38.3	250	100
250	150	12.0	11.0	200	200	670	655	48.1	45.8	250	150
250	200	12.0	11.0	200	200	670	660	53.8	52.7	250	200
300	100	12.5	10.0	200	200	680	650	55.0	44.7	300	100
300	150	12.5	11.0	200	200	680	655	61.5	52.2	300	150
300	200	12.5	11.0	200	200	680	660	67.1	58.8	300	200
300	250	12.5	12.0	200	200	680	670	75.2	68.0	300	250

図名	ダクタイル鋳鉄異形管（K形） 《片落管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2 - 1 - 3 1
改定		番号	

ダクティル鑄鉄異形管（K形）

《曲管》



単位 mm

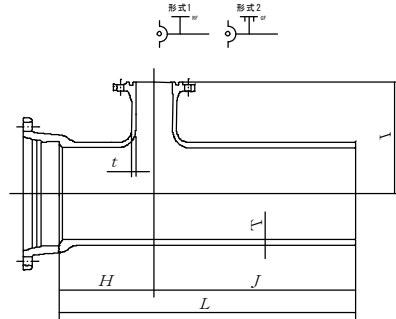
呼び径 <i>D</i>	管厚 <i>T</i>	90°					45°					22 1/2°					11 1/4°					5 5/8°					呼び径 <i>D</i>				
		各部寸法			管心長	質量	各部寸法			管心長	質量	各部寸法			管心長	質量	各部寸法			管心長	質量	各部寸法			管心長	質量					
		<i>R</i>	<i>L</i> ₁	<i>L</i> ₂	<i>l</i>	(kg)	<i>R</i>	<i>L</i> ₁	<i>L</i> ₂	<i>l</i>	(kg)	<i>R</i>	<i>L</i> ₁	<i>L</i> ₂	<i>l</i>	(kg)	<i>R</i>	<i>L</i> ₁	<i>L</i> ₂	<i>l</i>	(kg)	<i>R</i>	<i>L</i> ₁	<i>L</i> ₂	<i>l</i>	(kg)		<i>R</i>	<i>L</i> ₁	<i>L</i> ₂	<i>l</i>
75	8.5	250	292	400	584	14.5	400	207	316	506	13.2	800	201	309	506	13.2	3000	337	446	781	17.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75
100	8.5	250	292	400	584	18.8	400	207	316	506	17.1	800	201	309	506	17.1	3000	337	446	781	22.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
150	9.0	300	342	500	713	32.5	500	249	407	634	30.0	1000	240	349	584	28.3	3000	337	446	781	34.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150
200	11.0	400	443	600	872	57.1	600	292	449	715	49.0	1200	282	389	665	46.4	4000	437	544	979	62.6	-	-	-	-	-	-	-	-	200	
250	12.0	400	445	650	923	79.7	600	294	449	716	65.2	1200	284	389	666	61.7	4000	439	544	980	83.7	-	-	-	-	-	-	-	-	250	
300	12.5	550	597	800	1161	125	700	337	490	797	93.0	1400	325	429	747	88.6	4000	441	544	982	109	10000	538	641	1178	126	-	-	-	300	

図名	ダクティル鑄鉄異形管（K形） 《曲管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-1-32
改定		番号	

ダクティル鋳鉄異形管（K形）

《フランジ付きT字管》

フランジ付T字管（空気弁用・消火栓用・人孔用）



単位 mm

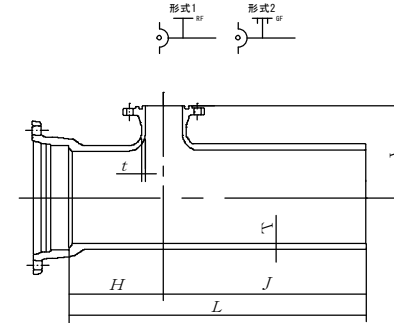
呼び径		管厚		各部寸法				質量 (kg)					呼び径	
D	d	T	t	H	I	J	L	形式1		形式2			D	d
								7.5K	7.5K	10K	16K	20K		
75	75	8.5	8.5	150	250	480	630	22.2	22.1	20.6	21.3	21.6	75	75
100	75	8.5	8.5	160	250	500	660	27.1	27.0	25.5	26.2	26.5	100	75
150	75	9.0	8.5	160	280	530	690	38.5	38.4	36.9	37.6	37.9	150	75
150	100	9.0	8.5	170	280	550	720	41.1	40.9	39.1	40.3	40.7	150	100
200	75	11.0	10.0	170	300	540	710	55.8	55.7	54.2	54.9	55.2	200	75
200	100	11.0	10.0	180	300	550	730	58.5	58.4	56.6	57.8	58.2	200	100
250	75	12.0	10.0	180	330	550	730	73.3	73.2	71.7	72.4	72.7	250	75
250	100	12.0	10.0	190	330	560	750	76.3	76.2	74.4	75.6	76.0	250	100
300	75	12.5	10.0	190	350	550	740	95.0	94.9	93.4	94.2	94.4	300	75
300	100	12.5	10.0	200	350	560	760	98.4	98.2	96.4	97.7	98.0	300	100

注記1 dの呼び径75及び100は、空気弁用及び消火栓用の管とする。

注記2 図は、形式2を示す。

注記3 本管と枝管との交差点部には、丸みを設ける。この場合、内面側の丸みは枝管の管厚（t）の5倍以上の半径とする。

浅層埋設形フランジ付きT字管（空気弁用・消火栓用）



単位 mm

呼び径		管厚		各部寸法				質量 (kg)		呼び径	
D	d	T	t	H	I	J	L	形式1		形式2	
								7.5K	7.5K	D	d
75	75	8.5	8.5	150	105	480	630	19.8	19.7	75	75
100	75	8.5	8.5	160	120	500	660	25.0	24.9	100	75
150	75	9.0	8.5	160	170	530	690	36.7	36.6	150	75
150	100	9.0	8.5	170	170	550	720	38.8	38.6	150	100
200	75	11.0	10.0	170	200	540	710	54.0	53.9	200	75
200	100	11.0	10.0	180	200	550	730	56.1	56.0	200	100
250	75	12.0	10.0	180	230	550	730	71.4	71.3	250	75
250	100	12.0	10.0	190	230	560	750	73.9	73.8	250	100
300	75	12.5	10.0	190	255	550	740	93.3	93.2	300	75
300	100	12.5	10.0	200	255	560	760	96.1	95.9	300	100

注記1 図は、形式2を示す。

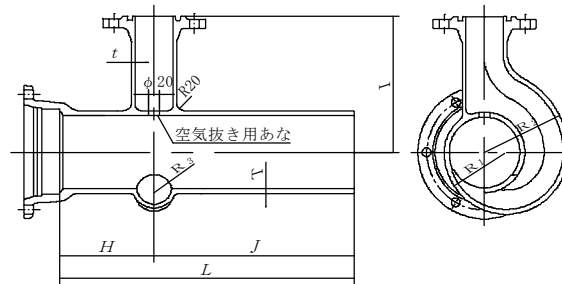
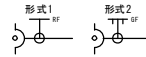
注記2 本管と枝管との交差点部には、丸みを設ける。この場合、内面側の丸みは枝管の管厚（t）の2倍以上の半径とする。

図名	ダクティル鋳鉄異形管（K形） 《フランジ付きT字管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-1-33
改定		番号	

ダクタイル鋳鉄異形管（K形）

《うず巻き式フランジ付きT字管》

うず巻き式フランジ付きT字管（消火栓用）



単位 mm

呼び径		管厚		各部寸法							質量 (kg)		呼び径	
D	d	T	t	H	I	J	L	R ₁	R ₂	R ₃	形式1 7.5K	形式2 7.5K	D	d
75	75	8.5	8.5	150	250	480	630	90.8	135.1	38.0	25.7	25.6	75	75
100	75	8.5	8.5	160	250	500	660	103.3	147.6	38.0	30.5	30.4	100	75
150	75	9.0	8.5	160	280	530	690	128.5	172.5	38.0	43.5	43.4	150	75
150	100	9.0	8.5	170	280	550	720	141.0	197.5	50.5	46.5	46.3	150	100
200	75	11.0	10.0	170	300	540	710	154.5	199.0	36.5	62.6	62.5	200	75
200	100	11.0	10.0	180	300	550	730	167.0	224.0	49.0	65.8	65.6	200	100
250	75	12.0	10.0	180	330	550	730	179.8	223.8	36.5	81.4	81.3	250	75
250	100	12.0	10.0	190	330	560	750	192.3	248.8	49.0	85.2	85.0	250	100
300	75	12.5	10.0	190	350	550	740	205.2	249.0	36.5	104	104	300	75
300	100	12.5	10.0	200	350	560	760	217.7	274.0	49.0	109	109	300	100

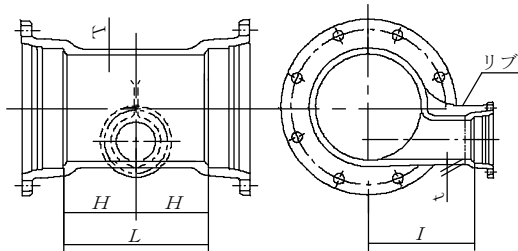
注記1 空気抜き用あなは、あな径50mmすることができる。
注記2 図は、形式2を示す。

図名	ダクタイル鋳鉄異形管（K形） 《うず巻き式フランジ付きT字管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-1-34
改定		番号	

ダクタイル鋳鉄異形管（K形）

《排水T字管・継輪》

K型排水T字管

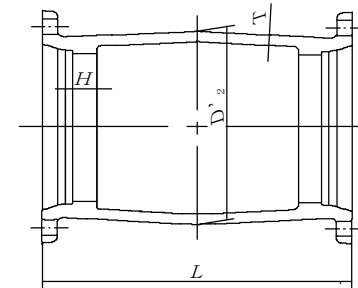


単位 mm

呼び径		管厚		各部寸法			質量 (kg)	呼び径	
D	d	T	t	H	I	L		D	d
200	100	11.0	10	170	190	340	50.8	200	100
250	100	12.0	10	180	220	360	64.9	250	100
300	100	12.5	10	190	240	380	90.0	300	100

注記1 リブの厚さは、枝管の管厚（ t ）と同じとする。
 注記2 本管と枝管との交差点部には、丸みを設ける。この場合、内面側の丸みは枝管の管厚（ t ）の2倍以上の半径とする。

K型継ぎ輪



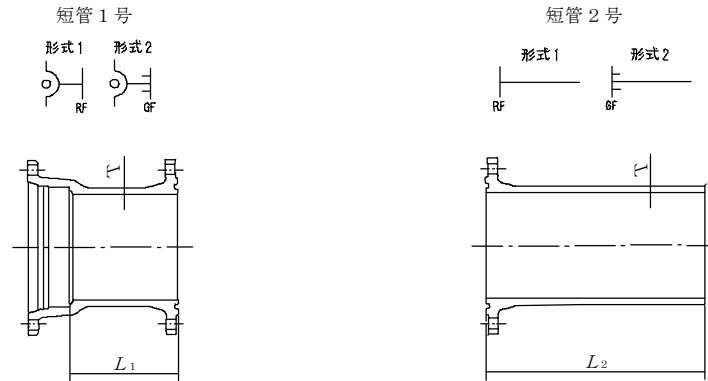
単位 mm

呼び径	管厚	各部寸法			質量 (kg)	呼び径
D	T	H	L	D'_{2}		D
75	11	25	300	142	14.2	75
100	11	25	300	167	17.9	100
150	12	25	300	218	25.1	150
200	12	25	320	268	32.7	200
250	12	25	320	320	40.5	250
300	13	35	350	381	57.5	300

図名	ダクタイル鋳鉄異形管（K形） 《排水T字管・継輪》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-1-35
改定		番号	

ダクティル鑄鉄異形管（K形）

《短管》



単位 mm

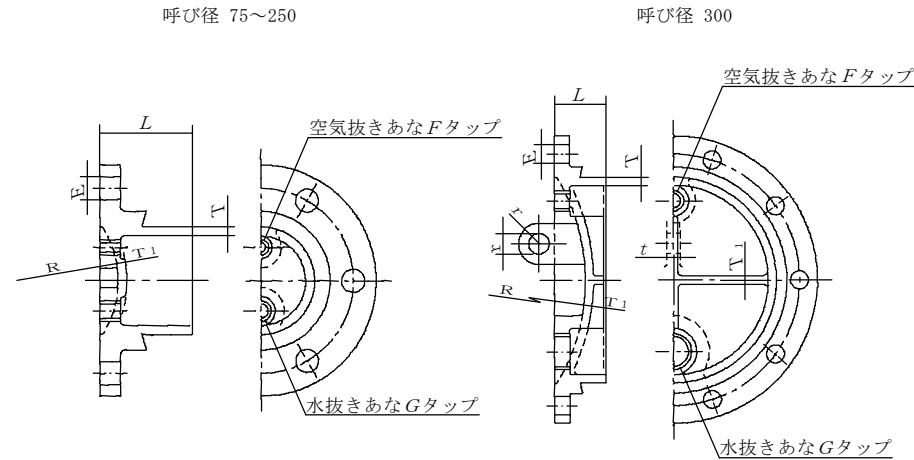
呼び径 D	管厚 T	有効長		質量 (kg)										呼び径 D
		L_1	L_2	短管1号					短管2号					
				形式1	形式2				形式1	形式2				
				7.5K	7.5K	10K	16K	20K	7.5K	7.5K	10K	16K	20K	
75	8.5	120	700	10.8	10.7	9.17	9.89	10.2	15.1	15.0	13.5	14.2	14.5	75
100	8.5	120	700	13.6	13.5	11.7	12.9	13.2	19.2	19.0	17.2	18.5	18.8	100
150	9.0	120	700	19.6	19.4	18.7	20.9	22.0	28.9	28.7	28.0	30.2	31.3	150
200	11.0	120	700	26.4	26.1	24.8	27.9	29.3	44.2	43.9	42.6	45.8	47.1	200
250	12.0	170	700	38.5	38.1	37.4	43.2	46.3	60.5	60.1	59.4	65.2	68.3	250
300	12.5	170	700	52.6	52.2	49.4	57.7	61.1	75.2	74.8	72.0	80.3	83.7	300

注記 図は、形式2を示す。

図名	ダクティル鑄鉄異形管（K形） 《短管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2 - 1 - 36
改定		番号	

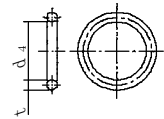
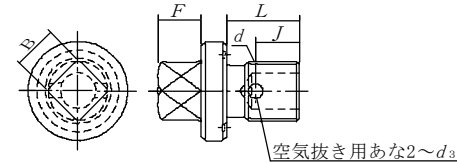
ダクティル鋳鉄異形管（K形）

《栓》



空気抜き用及び水抜き用ボルト
(JIS G 4303 の SUS304)

シールリング
(JWWA K 156 のSBR JA・70)



単位 mm

呼び径 <i>D</i>	管厚 <i>T</i>	各部寸法								タップあな		リップの数		ボルト の数	つり手寸法		質量 (kg)	呼び径 <i>D</i>
		<i>R</i>	<i>T</i> ₁	<i>L</i>	<i>E</i>	<i>h</i> ₁	<i>h</i> ₂	<i>d</i> ₁	<i>d</i> ₂	<i>F</i>	<i>G</i>	放射状	円周		<i>r</i>	<i>t</i>		
75	8.5	75	8.5	92	19	-	-	-	-	G1/4	G1/2	-	-	4	-	-	5.29	75
100	8.5	100	8.5	93	23	-	-	-	-	G1/4	G1/2	-	-	4	-	-	7.26	100
150	9.0	150	9.0	94	23	-	-	-	-	G1/4	G1/2	-	-	6	-	-	11.0	150
200	11.0	200	11.0	95	23	-	-	-	-	G1/2	G1	-	-	6	-	-	16.2	200
250	12.0	250	12.0	96	23	-	-	-	-	G1/2	G1	-	-	8	-	-	22.2	250
300	12.5	300	12.5	127	23	-	-	-	-	G1	G2	4	-	8	30	20	33.2	300

注記1 この栓の最大使用静水圧は、0.75Mpaとする。

注記2 タップあなのねじは、JIS B 0202の管用平行ねじとする。

なお、栓には、シールリングをセットした空気抜き用及び水抜き用ボルトを取り付ける。

単位 mm

ねじの呼び	空気抜き用及び水抜き用ボルト					シールリング	
	<i>B</i>	<i>F</i>	<i>J</i>	<i>L</i>	<i>d</i> ₃	<i>t</i>	<i>d</i> ₄
G1/4	12	10	16.5	21	4	5.0	19
G1/2	14	12	16.5	22	6	5.0	21
G1	22	14	20.5	27	8	5.0	35
G2	25	18	22.0	30	10	5.7	60

図名	ダクティル鋳鉄異形管（K形） 《栓》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-1-37
改定		番号	

Sベンド寸法表(K形)

単位 mm

呼び径	90°曲管		45°曲管		22½°曲管		11¼°曲管		5⅝°曲管	
	L	H	L	H	L	H	L	H	L	H
75	692	692	892	369	981	195	1550	152	-	-
100	692	692	892	369	981	195	1550	152	-	-
150	842	842	1119	463	1133	225	1550	152	-	-
200	1043	1043	1264	523	1290	256	1943	191	-	-
250	1095	1095	1268	525	1294	257	1947	191	-	-
300	1397	1397	1411	584	1450	288	1951	192	2352	115
350	1398	1398	1555	644	1606	319	2345	230	2356	115
400	1500	1500	1700	704	1858	369	2448	241	2460	120
450	1502	1502	1843	763	2000	397	2450	241	2462	120

Sベンド寸法表(GX形)

単位 : mm

呼び径	90°曲管		45°曲管		22 1/2°曲管		11 1/4°曲管		5 5/8°曲管	
	L	H	L	H	L	H	L	H	L	H
75	480	480	682	282	692	137	673	66	678	33
100	520	520	716	296	731	145	713	70	718	35
150	630	630	802	332	788	156	732	72	738	36
200	750	750	904	374	865	172	812	79	818	40
250	850	850	973	403	884	176	812	79	818	40
300	815	815	973	403	904	180	792	78	748	37

Sベンド寸法表(NS形)

単位 mm

呼び径	90°曲管		45°曲管		22½°曲管		11¼°曲管		5⅝°曲管	
	L	H	L	H	L	H	L	H	L	H
75	500	500	682	282	673	133	693	68	698	34
100	550	550	768	318	769	153	693	68	698	34
150	650	650	768	318	865	172	693	68	698	34
200	750	750	938	388	865	172	891	87	897	44
250	850	850	1024	424	961	191	891	87	897	44
300	730	730	785	325	702	140	634	62	589	29
350	840	840	871	361	750	149	664	65	609	30
400	965	965	973	403	818	163	713	70	646	32
450	1105	1105	1075	445	875	174	743	73	668	33
500	1360	1360	1357	562	1510	300	1555	153	1566	77
600	1555	1555	1494	619	1568	312	1604	158	1616	79
700	1810	1810	1741	721	1857	369	1902	187	1915	94
800	2015	2015	1886	781	2030	404	2090	206	2105	103
900	2360	2360	2288	948	2366	471	2426	239	2444	120
1000	2565	2565	2450	1015	2530	503	2595	256	2614	128

※LおよびHは、計算結果のmm未満を四捨五入した値である。

【参考資料】

一般財団法人 日本ダクタイル鉄管協会 技術資料
GX形ダクタイル鉄管管路の設計 P46 H25.10
配管手帳 寸法編:SベンドのL,H寸法(P20~P27)

図面	Sベンド寸法表(GX・NS・K形)		
制定	2015. 4. 1	整理	2 - 2 - 1
改定		番号	

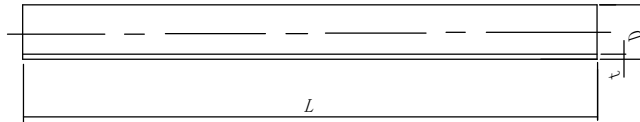
継手の許容曲げ角度表 (GX・NS・K形)

呼び径	GX・NS形				K形				備考
	曲げ角度	管1本あたりに許容される変位 (cm)			曲げ角度	管1本あたりに許容される変位 (cm)			
		4m	5m	6m		4m	5m	6m	
75	4° 00'	28	-	-	5° 00'	35	-	-	
100	4° 00'	28	-	-	5° 00'	35	-	-	
150	4° 00'	-	35	-	5° 00'	-	44	-	
200	4° 00'	-	35	-	5° 00'	-	44	-	
250	4° 00'	-	35	-	4° 10'	-	36	-	
300	3° 00'	-	-	31	5° 00'	-	-	52	
350	3° 00'	-	-	31	4° 50'	-	-	50	
400	3° 00'	-	-	31	4° 10'	-	-	43	
450	3° 00'	-	-	31	3° 50'	-	-	40	
500	3° 20'	-	-	35	3° 20'	-	-	35	
600	2° 50'	-	-	29	2° 50'	-	-	29	
700	2° 30'	-	-	26	2° 30'	-	-	26	
800	2° 10'	-	-	22	2° 10'	-	-	22	
900	2° 00'	-	-	21	2° 00'	-	-	21	
1000	1° 50'	-	-	19	1° 50'	-	-	19	
1100	1° 40'	-	-	17	1° 40'	-	-	17	
1200	1° 30'	-	-	15	1° 30'	-	-	15	
1350	1° 30'	-	-	15	1° 20'	-	-	14	
1500	1° 30'	-	-	15	1° 10'	-	-	12	
1600	1° 30'	10	13	-	1° 30'	10	13	-	
1650	1° 30'	10	13	-	1° 30'	10	13	-	
1800	1° 30'	10	13	-	1° 30'	10	13	-	
2000	1° 30'	10	13	-	1° 30'	10	13	-	
2100	1° 30'	10	13	-	1° 30'	10	13	-	
2200	1° 30'	10	13	-	1° 30'	10	13	-	
2400	1° 30'	10	-	-	1° 30'	10	-	-	
2600	1° 30'	10	-	-	1° 30'	10	-	-	

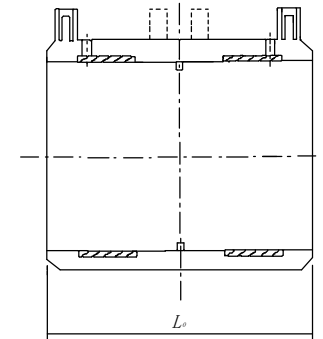
図面	継手の許容曲げ角度表 (GX・NS・K形)		
制定	2015. 4. 1	整理	2 - 3 - 1
改定		番号	

水道配水用ポリエチレン管（水道用PEP）

直管



EFソケット



単位 mm

呼び径	外径 $D^a)$		だ円度 最大外径 ～最小外径	厚さ t		長さ L		参考	
	基準 寸法	許容差 b)		基準 寸法	許容差	基準 寸法	許容差 (%)	内径	1本当たり の質量(kg)
50	63	+0.4 0	1.5	5.8	+0.9 0	5000	+2 0	50.7	5.37
75	90	+0.6 0	1.8	8.2	+1.3 0	5000	+2 0	72.6	10.87
100	125	+0.8 0	2.5	11.4	+1.8 0	5000	+2 0	100.8	20.98

注記1 長さは、受渡当事者間の協議によって変更することができる。

注記2 参考に示した内径及び1本当たりの質量は、管の中心寸法を基準とし、管に使用する材料の密度を0.960g/cm³として計算したものである。

注a) 外径は、相互に等間隔な2方向の外径測定値の平均値又は、周長実測値からの換算値による。

b) 許容差とは、注a)で求めた外径と基準寸法との差とする。

単位 mm

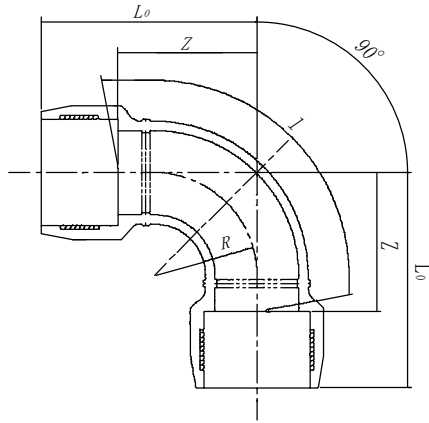
呼び径	L_e
50	100±20
75	125±20
100	155±20

※ J W W A K 1 4 4 及び J W W A K 1 4 5 参照

図名	水道配水用ポリエチレン管 《直管・EFソケット》		
制定	2015.	4.	1
改定	2022.	5.	13
	整理 番号	2 - 4 - 1	

水道配水用ポリエチレン管（バンド）

EF90° ベンド

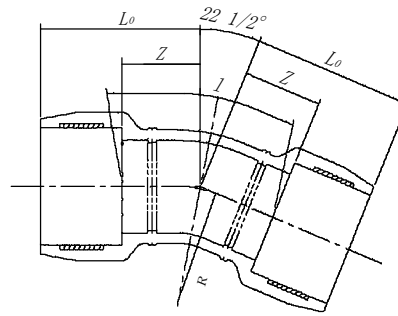


単位 mm

呼び径	L_0	Z (参考)	R (参考)	I (管心長) (参考)
50	210±20	160	90	280
75	280±20	220	90	400
100	330±20	250	125	450

備考 角度の許容差は、±7° 以内とする。

EF22 1/2° ベンド

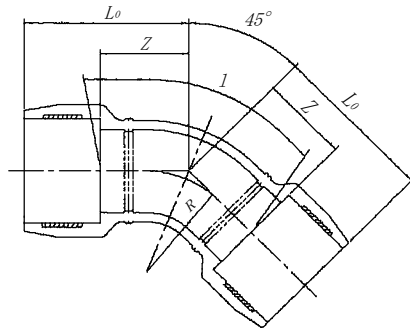


単位 mm

呼び径	L_0	Z (参考)	R (参考)	I (管心長) (参考)
50	140±20	90	90	180
75	200±20	140	90	280
100	220±20	140	125	280

備考 角度の許容差は、±5° 以内とする。

EF45° ベンド

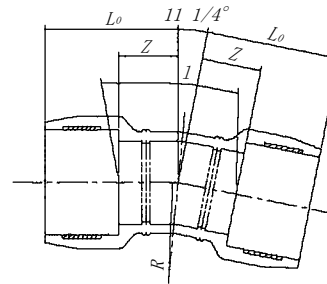


単位 mm

呼び径	L_0	Z (参考)	R (参考)	I (管心長) (参考)
50	160±20	110	90	220
75	250±20	190	90	380
100	270±20	190	125	380

備考 角度の許容差は、±6° 以内とする。

EF11 1/4° ベンド



単位 mm

呼び径	L_0	Z (参考)	R (参考)	I (管心長) (参考)
50	140±20	90	90	180
75	190±20	130	90	260
100	220±20	140	125	280

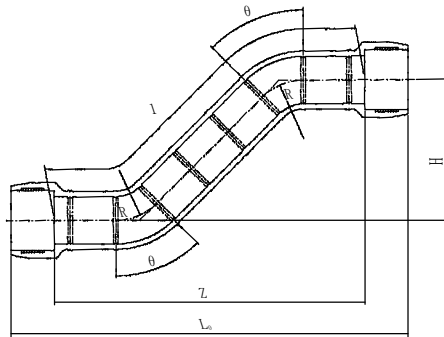
備考 角度の許容差は、±4° 以内とする。

※ J W W A K 1 4 4 及び J W W A K 1 4 5 参照

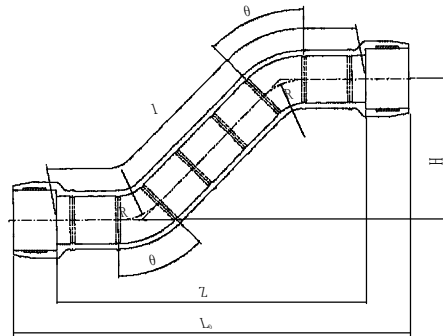
図名	水道配水用ポリエチレン管 《バンド》		
制定	2015. 4. 1	整理	2 - 4 - 2
改定	2022. 5. 13	番号	

水道配水用ポリエチレン管 (Sベンド)

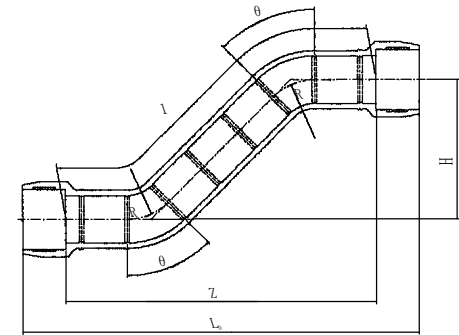
EF Sベンド (300H)



EF Sベンド (450H)



EF Sベンド (600H)



単位 mm

呼び径	H	L ₀	Z (参考)	R (参考)	l (管心長) (参考)	θ (参考)
50	300±30	620±60	520	90	640	45°
75	300±30	800±60	680	90	800	45°
100	300±30	840±60	680	125	790	45°

単位 mm

呼び径	H	L ₀	Z (参考)	R (参考)	l (管心長) (参考)	θ (参考)
50	450±40	770±60	670	90	850	45°
75	450±40	950±60	830	90	1010	45°
100	450±40	990±60	830	125	1010	45°

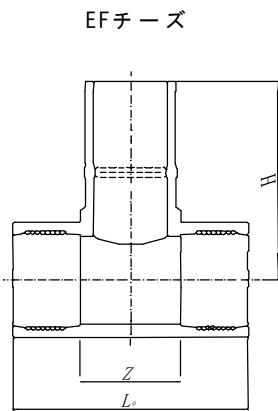
単位 mm

呼び径	H	L ₀	Z (参考)	R (参考)	l (管心長) (参考)	θ (参考)
50	600±40	920±60	820	90	1060	45°
75	600±40	1100±60	980	90	1220	45°
100	600±40	1140±60	980	125	1220	45°

※ J W W A K 1 4 4 及び J W W A K 1 4 5 参照

図名	水道配水用ポリエチレン管 《Sベンド》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-4-3
改定	2022. 5. 13	番号	

水道配水用ポリエチレン管（EFチーズ）



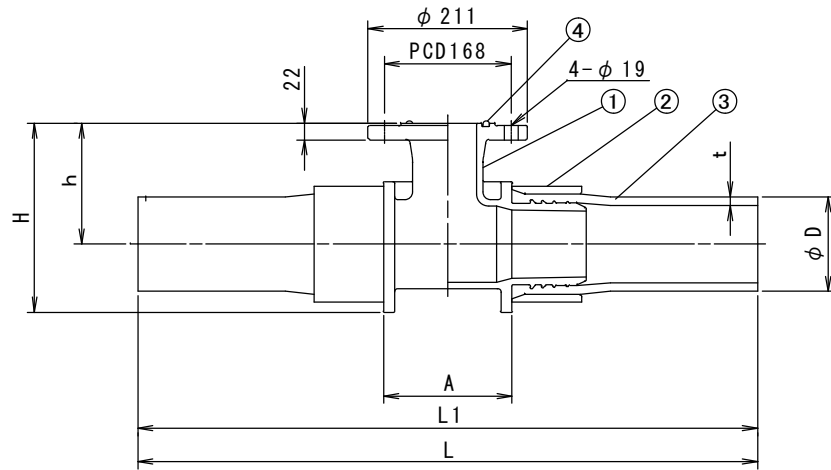
呼び径	L_o	H	単位 mm z (参考)
50 × 50	170 ± 20	180 ± 20	70
75 × 50	220 ± 20	280 ± 20	100
75 × 75	220 ± 20	250 ± 20	100
100 × 50	280 ± 20	340 ± 20	140
100 × 75	280 ± 20	310 ± 20	140
100 × 100	280 ± 20	300 ± 20	140

※ JWWA K 144 及び JWWA K 145 参照

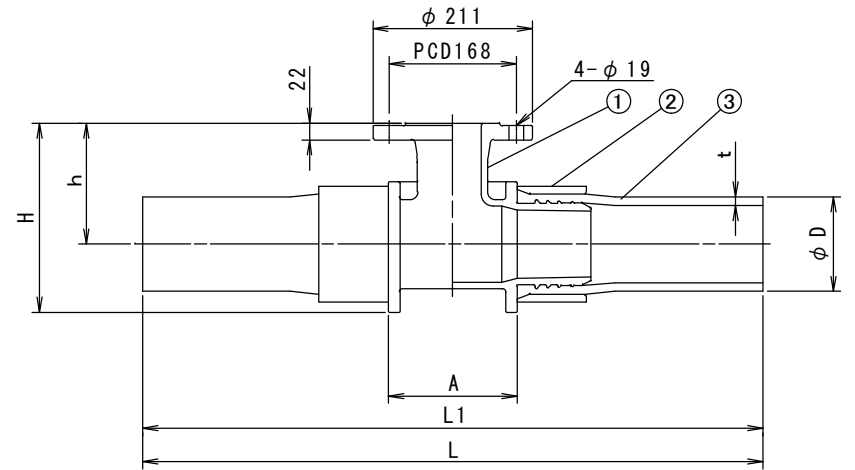
図名	水道配水用ポリエチレン管 《EFチーズ》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-4-4
改定	2022. 5. 13	番号	

水道配水用ポリエチレン管（フランジT字管）

GF形



RF形



部品番号	名称	材質
1	異形管本体	FCD450-10
2	圧入リング	STKMI 3A/FCD450-10/FCD420-10
3	PE短管	PE100
4	GF形ガスケット 1号	SBR

部品番号	名称	材質
1	異形管本体	FCD450-10
2	圧入リング	STKMI 3A/FCD450-10/FCD420-10
3	PE短管	PE100

単位: mm

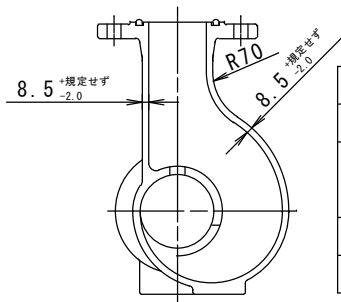
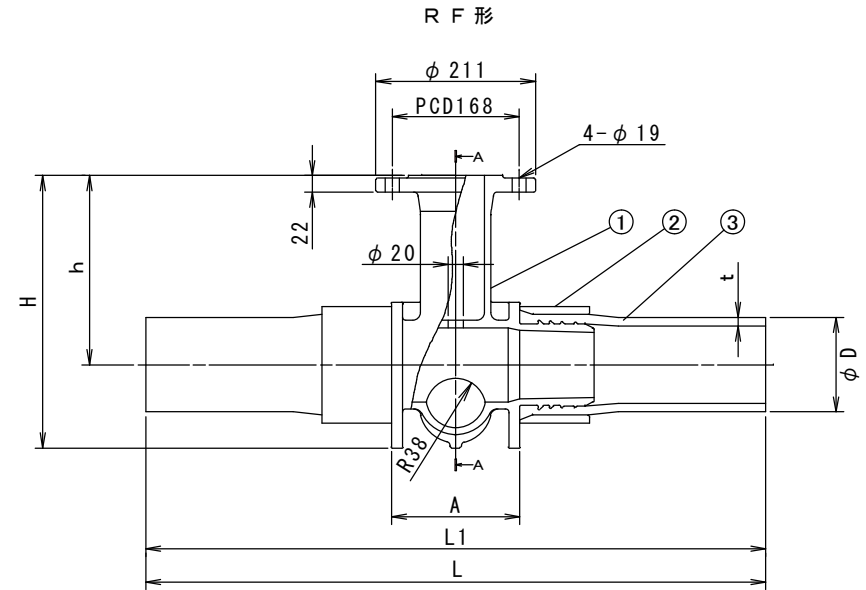
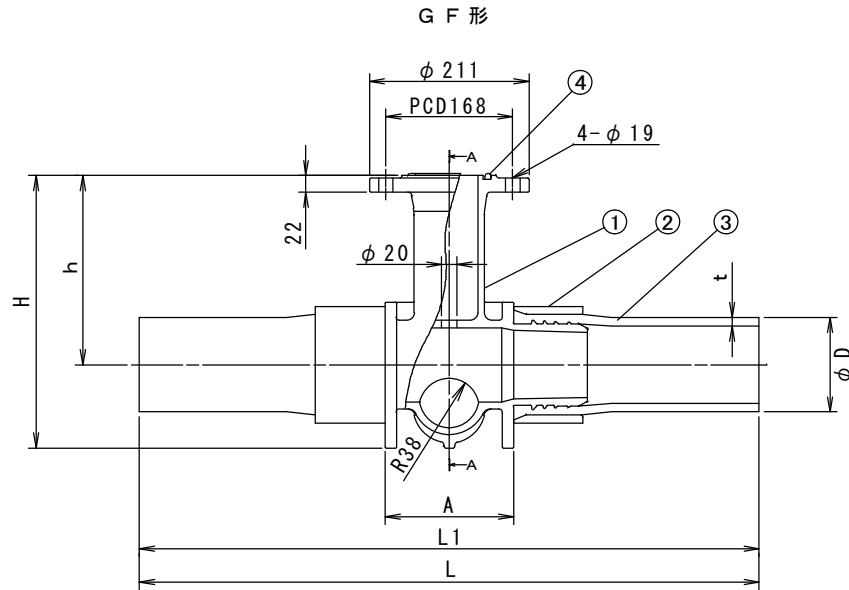
呼び径	平均外径D	t	H	h±20	A	L1	L±20
75×75	90.0 ^{+0.6} ₀	8.2 ^{+1.3} ₀	210	140	170	304	730
100×75	125.0 ^{+0.8} ₀	11.4 ^{+1.8} ₀	250	160	170	354	820

※ この図は、寸法説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

- 備考
- 日本水道協会承認の配水用ポリエチレンパイプシステム協会規格品（PTC G32）
 - 平均外径 D とは任意の断面における相互に等間隔な2方向の外径測定値の平均値をいいます。
 - フランジ寸法は、JIS G 5527に規定する呼び圧力7.5Kのフランジ形ダクタイル鋳鉄異形管によります。
 - 異形管本体の塗装は、内外面ともエポキシ樹脂粉体塗装です。
 - 許容差を明記していない寸法は、参考寸法です。

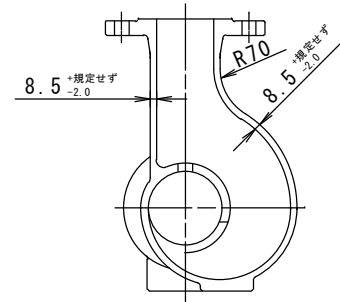
図名	水道配水用ポリエチレン管 《挿し口付鋳鉄異形管フランジT字管》		
制定	2022. 5. 13	整理	2-4-5
改定		番号	

水道配水用ポリエチレン管（うず巻式フランジT字管）



A-A 矢視図

部品番号	名称	材質
1	異形管本体	FCD450-10
2	圧入リング	STKMI 3A / FCD450-10 / FCD420-10
3	PE短管	PE100
4	GF形ガスケット1号	SBR



A-A 矢視図

部品番号	名称	材質
1	異形管本体	FCD450-10
2	圧入リング	STKMI 3A / FCD450-10 / FCD420-10
3	PE短管	PE100

単位: mm

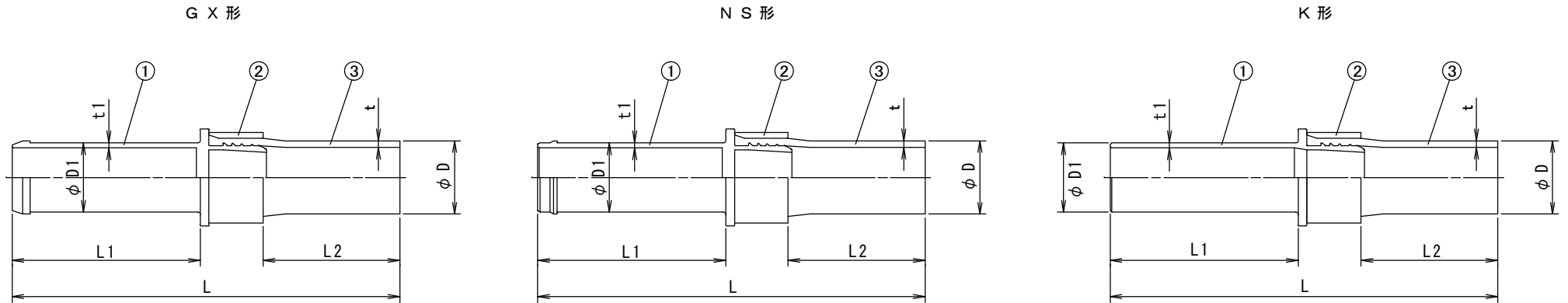
呼び径	平均外径D	t	H	h±20	A	L1	L±20
75 × 75	90.0 ^{+0.6} ₀	8.2 ^{+1.3} ₀	350	250	170	304	730
100 × 75	125.0 ^{+0.8} ₀	11.4 ^{+1.8} ₀	360	250	170	354	820

※ この図は、寸法説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

- 備考
1. 日本水道協会承認の配水用ポリエチレンパイプシステム協会規格品 (PTC G32)
 2. 平均外径 D とは任意の断面における相互に等間隔な2方向の外径測定値の平均値をいいます。
 3. フランジ寸法は、JIS G 5527に規定する呼び圧力7.5Kのフランジ形ダクタイル鋳鉄異形管によります。
 4. 異形管本体の塗装は、内外面ともエポキシ樹脂粉体塗装です。
 5. 許容差を明記していない寸法は、参考寸法です。

図名	水道配水用ポリエチレン管 《挿し口付鋳鉄異形管 うず巻式フランジT字管》		
制定	2022. 5. 13	整理	2-4-6
改定		番号	

水道配水用ポリエチレン管（ダクタイル鋳鉄管用異種管継手）



部品番号	名称	材質
1	異形管本体	FCD450-10
2	圧入リング	STKMI3A/FCD450-10/FCD420-10
3	PE短管	PE100

※ この図は、寸法説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

単位: mm

呼び径	平均外径 D	t	平均外径 D1±2	t1	L1	L2	L±15
75	90.0 ^{+0.6} ₀	8.2 ^{+1.3} ₀	93	8.5 ^{+2.5} _{-2.0}	320	213	615
100	125.0 ^{+0.8} ₀	11.4 ^{+1.8} ₀	118	8.5 ^{+2.5} _{-2.0}	320	233	660

（GX形、NS形）

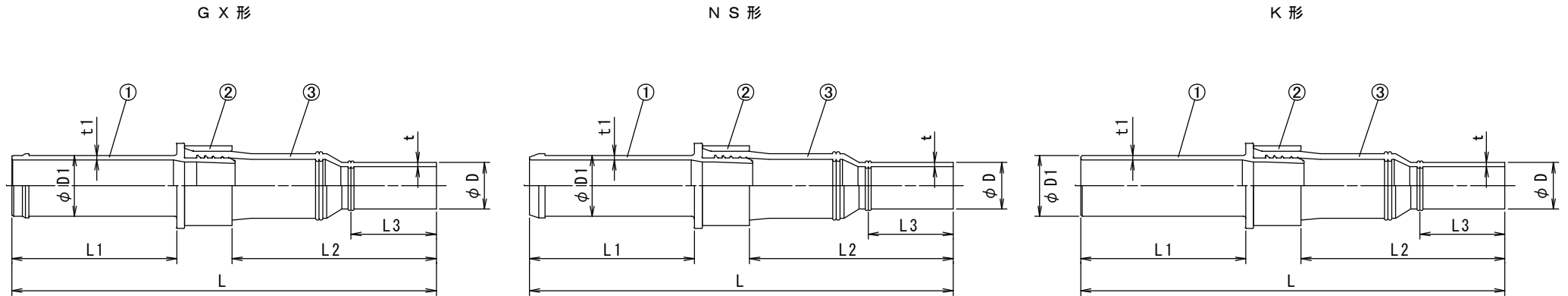
- 備考
1. 平均外径 D、D1 とは任意の断面における相互に等間隔な2方向の外径測定値の平均値をいいます。
 2. 異形管本体の塗装は、内面がエポキシ樹脂粉体塗装、外面はノンタール系塗装とします。
 3. ダクタイル管側の挿し口寸法は、JCPA G1042のNS形に準拠します。
 4. 許容差を明記していない寸法は、参考寸法です。

（K形）

- 備考
1. 日本水道協会承認の配水用ポリエチレンパイプシステム協会規格品(POLI TEC)
 2. 平均外径 D、D1 とは任意の断面における相互に等間隔な2方向の外径測定値の平均値をいいます。
 3. 異形管本体の塗装は、内面がエポキシ樹脂粉体塗装、外面はノンタール系塗装とします。
 4. 許容差を明記していない寸法は、参考寸法です。

図名	水道配水用ポリエチレン管 《ダクタイル鋳鉄管用異種管継手》		
制定	2022. 5. 13	整理	2-4-7
改定		番号	

水道配水用ポリエチレン管（ダクタイトル鋳鉄管用径違い異種管継手）



単位: mm

部品番号	名称	材質
1	異形管本体	FCD450-10
2	圧入リング	STKMI 3A / FCD420-10
3	PE短管	PE100

呼び径	平均外径 D	t	平均外径 D1±2	t1	L1	L2	L3	L±15
75×50	63.0 ^{+0.4} ₀	5.8 ^{+0.9} ₀	93	8.5 ^{+2.5} _{-2.0}	320	328	125	730
100×50	63.0 ^{+0.4} ₀	5.8 ^{+0.9} ₀	118	8.5 ^{+2.5} _{-2.0}	320	386	125	815
100×75	90.0 ^{+0.6} ₀	8.2 ^{+1.3} ₀	118	8.5 ^{+2.5} _{-2.0}	320	396	165	825
150×100	125.0 ^{+0.8} ₀	11.4 ^{+1.8} ₀	169	9.0 ^{+2.5} _{-2.0}	330	449	178	895

※ この図は、寸法説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

（GX形、NS形）

- 備考
1. 平均外径 D、D1 とは任意の断面における相互に等間隔な2方向の外径測定値の平均値をいいます。
 2. 異形管本体の塗装は、内面がエポキシ樹脂粉体塗装、外面はノンタール系塗装とします。
 3. ダクタイトル管側の挿し口寸法は、JCPA G1042のNS形に準拠します。
 4. 許容差を明記していない寸法は、参考寸法です。

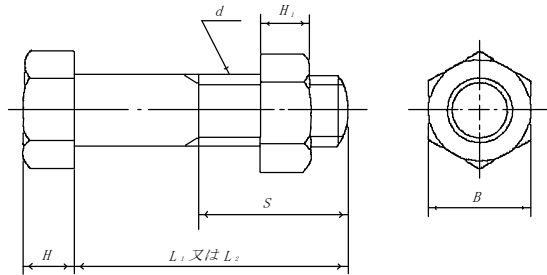
（K形）

- 備考
1. 平均外径 D、D1 とは任意の断面における相互に等間隔な2方向の外径測定値の平均値をいいます。
 2. 異形管本体の塗装は、内面がエポキシ樹脂粉体塗装、外面はノンタール系塗装とします。
 3. 許容差を明記していない寸法は、参考寸法です。

図名	水道配水用ポリエチレン管 《ダクタイトル鋳鉄管用径違い異種管継手》		
制定	2022. 5. 13	整理	2-4-8
改定		番号	

水道配水用ポリエチレン管（フランジ接合用部品）

フランジ接合用部品 六角ボルト・ナット



铸铁フランジ

単位 mm

呼び径	7.5K								10K							
	ボルトの呼び	各部寸法						1セットの数	ボルトの呼び	各部寸法						1セットの数
		d	L ₁	L ₂	S	B	H			H ₁	d	L ₁	L ₂	S	B	
50	M16	70	70	38	24	10	13	4	M16	70	70	38	24	10	13	4
75	M16	80	80	38	24	10	13	4	M16	80	80	38	24	10	13	8
100	M16	90	90	46	24	10	13	4	M16	90	90	46	24	10	13	8

六角ボルト・ナットは、JIS B 1180及びJIS B 1181の附属書に示す並以上とする。
 L1寸法は、RF形-RF形又はRF形-GF形フランジを接続する場合に使用する。
 L2寸法は、RF形又はGF形フランジと仕切弁とを接続する場合に使用する。

SUSフランジ

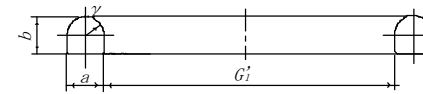
単位 mm

呼び径	7.5K								10K							
	ボルトの呼び	各部寸法						1セットの数	ボルトの呼び	各部寸法						1セットの数
		d	L ₁	L ₂	S	B	H			H ₁	d	L ₁	L ₂	S	B	
50	M16	75	75	38	24	10	13	4	M16	80	80	38	24	10	13	4
75	M16	85	85	46	24	10	13	4	M16	90	90	46	24	10	13	8
100	M16	100	100	54	24	10	13	4	M16	100	100	54	24	10	13	8

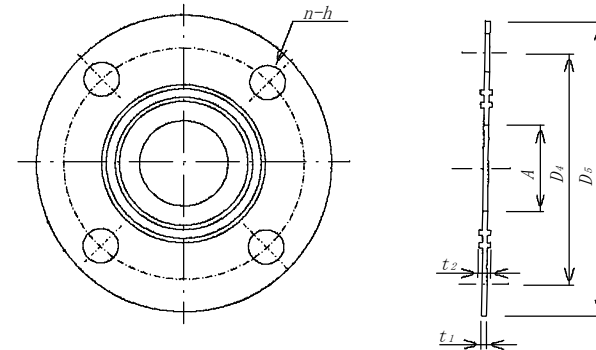
六角ボルト・ナットは、JIS B 1180及びJIS B 1181の附属書に示す並以上とする。
 L1寸法は、RF形-RF形又はRF形-GF形フランジを接続する場合に使用する。
 L2寸法は、RF形又はGF形フランジと仕切弁とを接続する場合に使用する。

フランジ接合用部品 ガasket

GF形ガスケット1号



RF形ガスケット



単位 mm

呼び径	各部寸法									
	GF形ガスケット1号				RF形ガスケット					
	G'	a	b	γ	A	D ₅	t ₁	t ₂	D ₄	n-h
50	71	8.0	8.0	4.0	56	155	3	5	120	4-19
75	98	8.0	8.0	4.0	82	211	3	5	168	4-19
100	123	8.0	8.0	4.0	104	238	3	5	195	4-19

ガスケットは、JWWA K 156に規定するSBR, EPDM, CR及びNBRを用いる。
 RF形ガスケットは、Ⅲ類デュロメータ硬さ60を用いるが、老化後の伸びの変化率、デュロメータ硬さの変化率及び圧縮永久ひずみは規定しない。
 GF形ガスケット1号は、ⅠA類デュロメータ硬さ55を用いるが、CR及びNBRについては、引張強さは16MPa以上とし、EPDMについては、引張強さは14MPa以上とする。
 RF形ガスケットは、7.5Kフランジ用、GF形ガスケット1号は、7.5K及び10Kフランジ用とする。

※ J W W A K 1 4 4 及び J W W A K 1 4 5 参照

図名	水道配水用ポリエチレン管 《フランジ接合用部品》			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2022.	5.	13	番号
				2 - 4 - 9

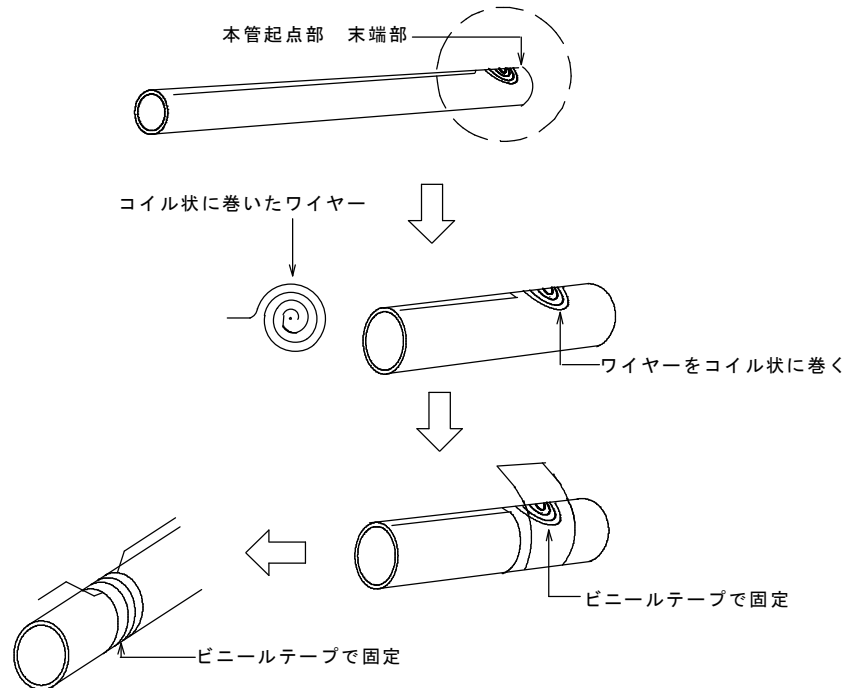
ロケーティングワイヤーの設置方法

1. 本管への施工

(1) 本管への配線

① 本管起点部・末端部

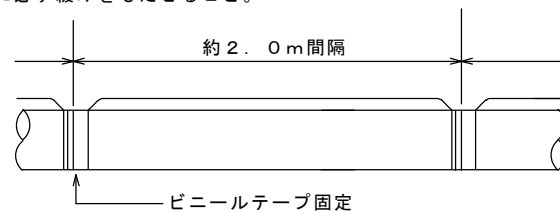
※本管上の起点部に先端部の処理をしたワイヤーを5～6回程度コイル状に巻いてビニールテープで固定する。



② 直管部

※ワイヤーを本管上に若干の緩みをもたせながら配線し、2 m位の間隔でビニールテープで固定する。

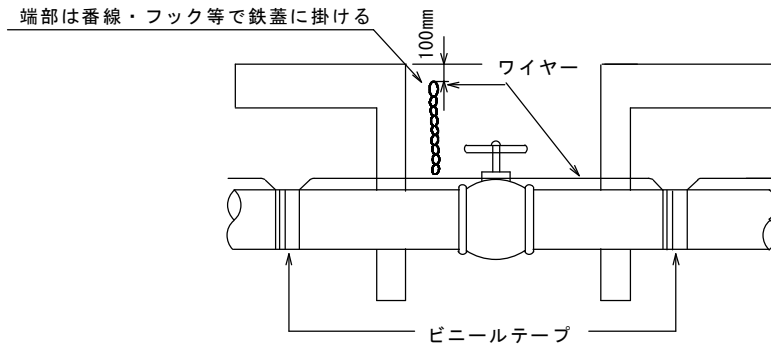
※将来サドル分水栓を設置する際、ワイヤーが支障とならないように必ず緩みをもたせること。



(2) バルブボックス 消火栓ボックス

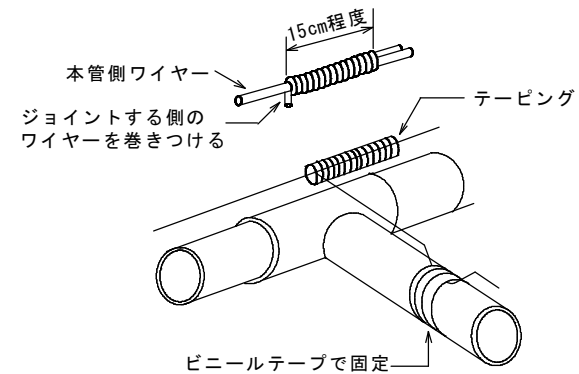
ワイヤーを切断せず、ねじって図のように折返して輪をつくり、地上から手が届く位置まで立ち上げる。

(探知器の直接用接続コードが連結しやすくなる)



(3) T字型のジョイント

ジョイントする側のワイヤーを本管側のワイヤーに隙間なく15 cm程度巻きつけビニールテープで固定する。

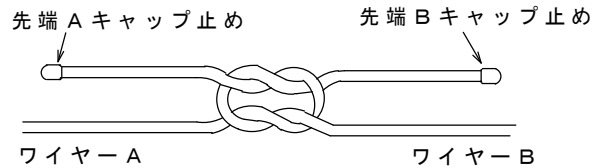


図名	ロケーティングワイヤーの設置方法		
制定	2015. 4. 1	整理	2-5-1
改定		番号	

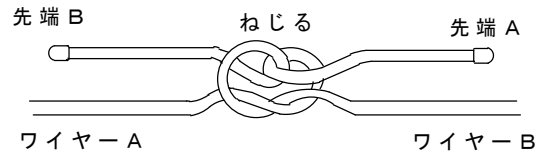
ワイヤーの接続方法

施工 A

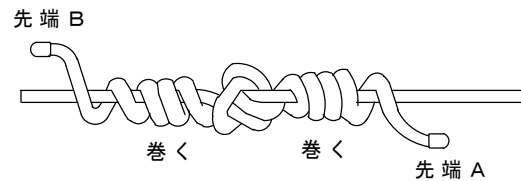
- (1) ワイヤーAとワイヤーBを結び、
キャップで先端部の処理をする



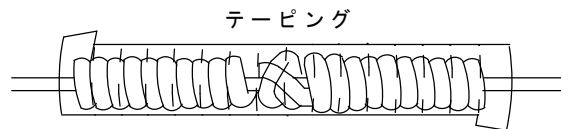
- (2) 結び目をねじってAの先端はB側のワイヤーに、Bの先端はA側のワイヤーに向ける。



- (3) Aの先端をBのワイヤーに、Bの先端をAのワイヤーにそれぞれ隙間なく15cm程度巻く。



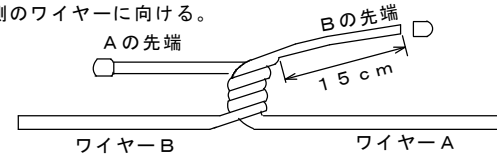
- (4) 巻きつけた上から自己融着テープでテーピングする。



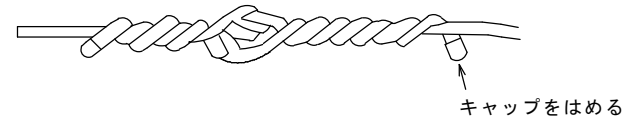
※自己融着テープでテーピングをした後、さらにビニールテープを巻くと効果的である。

施工 B

- (1) ABのワイヤーを見分けるため、まず、片側だけキャップをはめ込み、ワイヤーAとワイヤーBをネジリ合わせる。結び目をネジってAの先端はB側のワイヤーに、Bの先端はA側のワイヤーに向ける。



- (2) ネジリ合わせの部分は、できるだけ強固に数回ネジリ合わせる。

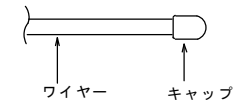


- (3) 先端AをBのワイヤーに、また先端BをAのワイヤーに、それぞれ隙間なく15cm程強く巻きつける。先端Bへキャップをはめ込みその後、テープでテーピングする。



ワイヤーの先端処理

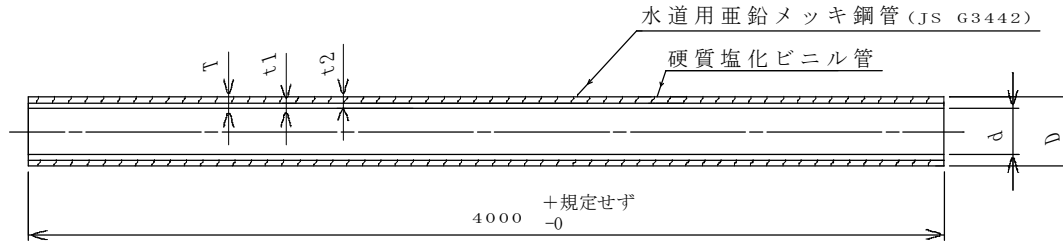
ワイヤーの先端部の処理は、水分が入ると錆が生じ内部に進行するため、指定のキャップで先端処理する。



図名	ロケーティングワイヤーの接続方法		
制定	2015. 4. 1	整理番号	2-5-2
改定			

水道用硬質塩化ビニライニング鋼管（水道用SGP-VB）

直管



単位 mm

呼び径 (A)	ライニング管				ビニル管		参考		
	外径 D	外径の 許容差	厚さ t	厚さの 許容差	厚さ t1	厚さの 許容差	鋼管の厚さ t2	ライニング管 許容差 d	
15	21.7	± 0.5	4.3	-0.6	1.5	± 0.2	2.8	13.1	
20	27.2		4.3				-0.7	2.8	18.6
25	34.0		4.7					3.2	24.6
32	42.7		5.0	+ 規定 しない			3.5	32.7	
40	48.6		5.0				3.5	38.6	
50	60.5	± 0.8	5.3	-0.9	2.0	± 0.2	3.8	49.9	
65	76.3		5.7				-1.0	4.2	64.9
80	89.1		6.2					4.2	76.7
100	114.3		6.5	2.5			4.5	101.3	
125	139.8		6.5				4.5	126.8	
150	165.2	7.5		5.0	150.2				

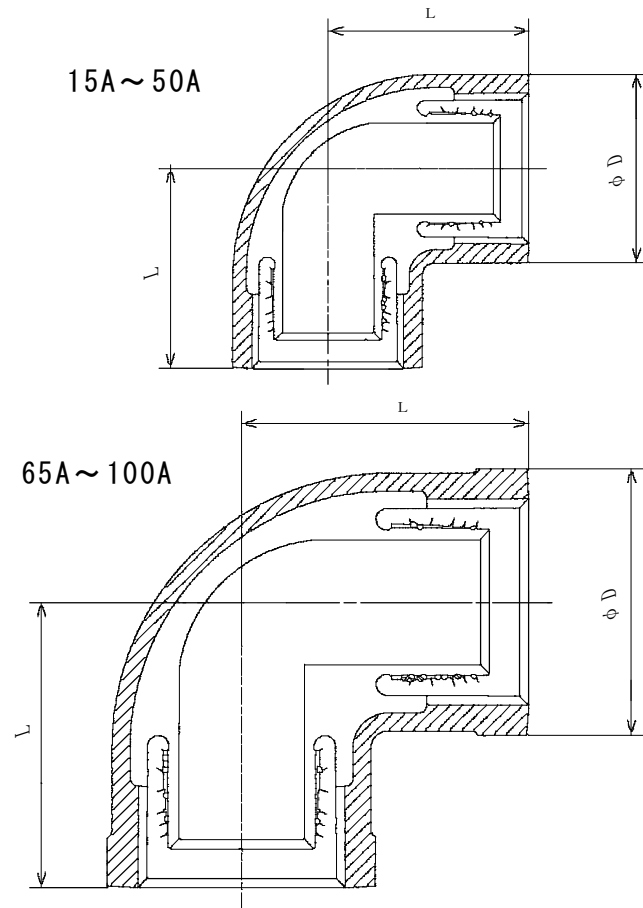
- 注) 1. ライニング管の厚さは、鋼管とビニル管の厚さを加算したものとする。
 2. 日本水道協会JWWA K 116該当品です。
 3. 許容差のない寸法は全て参考値です。

図名	水道用硬質塩化ビニライニング鋼管 (水道用SGP-VB) 《直管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-6-1
改定		番号	

注記 1 この図は、寸法説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

水道用硬質塩化ビニルラインング鋼管（水道用SGP-V Dエルボ）

エルボ



単位 mm

呼び径 (A)	L	φD
15	27	27
20	32	33
25	38	41
32	46	50
40	48	56
50	57	69
65	69	91
80	78	105
100	97	133

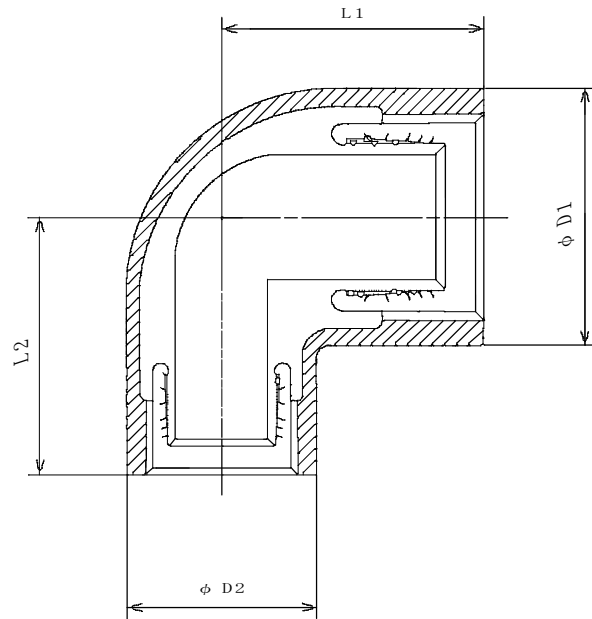
寸法は全て参考値です。

注記1 この図は、寸法説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

図名	水道用硬質塩化ビニルラインング鋼管 (水道用SGP-V D) 《エルボ》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-6-2
改定		番号	

水道用硬質塩化ビニルラインング鋼管（水道用SGP-V D径違いエルボ）

径違いエルボ



単位 mm

呼び径 (A)	L1	L2	φ D1	φ D2
20 × 15	29	30	33	27
25 × 15	32	33	41	27
25 × 20	34	35	41	33
32 × 25	40	42	50	41
40 × 20	38	43	56	33
40 × 25	41	45	56	41
40 × 32	45	48	56	50
50 × 40	52	55	69	56

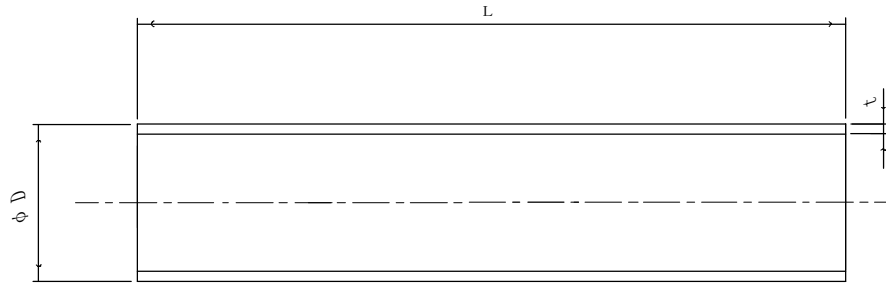
寸法は全て参考値です。

注記1 この図は、寸法説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

図名	水道用硬質塩化ビニルラインング鋼管 (水道用SGP-V D) 《径違いエルボ》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-6-3
改定		番号	

水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管（水道用HI-VP）

直管



単位 mm

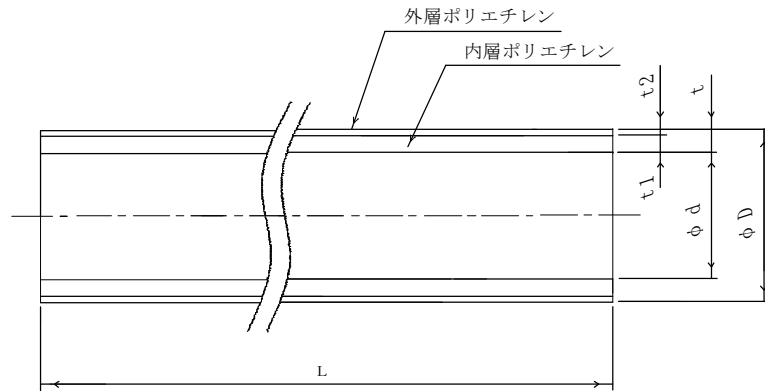
呼び径	D			t	近似内径	L +30 -10	参考質量 (kg)
	基準寸法	最大 最小外径 の許容差	平均外径 の許容差				
13	18	±0.2	±0.2	2.5±0.2	13	4000	0.7
16	22	±0.2	±0.2	3.0±0.3	16	4000	1.0
20	26	±0.2	±0.2	3.0±0.3	20	4000	1.2
25	32	±0.2	±0.2	3.5±0.3	25	4000	1.8
30	38	±0.3	±0.2	3.5±0.3	31	4000	2.1
40	48	±0.3	±0.2	4.0±0.3	40	4000	3.1
						5000	3.9
50	60	±0.4	±0.2	4.5±0.4	51	4000	4.4
						5000	5.5
※65	76	±0.5	±0.2	4.5±0.4	67	4000	5.7
						5000	7.1
75	89	±0.5	±0.2	5.9±0.4	77	4000	8.6
						5000	10.8
100	114	±0.6	±0.2	7.1±0.5	100	4000	13.4
						5000	16.7
※125	140	±0.8	±0.3	7.5±0.5	125	4000	17.5
						5000	17.5
150	165	±1.0	±0.3	9.6±0.6	146	4000	26.2
						5000	32.8

- 備考
1. 無印はJIS K 6762規格品
 2. ※印は日本水道協会承認の塩化ビニル管・継手協会団体規格品
 3. 許容差を明記していない寸法は、参考寸法です。
 4. 呼び径65、125は受注生産品です。

注記1 この図は、寸法説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

図名	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (水道用HI-VP) 《直管》		
制定	2015. 4. 1	整理	2-7-1
改定		番号	

水道用ポリエチレン管二層管（１種）（水道用PN管）



単位 mm

呼び径	D (平均外径)	t	t2	L ⁺² ₀ % (m)	t1	d	コイル巻径 (cm)		参考 質量 (kg/m)
							内径	相当 外径	
13×120	21.5±0.15	3.5±0.30	1.5±0.3	120	2.0	14.5	40以上	約80以上	0.184
13×60									
13×30									
20×120	27.0±0.15	4.0±0.30	1.5±0.3	120	2.5	19.0	50以上	約90以上	0.269
20×90									
20×60									
20×30									
25×90	34.0±0.20	5.0±0.35	1.5±0.3	90	3.5	24.0	70以上	約110以上	0.423
25×60									
25×30									
30×90	42.0±0.20	5.6±0.40	2.0±0.4	90	3.6	30.8	80以上	約120以上	0.595
30×30									
40×60	48.0±0.25	6.5±0.45	2.0±0.4	60	4.5	35.0	90以上	約130以上	0.788
40×30									
40×20									
40×5									
50×40	60.0±0.30	8.0±0.55	2.0±0.4	40	6.0	44.0	110以上	約150以上	1.216
50×20									
50×5									

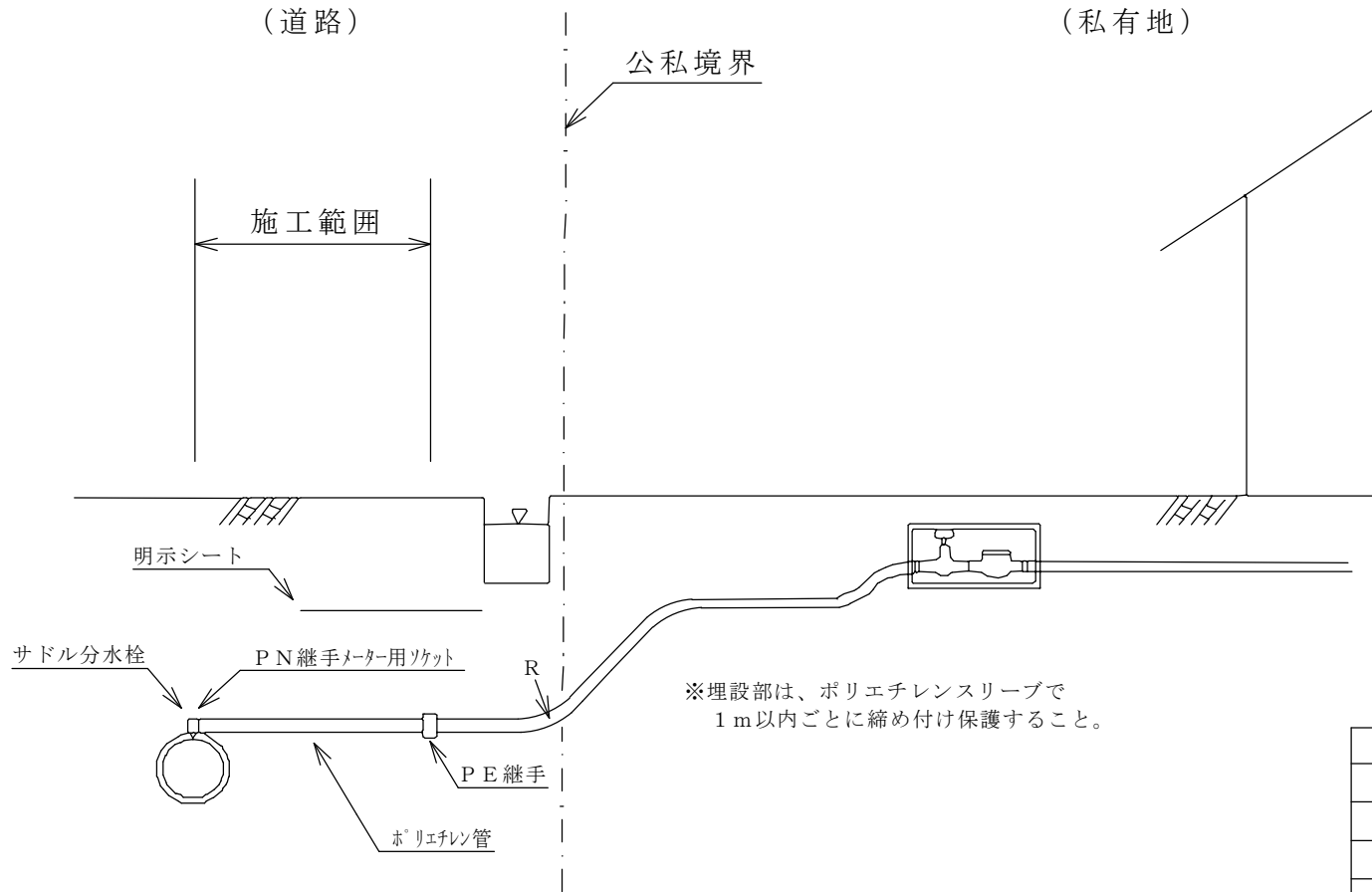
- 備考 1. JIS K 6762規格品
 2. D(平均外径)とは、任意の断面における相互に等間隔な2方向の外径測定値の平均値をいいます。
 3. 許容差を明記していない寸法は、参考寸法です。

注記 1 この図は、寸法説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

図名	水道用ポリエチレン管二層管（１種） （水道用PN管）		
制定	2015. 4. 1	整理	2-8-1
改定		番号	

給水管布設標準図

《公道切替（口径20mm～25mm）既設管がPP、PNの場合》



※埋設部は、ポリエチレンスリーブで
1m以内ごとに締め付け保護すること。

ポリエチレン管の曲半径

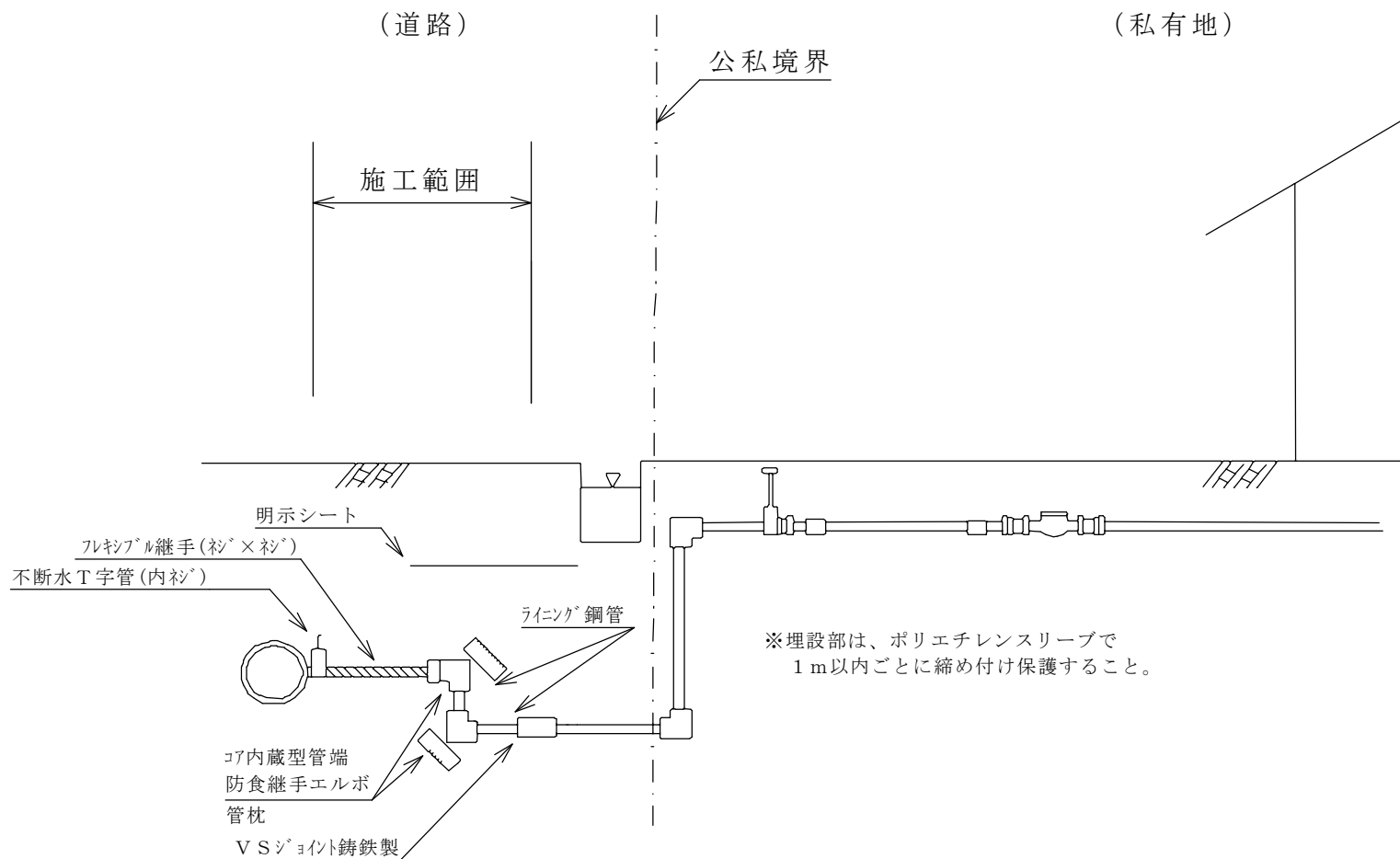
単位 mm

口径	曲半径R
20	540以上
25	680以上
40	960以上
50	1200以上

図名	給水管布設標準図（口径20mm～25mm） 《公道切替 既設管がPP、PNの場合》		
制定	2015. 4. 1	整理	2 - 9 - 1
改定	2020. 7. 1	番号	

給水管布設標準図

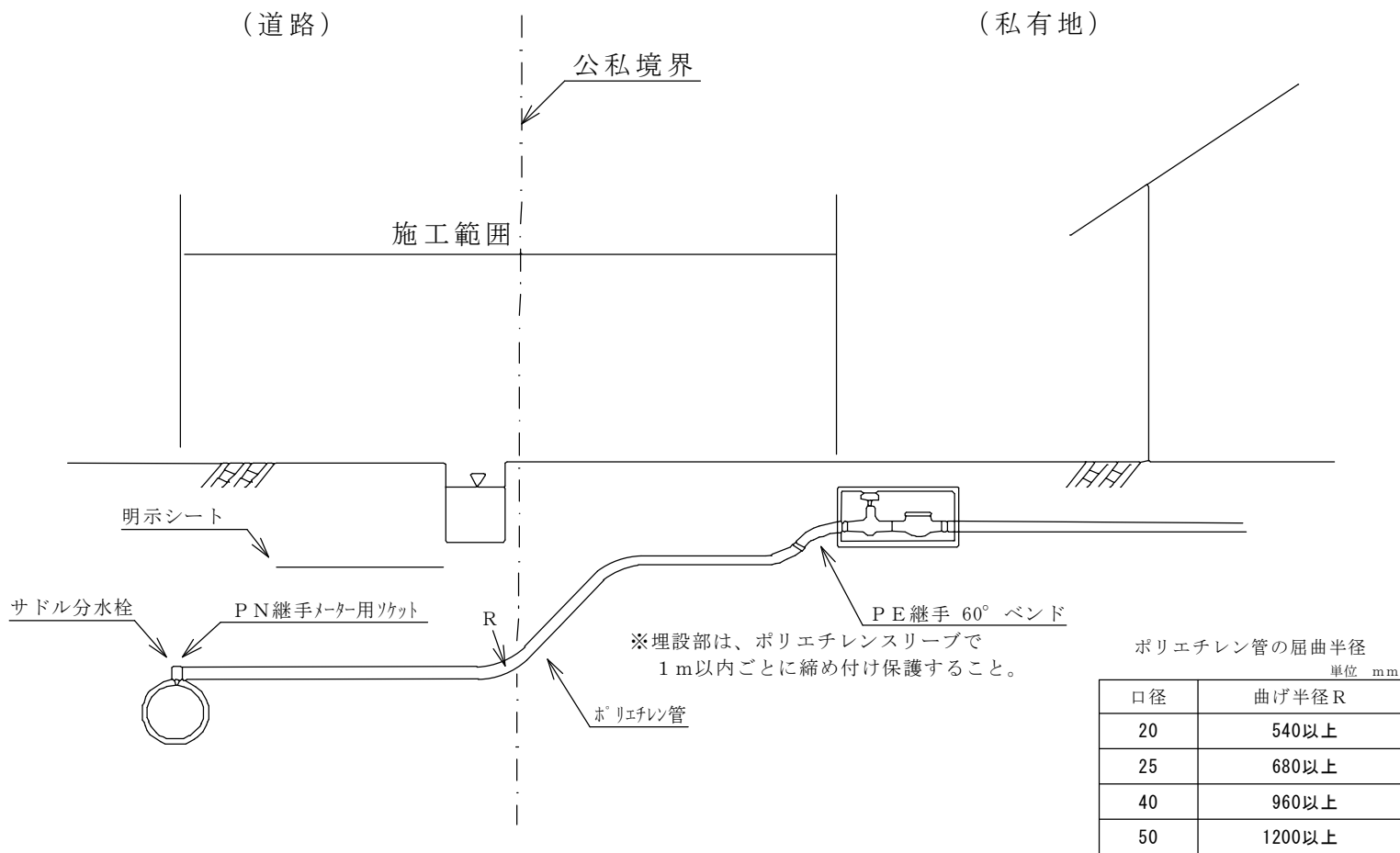
《公道切替（口径40mm～50mm）既設管がSVの場合》



図名	給水管布設標準図（口径40mm～50mm） 《公道切替 既設管がSVの場合》		
制定	2015.	4.	1 整理
改定	2020.	7.	1 番号
			2 - 9 - 2

給水管布設標準図

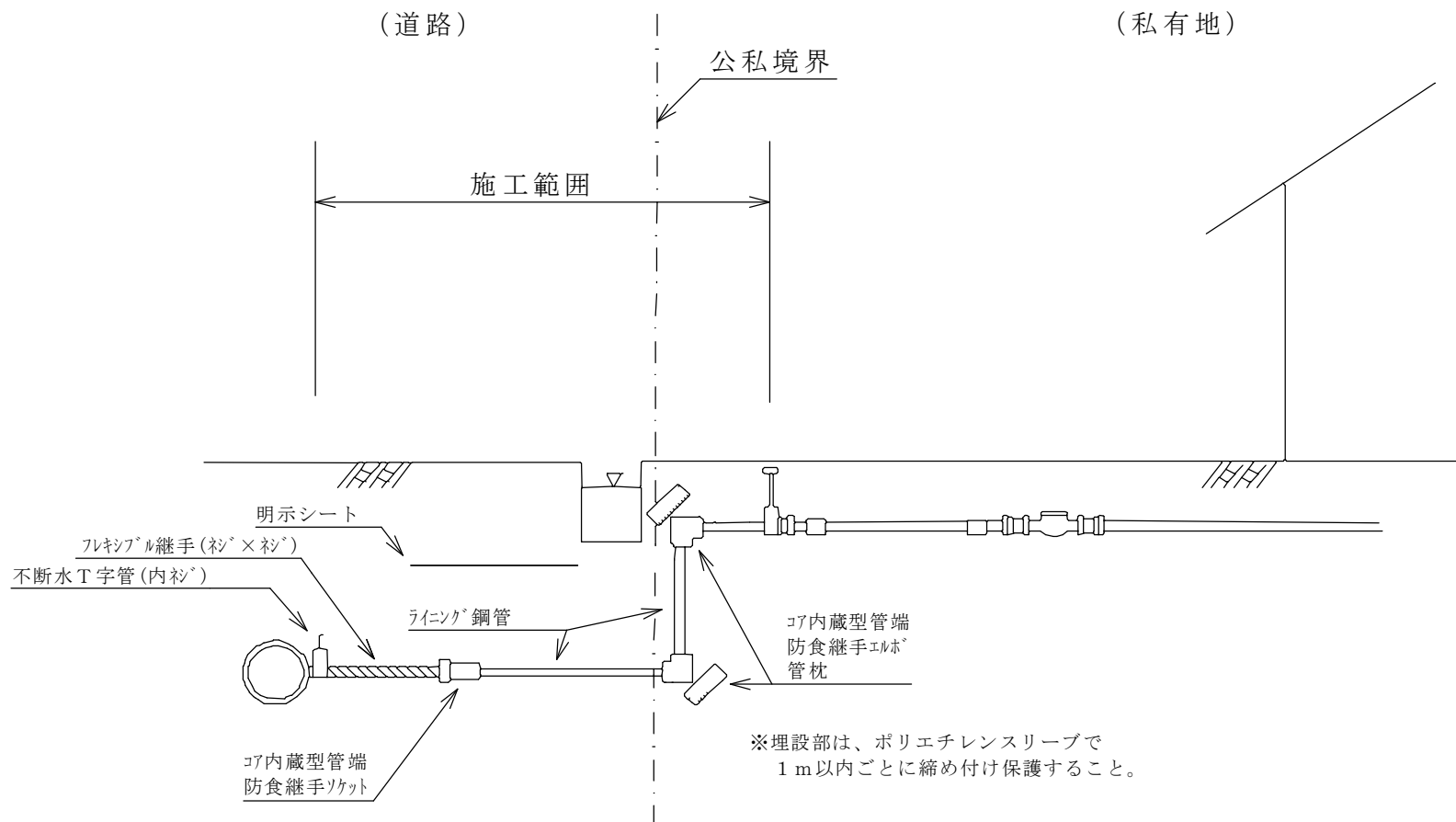
《宅内切替（口径20mm～25mm）既設管がPP、PN以外の場合》



図名	給水管布設標準図（口径20mm～25mm） 《宅内切替 既設管がPP、PN以外の場合》		
制定	2015.	4.	1 整理
改定	2020.	7.	1 番号
			2 - 9 - 3

給水管布設標準図

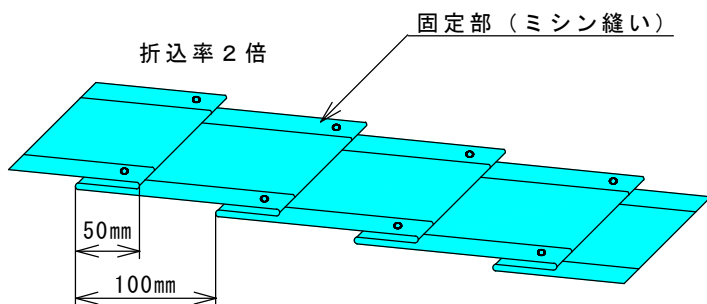
《宅内切替（口径40mm～50mm）既設管がSV以外の場合》



図名	給水管布設標準図（口径40mm～50mm） 《宅内切替 既設管がSV以外の場合》		
制定	2015.	4.	1
改定	2020.	7.	1
	整理	番号	
		2 - 9 - 4	

水道用明示シート布設標準図

1. 形状・寸法



- 注 (1) 地は青色，文字は白色とする。
- (2) 地の形状は巾150，厚さ0.1mm 2倍折込みの50m巻とする。
- (3) 印刷文字の1サイクルは800mmとする。
- (4) 文字はゴシック体とする。

2. 材質

シートは、高密度ポリエチレンを織製したクロスに低密度ポリエチレンをラミネートしたものとし、可塑剤の添加がなく、耐薬品性にすぐれ、バクテリアにより腐食することのない、柔軟性に富んでいるものとする。

3. 構造

シートは、1,000デニールのテープを縦及び横方向の各50mmの区間に17本以上織込んだものとし、その上にラミネート処理を施したものとする。

4. 色・印刷

シートの生地は青色，文字・表示マークは白色で印刷ブレのないものとする。

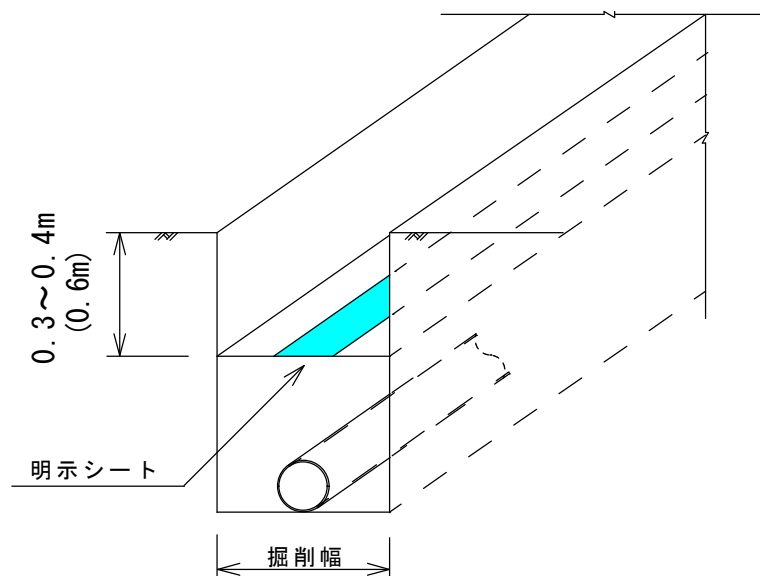
なお，生地顔料及び印刷インクは，長期にわたり変色したり，はげたりするものであってはならない。

5. 敷設方法

管径，掘削幅の大小にかかわらず，縦断方向に路面下0.3~0.4m

(0.6m)の所に敷設する。

道路管理者から指示があった場合には，指示に従う。



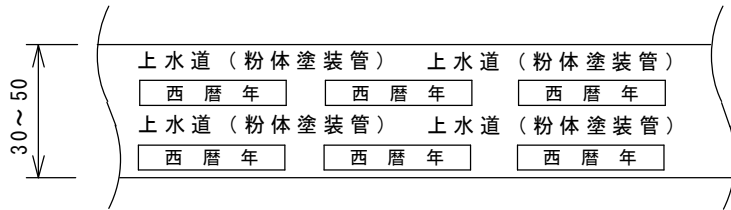
注 () 書きは，土被り1.2mの場合の設置位置

図名	水道用明示シート				
制定	2015.	4.	1	整理	2-10-1
改定	2023.	2.	1	番号	

水道用明示テープ布設標準図

1. 形状・寸法

(単位 : mm)

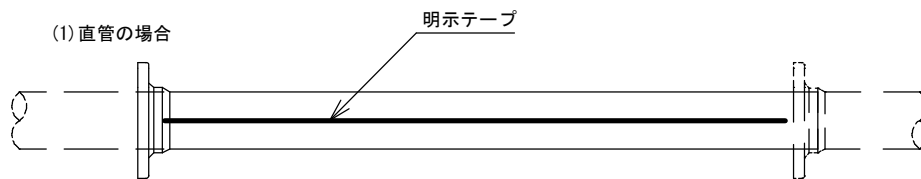


※明示テープの使用期間は、表示年及びその前後3カ月間とする。

例) (表示) 2019 ⇒ (使用期間) 2018.10.1~2020.3.31

2. 取付箇所

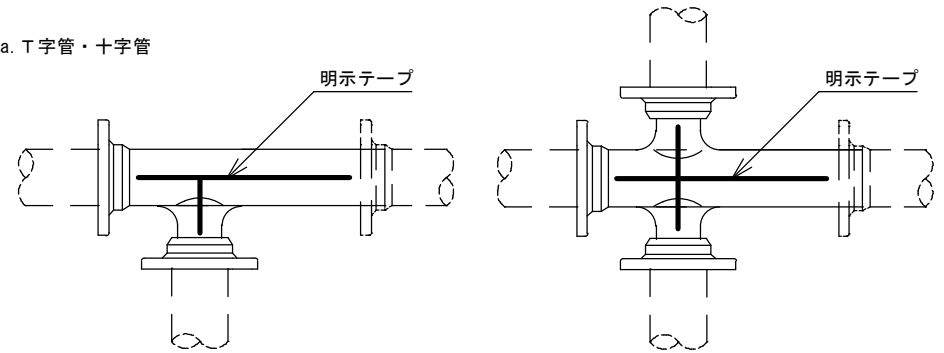
管頂部に貼り付けること



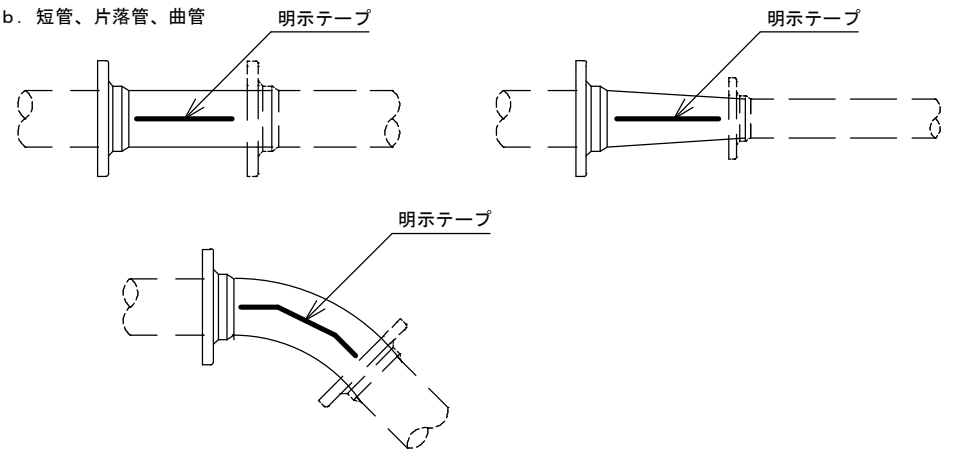
(2) 異形管の場合

イ) 保護工を要しない異形管の明示は下記による。

a. T字管・十字管



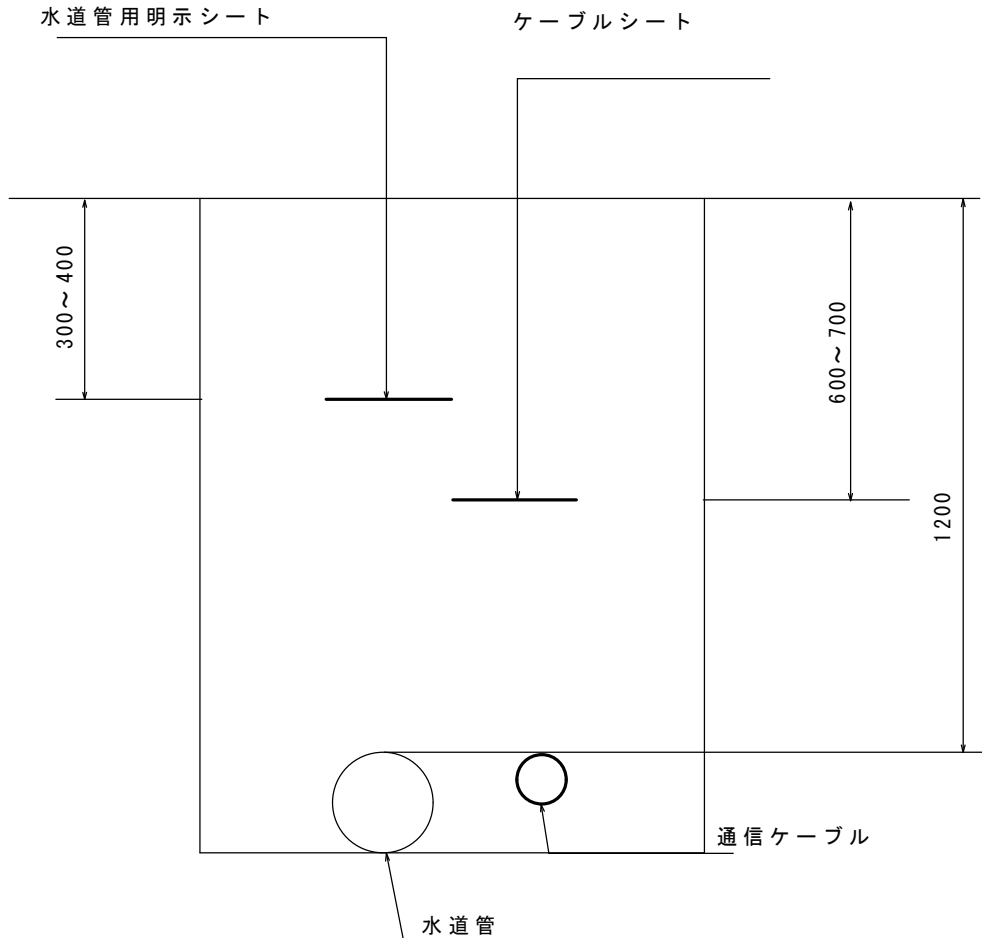
b. 短管、片落管、曲管



図名	水道用明示テープ		
制定	2015. 4. 1	整理	2-11-1
改定	2020. 7. 1	番号	

通信ケーブル（地下埋設）布設

土被り H = 1200 mm の場合

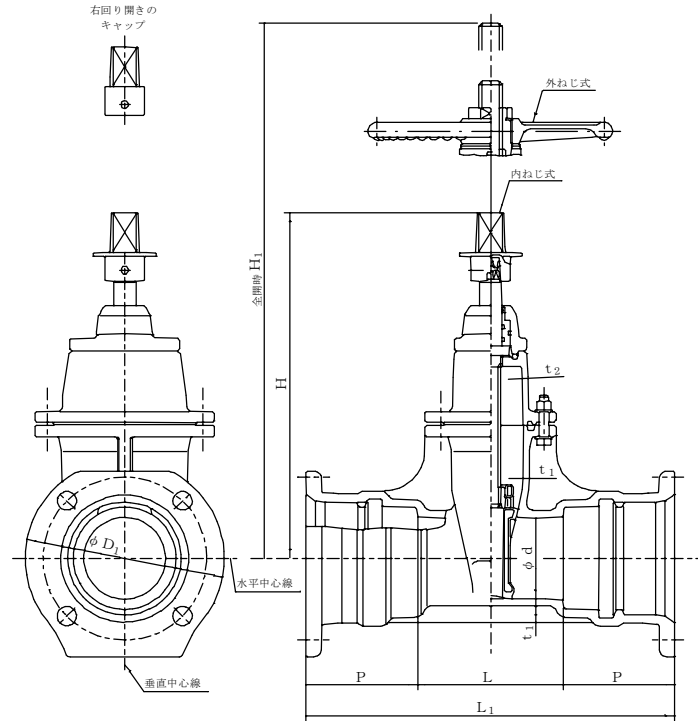


1. ケーブルドラムの巻終りは、線番を中心層より右まわりになるようにしてあるので、そのままドラムを回転させて、ほどこきながら布設すること。
2. ジョイント箇所はコンクリートトラフにて接続箇所の保護を行うこと。
なお、接続完了後、約1時間、接続箇所を動かさない様にする。
3. ジョイント箇所の写真は、その周辺の外観を入れて、その地点が出来るだけわかるようにすること。
4. 完成図はケーブル埋設後でもルートがわかるように寸法等詳細に記入し、ジョイント箇所はオフセットを取り記入すること。
5. ケーブルジョイント及び試験は原則として監督員が立会うので前日までに連絡すること。
6. ケーブルシート（明示シート）仕様
(1) 幅15cm以上 (2) 色 赤 (3) 折 二重折以上 (4) 材料 ポリエチレン製
(5) その他 鹿児島市水道局名称入
7. ケーブル布設位置
ケーブルシート（明示シート）布設位置は、土被り1.2m未満の場合 G L - 400mm、土被り1.2m以上の場合 G L - 600mmとすること。
なお、監督員が特に指示した場合は、それに従うこと。

図名	通信ケーブル（地下埋設）布設		
制定	2015. 4. 1	整理	2 - 1 2 - 1
改定		番号	

ダクタイル鋳鉄管（GX形）

《ソフトシール仕切弁》 $\Phi \times \Phi$



単位 mm

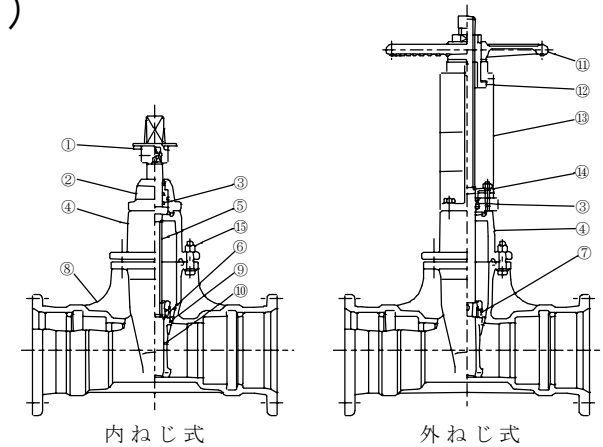
呼び径	口径 d	面間 L ₁	有効長 L	継手寸法 ¹⁾		厚さ(最小)		弁棒		高さ(最大)	
				外径 D ₁	長さ P	t ₁	t ₂	回転数 (全開～全閉)	内ねじ式 H	外ねじ式 H ₁	
75	75	453	180	210	136.5	6	5	13	+3 0 +5 0	330	570
100	100	455	180	244	137.5	6	6	17		365	670
150	150	504	220	305	142.0	7	6	19		455	920
200	200	548	260	354	144.0	8	7	25		540	1120
250	250	590	300	409	145.0	9	7	25		640	1380
300	300	700	400	477	150.0	9	7	30		740	1590
400	400	804	500	582	152.0	14	12	33	1240	1990	

キャップの寸法は、JWWA Z 103による。

注記 ¹⁾ 口径は、JIS B 2001による。

²⁾ 継手部の寸法は、JWWA G 121による。この場合、ボルト穴の位置は、水平中心線に対して円周等分に振り分ける。ただし、呼び径250及び300は、垂直及び水平中心線上にボルト穴がくるように円周等分に振り分ける。

注記 この図は、寸法及び名称説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。



番号	部品名称	材 料
1	キャップ	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
2	パッキン箱	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
3	パッキン	a) JIS B 2401-1のNBR b) JIS K 6920-1のPA(ポリアミド)樹脂 ¹⁾ c) 三ふっ化エチレン樹脂
4	ふた	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
5	弁棒	JIS G 4303のSUS403
6	めねじこま	a) JIS H 3250のC3771, C6800系又はC6932 b) JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911
7	こま	a) JIS H 3250のC3771, C6800系又はC6932 b) JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911 c) JIS G 4303のSUS304又はSUS403 d) JIS G 5121のSCS2又はSCS13
8	弁箱	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
9	ゴム弁座 ²⁾ ³⁾	JWWA K 156のIA60～70又はII 60～70のEPDM, SBR, NBR若しくはCR
10	弁体	a) JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10b) JIS G 5121のSCS13
11	ハンドル車	JIS G 5501のFC200
12	スリーブ	JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911
13	ヨーク	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
14	パッキン押さえ	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
15	弁箱ボルト・ナット	JIS G 4303のSUS304又はSUS403

注記 1 C6800系とは、ビニマス系鉛レス・カドミウムレス快削黄銅をいい、C6801又はC6803とする。

注記 2 CAC900系とは、ビニマス青銅鑄物をいい、CAC902又はCAC904とする。

注 ¹⁾ ウーリーナイロンで外ねじ式の場合に適用する。

²⁾ ゴム弁座(ゴムライニングの場合)の剥離強さは、JIS K 6256-2によって試験を行い、剥離強さが12.7N/mm以上でなければならない。

なお、試験に用いる試験片の接着条件は、ゴム弁座と同一とする。

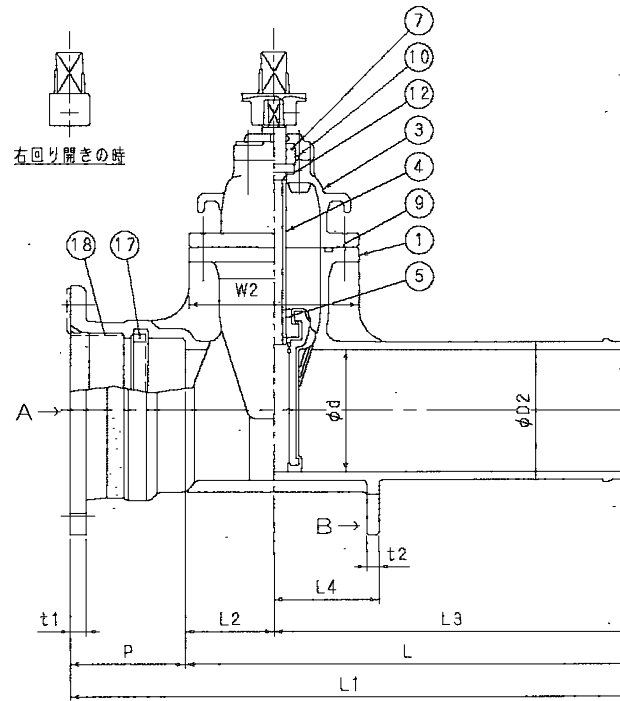
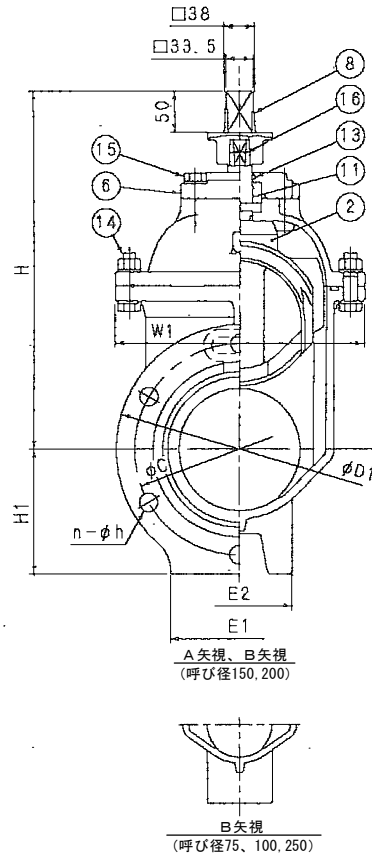
³⁾ ゴム弁座は、JIS K 6259の5.(静的オゾン劣化試験)によってオゾン劣化試験を行い、異常があつてはならない。この場合、オゾン濃度は500ppb±50ppb、試験温度は40±2℃、試験時間は連続24時間、試験片の引張りずみは(20±2)%とする。

※ 本市では、左回り開きのキャップを標準とする。

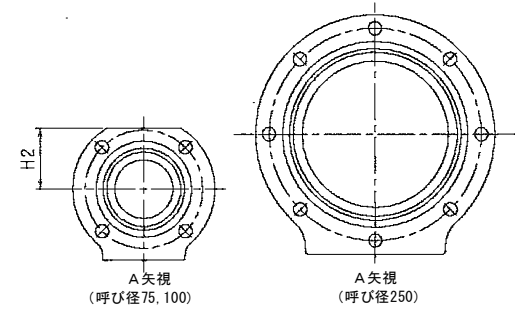
図名	水道用ソフトシール仕切弁（GX形）両受			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				3 - 1 - 1

水道用 G X 形ソフトシール仕切弁（受挿し）

フランジ形の構造、形状、寸法及び回転数



右回り開きの時



部品番号	品名	個数	材質	備考
1	弁箱	1	FCD450-10	
2	弁体	1	FCD450-10	合成ゴムライニング
3	ふた	1	FCD450-10	
4	弁棒	1	SUS403	
5	めねじこま	1	G3771B	
6	パッキン箱	1	FCD450-10	
7	オリングケース	1	合成樹脂	
8	キャップ	1	FCD450-10	
9	ガスケット	1	S B R	
10	オリング	1	N B R	
11	オリング	2	N B R	
12	スラストリング	1	オイルス	
13	ダストシール	1	N B R	
14	六角ボルト・ナット	一式	SUS304	
15	六角ボルト	一式	SUS304	
16	六角穴付止めねじ	1	SUS304	
17	ロックリング	1	FCD600-3	
18	ストッパ	1	A B S	

注記 この図は、寸法説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

呼び径	d	L	P	L1	L2	L3	L4	D1	D2	C	n	h	t1	t2	W1	W2	E1	E2	H	H1	H2	回転数
75	75	490	136.5	626.5	90	400	90	210	93	172	4	19	18	12	211	174	120	80	320	105	94	13
100	100	490	137.5	627.5	90	400	100	244	118	202	4	23	19	12	242	180	140	100	365	122	104	17
150	150	550	142	692	110	440	130	305	169	259	6	23	20	15	308	211	170	130	440	163	-	19
200	200	610	144	754	130	480	140	354	220	308	6	23	21	15	366	226	200	160	520	177	-	25
250	250	680	145	825	150	530	190	409	271.6	363	8	23	22	15	452	256	240	180	630	205	-	25
300	300	700	150	850	200	500	150	477	322.8	431	8	23	23	15	496	315	240	200	720	239	-	30

キャップの寸法は、J W W A Z 103による。

注記1 口径は、JIS B 2001による。

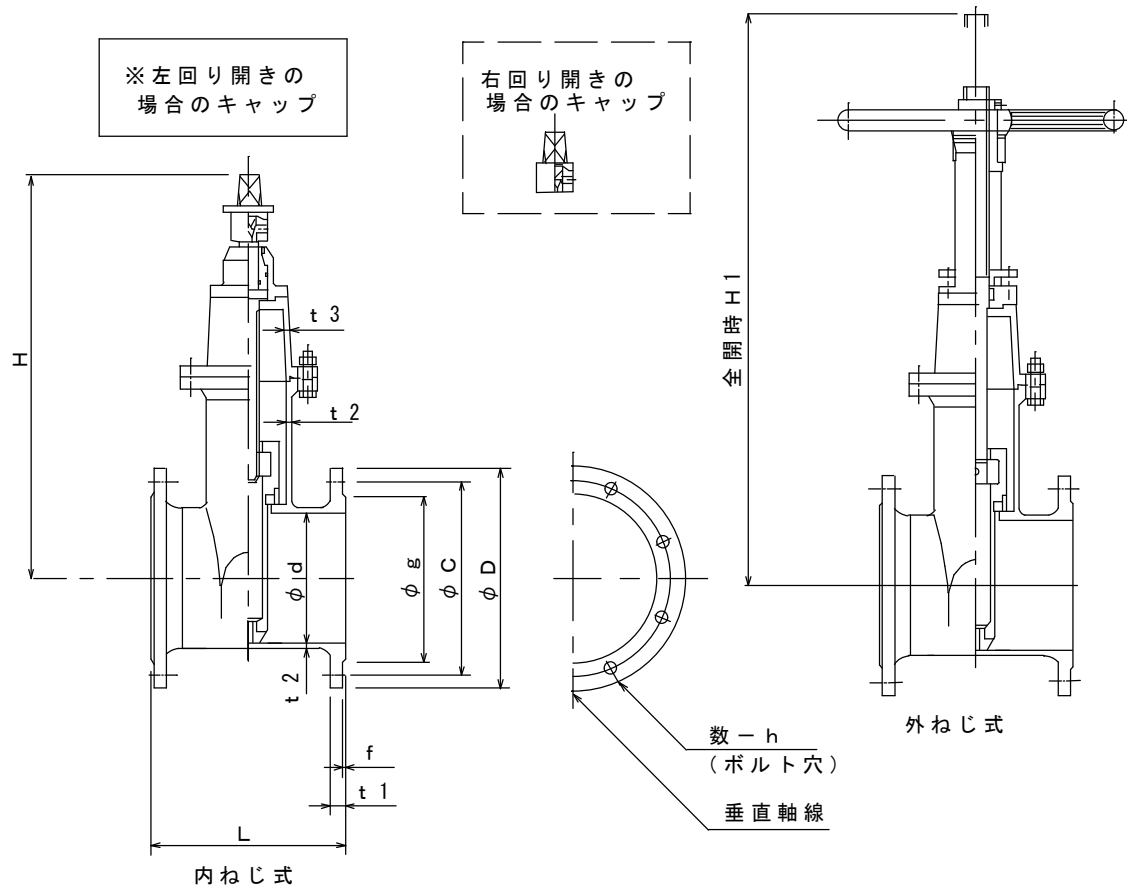
注記2 継手部の寸法は、J W W A G 121による。この場合、ボルト穴の位置は、水平中心線に対して円周等分に振り分ける。ただし、呼び径250及び300は、垂直及び水平中心線にボルト穴がくるように円周等分に振り分ける。

※本市では、左回り開きのキャップを標準とする。

図名	水道用ソフトシール仕切弁（GX形）受挿し			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				3-1-2

水道用ソフトシル仕切弁

フランジ形の構造、形状、寸法及び回転数



フランジのボルト穴の配置は、フランジ面の垂直軸線に対し、振り分けとする。
 注記1 この図は、寸法説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。
 注記2 外ねじ式の寸法記号H1以外は、内ねじ式と同一とする。

単位 mm

記号 呼び径	口 a) 径 d	面間寸法 L	フランジ寸法						厚さ (最小)		弁棒		高さ (最大)			
			外径 D	ガスケット座外径 g	ボルト穴		ボルトの呼び	t1	f	t2	t3	回転数 b) (全開~全閉)	回転数の許容差	H	H1	
					中心円の径 C	数										穴径 h
50	50	180	155	96	120	4	19	M16	16	2	6	5	13	+3 0	300	420
75	75	240	211	125	168	4	19	M16	21	3	6	5	13		330	570
100	100	250	238	152	195	4	19	M16	21	3	6	6	17		365	670
150	150	280	290	204	247	6	19	M16	22	3	7	6	19		455	920
200	200	300	342	256	299	8	19	M16	23	3	8	7	25		540	1120
250	250	380	410	308	360	8	23	M20	24	3	9	7	25		640	1380
300	300	400	464	362	414	10	23	M20	25	3	9	7	30		740	1590

キャップの寸法は J WWA Z 103 による。

注 a) 口径は JIS B 2001 による。

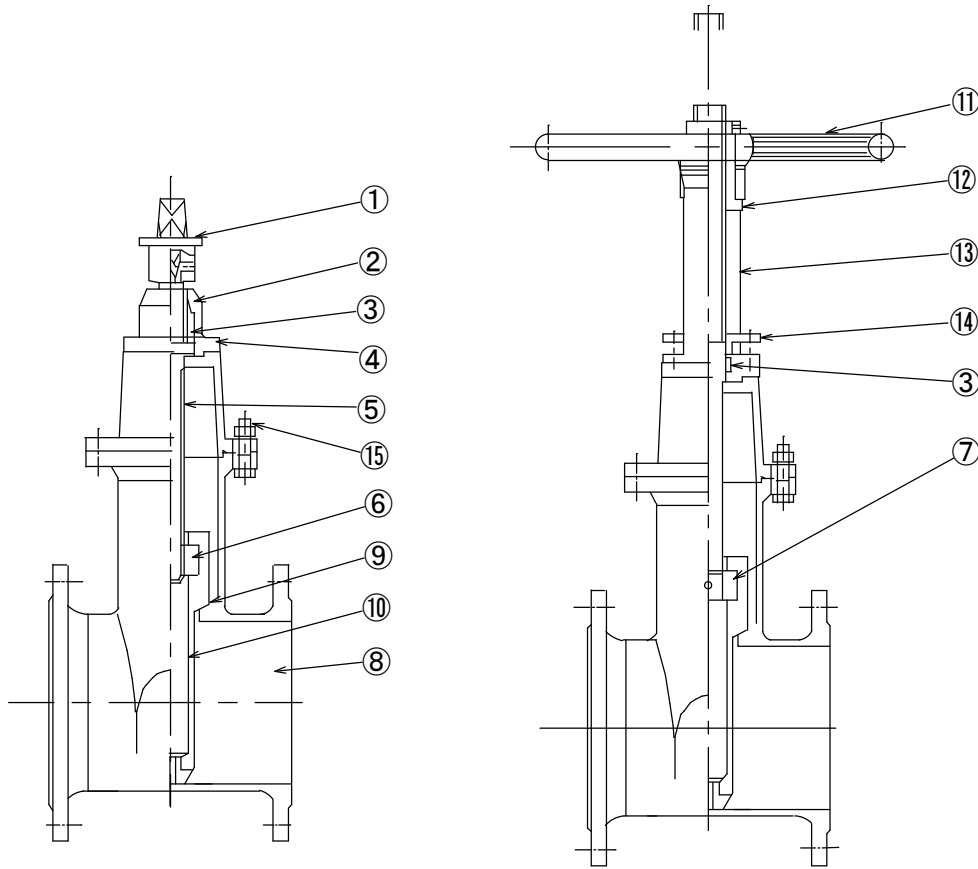
b) 内ねじ式の場合に適用する。

※本市では、左回り開きのキャップを標準とする。

図名	水道用ソフトシル仕切弁 (フランジ形)		
制定	2015. 4. 1	整理	3-1-3
改定		番号	

水道用ソフトシール仕切弁

主要部品の名称及び材料



内ねじ式

外ねじ式

番号	部品名称	材料
1	キャップ	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
2	パッキン箱	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
3	パッキン	a) JIS B 2401-1のNBR b) JIS K 6920-1のPA(ポリアミド)樹脂 ^{a)} c) 三ふっ化エチレン樹脂
4	ふた	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
5	弁棒	JIS G 4303のSUS403
6	めねじこま	a) JIS H 3250のC3771, C6800系又はC6932 b) JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911
7	こま	a) JIS H 3250のC3771, C6800系又はC6932b) JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911c) JIS G 4303のSUS304又はSUS403d) JIS G 5121のSCS2又はSCS13
8	弁箱	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
9	ゴム弁座 ^{b) c)}	JWWA K 156のIA60~70又はII 60~70のEPDM, SBR, NBR若しくはCR
10	弁体	a) JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10 b) JIS G 5121のSCS13
11	ハンドル車	JIS G 5501のFC200
12	スリーブ	JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911
13	ヨーク	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
14	パッキン押さえ	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
15	弁箱ボルト・ナット	JIS G 4303のSUS304又はSUS403

注記1 C6800系とは、ビニマス系鉛レス・カドミウムレス快削黄銅をいい、C6801又はC6803とする。
注記2 CAC900系とは、ビニマス青銅鑄物をいい、CAC902又はCAC904とする。

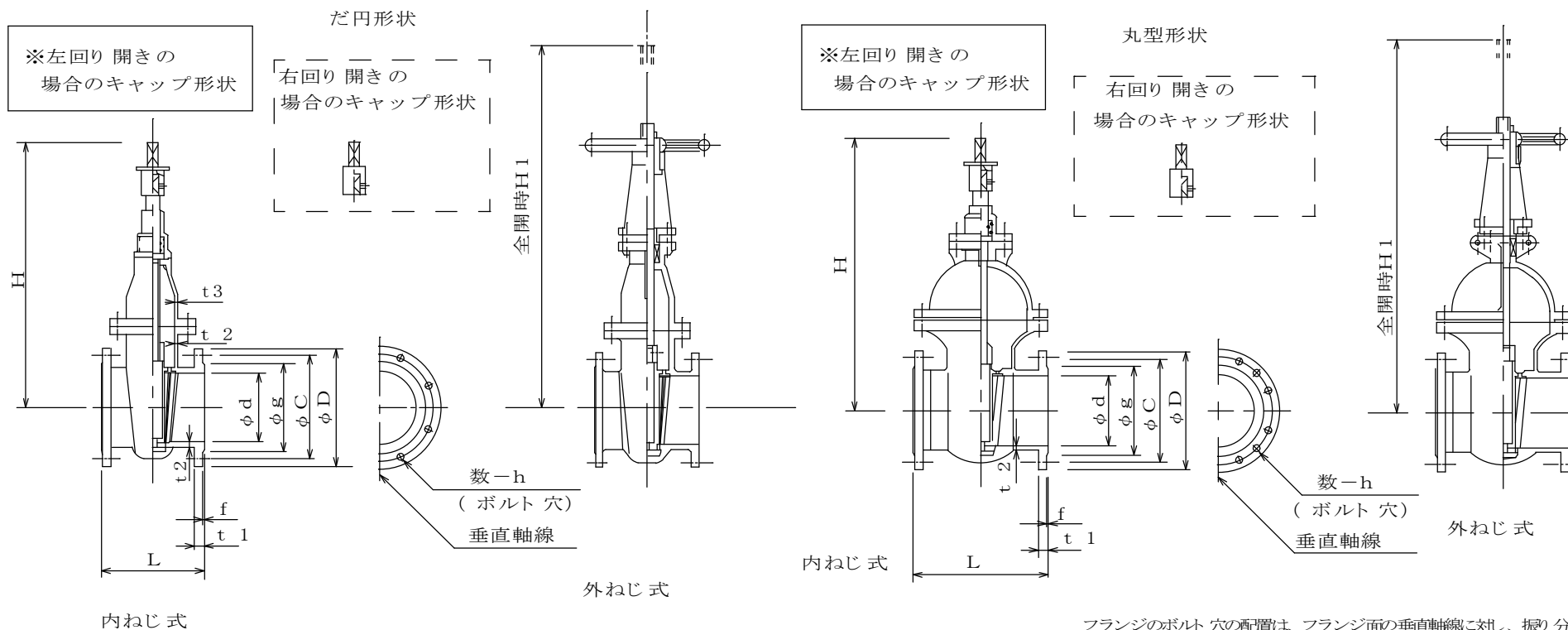
注 a) ウーリーナイロンで外ねじ式の場合に適用する。
b) ゴム弁座（ゴムライニングの場合）の剥離強さは、JIS K 6256-2によって試験を行い、剥離強さが12.7N/mm以上でなければならない。
なお、試験に用いる試験片の接着条件は、ゴム弁座と同一とする。
c) ゴム弁座は、JIS K 6259の5（静的オゾン劣化試験）によってオゾン劣化試験を行い、異常があってはならない。この場合、オゾン濃度は500ppb±50ppb、試験温度は40±2°C、試験時間は連続24時間、試験片の引張りずみは（20±2）%とする。

注記 この図は、名称説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

図名	水道用ソフトシール仕切弁（フランジ形）		
制定	2015.	4.	1 整理
改定			番号 3-1-4

水道用ダクタイトル鋳鉄仕切弁

構造、形状、寸法及び回転数



フランジのボルト穴の配置は、フランジ面の垂直軸線に対し、振り分けとする。
 注記 1 この図は、寸法説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。
 注記 2 外ねじ式のH1以外の寸法記号は、内ねじ式と同一とする。

2 種

単位 mm

記号 呼び径	口径 d	面間寸法 L	フランジ寸法						厚さ (最小)		弁棒		高さ (最大)			
			外径 D	ガスケット 座外径 g	ボルト穴		ボルト の呼び	厚さ		回転数 ^{b)} (全開 ~ 全閉)	回転数 の 許容差	H	H1			
					中心円 の 径 C	数		穴径 h	t1					f	t2	t3
50	50	180	155	96	120	4	19	M16	16	2	6	5	14	+3 0	300	510
75	75	240	211	125	168	4	19	M16	21	3	6	5	14		350	610
100	100	250	238	152	195	4	19	M16	21	3	6	6	18		400	720
150	150	280	290	204	247	6	19	M16	22	3	7	6	20		480	950
200	200	300	342	256	299	8	19	M16	23	3	8	7	26		560	1200
250	250	380	410	308	360	8	23	M20	24	3	9	7	26		685	1440
300	300	400	464	362	414	10	23	M20	25	3	9	7	31		805	1675

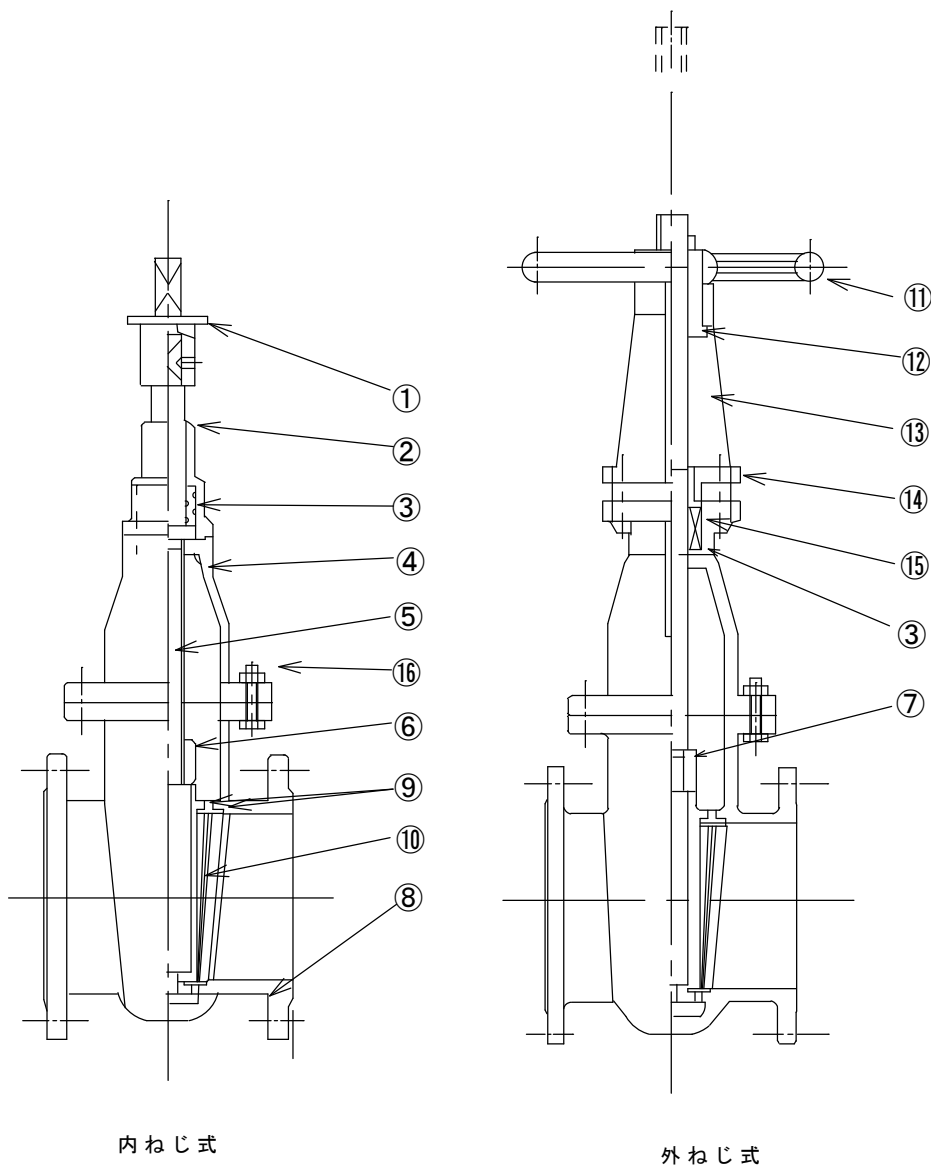
キャップの寸法は J W W A Z 103 による。
 注 a) 口径は、JIS B 2001 による。
 b) 内ねじ式だけに適用する。

※本市では、左回り開きのキャップを標準とする。

図名	水道用ダクタイトル鋳鉄仕切弁		
制定	2015. 4. 1	整理	3-1-5
改定		番号	

水道用ダクタイトル鋳鉄仕切弁

主要部品の名称及び材料



番号	部品名称	材料
1	キャップ	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
2	パッキン箱	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
3	パッキン	a) JIS B 2401-1のNBR b) JIS K 6920-1のPA(ポリアミド)樹脂
4	ふた	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
5	弁棒	a) JIS G 4303のSUS403 b) JIS H 3250のC3771, C6800系又はC6932
6	めねじこま	a) JIS H 3250のC3771, C6800系又はC6932 b) JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911
7	こま	a) JIS H 3250のC3771, C6800系又はC6932b) JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911c) JIS G 4303のSUS304又はSUS403d) JIS G 5121のSCS2又はSCS13
8	弁箱	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
9	弁座 ^{a)}	JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911
10	弁体 ^{b)}	a) JIS G 5502のFCD400-15若しくはFCD450-10 b) JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911
11	ハンドル車	JIS G 5501のFC200
12	スリーブ	a) JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911 b) JIS H 5121のCAC406C, CAC411, CAC900C系又はCAC911C
13	ヨーク	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
14	パッキン押さえ ^{c)}	a) JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10 b) JIS G 4051のS25C c) JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911
15	ブシュ	a) JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911 b) JIS H 5121のCAC406C, CAC411C, CAC900C系又はCAC911C
16	弁箱ボルト・ナット	a) JIS G 3101のSS400 b) JIS G 3505のSWRM c) JIS G 3507-2のSWCH d) JIS G 4051のS25C e) JIS G 4303のSUS304又はSUS403

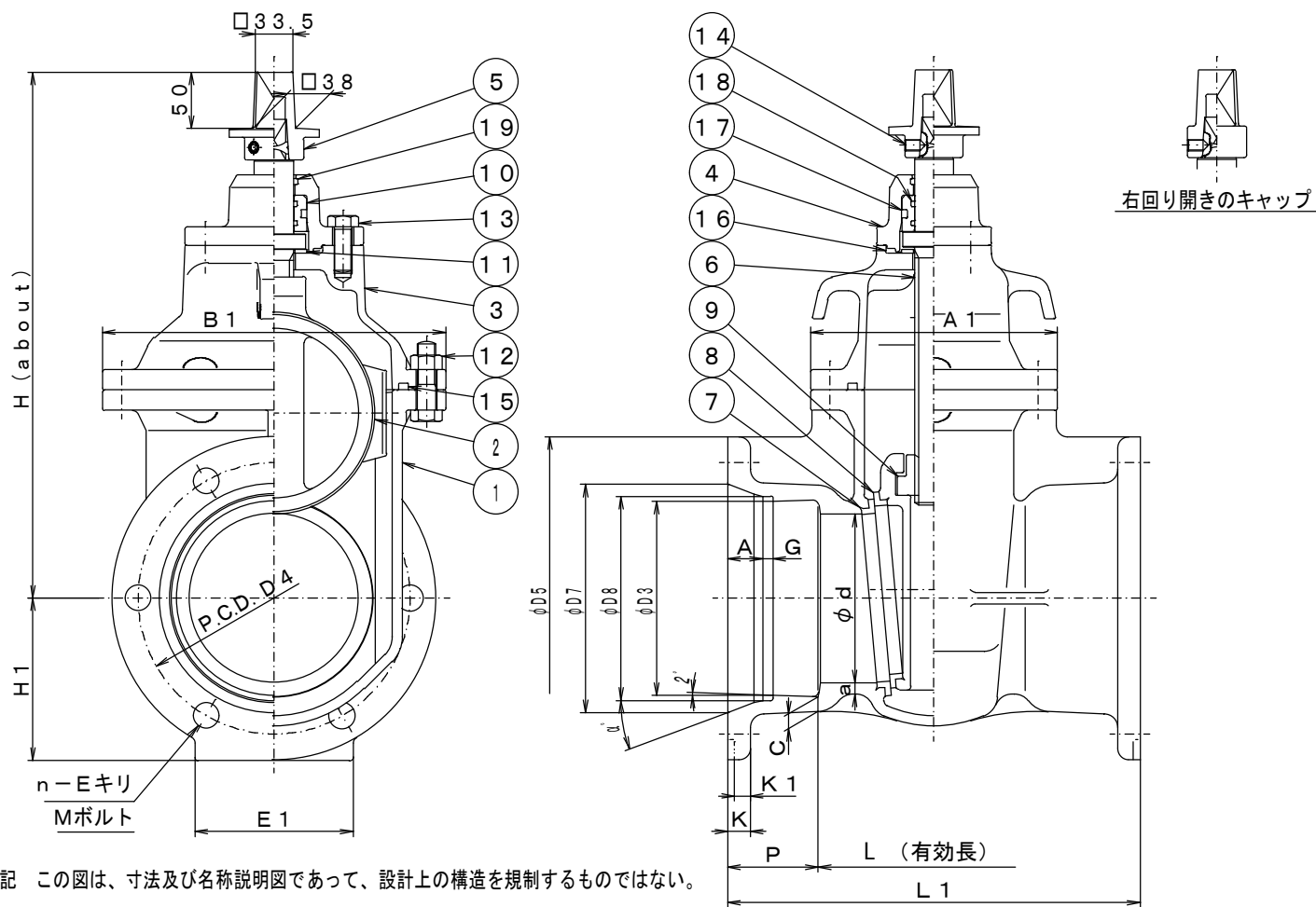
銅合金材料について、表面の鉛を除去するための処理を施してもよいが、処理に使用した用液の成分は残留してはならない。
 注記1 C6800系とは、ビニマス系鉛レス・カドミウムレス快削黄銅をいい、C6801又はC6803とする。
 注記2 CAC900系とは、ビニマス青銅鑄物をいい、CAC902又はCAC904とする。
 注記3 CAC900C系とは、ビニマス青銅連鑄物をいい、CAC902又はCAC904Cとする。
 注 a) 注文者の指定によって、JIS G 4303のSUS304、SUS403又はSUS420J2のいずれかを使用することができる。
 b) 弁体弁座と一体形の場合は、JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911とする。
 c) グランド式のパッキン押さえにJIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911を使用した場合は、ブシュを省略することができる。

図名	水道用ダクタイトル鋳鉄仕切弁		
制定	2015.	4.	1 整理
改定			番号 3-1-6

注記 この図は、名称説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

水道用ダクタイル鋳鉄仕切弁 (K形) 両受

構造、形状、寸法



注記 この図は、寸法及び名称説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

配管接合部の寸法は、JWWA G 114 水道用ダクタイル鋳鉄異形管のK形による。

呼び径	d	L	L1	D3	D4	D5	D7	D8	A	α	C	G	n	E	M	P	K	K1	a (最小)	H	H1	A1	B1	E1
75	75	150	310	96.5	159	197	127.0	105.5	31	20.5	12	9	4	19	M16	80	18	14	6	336	99	152	195	70
100	100	174	334	121.5	186	232	152.0	130.5	31	20.5	12	9	4	23	M20	80	19	14	6	391	116	163	225	90
150	150	206	366	172.5	241	287	203.0	181.5	31	20.5	13	9	6	23	M20	80	20	14	7	467	144	219	304	140
200	200	230	390	223.5	292	338	254.0	232.5	31	20.5	13	9	6	23	M20	80	21	15	8	549	169	236	358	180
250	250	250	410	275.1	348	394	305.6	284.1	31	20.5	13	9	8	23	M20	80	22	16	9	665	197	264	418	200
300	300	270	490	326.8	399	445	356.8	338.8	33	18.5	14	13	8	23	M20	110	23	17	9	747	223	286	492	240

塗装仕様 内面：エポキシ樹脂粉体塗装（灰色）
外面：合成樹脂塗装（黒色）

注：1) 呼び径75は、弁体弁座は無しとなります。

2) リブの有無及び、リブの形状は呼び径により異なります。

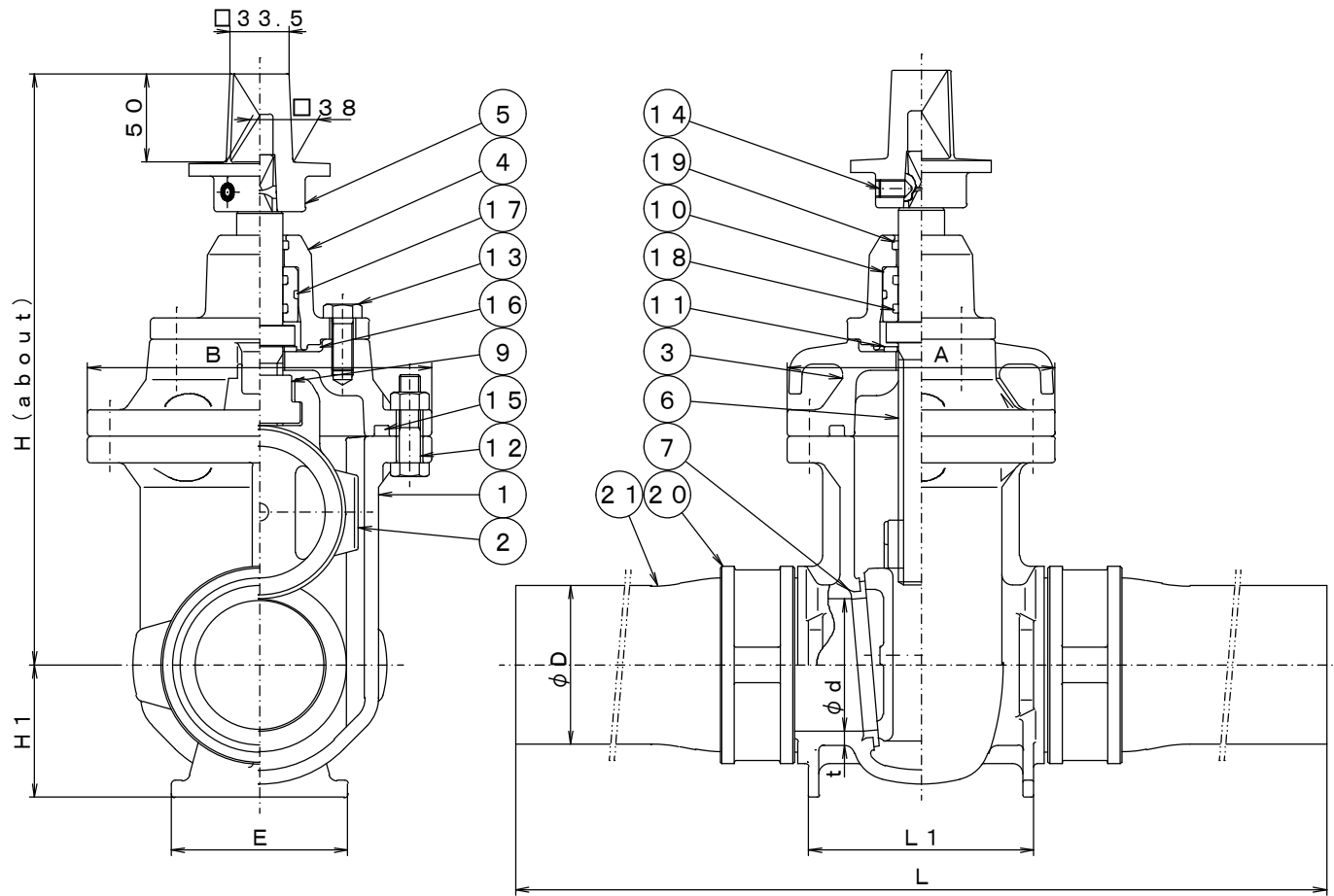
3) 本図は、代表呼び径150を示します。

品番	部品名	材質	個数	備考
1	弁箱	FCD450-10	1	
2	弁体	FCD450-10	1	呼び径75はCAC406
3	ふた	FCD450-10	1	
4	パッキン箱	FCD450-10	1	
5	キャップ	FCD450-10	1	
6	弁棒	C3771B	1	
7	弁箱弁座	CAC406	2	
8	弁体弁座	CAC406	2	
9	めねじこま	C3771B	1	呼び径250以上はCAC406
10	リングケース	C3771B	1	
11	スラストワッシャ	POM	1	
12	六角ボルト、ナット	SWRM	~set	
13	六角ボルト	SWRM	4	
14	六角穴付止めねじ	SUS304	1	
15	ガスケット	SBR/NR	1	
16	リング	NBR	1	
17	リング	NBR	1	
18	リング	NBR	2	
19	ダストシール	NBR	1	

※本市では、左回り開きを標準とする

図名	水道用ダクタイル鋳鉄仕切弁 (K形) 両受		
制定	2020.	7.	1
改定			
整理番号	3-1-7		

水道配水用ポリエチレン 挿し口付メタルシール仕切弁 構造、形状、寸法



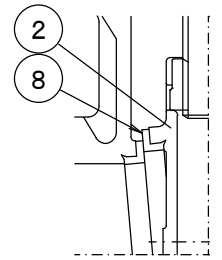
塗装仕様 内 面：エポキシ樹脂粉体塗装（灰色）
外 面：エポキシ樹脂粉体塗装（灰色）
キャップ：エポキシ樹脂粉体塗装（青色）

注：1）呼び径75mm以下は、弁体弁座は無しとなります。
2）呼び径50mmは、吊り下げフックは無しとなります。

品番	部品名	材質	個数	備考
1	弁箱	FCD450-10	1	
2	弁体	CAC406	1	100mm以上はFCD450-10
3	ふた	FCD450-10	1	
4	パッキン箱	FCD450-10	1	
5	キャップ	FCD450-10	1	
6	弁棒	C3771B	1	
7	弁箱弁座	CAC406	2	
8	弁体弁座	CAC406	2	
9	めねじこま	C3771B	1	
10	リングケース	C3771B	1	
11	スラストワッシャ	POM	1	
12	六角ボルト、ナット	SUS304	~set	座金付
13	六角ボルト	SUS304	4	座金付
14	六角穴付止めねじ	SUS304	1	
15	ガスケット	SBR/NR	1	
16	リング	NBR	1	
17	リング	NBR	1	
18	リング	NBR	2	
19	ダストシール	NBR	1	
20	外リング	SCS13	2	
21	ポリエチレン管	PE100	2	

注記 この図は、寸法及び名称説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

呼び径	d	D	L	L1	t (最小)	H	H1	A	B	E	
50	50	63	680	+3.0	128	6	285	60	144	164	100
75	75	90	780	0	128	6	336	75	152	195	100
100	100	125	860	+4.0	128	6	391	90	163	225	100
150	150	180	1020	0	130	7	467	120	219	304	150



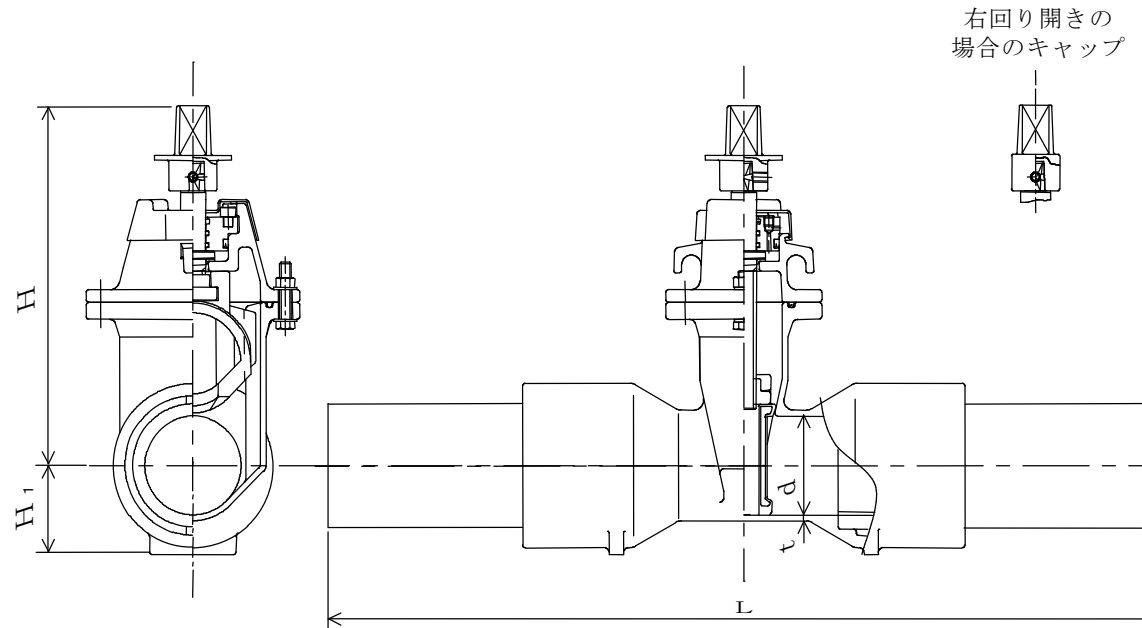
呼び径100以上

※本市では、左回り開きを標準とする

図名	水道配水用ポリエチレン 挿し口付メタルシール仕切弁			
制定	2020.	7.	1	整理
改定				番号
				3-1-8

水道配水用ポリエチレン 挿し口付きソフトシル仕切弁

形状、寸法及び回転数



単位：mm

呼び径	全長		口径 d	厚さ (最小) t	高さ(最大) H		台座 からの 高さ H1 (参考)	弁棒	
					開度計 なし	開度計 付		回転数 (全開～ 全閉)	回転数 の 許容差
	L	許容差							
50	680	±50	50	6	300	330	50	13	+3 0
75	780	±50	75	6	330	370	70	13	
100	860	±60	100	6	375	420	90	17	

注記1 この図は寸法説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

注記2 口径は、JIS B 2001による。

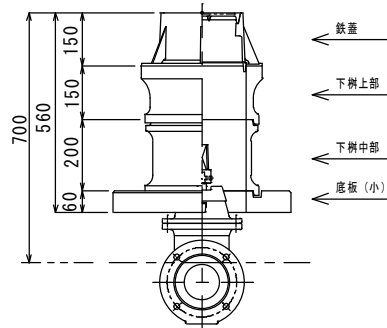
注記3 キャップの寸法は、JWWA Z 103による。

※本市では、左回り開きのキャップを標準とする。

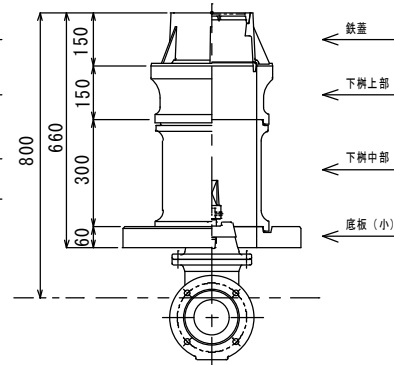
図名	水道配水用ポリエチレン 挿し口付きソフトシル仕切弁				
制定	2015.	4.	1	整理	3-1-9
改定	2022.	5.	13	番号	

仕切弁BOX組合せ図(呼び径φ50~100)

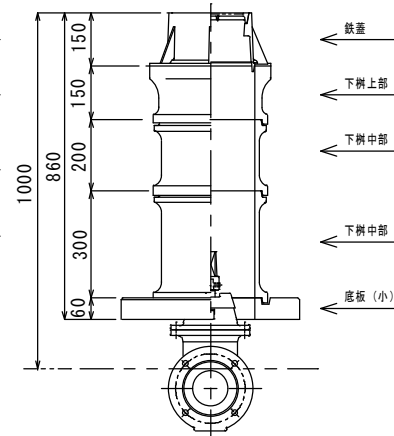
土被りH=700



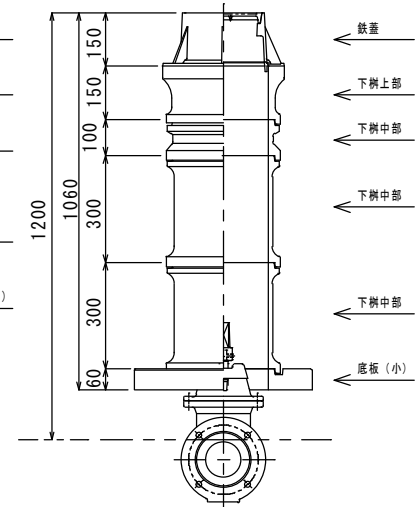
土被りH=800



土被りH=1000



土被りH=1200

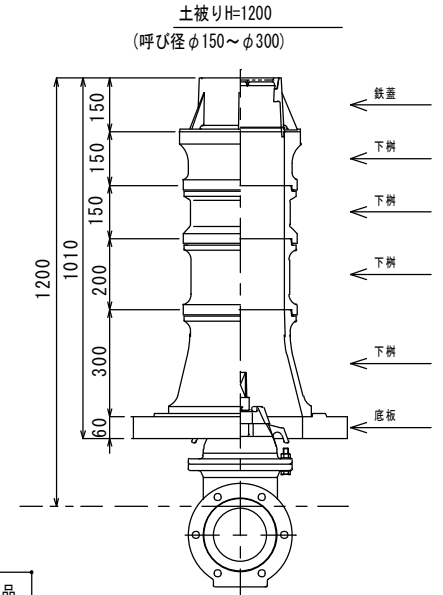
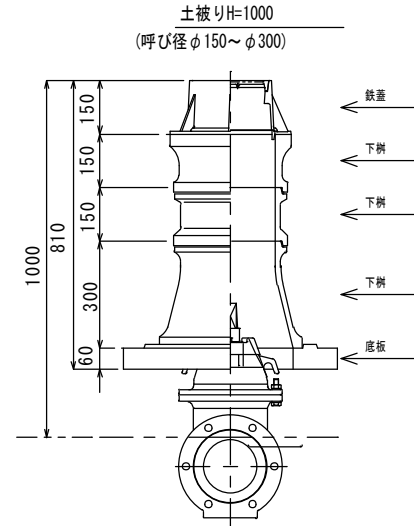
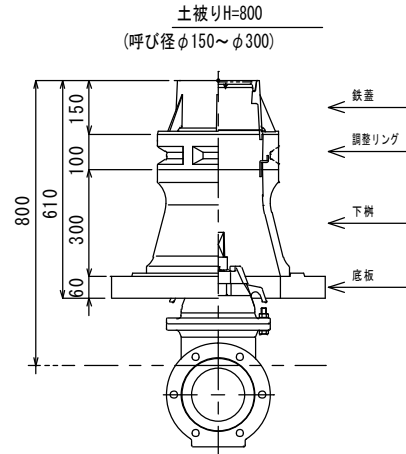
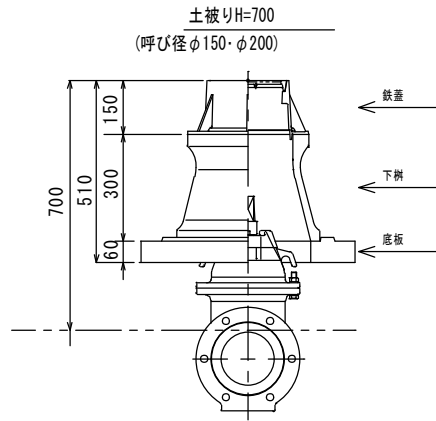


仕切弁BOX組合せ表(呼び径φ50~100) レジコンクリート製

土被り	鉄蓋 φ250 H=150	レジコン 弁室上部 H=150	レジコン 弁室中部 H=100	レジコン 弁室中部 H=200	レジコン 弁室中部 H=300	コンクリート 底板(小) H=60	製品高さ
700	1	1		1		1	560
800	1	1			1	1	660
1000	1	1		1	1	1	860
1200	1	1	1		2	1	1060

図名	仕切弁室組合せ(φ50~100)			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				3-1-10

仕切弁BOX組合せ図(φ150~300)



仕切弁BOX組合せ表(呼び径φ150以上)レジンコンクリート製

土被り	呼び径	バルブ種類	鉄蓋	調整リング	調整リング	調整リング	レジン下樹	レジン下樹	レジン下樹	レジン下樹	レジン下樹	レジン下樹	レジン下樹	レジン下樹	レジン下樹	製品高さ	
			φ250×150H	H=30 (プラ製)	H=50 (プラ製)	H=100 (レジン製)	上・下部 H=150	上・下部 H=300	上部 H=150	中部 H=100	中部 H=150	中部 H=200	中部 H=300	下部 H=300	コンクリート 底板(大) H=60		
700	150		1				1								1	510	
	200		1												1	460	
800	150		1			1									1	610	
	200		1	1											1	560	
	250	JWWA B120浅埋型ソフト	1													1	510
		JWWA B122 浅埋型鑄鉄	1			1	1									1	460
	300	JWWA B120浅埋型ソフト	1			1	1									1	460
		JWWA B122 浅埋型鑄鉄	1	1			1									1	390
1000	150		1						1		1			1	1	810	
	200		1						1	1				1	1	760	
	250	JWWA B120浅埋型ソフト	1		1					1					1	1	710
		JWWA B122 浅埋型鑄鉄	1							1					1	1	660
	300	JWWA B120浅埋型ソフト	1							1					1	1	660
		JWWA B122 浅埋型鑄鉄	1			1		1							1	1	610
1200	150		1						1		1			1	1	1010	
	200		1						1					1	1	960	
	250	JWWA B120浅埋型ソフト	1							1	1	1			1	1	910
		JWWA B122 浅埋型鑄鉄	1							1		1			1	1	860
	300	JWWA B120浅埋型ソフト	1							1		1			1	1	860
		JWWA B122 浅埋型鑄鉄	1	1						1	1				1	1	790

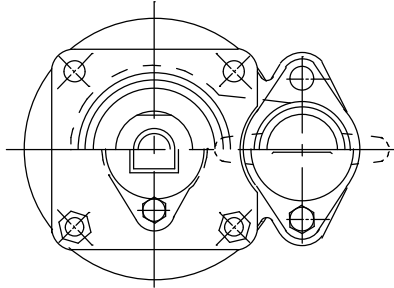
図名	仕切弁室組合せ(φ150~300)			
制定	2015.	4.	1	整理番号
改定	2020.	7.	1	3-1-11

水道用地下式消火栓（単口）

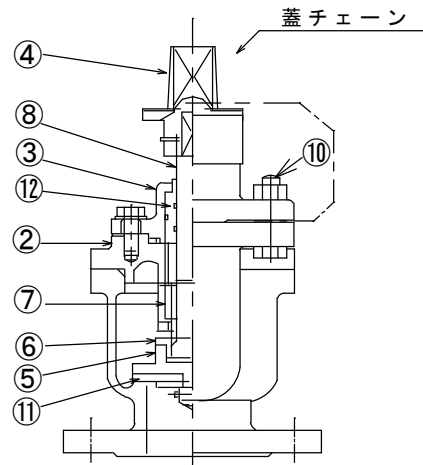
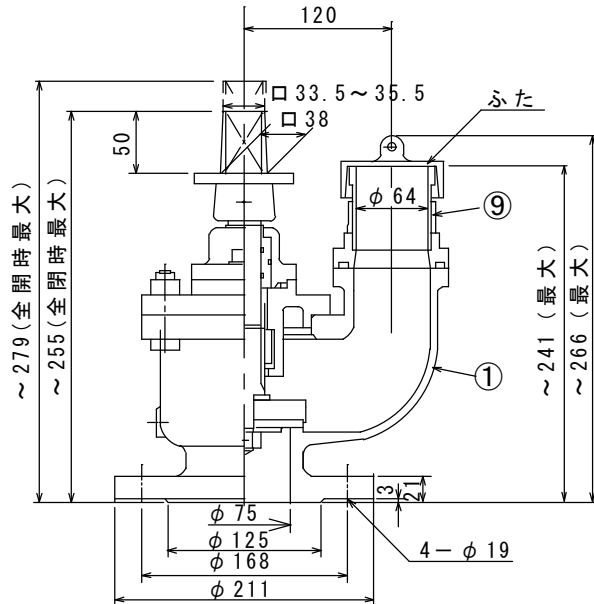
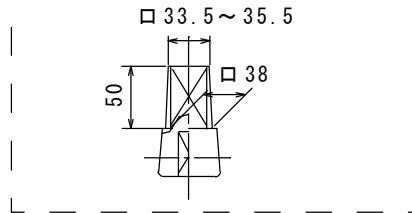
単口

構造、形状、寸法及び材料

※左回り開きの場合のキャップ



右回り開きの場合のキャップ



フランジのボルト穴の配置は、フランジ面の中心線に対し、振分けとする。
キャップ寸法は、JWWA Z 103による。

番号	部品名称	材料
1	弁箱	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
2	弁箱蓋	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
3	パッキン箱	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
4	キャップ	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
5	弁体	JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911
6	弁押え	JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911
7	めねじこま	a) JIS H 3250のC3771, C6800系又はC6932 b) JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911
8	弁棒	a) JIS H 3250のC3771, C6800系又はC6932 b) JIS G 4303のSUS304又はSUS403
9	口金	整理番号3-2-2による
10	六角ボルト・ナット	JIS G 4303のSUS304
11	弁座	JWWA K 156のⅢ類75のNBR又はSBR
12	パッキン	JIS B 2401-1のNBR

注記1 CAC900系とは、ビニマス青銅鑄物をいい、CAC902又はCAC904とする。
注記2 C6800系とは、ビニマス系鉛レス・カドミウムレス快削黄銅をいい、C6801又はC6803とする。

※本市では、左回り開きのキャップを標準とする。

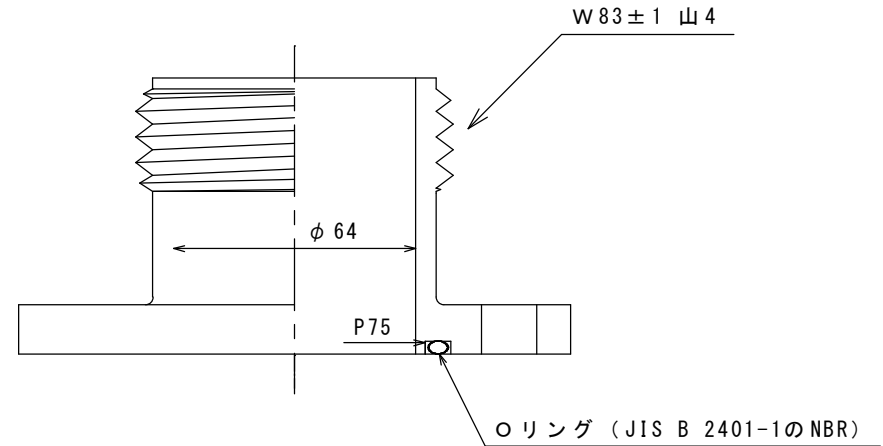
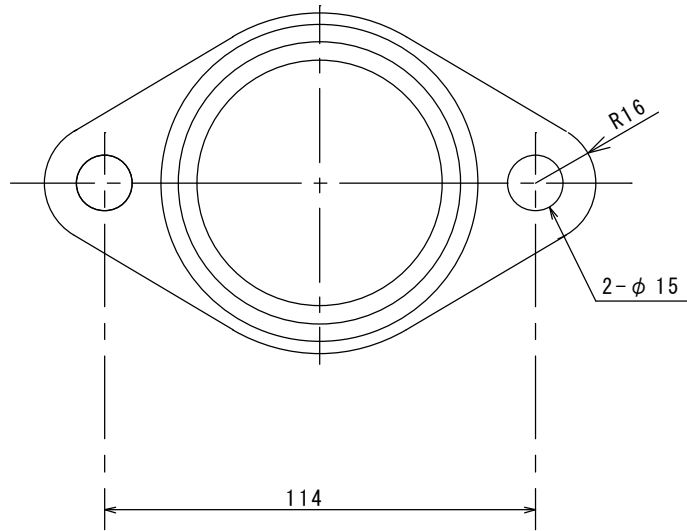
注記 この図は、名称及び寸法説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。
また、寸法についてはメーカーごとに異なります。

図名	水道用地下式消火栓（単口）			
制定	2015.	4.	1	整理番号
改定	2020.	7.	1	3-2-1

水道用地下式消火栓 (単口用口金) : 鹿児島市型

構造、形状、寸法及び材料

単口用口金



(口金材料)

- a) JIS H 3250のC3771, C6800系又はC6932
- b) JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911
- c) JIS G 5121のSCS13

注記1 CAC900系とは、ビニマス青銅鑄物をいい、CAC902又はCAC904とする。

注記2 C6800系とは、ビニマス系鉛レス・カドミウムレス快削黄銅をいい、C6801又はC6803とする。

注記 この図は、名称及び寸法説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

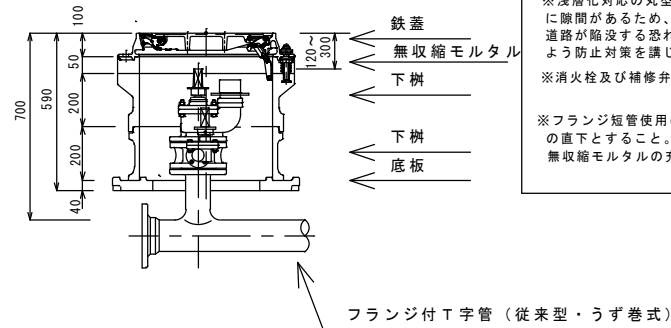
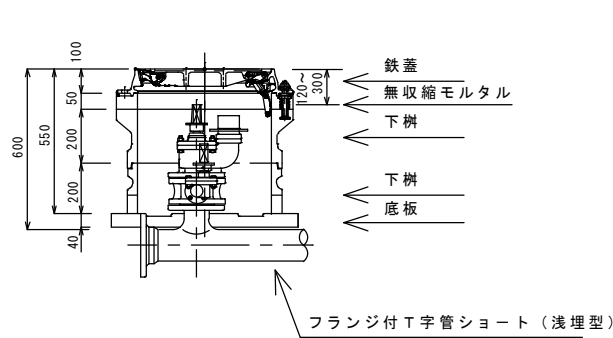
図名	水道用地下式消火栓 (単口用口金) : 鹿児島市型				
制定	2015.	4.	1	整理	3-2-2
改定	2019.	4.	1	番号	

消火栓(単口)BOX組合せ図

消火栓鉄蓋φ500

土被りH=700(75mm以外)

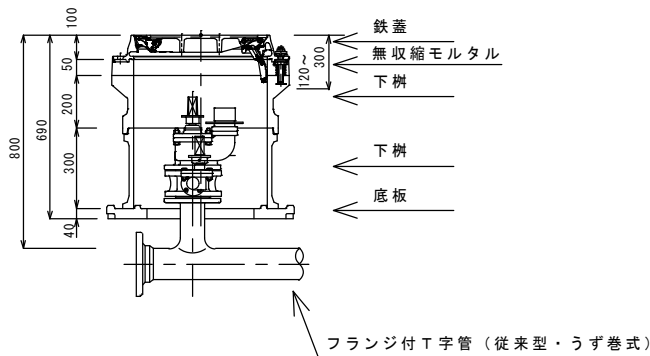
土被りH=700(75mmのみ)



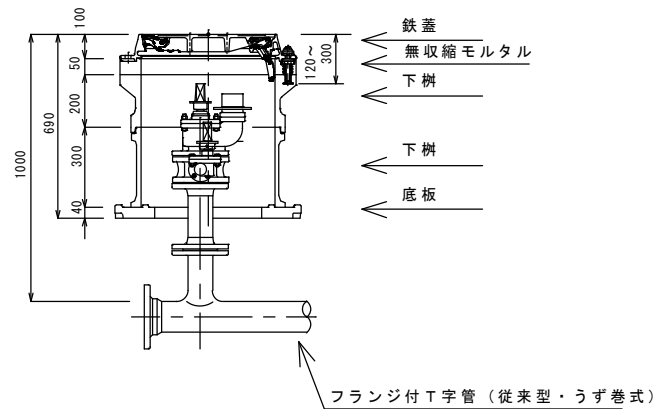
※緑番位置は、スピンドル及び消火栓操作等に支障(緩衝)とならない位置とする。
 ※浅層化対応の丸型消火栓(空気弁)室については、室の構造上、室と底板との間に隙間があるため、洗濯や吸出しにより室廻りの土砂が室内に流入し、室廻りの道路が陥没する恐れがあるため、土のう袋等を利用して土砂が室内に流入しないよう防止対策を講ずること。
 ※消火栓及び補修弁は開閉操作に支障のないように設置すること。

※フランジ短管使用の際の消火栓の補修弁位置は、日常の維持管理等を考慮し消火栓の直下とすること。
 無収縮モルタルの充填高さは50mmを標準とする。

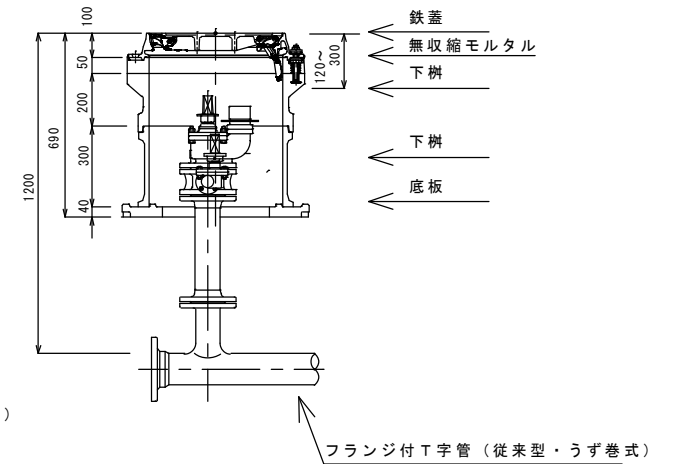
土被りH=800



土被りH=1000



土被りH=1200



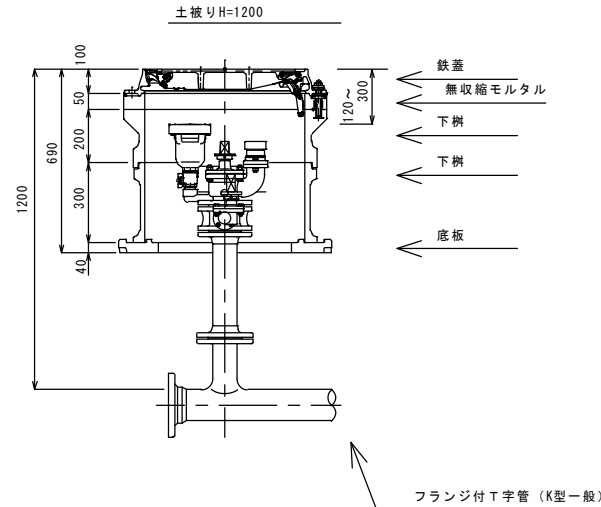
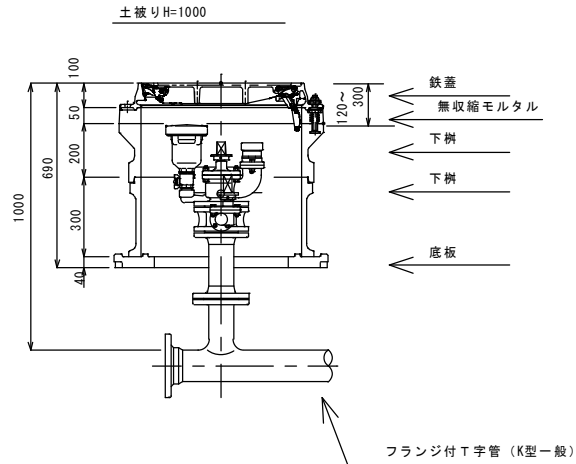
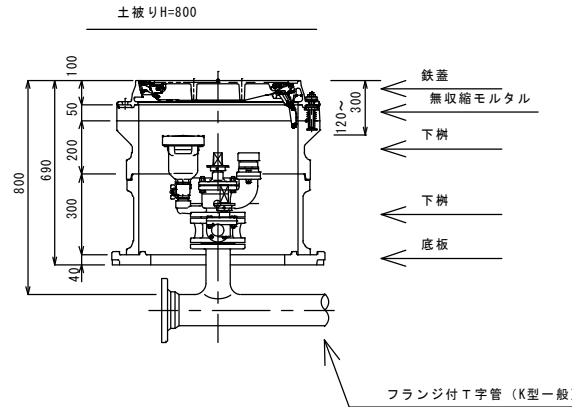
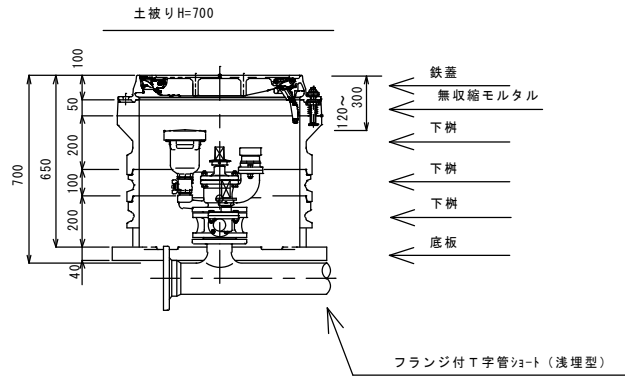
消火栓(単口)BOX組合せ表

土被り	鉄蓋 φ500 H=100	無収縮 モルタル H=50	レジコン下樹 上部 H=200	レジコン下樹 中部 H=100	レジコン下樹 下部 H=200	レジコン下樹 下部 H=300	レジコン 底板 H=40	レジコン下樹 下部 浅埋用穴付 H=200	レジコン底板 (2分割タイプ) H=40	製品 高さ	設置条件
700(75mmのみ)	1	1	1					1	1	550	
700(75mm以外)	1	1	1		1		1			590	
800	1	1	1			1	1			690	
1000	1	1	1			1	1			690	
1200	1	1	1			1	1			690	

図名	消火栓(単口)室組合せ 消火栓鉄蓋φ500		
制定	2015. 4. 1	整理 番号	3-2-3
改定			

空気弁付消火栓BOX組合せ図

消火栓鉄蓋φ600



※蝶番位置は、スピンドル及び消火栓操作等に支障(緩衝)とならない位置とする。
 ※浅層化対応の丸型消火栓(空気弁)室については、室の構造上、室と底板との間に隙間があるため、洗濯や吸出しにより室廻りの土砂が室内に流入し、室廻りの道路が陥没する恐れがあるため、土のう袋等を利用して土砂が室内に流入しないよう防止対策を講じること。
 ※消火栓及び補修弁は開閉操作に支障のないように設置すること。
 ※フランジ短管使用の際の消火栓の補修弁位置は、日常の維持管理等を考慮し消火栓の直下とすること。
 無収縮モルタルの充填高さは50mmを標準とする。

空気弁付消火栓BOX組合せ表

土被り	鉄蓋 φ600 H=100	無収縮 モルタル H=50	レジコン下樹 上部 H=200	レジコン下樹 中部 H=100	レジコン下樹 下部 H=200	レジコン下樹 下部 H=300	レジコン 底板 H=40	レジコン下樹 下部 浅埋用付付 H=200	レジコン底板 (2分割タイプ) H=40	製品 高さ	設置条件
700	1	1	1	1				1	1	650	
800	1	1	1			1	1			690	
1000	1	1	1			1	1			690	
1200	1	1	1			1	1			690	

図名	空気弁付消火栓室組合せ 消火栓鉄蓋φ600		
制定	2015. 4. 1	整理	3-2-4
改定		番号	

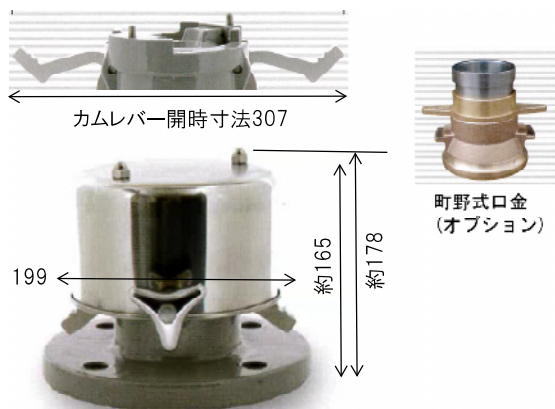
水道用急速空気弁

(簡易分解・消火栓ホース連結可能、フランジ一体型)

◎カムレバーロック式急速空気弁

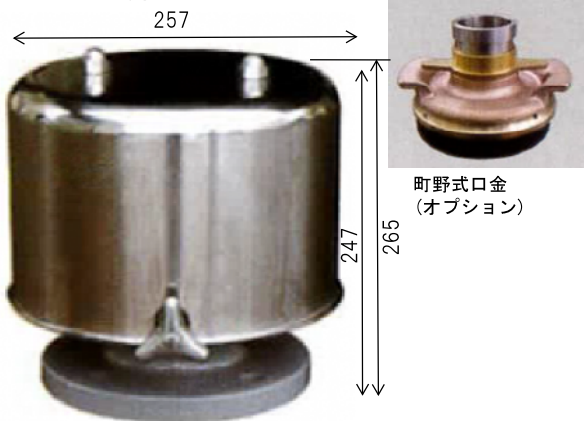
協和工業：カマンエア、前澤工業

- A165型 (φ 25) : 2種、フランジ (φ 75)



- A75-247型 (φ 75) : 2種、フランジ (φ 75・φ 100)

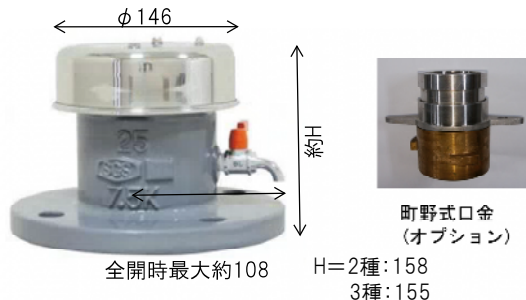
※カムレバー開時寸法380



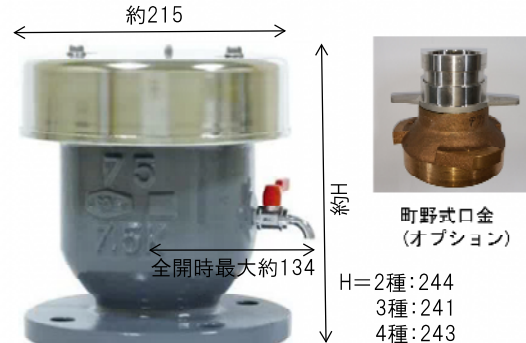
◎水道用急速空気弁 簡易分解式

清水合金製作所：ラクエア

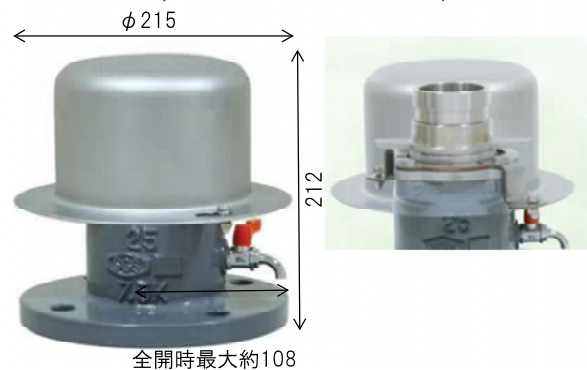
- φ 25 : 2・3種、フランジ (φ 75)



- φ 75 : 2・3・4種、フランジ (φ 75)



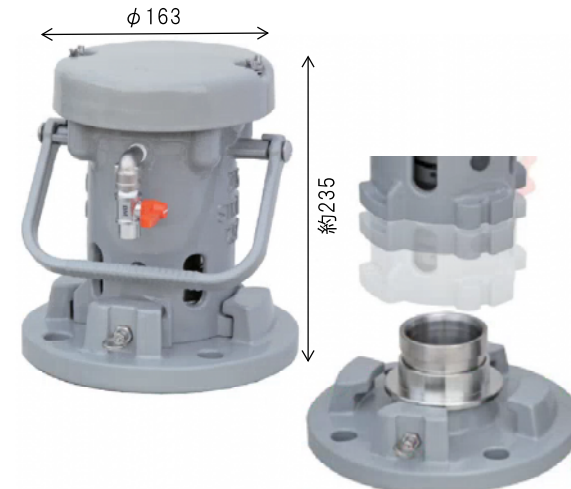
- 口金内蔵型 (φ 25) : 2種、フランジ (φ 75)



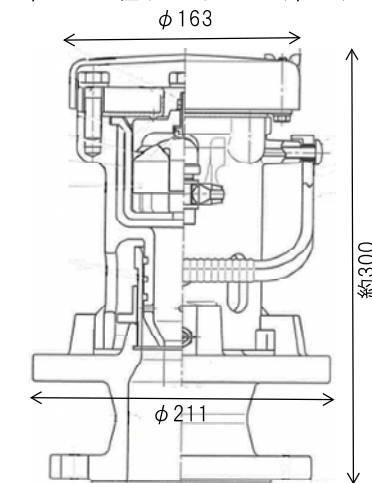
◎口金内蔵型急速空気弁

角田鉄工：マチノエア

- φ 25 : 2種、フランジ (φ 75)



- φ 25 : 3種、フランジ (φ 75)

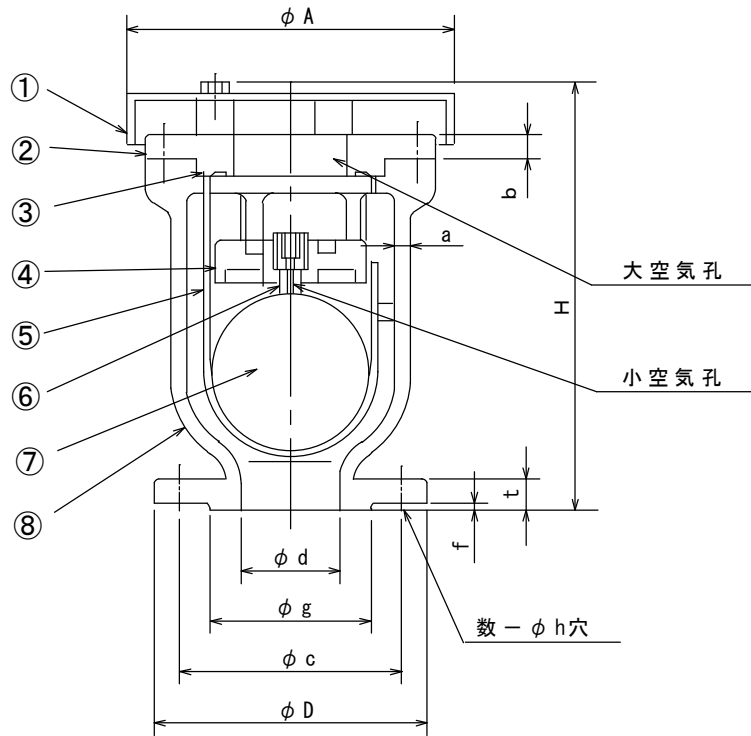


図名	水道用急速空気弁 (簡易分解・消火栓ホース連結可能、フランジ一体型)		
制定	2015.	4.	1 整理
改定	2019.	4.	1 番号
			3-3-1

水道用急速空気弁

構造、形状、寸法及び材料

フランジ形



番号	部品名称	材料
1	カバー	a) JIS G 5501のFC200又はFC250 b) JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
2	蓋	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10 (d)
3	大空気孔弁座	JWWA K 156のⅠ類AのSBR又はNBR (e)
4	遊動弁体	a) JIS K 6740-1の無可塑ポリ塩化ビニル (PVC-U) b) JIS K 6921-1のPP (ポリプロピレン) 樹脂 c) JIS K 6922-1のPE (ポリエチレン) 樹脂 d) JIS K 6934-1のABC (アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン) 樹脂
5	フロート弁体案内	a) JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911 b) JIS K 6740-1の無可塑ポリ塩化ビニル (PVC-U) c) JIS K 6922-1のPE (ポリエチレン) 樹脂、d) JIS K 6934-1のABC (アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン) 樹脂 e) 不飽和ポリエステル樹脂
6	小空気孔弁座	JWWA K 156のⅠ類A又はⅢ類のSBR又はNBR (e)
7	フロート弁体	a) JIS G 4304又はJIS G 4305のSUS316 (呼び径150以上に限る) b) JIS K 6934-1のABS (アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン) 樹脂 c) 発泡エポナイト又は発泡ゴム
8	弁箱	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10 (d)
9	ボール弁又は栓	a) JIS G 5121のSCS13 b) JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911
10	フランジ	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10 (d)

銅合金材料は、表面の鉛を除去するための処理を施してもよいが、処理に使用した用液の成分は残留してはならない。
 注記 CAC900系とは、ピニマス青銅鑄物をいい、CAC902又はCAC904とする。
 注 d) 注文者の指定によって、2種はJIS G 5501のFC200又はFC250のいずれかを使用することができる。
 e) 物性はJWWA K 156の6.1(物性)、浸出性はこの規格の附属書Bによる。

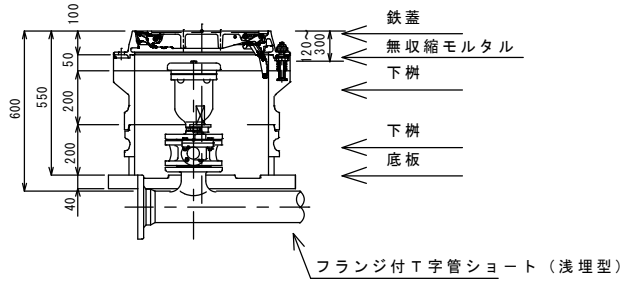
備考 この図は、名称説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

図名	水道用急速空気弁		
制定	2015.	4.	1 整理
改定			番号 3-3-2

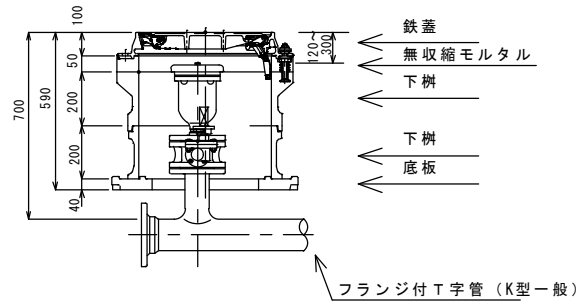
空気弁室 組合せ図

空気弁鉄蓋φ500

土被りH=700(75mmのみ)

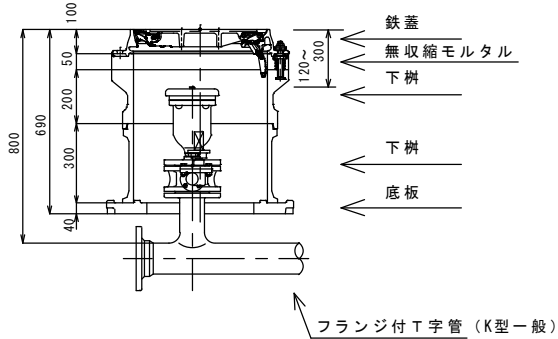


土被りH=700(75mm以外)

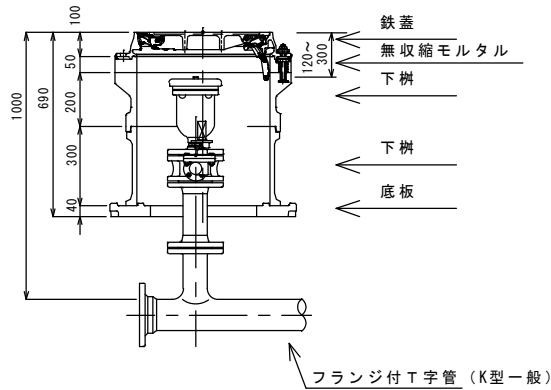


※螺番位置は、スピンドル及び消火栓操作等に支障（緩衝）とならない位置とする。
 ※空気弁及び補修弁は開閉操作に支障のないように設置すること。
 ※フランジ短管使用の際の空気弁の補修弁位置は、日常の維持管理等を考慮し空気弁の直下とすること。

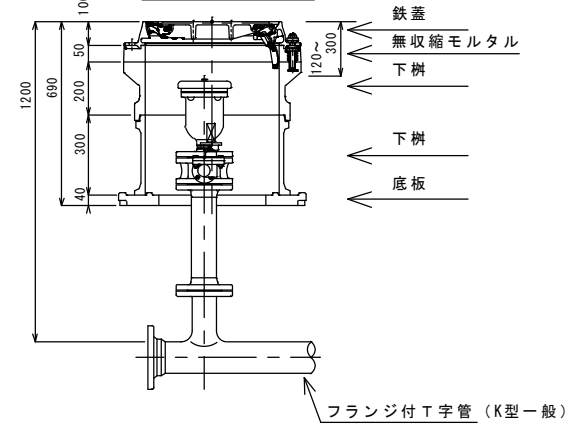
土被りH=800



土被りH=1000



土被りH=1200



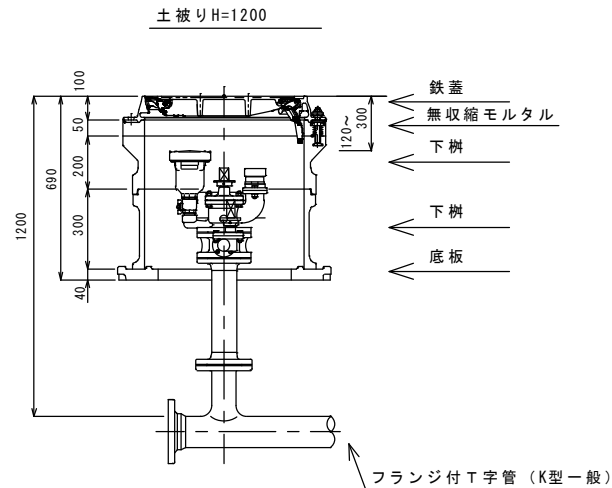
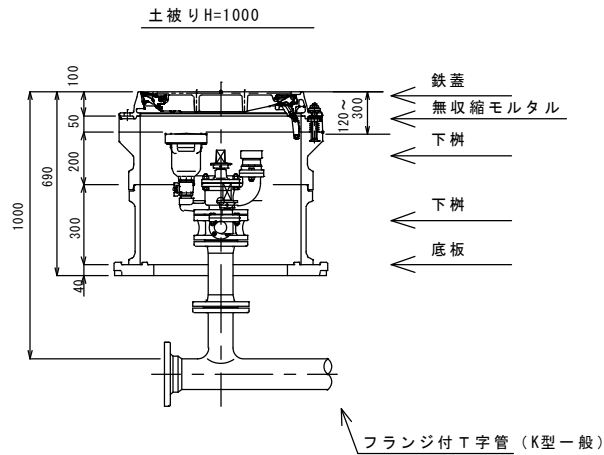
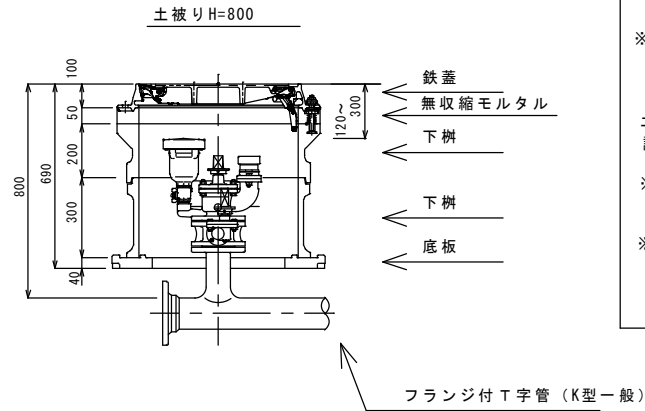
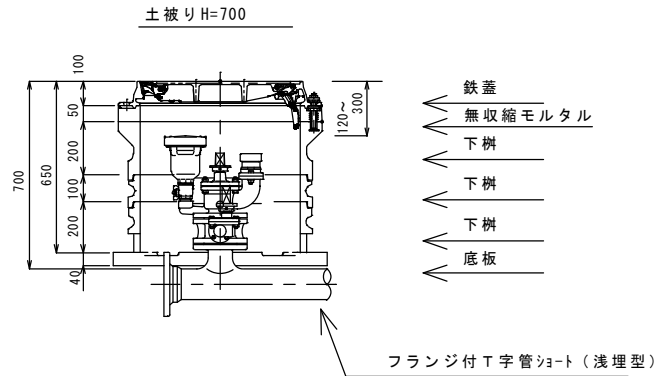
空気弁BOX組合せ表

土被り	鉄蓋 φ500 H=100	無収縮 モルタル H=50	レジコン下樹 上部 H=200	レジコン下樹 中部 H=100	レジコン下樹 下部 H=200	レジコン下樹 下部 H=300	レジコン 底板 H=40	レジコン下樹 下部 浅埋用穴付 H=200	レジコン底板 (2分割タイプ) H=40	製品 高さ	設置条件
700(75mmのみ)	1	1	1					1	1	550	
700(75mm以外)	1	1	1		1		1			590	
800	1	1	1			1	1			690	
1000	1	1	1			1	1			690	
1200	1	1	1			1	1			690	

図名	空気弁室組合せ 空気弁鉄蓋φ500		
制定	2015. 4. 1	整理 番号	3-3-3
改定			

消火栓付空気弁室組合せ図

空気弁鉄蓋φ600



※ 蝶番位置は、スピンドル及び消火栓操作等に支障（緩衝）とならない位置とする。

※ 浅層化対応の丸型空気弁（消火栓）室については、室の構造上、室と底板との間に隙間があるため、洗掘や吸出しにより室廻りの土砂が室内に流入し、室廻りの道路が陥没する恐れがあるため、土のう袋等を利用して土砂が室内に流入しないよう防止対策を講じること。

※ 消火栓及び補修弁は開閉操作に支障のないように設置すること。

※ フランジ短管使用の際の消火栓の補修弁位置は、日常の維持管理等を考慮し消火栓の直下とすること。
無収縮モルタルの充填高さは50mmを標準とする。

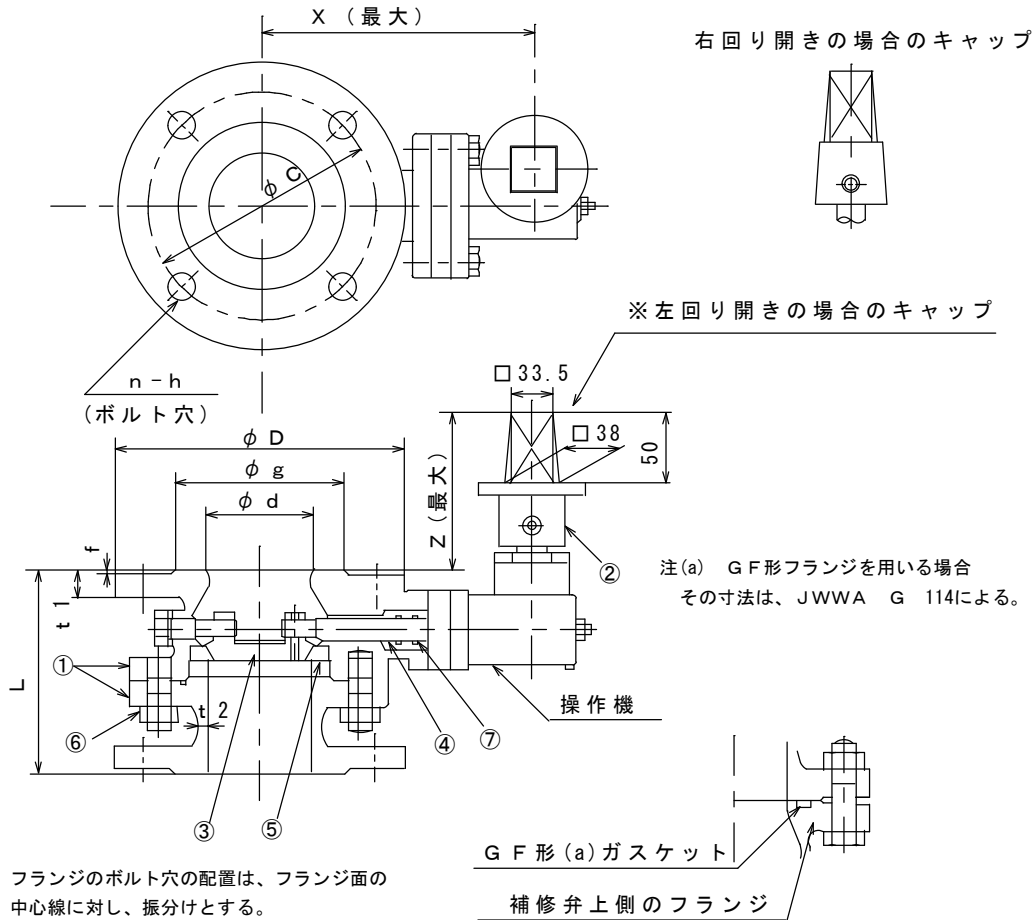
空気弁付消火栓BOX組合せ表

土被り	鉄蓋 φ600 H=100	無収縮 モルタル H=50	レジコン下拵 上部 H=200	レジコン下拵 中部 H=100	レジコン下拵 下部 H=200	レジコン下拵 下部 H=300	レジコン 底板 H=40	レジコン下拵 下部 浅埋用穴付 H=200	レジコン底板 (2分割タイプ) H=40	製品 高さ	設置条件
700	1	1	1	1				1	1	650	
800	1	1	1			1	1			690	
1000	1	1	1			1	1			690	
1200	1	1	1			1	1			690	

図名	消火栓付空気弁室組合せ 空気弁鉄蓋φ600		
制定	2015. 4. 1	整理 番号	3-3-4
改定			

水道用補修弁

キャップ式バタフライ弁の構造、形状、材料及び寸法



部品番号	部品名称	材料
1	弁箱	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
2	キャップ	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
3	弁体 ^{b)}	a) JIS G 5502のFCD400-15、FCD450-10 b) JIS H 5120のCAC406, CAC411, CAC900系又はCAC911
4	弁棒	a) JIS H 3250のC3771, C6782, C6800系又はC6932 b) JIS G 4303のSUS304又はSUS403
5	弁座	a) JWVA K 156の水道施設用ゴム b) JIS K 7137-1のPTFE (ポリテトラフルオロエチレン) 樹脂
6	ボルト・ナット	JIS G 4303のSUS304, SUS403
7	Oリング	JIS B 2401-1のNBR又はSBR

銅合金材料は、表面の鉛を除去するための処理を施してもよいが、処理に使用した用液の成分は残留してはならない。
 注記3 CAC900系とは、ビニマス青銅鋳物をいい、CAC902又はCAC904とする。
 注記4 C6800系とは、ビニマス系鉛レス・カドミウムレス快削黄銅をいい、C6801又はC6803とする。
 注 b) 弁体の材料にFCD400-15又はFCD450-10を使用した場合は、弁体の全表面にJIS H 8615の工業用クロムめっきを施す。

フランジのボルト穴の配置は、フランジ面の中心線に対し、振分けとする。

注記1 この図は、名称及び寸法説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。
 注記2 キャップの寸法は、JWWA Z 103による。

2 種

単位：mm

呼び径	口径 d	面間 寸法 L (c)	フランジ寸法						厚さ (最小)		高さ及び長さ (最大)		
			外径 D	ガスケット 座外径 G	ボルト穴			ボルト の呼び	t1	f	t2	X	Z
					中心円 の径 c	数 n	穴径 h (d)						
75	75	150	211	125	168	4	19	M16	21	3	6	260	180
100	100	200	238	152	195	4	19	M16	21	3	7	300	180

面間寸法100mmの補修弁と異形管（フランジ付きT字管）との接合用フランジボルトはM16×65を使用し、異形管側からフランジボルトを差し込むものとする。

注(c) 注文者の指定によって、呼び径75の面間寸法Lは100、200又は300に、呼び径100のLは150又は

300とすることができる。

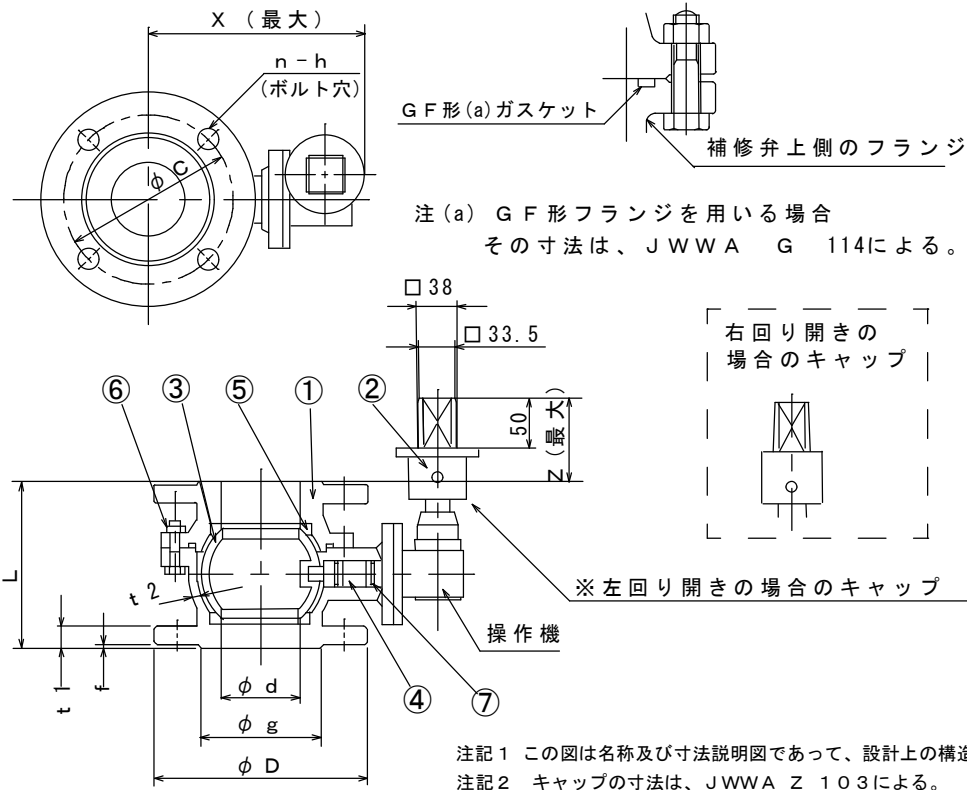
(d) フランジのボルト穴は、ボルトの呼びのねじ穴にすることができる。

※本市では、左回り開きのキャップを標準とする。

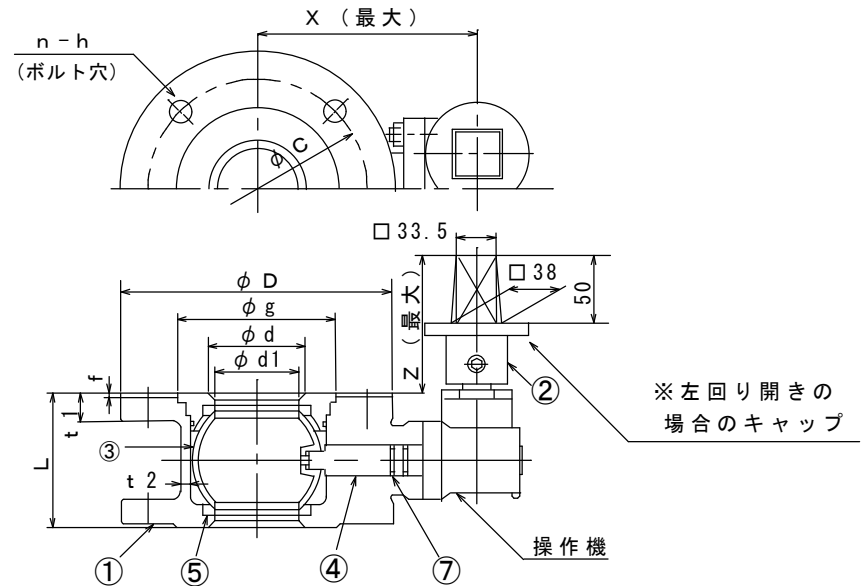
図名	水道用補修弁 (キャップ式バタフライ弁)		
制定	2015. 4. 1	整理	3-4-1
改定		番号	

水道用補修弁

キャップ式ボール弁の構造、形状、材料及び寸法



2種 呼び径75、面間寸法L=100mmの形状



部品番号	部品名称	材料
1	弁箱	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
2	キャップ	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
3	弁体	a) JIS H 5120のCAC406, CAC203, CAC411, CAC900系又はCAC911 b) JIS G 4303のSUS304 c) JIS G 5121のSCS13 d) JIS K 6934-1のABS(アクリロニトリルブタジエン・スチレン) 樹脂
4	弁棒	a) JIS H 3250のC3771, C6782, C6800系又はC6932 b) JIS G 4303のSUS304, SUS403
5	弁座	a) JWWA K 156の水道施設用ゴム b) JIS K 7137-1のPTFE(ポリテトラフルオロエチレン) 樹脂
6	ボルト・ナット	JIS G 4303のSUS304, SUS403
7	Oリング	JIS B 2401-1のNBR

備考 銅合金材料は、表面の鉛を除去するための処理を施してもよいが、処理に使用した用液の成分は残留してはならない。
注記3 CAC900系とは、ビニマス青銅物をいい、CAC902又はCAC904とする。
注記4 C6800系とは、ビニマス系鉛レス・カドミウムレス快削黄銅をいい、C6801又はC6803とする。

2種

単位：mm

呼び径	口径		面間寸法 L (b)	フランジ寸法						厚さ		高さ及び長さ (最大)		
	d	d1 (最小)		外径 D	ガスケット 座外径 g	ボルト穴			厚さ		t2	X	Z	
	中心円の径 c					数 n	穴径 h (c)	ボルトの呼び	t1	f				
75	75	57	100	211	125	168	4	19	M16	21	3	6	250	155
75	75	—	150	211	125	168	4	19	M16	21	3	6	250	130
100	100	—	200	238	152	195	4	19	M16	21	3	7	270	140

面間寸法100mmの補修弁と異形管（フランジ付きT字管）との接合用フランジボルトはM16×65を使用し、異形管側からフランジボルトを差し込むものとする。

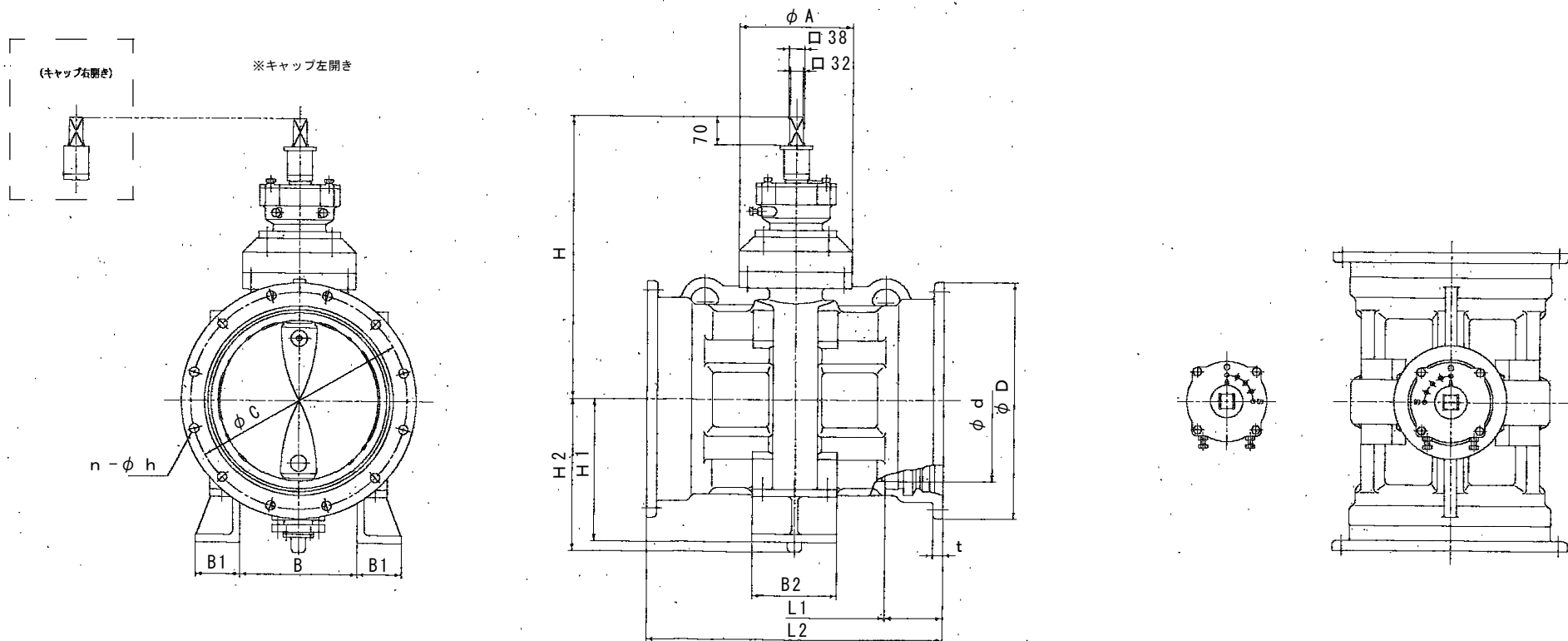
注b) 注文者の指定によって、呼び径75の面間寸法Lは150に代えて200、300又は400に、呼び径100のLは250、300又は400とすることができる。

c) フランジのボルト穴は、ボルトの呼びのねじ穴にすることができる。

※本市では、左回り開きのキャップを標準とする。

図名	水道用補修弁 (キャップ式ボール弁)		
制定	2015.	4.	1
改定			
整理番号	3-4-2		

水道用耐震NS形バタフライ弁 (センターキャップ)



外形寸法

単位：mm

記号 呼び径 (d)	L1	L2	D	t	C	B	B1	B2	n	h	A		H			
											2種	3種	H1	H2	2種	3種
400	450	736	582	25	536	290	110	210	12	23	280	280	350	374	698	698
450	470	756	633	26	587	340	110	210	12	23	280	280	375	411	733	733
500	460	762	700	27	654	350	135	240	14	23	280	280	400	441	763	763
600	480	782	804	28	758	450	135	240	14	23	340	340	450	507	869	869
700	520	894	930	29	876	510	155	290	16	27	340	340	500	576	934	934
800	540	930	1039	30	985	610	155	290	20	27	340	340	550	641	1036	1036
900	600	990	1164	31	1098	660	190	320	20	33	340	450	600	705	1111	1350
1000	840	1244	1273	32	1207	760	190	320	20	33	450	450	650	770	1415	1415

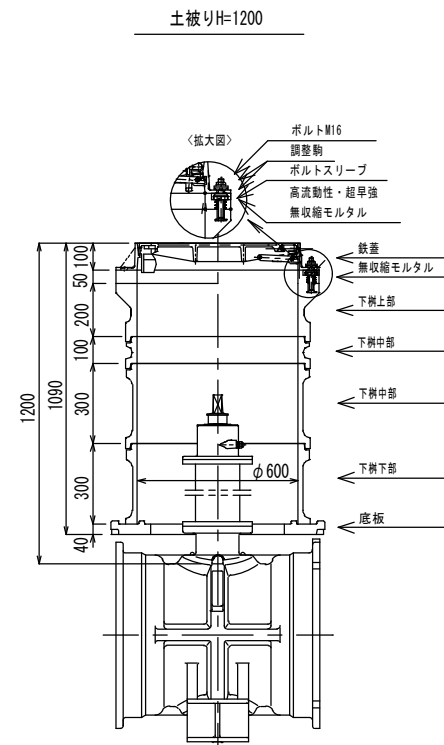
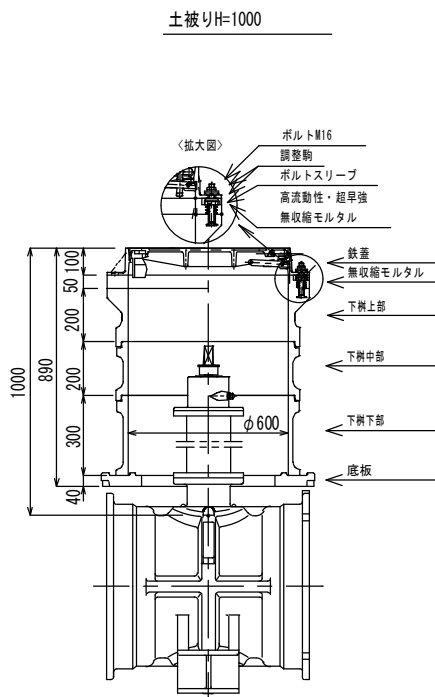
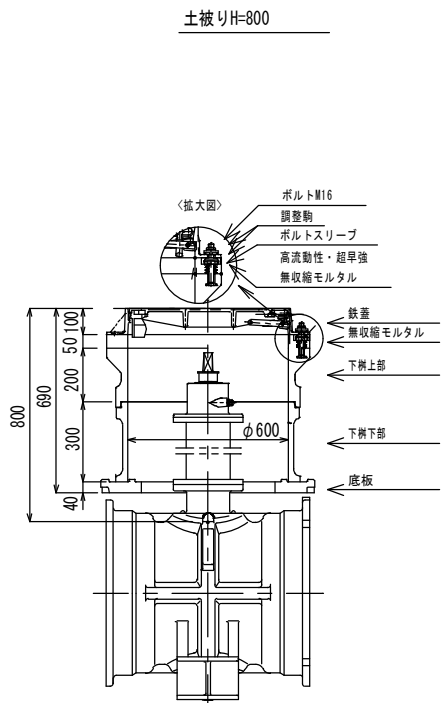
※φ400mm、φ450mmはSⅡ異形管接合部品（押輪、ゴム輪、バックアップリング、T頭ボルト・ナット）が別途必要。
φ500mm～φ1000mmはNS異形管接合部品（押輪、ゴム輪、バックアップリング、T頭ボルト・ナット、ロックリング）が別途必要。

※本市では、左回り開きのキャップを標準とする

図名	水道用耐震NS形バタフライ弁 センターキャップ		
制定	2015.	4.	1 整理
改定			番号 3-5-1

注記1 この図は、寸法説明図であって、設計上の構造を規制するものではない。

バタフライ弁BOX組合せ図(呼び径φ400~500)



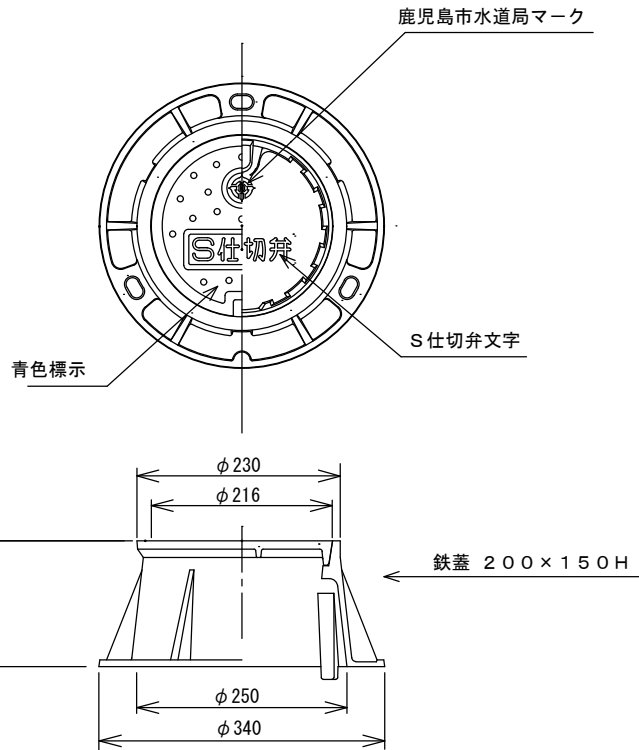
バタフライ弁BOX組合せ表 (呼び径φ400~500) レジンコンクリート製

土被り	鉄蓋 φ600 H=100	無収縮 モルタル H=50	レジコン 弁室上部 H=200	レジコン 弁室中部 H=100	レジコン 弁室中部 H=200	レジコン 弁室中部 H=300	レジコン 弁室下部 H=300	レジコン 底板 H=40	製品高さ
800	1	1	1				1	1	690
1000	1	1	1		1		1	1	890
1200	1	1	1	1		1	1	1	1090

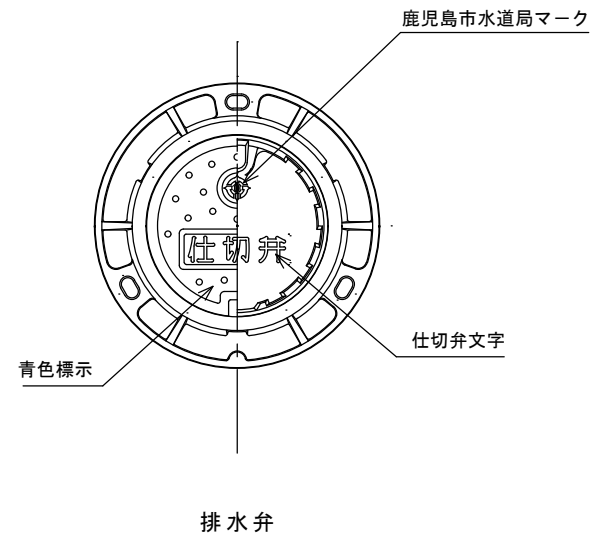
図名	バタフライ弁室組合せ バタフライ弁鉄蓋φ600		
制定	2015. 4. 1	整理 番号	3-5-2
改定			

仕切弁・排水弁鉄蓋

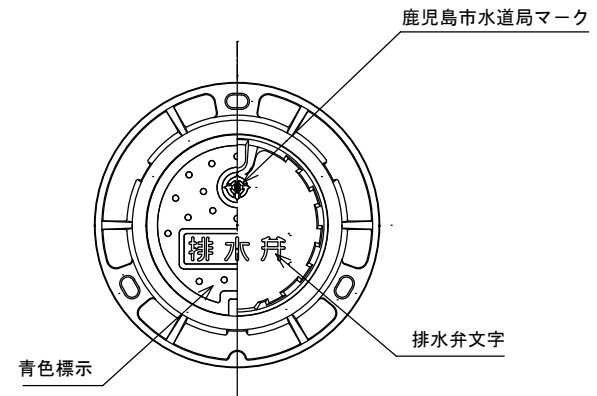
ソフトシール仕切弁



鑄鉄仕切弁



排水弁

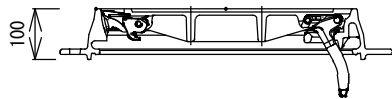
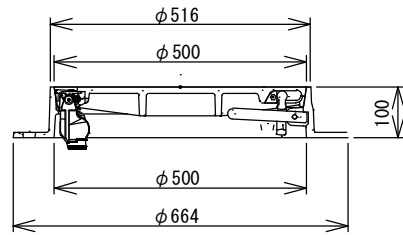
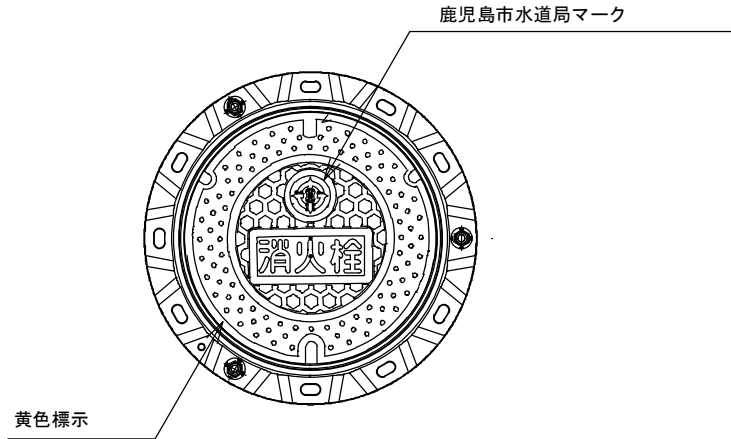


図名	仕切弁・排水弁鉄蓋		
制定	2015.	4.	1 整理
改定	2023.	2.	1 番号
			3-6-1

消火栓鉄蓋

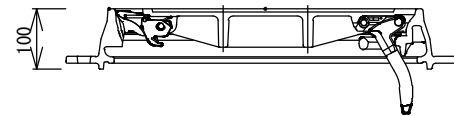
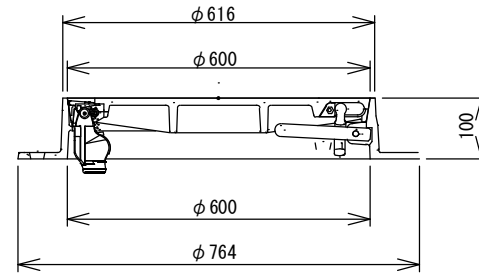
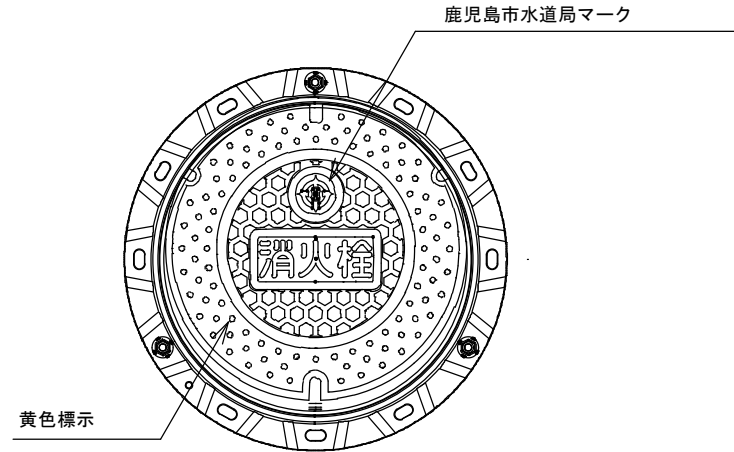
消火栓蓋

φ500



消火栓付空気弁蓋

φ600

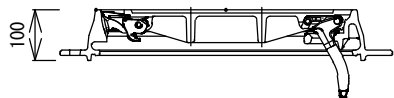
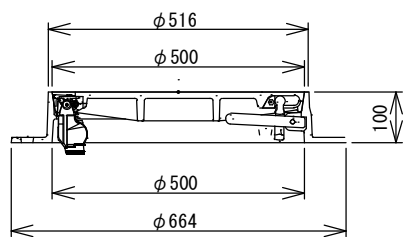
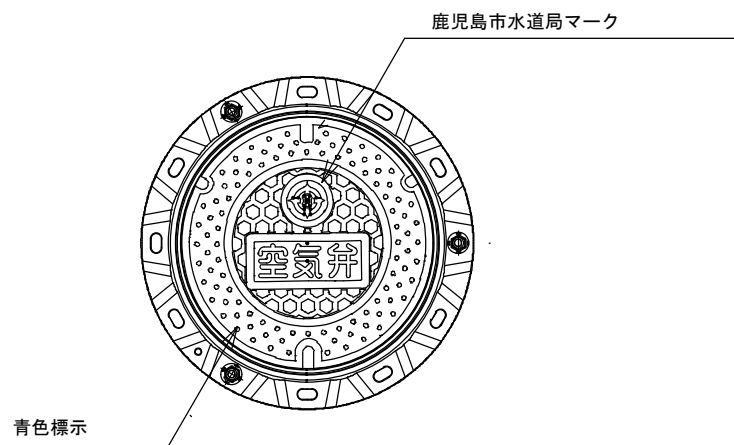


図名	消火栓鉄蓋		
制定	2015. 4. 1	整理	3-6-2
改定		番号	

空気弁鉄蓋

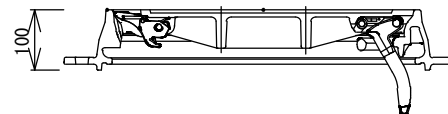
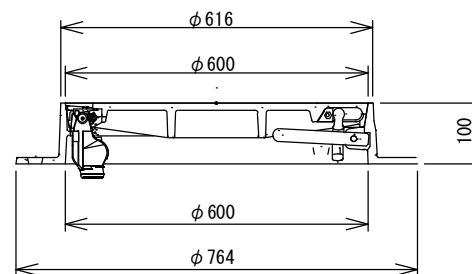
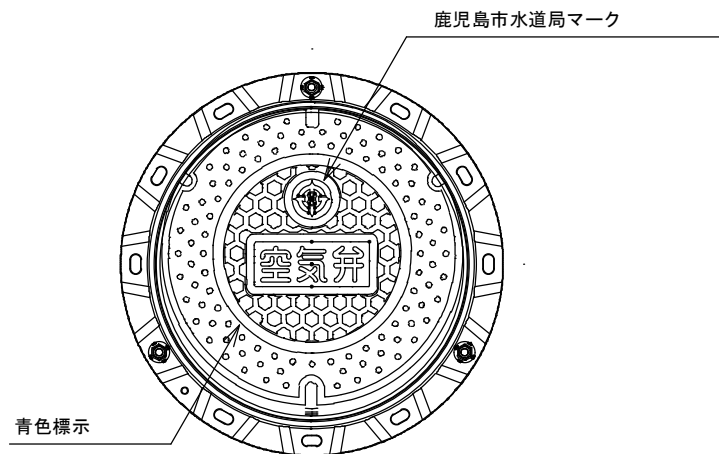
空気弁蓋

φ500



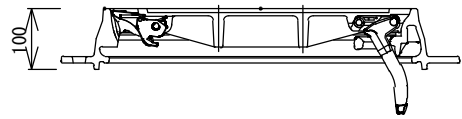
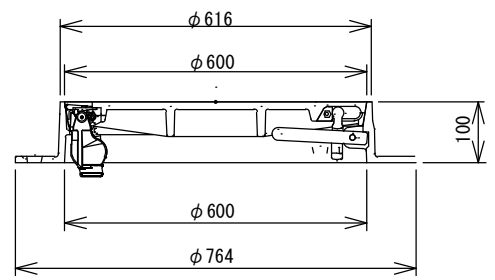
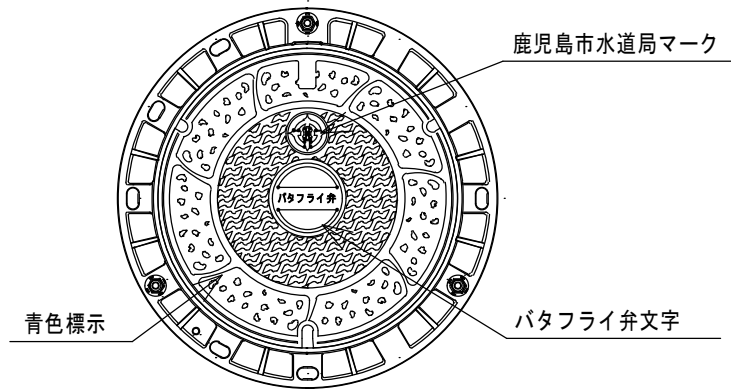
空気弁付消火栓蓋

φ600



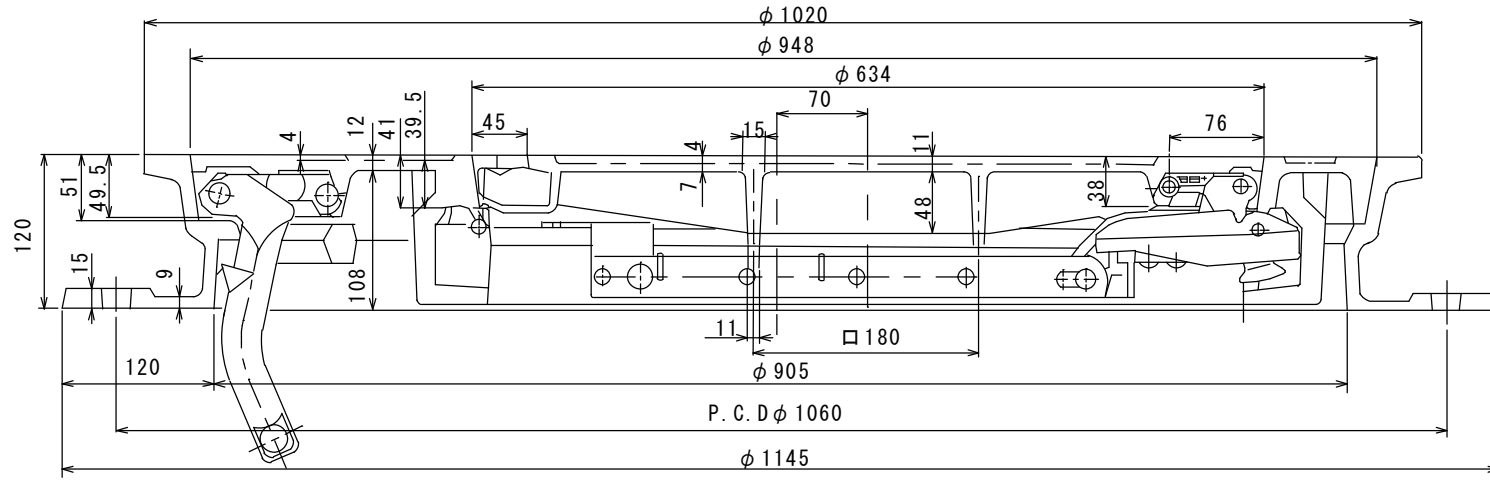
図名	空気弁鉄蓋		
制定	2015. 4. 1	整理	3-6-3
改定		番号	

バタフライ弁鉄蓋

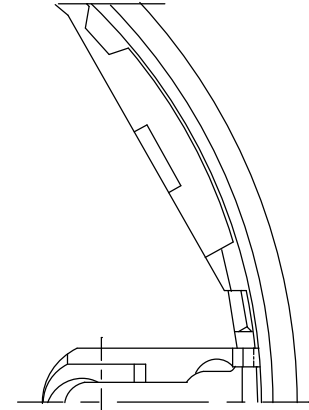


図名	バタフライ弁鉄蓋		
制定	2015.	4.	1 整理
改定			番号 3-6-4

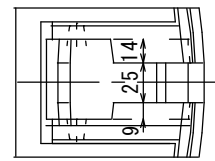
減圧弁鉄蓋 (T-14)



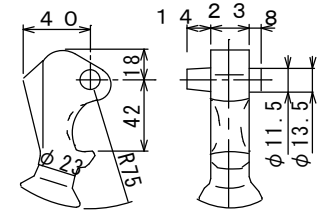
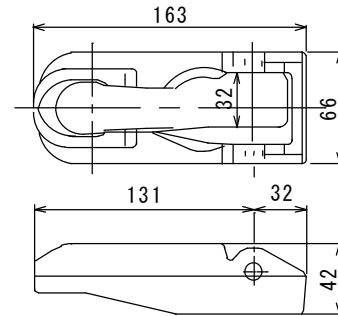
断面図



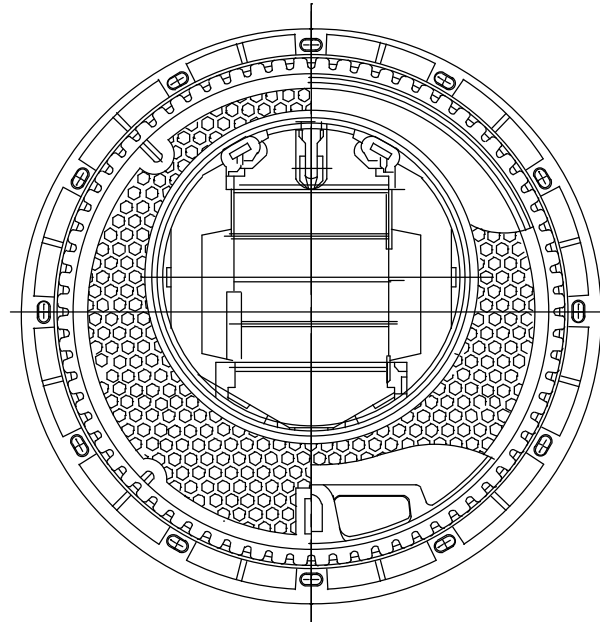
コネクタガイド取付詳細図



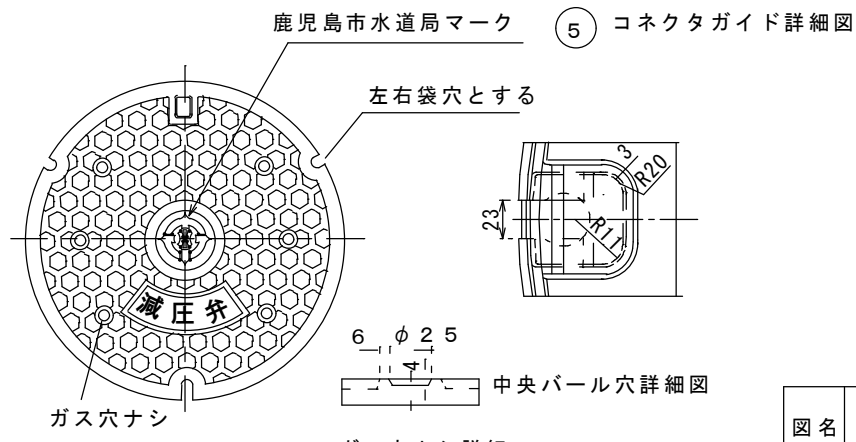
コネクタ取付座詳細図



③ コネクタ詳細図



フレーム平面図



ガス穴ナシ

カバー (子蓋) 平面図

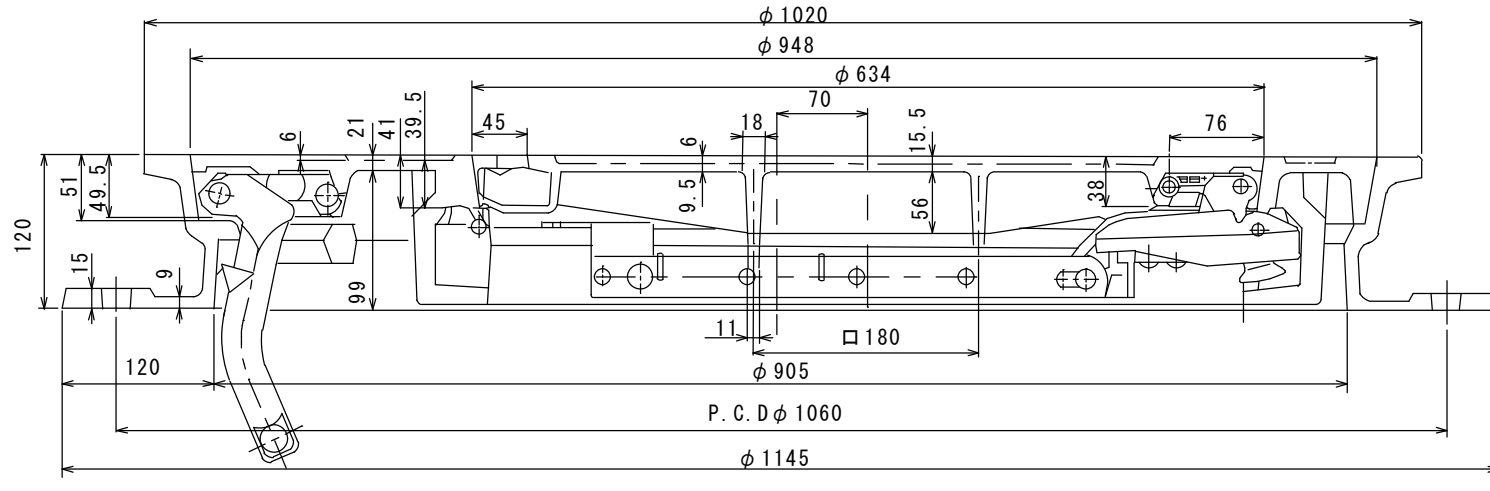
中央パール穴詳細

ガス穴ナシ詳細

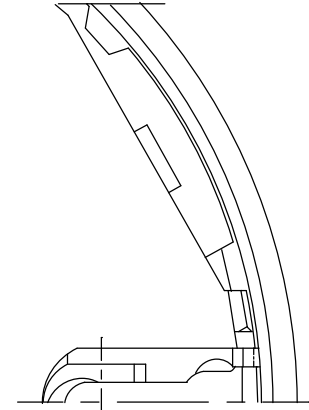
⑤ コネクタガイド詳細図

図名	減圧弁鉄蓋 (T-14)		
制定	2015. 4. 1	整理番号	3-6-5
改定			

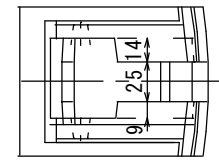
減圧弁鉄蓋 (T-25)



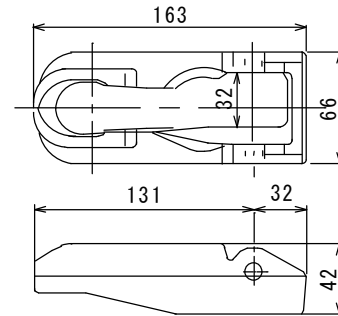
断面図



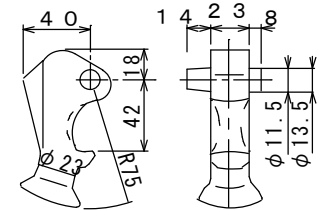
コネクタガイド取付詳細図



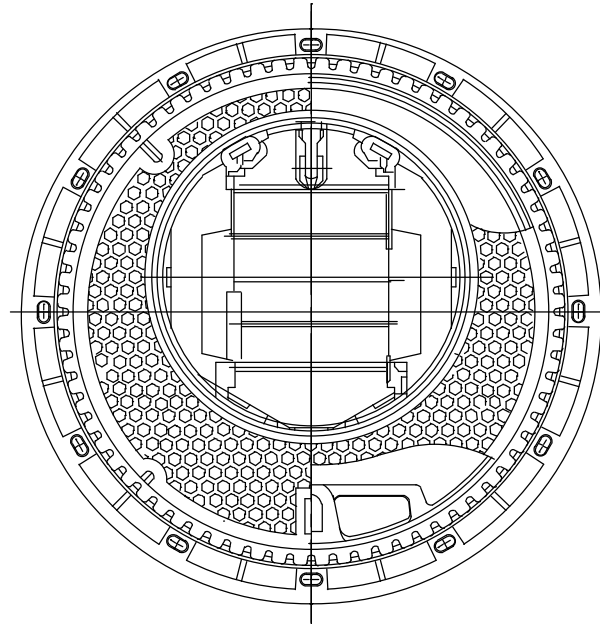
コネクタ取付座詳細図



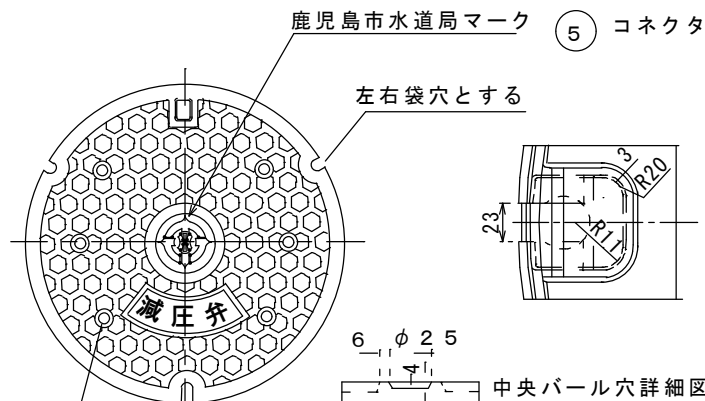
5 コネクタガイド詳細図



3 コネクタ詳細図



フレーム平面図



ガス穴ナシ

カバー (子蓋) 平面図

中央パール穴詳細図

ガス穴ナシ詳細

鹿児島市水道局マーク

左右袋穴とする

図名	減圧弁鉄蓋 (T-25)		
制定	2015. 4. 1	整理番号	3-6-6
改定			

仕切弁・排水弁・消火栓の設置基準

1. 仕切弁

(1) 仕切弁（バルブ）設置にあたっての基本事項

バルブは、配水本管網、配水支管網の構成状況、地形に配慮して動水圧の平均化、合理的な水運用及び管路の維持管理等が適切に行えるよう、適所に設置する。

平常時及び非常時における水運用上の要所には、制御用バルブを配置する。

ア 配水本管（配水幹線）及び配水支管の仕切弁設置については、別に定める仕切弁（バルブ）設置基準に基づき設置する。

イ 管末部には排水弁を設置する。

(2) 仕切弁（バルブ）は、右閉じ、左開きとする。

(3) 仕切弁の種類

- ・仕切弁は、ソフトシール仕切弁を基本とする。
- ・締切バルブや排水弁については、鋳鉄製の仕切弁とする。
- ・口径350mm以上については、バタフライ弁とする。

(4) 仕切弁の設置位置（図1参照）

交差点付近に設置する仕切弁は、操作時の安全性を考慮し隅切部から

1. 5m控えた位置に設置することを標準とする。

また、カーブ等の視認されにくい箇所への設置は、原則避けること。

付属設備相互間は、原則として2m以上離れるように設置位置を選定すること。

(5) 仕切弁室

仕切り弁室はレジンコンクリート製とする。

口径150mm以上については、運搬用吊りフックが管と直角方向に張り出しているため、下室はボックス設置の支障とならないよう据広がりのレジンコンクリート製室を使用する。

(6) 排水弁の放流先（図2参照）

排水弁の放流先の選定にあたっては、洗管時の作業性を考慮すること。

2. 消火栓

(1) 消火栓設置にあたっての基本事項

消火栓は、配水支管に設置するものとし、その設置にあたっては次の各項による。

- ・沿線の建築物の状況などに配慮し、100～200m間隔に設置する。
- ・消火栓には、補修弁を取り付ける。
- ・消火栓の口径は、原則として65mmとする。

(2) 丁字管の種類

消火栓設置時の丁字管は、渦巻き式フランジ付丁字管を原則とする。

なお、空気抜きを主目的として設置する消火栓については、フランジ付丁字管を設置する。

(3) 消火栓室

消火栓室は、円形（φ500）のレジンコンクリート製を原則とする。

空気弁付消火栓室は、円形（φ600）のレジンコンクリート製を原則とする。

3. 仕切弁・消火栓の鉄蓋（円形）設置方向

仕切弁・消火栓の鉄蓋（円形）の開閉方向は、管軸方向にあわせることとし、管軸方向と車両進行方向が平行となる場合は図3のとおり設置することを基本とする。

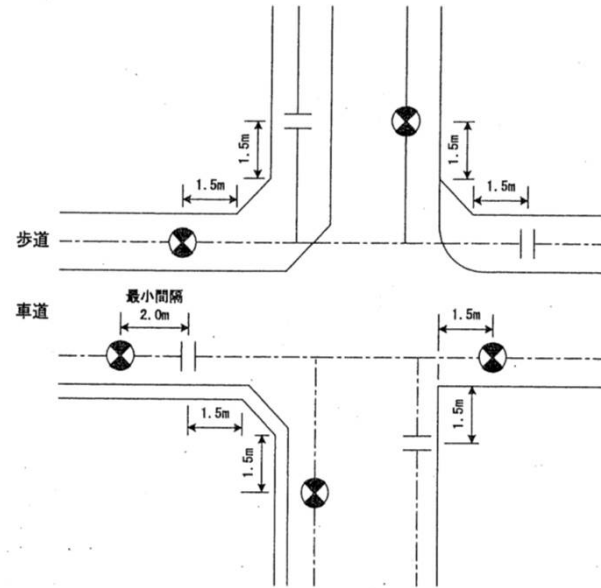


図1 仕切弁・消火栓の設置位置

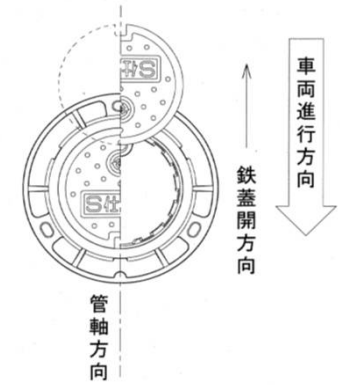


図3 仕切弁・消火栓の鉄蓋（円形）設置方向

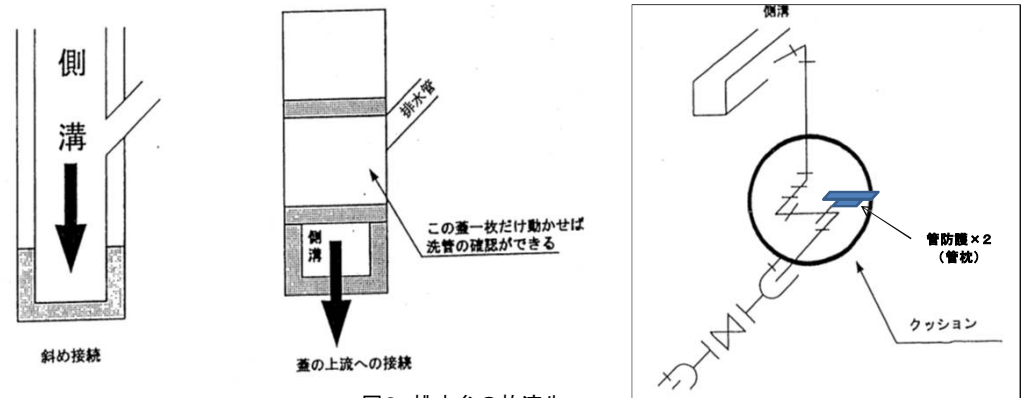


図2 排水弁の放流先

- ・側溝との接続方法は、斜め45°接続とする。
- ・側溝ふたがある場合、洗管時等の濁り確認作業を考慮し、側溝接続位置を選定すること。
- ・排水管の異形管部については、水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管継手を使用すること。
- ・排水管直管部において、切管箇所には錆止めとして管端コアを設けること。
- ・排水弁以降の配管は、クッション及び異形管防護工を設けること。

図面	仕切弁・排水弁・消火栓の設置基準			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				4-1-1

GX・NS形継手管路の一体化長さ早見表

1 GX・NS形継手管路の一体化長さ

GX・NS形継手管路(鎖構造管路)では、異形管前後の管を離脱防止継手で一体化し、管と土との摩擦力や管背面の地盤反力あるいは離脱防止継手の曲げ剛性で不平均力を保持する方法を採用し、適切な一体化長さを確保することによって行うことを原則とする。

現在、この一体化長さについては、日本ダクタイル鉄管協会が埋設実証実験等により、その有効性が実証された一体化長さを提案(公表)している。これは、従来の一体化長さをその都度計算する必要がなく、設計が簡略化されることとなる。

このことから、一体化長さについては、日本ダクタイル鉄管協会が発行している「NS形ダクタイル鉄管管路の設計」に示してある、一体化長さを採用することとし、呼び径75～300の曲管部及びT字管部に適用できる一体化長さは、以下を標準とする。

(1) 適用条件

項目	内容	
呼び径	75～250	75～300
継手形式	GX形	NS形
設計水圧	1.3MPa	
土被り	0.6m以上	
埋戻条件	一般的な埋戻土で、	

※ 右表には水圧0.75MPaと1.3MPaの表記があるが、1.3MPaの一体化長さで施工すること。

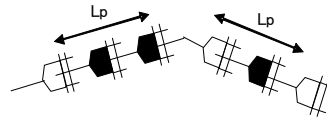
(2) 一体化長さ

呼び径75～300の曲管部及びT字管部の一体化長さは、右表を標準とし、異形管に隣接する最低限の一体化長さである。

なお、一体化長さに異形管の長さは含まないものとする。

※(一体化長さ図の配管図記号は、NS形管であるがGX管も同様に扱う。)

水平曲管部

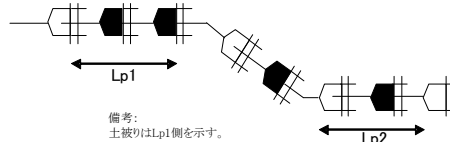


伏せ越し部及び水平切り直し部



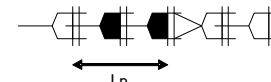
備考:
左右の土被りとモントアームが等しい場合を示す。

垂直S字部

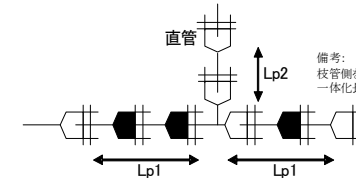


備考:
土被りはLp1側を示す。

片落管部



水平T字管部



備考:
枝管側を直管1本分とした場合の本管側の一体化長を示す。

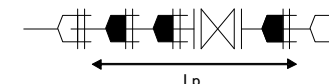
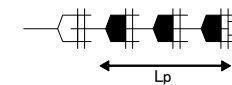
呼び径		土被りh=0.6m以上			
		水圧(MPa)			
		0.75		1.3	
本管	枝管	Lp1	Lp2	Lp1	Lp2
		75	1.0	1.0	1.0
	100	1.0	1.0	1.0	1.0
	150	1.0	1.0	1.0	6.0
	200	1.0	1.0	1.0	6.0
	250	1.0	2.0	1.0	7.0
	300	1.0	7.0	1.0	13.0

平成20年8月版 日本ダクタイル鉄管協会 ダクタイル鉄管管路の設計P90参照

曲管角度	呼び径	土被りh=0.6m以上	
		水圧(MPa)	
		0.75	1.3
45°を超え 90°以下	75	1.0	4.0
	100	1.0	5.0
	150	4.0	6.0
	200	4.0	8.0
	250	6.0	11.0
	300	7.0	16.0
22.5°を超え 45°以下	75	1.0	1.0
	100	1.0	1.0
	150	1.0	1.0
	200	1.0	1.0
	250	1.0	2.0
	300	1.0	7.0
22.5°以下	75	1.0	1.0
	100	1.0	1.0
	150	1.0	1.0
	200	1.0	1.0
	250	1.0	1.0
	300	1.0	2.0

平成20年8月版 日本ダクタイル鉄管協会 ダクタイル鉄管管路の設計P86参照

管端部及び仕切弁部



呼び径	土被りh=0.7m	
	水圧(MPa)	
	0.75	1.3
75	6.5	11.0
100	8.0	13.5
150	11.0	18.5
200	13.5	23.0
250	16.0	28.0
300	18.5	32.0

日本ダクタイル鉄管協会による土被り指定の計算結果より

※フランジ形を用いる場合は、仕切弁の接合部材(短管等)の端部より両端に一体化を図る。

※ 仕切弁部のLp長さには、仕切弁寸法は含まない。

図面	GX・NS形継手管路の一体化長さ早見表			
制定	2015	4	1	整理番号
改定	2020	7	1	4-2-1

空気弁口径選定表

表-1 空気弁選定表

1. 空気弁の設置基準

- (1) 空気弁は、管路の縦断面内における凸部その他適所に設けること。
- (2) 空気弁は、水道用急速空気弁(JWWA B 137)を採用し、適切な口径を選択すること。
単口空気弁、双口空気弁、凍結防止型空気弁は参考。(JIS規格)

2. 空気弁口径の選定基準

単位時間あたりの吸気量は、排水先への単位時間あたりの可能排水量、管内水量及び許容排水時間によって決める。

単位時間あたりの排気量は、充水する側の管の供給能力、安全な充水速度及び許容充水時間によって決める。

空気弁は、このような検討によって適切な口径を選択すること。

管径800mm以上の大口径管には、人孔T字管及び人孔ふたを利用して空気弁を設置すること。

※空気弁の選定を表-1に示す。

[日本水道鋼管協会発行の水管橋設計基準(改正4版)平成11年6月24日 P.66より抜粋]

種類 管径	急速空気弁の呼び径	単口空気弁 の呼び径	双口空気弁 の呼び径	凍結防止型 空気弁の呼び径	管径
75					75
100		13			100
150					150
200	25	20		25	200
250					250
300		25			300
350					350
400				50	400
450			75		450
500	75				500
600					600
700				75	700
800			100		800
900	100				900
1000					1000
1100					1100
1200			150		1200
1350					1350
1500					1500
1600					1600
1650					1650
1800					1800
2000					2000
2100					2100
2200					2200
2400		200			2400
2600		2ヶ			2600

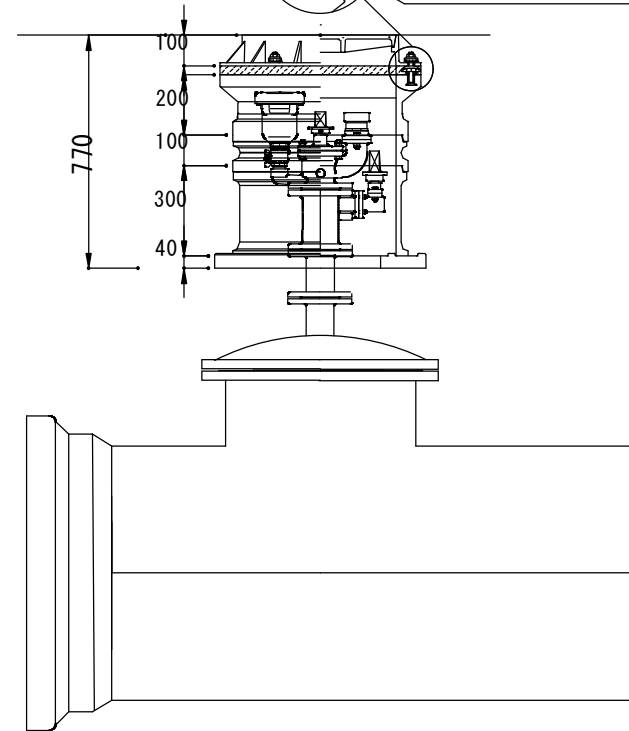
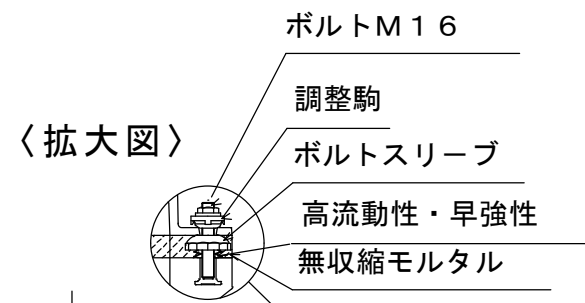
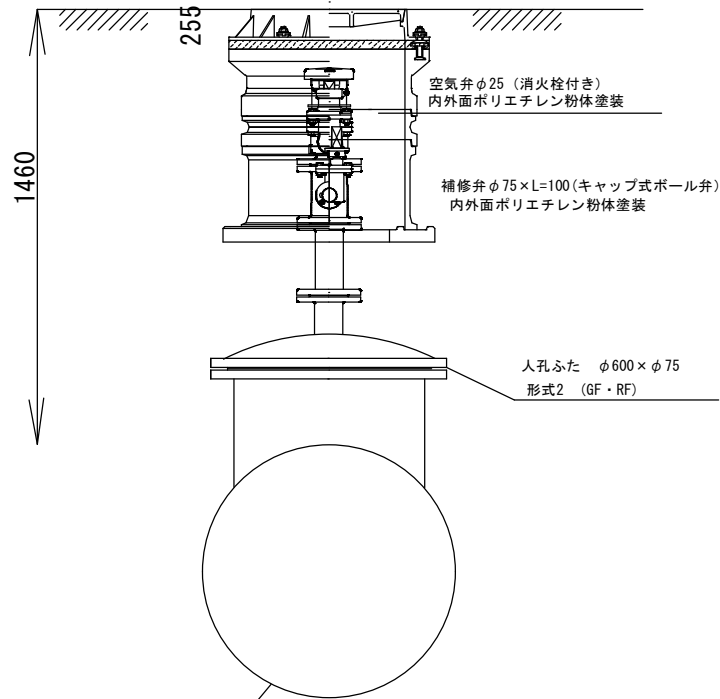
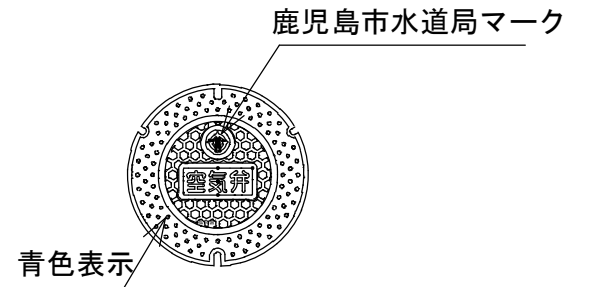
「管路における空気弁の吸排気特性と口径に関する研究」報告書：日本水道協会（平成4年3月）

ただし、凍結防止型空気弁は、メーカーカタログによる。

[日本水道鋼管協会発行の水管橋設計基準(改正4版)平成11年6月24日 P.66より抜粋]

図面	空気弁口径選定表			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				4 - 3 - 1

空気弁構造図（参考例）



K形フランジ付T字管φ800×600（人孔用）

K形フランジ付 T字管 φ800×600（人孔用）

※鉄蓋と下樹はボルト緊結式とする。(M16)
 ※調整部は、高さ調整用駒を使用し、高流動性、早強性、無収縮モルタルを用いる。
 ※室高は調整高さH=30の場合。
 注) 空気弁及び補修弁は操作性に配慮して設置すること。

図名	空気弁構造図（参考例）		
制定	2015.	4.	1 整理
改定	2020.	7.	1 番号
			4 - 3 - 2

DIPE (GX・NS・K形)、PEPの最小切管寸法

1. DIPE (GX・NS形)

切管の有効長の最小長さは、概ね1mとする。ただし、現地でそれ以下の有効長の直管が必要になる場合や、接合形式によっては、それ以上の有効長でないと切管、接合、解体ができない場合があるため参考として最小長さを以下に示す。

(1) NS形切管最小長さ

呼び径	最小長さ (mm)	
	甲切管	乙切管
75	800	810
100	810	820
150	840	860
200	840	860
250	840	860
300	960	1000
350	970	1010
400	970	1020
450	980	1020
500	910	1010
600	920	1020
700	950	1120
800	960	1140
900	970	1150
1000	1090	1150

- 備考 1)各寸法は、切り管、溝切、挿しロテーバ加工をパイプ切削切断機で行う場合に示した。
 2)各寸法は、管の切断、継手の接合、継手の解体に必要な最小寸法を各々算出し、それらのうち最も長い値を示した。
 3)呼び径300以上については、切管用（受口端面から約500mm離れた管全周に幅約50mmの白線を表示）を使用する必要がある。
 4)切断部の外径又は外周長を実測し、外径許容差を満足していることを確認する必要がある。
 5)本寸法は、継ぎ輪の預け代を考慮していない。そのような配管（せめ等）を行う場合の切管寸法は、別途検討する。

(2) GX形切管最小長さ

呼び径	最小長さ (mm)			
	切管ユニットを使用する場合		切管用挿しロリングを使用する場合	
	甲切管	乙切管	甲切管	乙切管
75	660	770	700	770
100	660	770	720	770
150	680	770	740	770
200	680	770	740	770
250	680	770	740	770
300	720	820	760	820
400	—	—	970	1020

【参考資料】
 日本ダクタイル鉄管協会
 「NS形・SII形・S形ダクタイル鉄管管路の設計 H28.10」 P.101
 「GX形ダクタイル鉄管管路の設計 R2.7」 P.50

- 備考 1)切管ユニットを使用する場合の各寸法は、切断加工をエンジンカッターで行う場合について示した。
 2)切管用挿しロリングを使用する場合の各寸法は、切断・溝切加工をパイプ切削切断機で行う場合について示した。
 3)各寸法は、管の切断、継手の接合、継手の解体に必要な最小寸法を各々算出し、それらのうち最も長い値を示した。
 なお、切管ユニットを使用する場合の寸法は、P-Linkの有効長は含んでいない。
 4)切断部の外径又は外周長を実測し、外径許容差を満足していることを確認する必要がある。
 5)本寸法は、継ぎ輪の預け代を考慮していない。そのような配管（せめ等）を行う場合の切管寸法は、別途検討すること。

2. DIPE (K形)

切管の有効長の最小長さは、概ね1mとする。ただし、現地でそれ以下の有効長の直管が必要になる場合や、接合形式によっては、それ以上の有効長でないと切管、接合、解体ができない場合があるため参考として最小長さを以下に示す。

呼び径	最小長さ (mm)	
	甲切管	乙切管
75	640	560
100	650	580
150	650	580
200	660	580
250	660	580
300	660	580
350	660	580
400	660	580
450	660	580
500	790	700
600	790	700
700	790	700
800	790	700
900	800	700
1000	800	700

【参考資料】
 日本ダクタイル鉄管協会
 「便覧」資料編 P.660～664

3. PEP直管の切管最小長さ

PEP直管の切管最小長さは、以下のとおりとする。
 水道配水用ポリエチレン管の切管最小長さ

呼び径	最小切管長さ (mm)
50	500
75	620
100	720

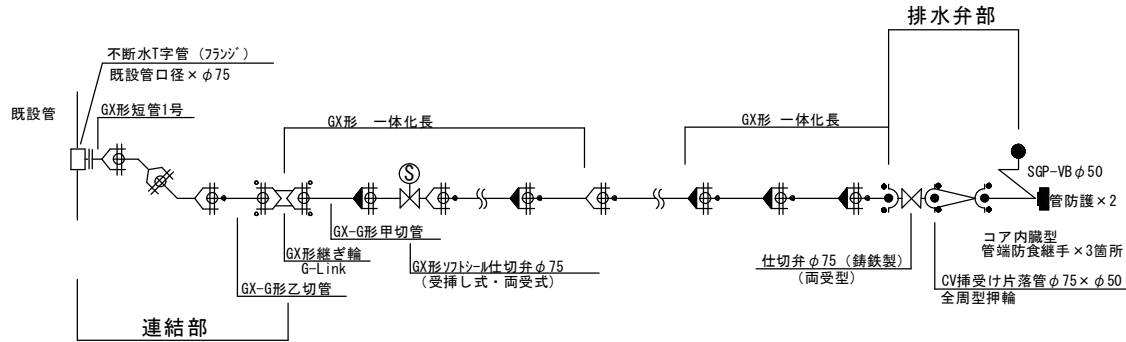
※スクレープ可能長さは、工具により異なるため、使用する工具の可能長さを確認すること。

図名	DIPE(GX・NS・K形)、PEPの最小切管寸法			
制定	2015.	4.	1	整理 番号
改定	2022.	6.	17	
				5-1-1

1. タタイル管φ75 (GX形) の施工例 (1/4)

1) 不断水分岐による施工

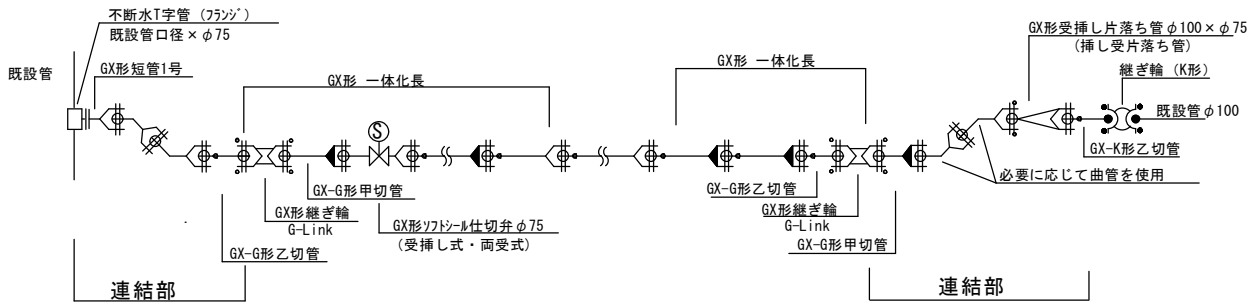
① 既設管から不断水分岐によりφ75を布設



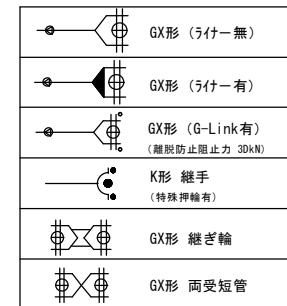
【配管作成における注意事項】

- ・ ソフトシール弁は前後の配管によって受挿し式・両受式を選択すること。
- ・ 一体化長内の直管継手部には、ライナを挿入すること。(参照 第6章 管路の一体化長さ)
- ・ 区画整理等今後延伸する予定がある管末や、既設との連結部で直線的に配管する部分は、ライナや保持金具を設置すること。
- ・ 水圧試験時の不平均力は、コンクリート防護及びGX形ライナの設置など現場の状況を踏まえ、対策を行うこと。
- ・ 片落管は前後の配管によって、挿し受形・受挿し形を選択すること。
- ・ 一体化長については切管寸法等の現場状況で変わるため、施工例によらず現場ごとに算出すること。

② 既設管から不断水分岐によりφ75を布設し既設管(DIP)φ100と連結



凡例

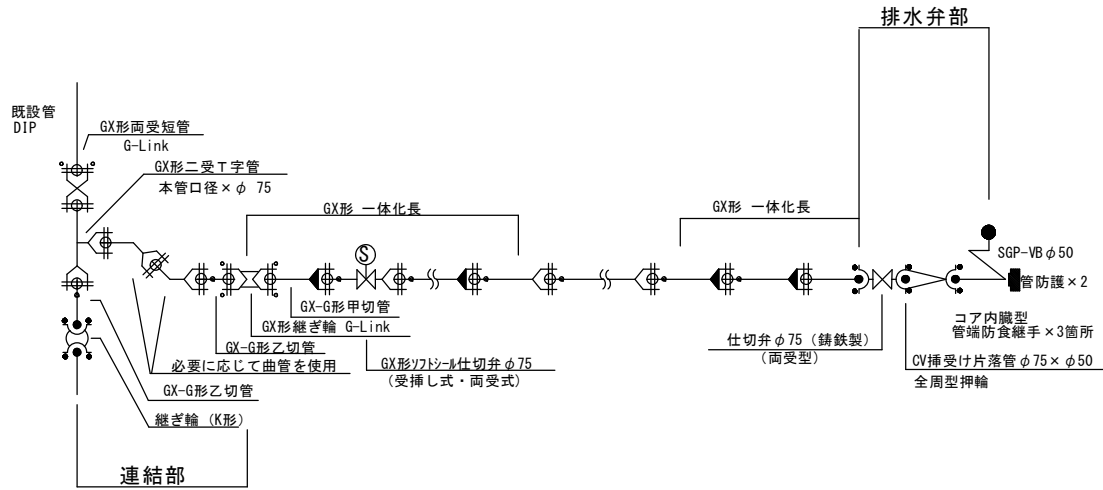


図名	タタイル管 (GX形) の施工例 (1/4)			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				5 - 2 - 1

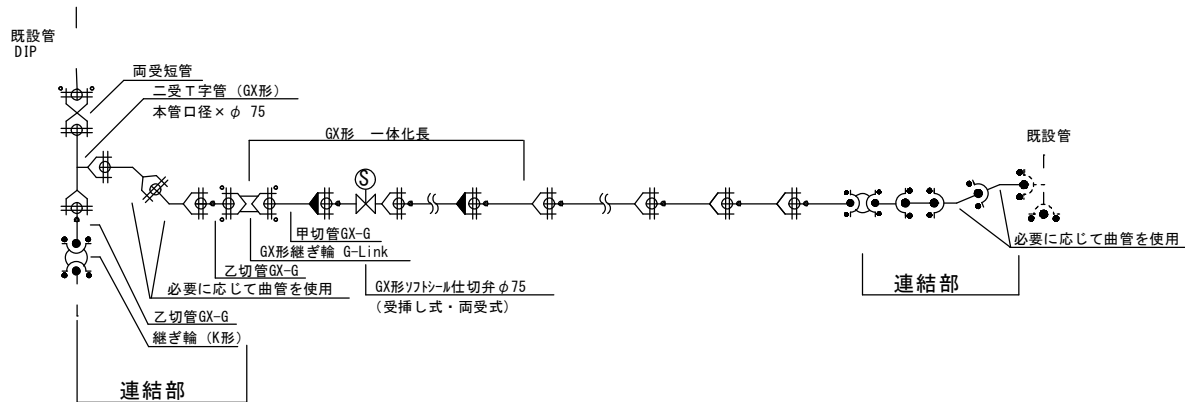
1. タタイル鑄鉄管φ75 (GX形) の施工例 (2/4)

2) 切取連結による施工 (1/3)

① 既設管 (DIP) からφ75を分岐



② 既設管 (DIP) からφ75を分岐し既設 (DIP) φ75の二受T字管と接続



凡例

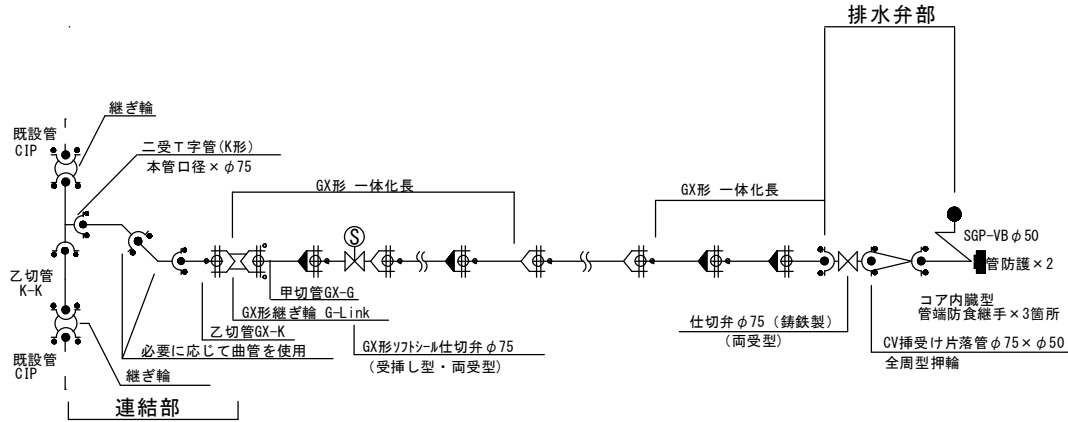
	GX形 (フレイク無)
	GX形 (フレイク有)
	GX形 (G-Link有) (離脱防止阻止力 30kN)
	K形 継手 (特殊押輪有)
	GX形 継ぎ輪
	GX形 面受短管

図名	タタイル鑄鉄管 (GX形) の施工例 (2/4)		
制定	2015. 4. 1	整理	5 - 2 - 2
改定	2020. 7. 1	番号	

1. ダクタイル鋳鉄管φ75 (GX形) の施工例 (3/4)

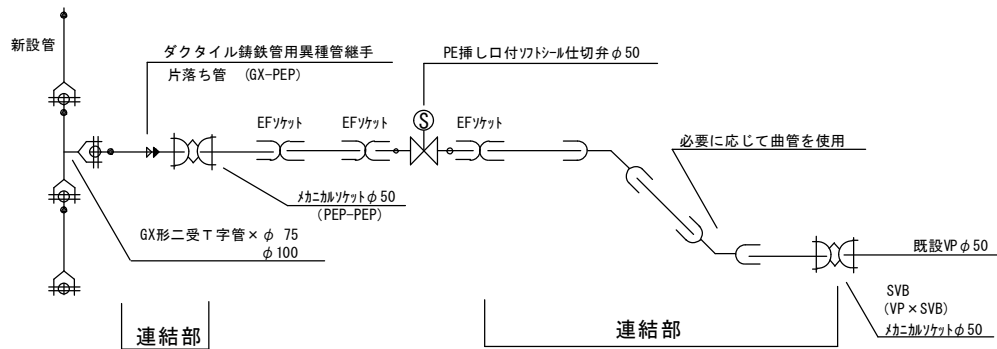
2) 切取連結による施工 (2/3)

③ 既設管 (CIP) からφ75を分岐



※CIPについては、布設年度不明の場合など、インチ管の可能性があるので留意すること。

④ 新設DIPEφ75 (GX形) からPEPφ50を分岐 φ100 (GX形)



※PEP管 最小切管寸法 L=0.5m以上確保すること。

凡例

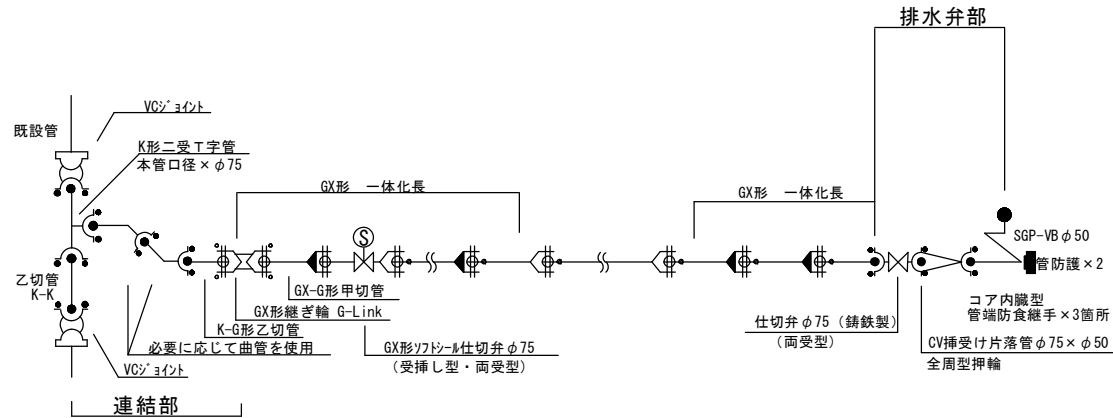
	GX形 (フレイク無)
	GX形 (フレイク有)
	GX形 (G-Link有) (離脱防止阻止力 30kN)
	K形 継手 (特殊押輪有)
	GX形 継ぎ輪
	GX形 両受短管

図名	ダクタイル鋳鉄管 (GX形) の施工例 (3/4)			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				5 - 2 - 3

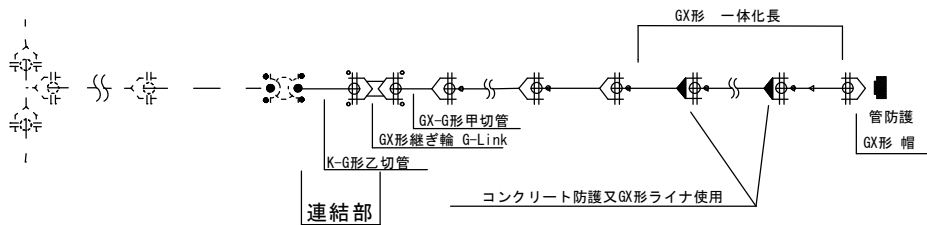
1. タタイル管φ75 (GX形) の施工例 (4/4)

2) 切取連結による施工 (3/3)

⑤ 既設 (VP) からφ75を分岐



⑥ 今後、延伸が計画されている場合



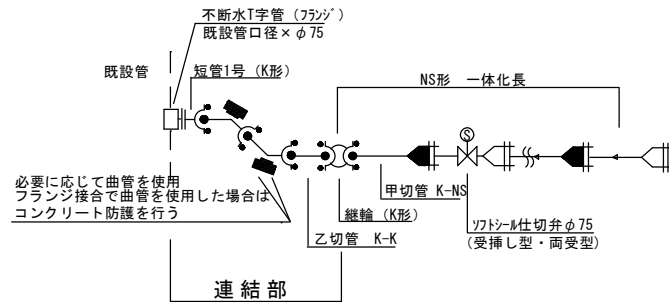
凡例

	GX形 (フレイク無)
	GX形 (フレイク有)
	GX形 (G-Link有) (離脱防止阻止力 30kN)
	K形 継手 (特殊押輪有)
	GX形 継ぎ輪
	GX形 両受短管

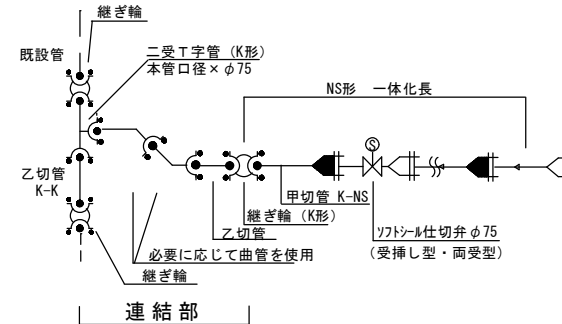
図名	タタイル管 (GX形) の施工例 (4/4)			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				5 - 2 - 4

2. タタイル鑄鉄管φ75（NS形）の施工例

① 既設管から不断水分岐によりφ75を布設

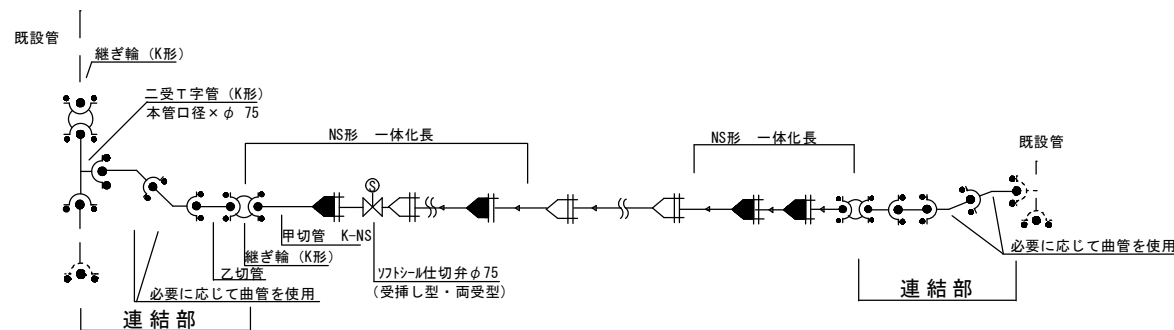


② 既設管 (CIP) からφ75を分岐



※CIPについては、布設年度不明の場合など、仔管の可能性があるので留意すること。

③ 既設管 (DIP) からφ75を分岐し既設 (DIP) φ75の二受T字管と接続



凡例

	NS形 (ライナー有)
	NS形 (ライナー無)
	K形 (特殊押輪) (離脱防止阻止力 30kN)

※ソフトシール弁は前後の配管によって受挿し型・両受型を選択すること。

※一体化長内の直管継手部には、ライナーを挿入すること。

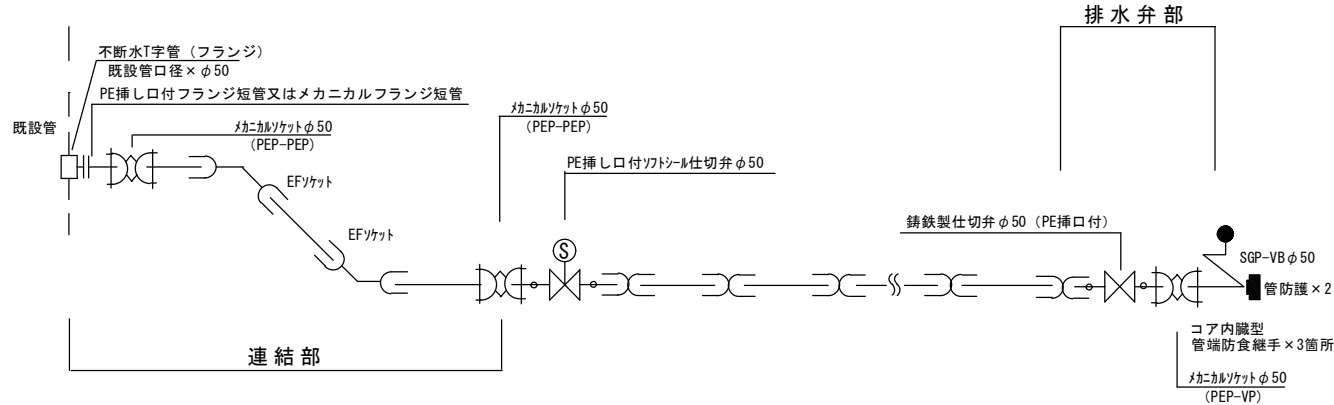
※水圧試験時の不均力、コンクリート防護尾及びNS形保持金具の設置など現場の状況を踏まえ対策を行うこと。

図名	タタイル鑄鉄管 (NS形) の施工例			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				5 - 2 - 5

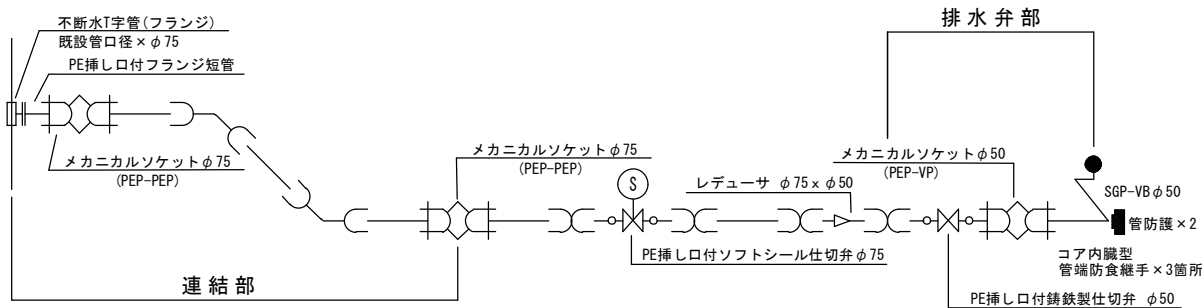
3. 水道配水用ホリイチレン管の施工例

1) 不断水分岐

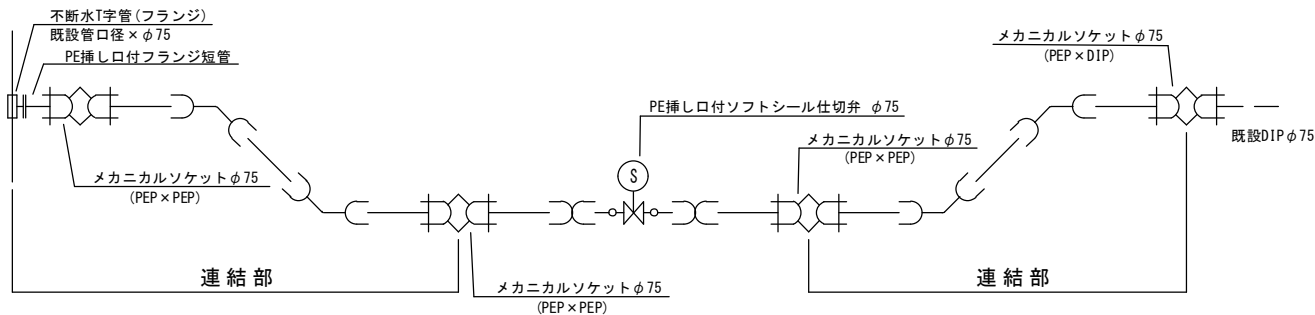
① 既設管から不断水分岐によりPEPφ50を布設する場合



② 既設管から不断水分岐によりφ75mmを布設



③ 既設管から不断水分岐によりφ75mmを布設し既設管 (DIP) φ75と連結



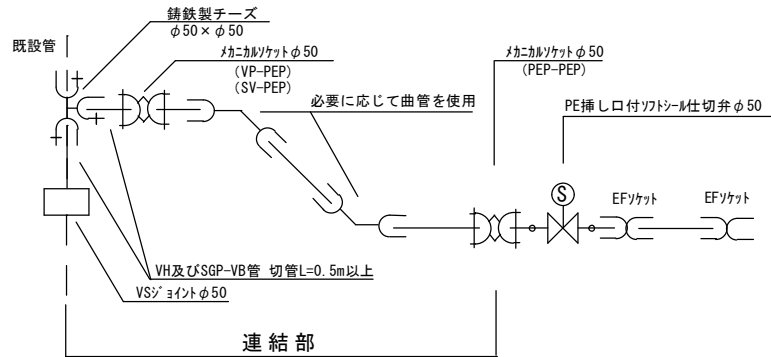
※PEP管 最小切管寸法 L=0.5m以上確保すること。

図名	水道配水用ホリイチレン管の施工例 (1/2)		
制定	2015. 4. 1	整理	5-2-6
改定	2022. 5. 13	番号	

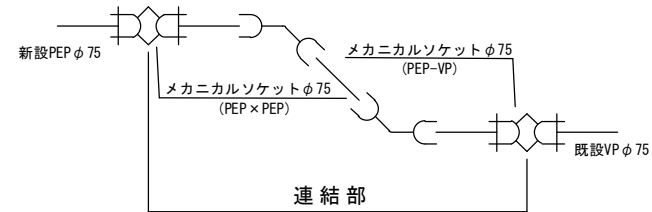
3. 水道配水用ホリパイプの施工例

2) 切取連結

① 既設VPφ50からPEPφ50を分岐

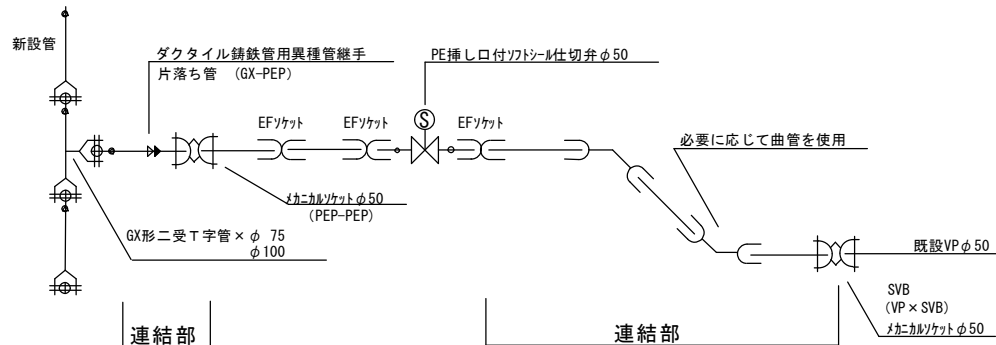


② φ75mmを布設し既設管 (VP) φ75と連結



3) 新設管からの分岐

① 新設DIPEφ75からPEPφ50を分岐

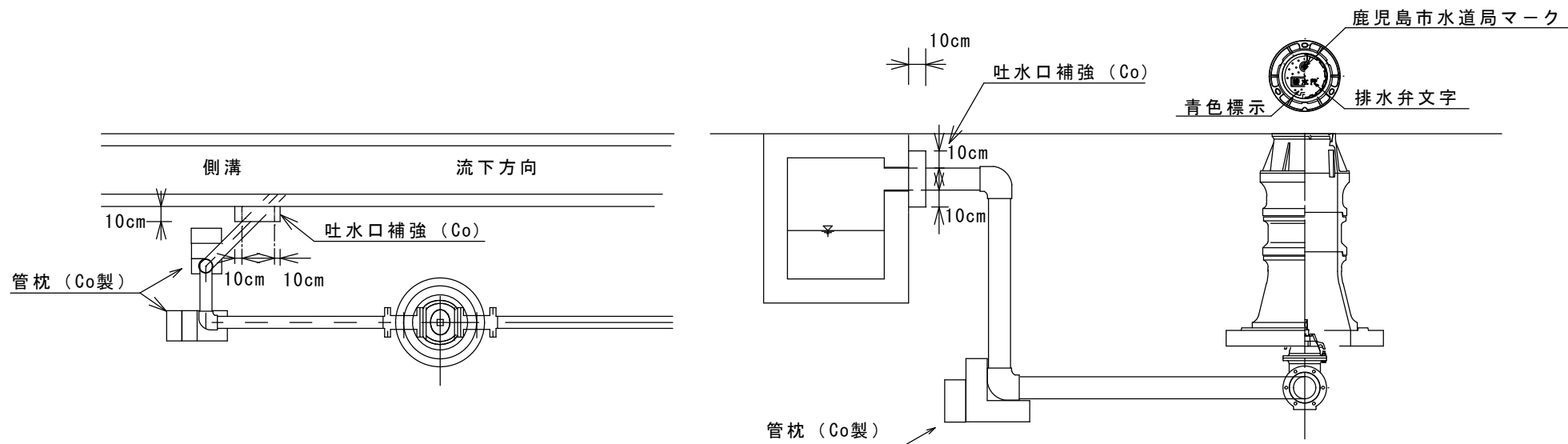


※PEP管 最小切管寸法 L=0.5m以上確保すること。

図名	水道配水用ホリパイプの施工例 (2/2)			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2022.	5.	13	番号
				5 - 2 - 7

排水弁設置構造図（参考図）

（管路末端に側溝がある場合）



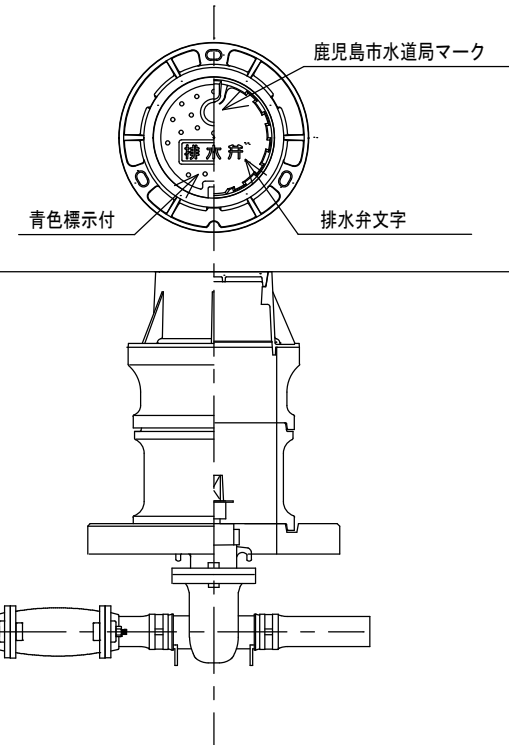
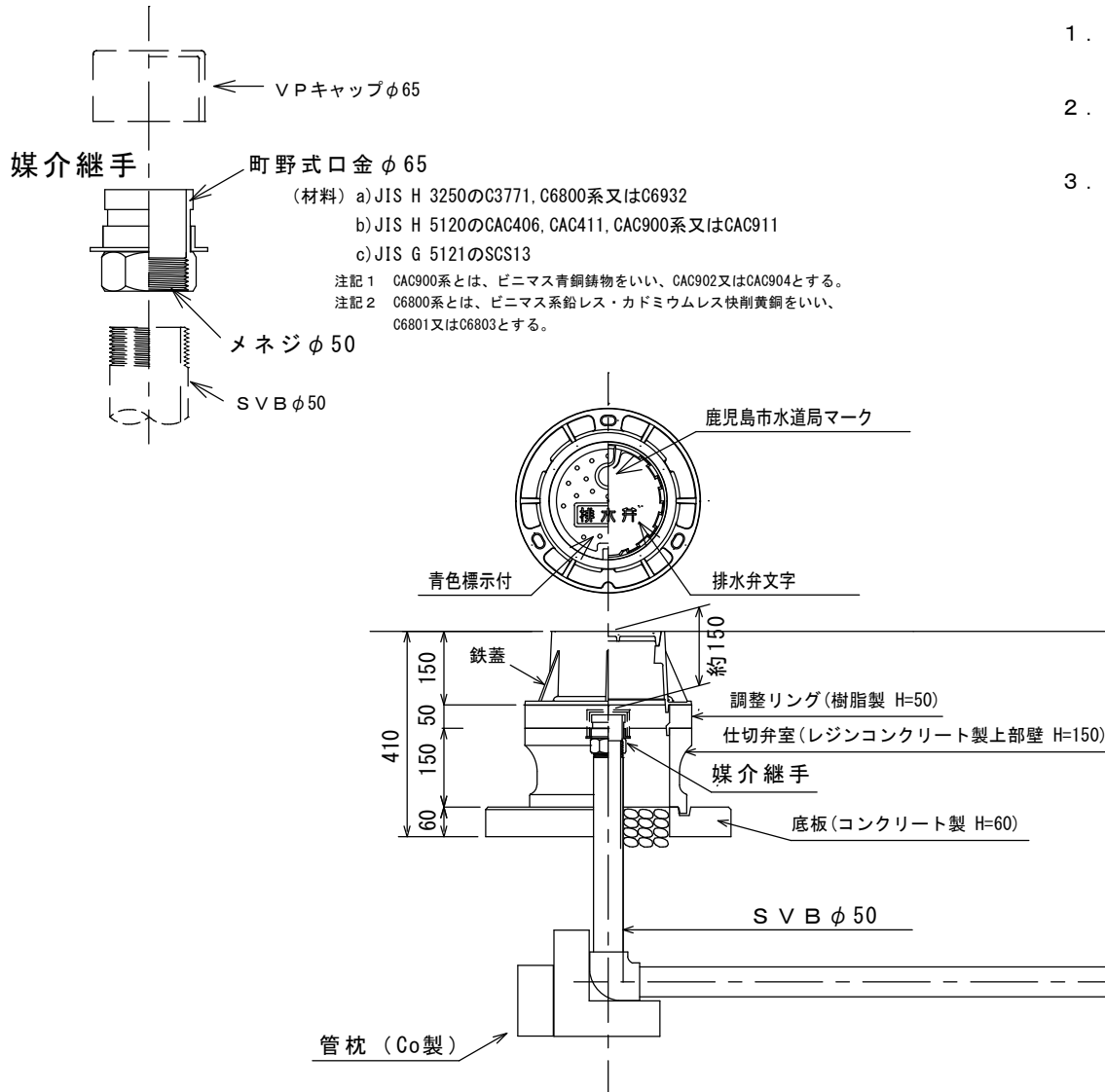
1. 排水設備の設置場所は、原則として管路の凹部付近で適当な河川、または、排水路等のあるところとする。
2. 吐き口付近の護岸は、放流水によって洗掘または破壊されないよう堅固に築造すること。
3. 排水弁は、原則としてソフトシール弁を使用しない。
4. 側溝等へ排水は、吐水口を下流側に向ける。また、吐水口は雨天時に管に逆流しない位置とする。
5. 排水弁鉄蓋を設置する。

図名	排水弁設置構造図（参考図） （管路末端に側溝がある場合）		
制定	2015.	4.	1 整理
改定	2023.	2.	1 番号
			5-3-1

排水弁及び排水弁室構造図（参考図）

（管路末端に側溝等が無い場合）

1. 管路末端に側溝が無い場合、又は側溝等があっても取水が困難な場合に排水弁室を設置する。
2. 本管口径φ75以上の場合は、通常、ドレンはφ75としているが、この場合、φ50で可とする。
3. 排水弁鉄蓋を設置する。



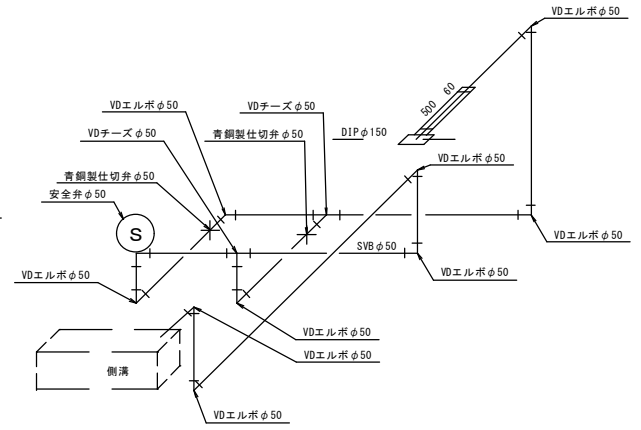
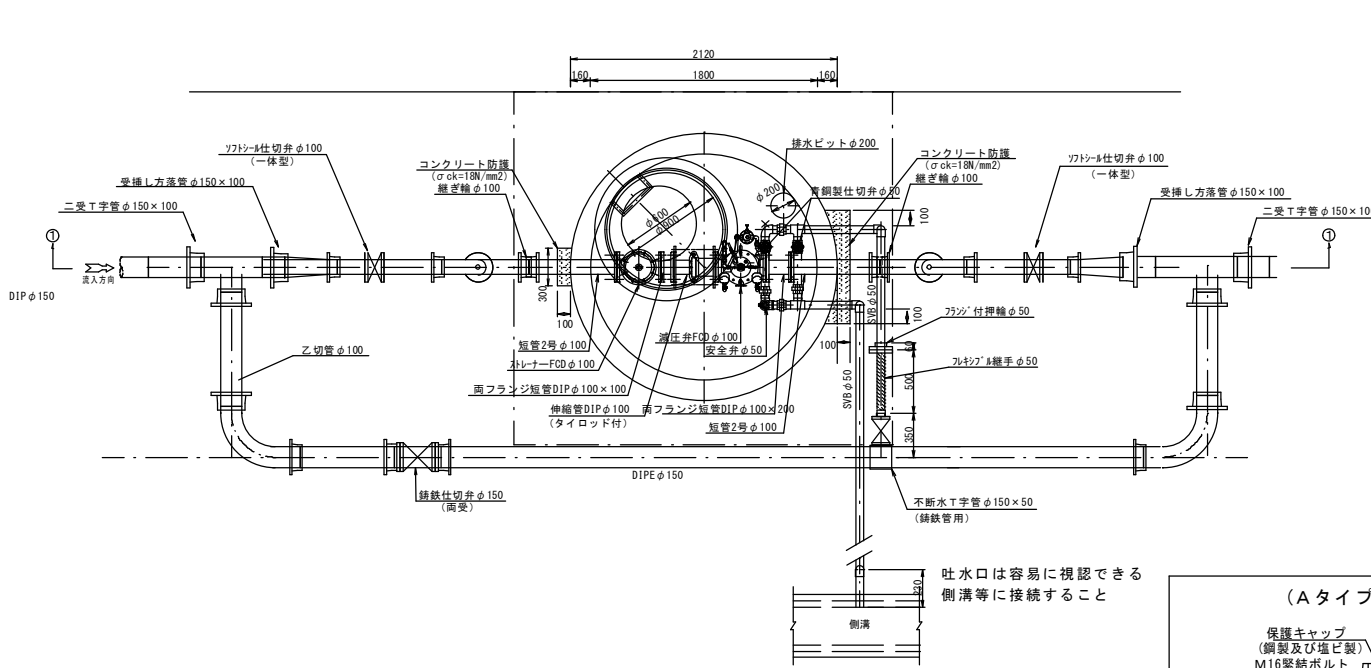
図名	排水弁及び排水弁室構造図 （管路末端に側溝が無い場合）（参考図）		
制定	2015.	4.	1 整理
改定	2023.	2.	1 番号
			5-3-2

減圧弁配管φ100及び減圧弁室詳細図(参考図)

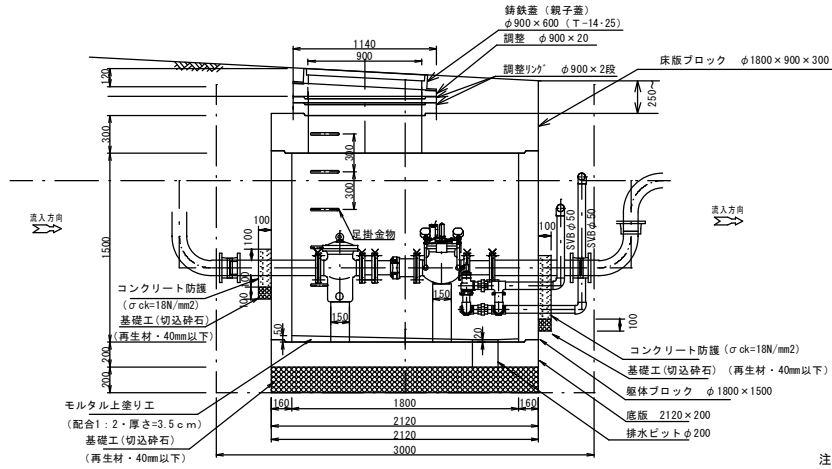
平面図 S=1:20

(新設管の場合)

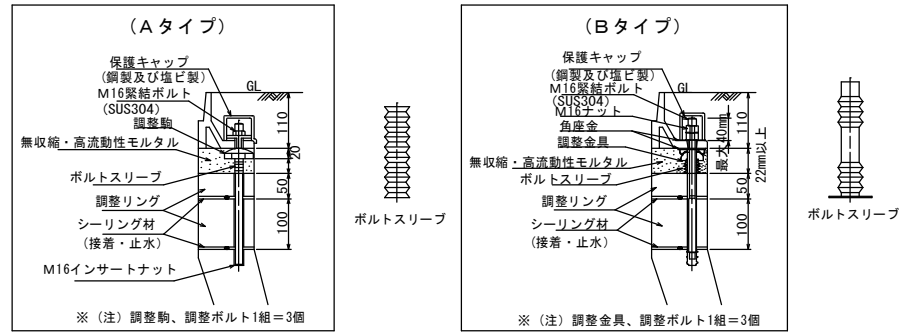
安全弁配管詳細図



① ① 断面図



鉄蓋据付詳細図



※ (注) 調整軸、調整ボルト1組=3個

※ (注) 調整金具、調整ボルト1組=3個

※ シーリング材については、必ず施工すること。(一重)

※ 組立マンホールは、各社製品のマンホール深さに対応した強度を有する製品を設置すること。

- マンホールの調整リングは2段を標準とする。
- マンホールの施工については、各メーカーの施工要領を遵守すること。

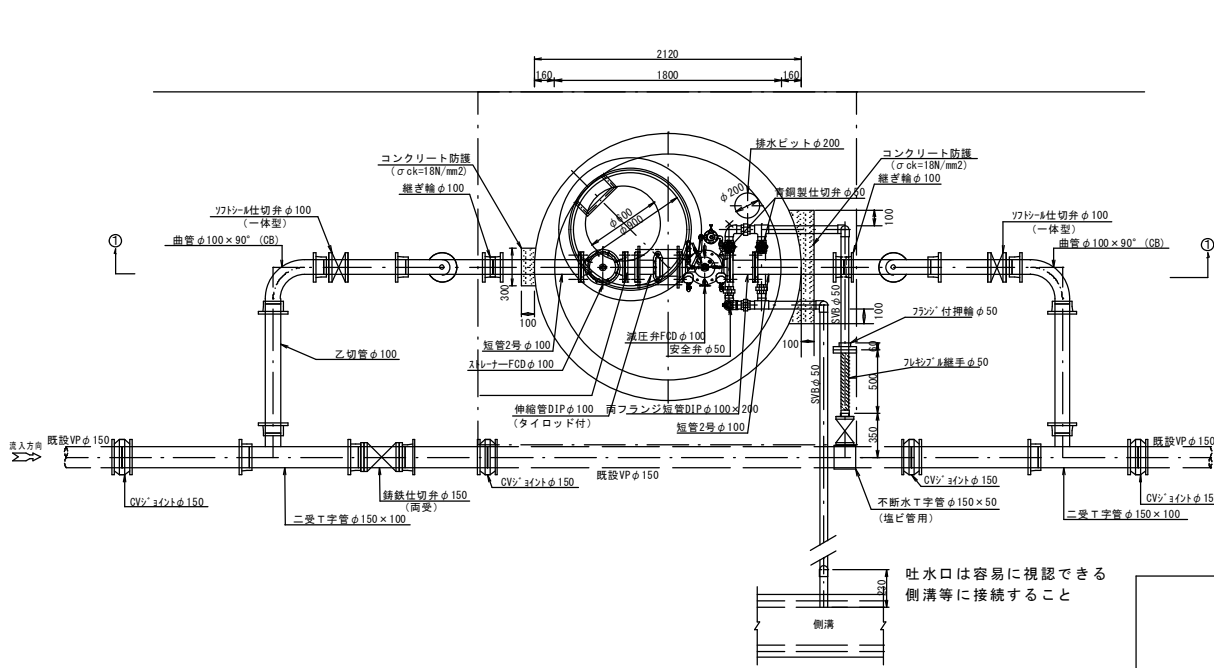
注意 1. 減圧弁は水平に設置すること。
鉛直から2度以内とする。

図名	水道用減圧弁室 (φ100参考図) (新設管の場合)		
制定	2015.	4.	1
改定	2022.	5.	13
整理番号	5-4-1		

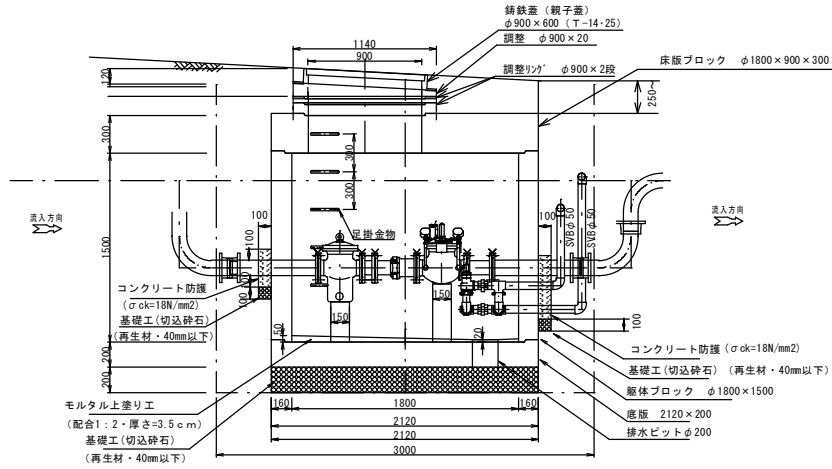
減圧弁配管φ100及び減圧弁室詳細図(参考図)

平面図 S=1:20

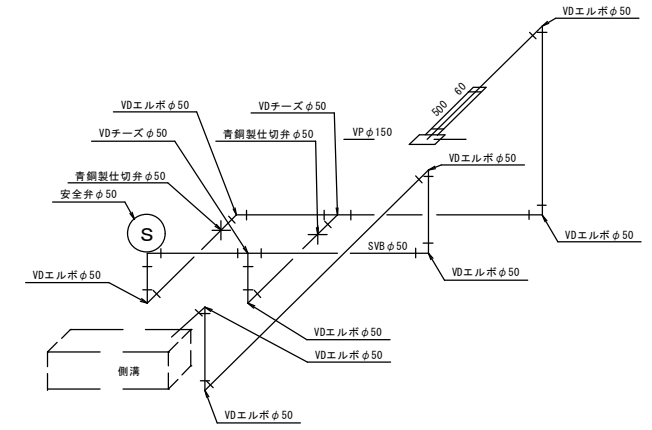
(既設管切込の場合)



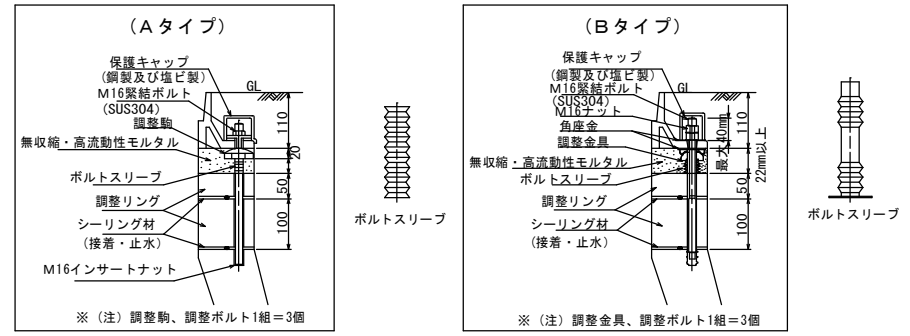
① ① 断面図



安全弁配管詳細図



鉄蓋据付詳細図



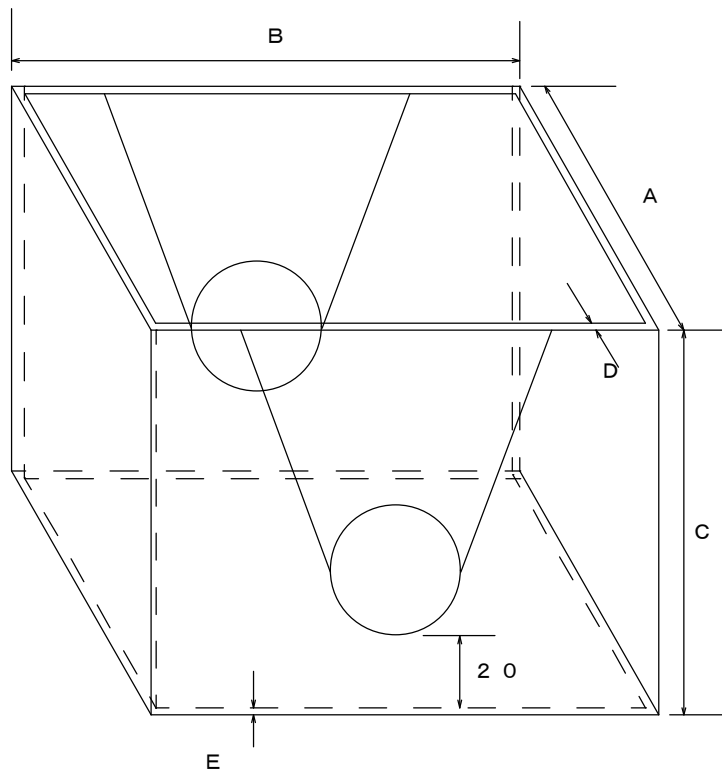
※ (注) 調整駒、調整ボルト1組=3個
 ※ シーリング材については、必ず施工すること。(一重)
 ※ 組立マンホールは、各社製品のマンホール深さに対応した強度を有する製品を設置すること。

- マンホールの調整リングは2段を標準とする。
- マンホールの施工については、各メーカーの施工要領を遵守すること。

図名	水道用減圧弁室(φ100参考図) (既設管切込の場合)		
制定	2015. 4. 1	整理	5-4-2
改定	2022. 5. 13	番号	

注意 1. 減圧弁は水平に設置すること。
鉛直から2度以内とする。

凍結工法（１）（参考図）



取付容器寸法

口 径	A	B	C	D	E	液量（リットル）
$\phi 40 \sim \phi 50$	120	180	150	20	20	15
$\phi 75$	180	230	260	20	20	30
$\phi 100$	200	250	270	30	30	40
$\phi 150$	220	300	300	30	30	80
$\phi 200$	250	380	400	30	30	180

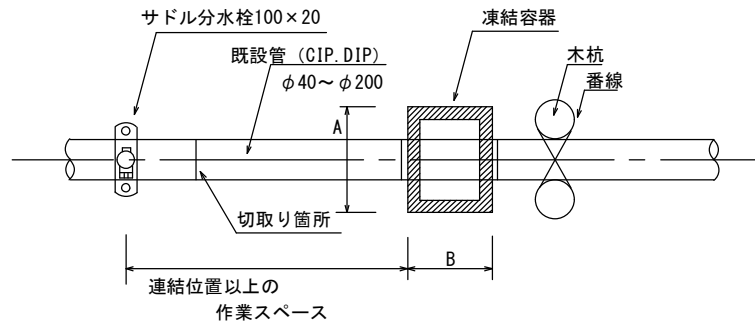
※ G X 管の場合について、凍結液量は別途考慮する。

図名	凍結工法（１）（参考図）			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				5 - 5 - 1

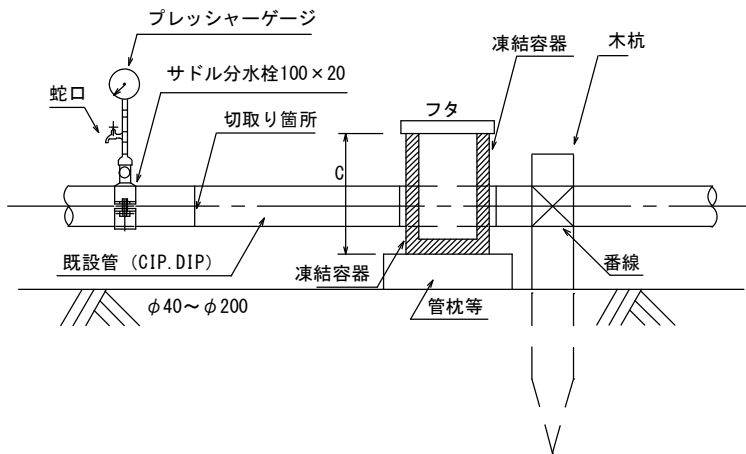
凍結工法（２）（参考図）

凍結工法（直管） S=Free

平面図

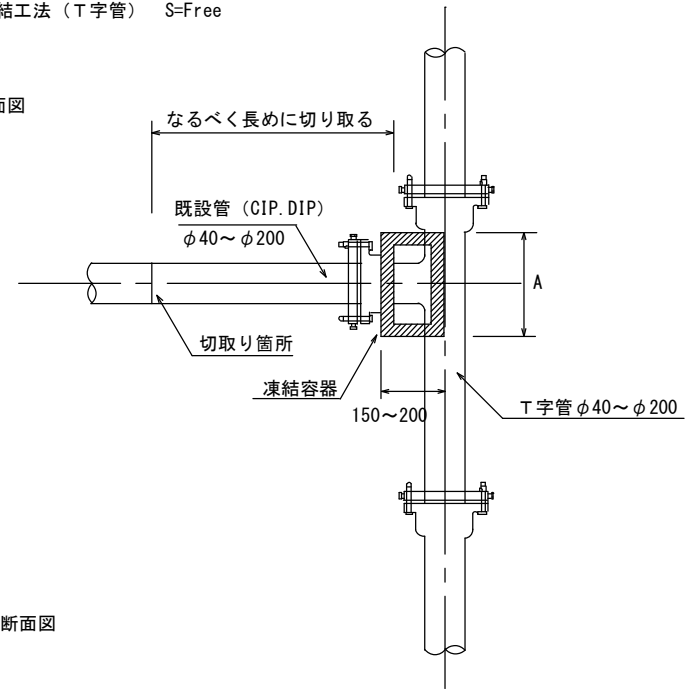


断面図

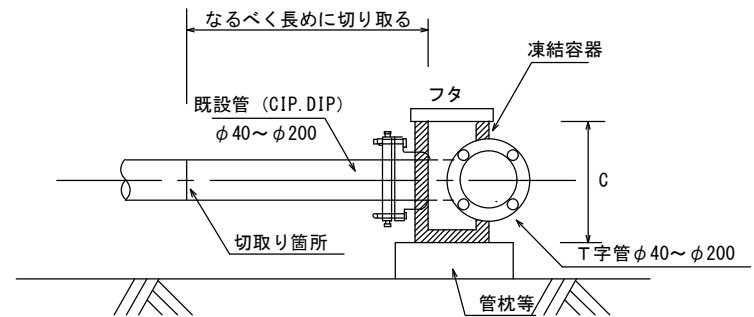


凍結工法（T字管） S=Free

平面図



断面図



図名	凍結工法（２）（参考図）		
制定	2015.	4.	1 整理
改定	2020.	7.	1 番号
			5 - 5 - 2

エアバッグ式止水工法（１）（参考図）

止水可能な限界水圧およびバッグの許容圧力

	呼び径		
	75	100	150
使用するバッグ	SB-75H	SB-100H	SB-150H
止水可能な限界水圧	0.75MPa		
バッグの許容圧力	0.95MPa		

※止水可能な限界水圧＝バッグの許容圧力 - 0.20MPa

専用機具及び機材の仕様

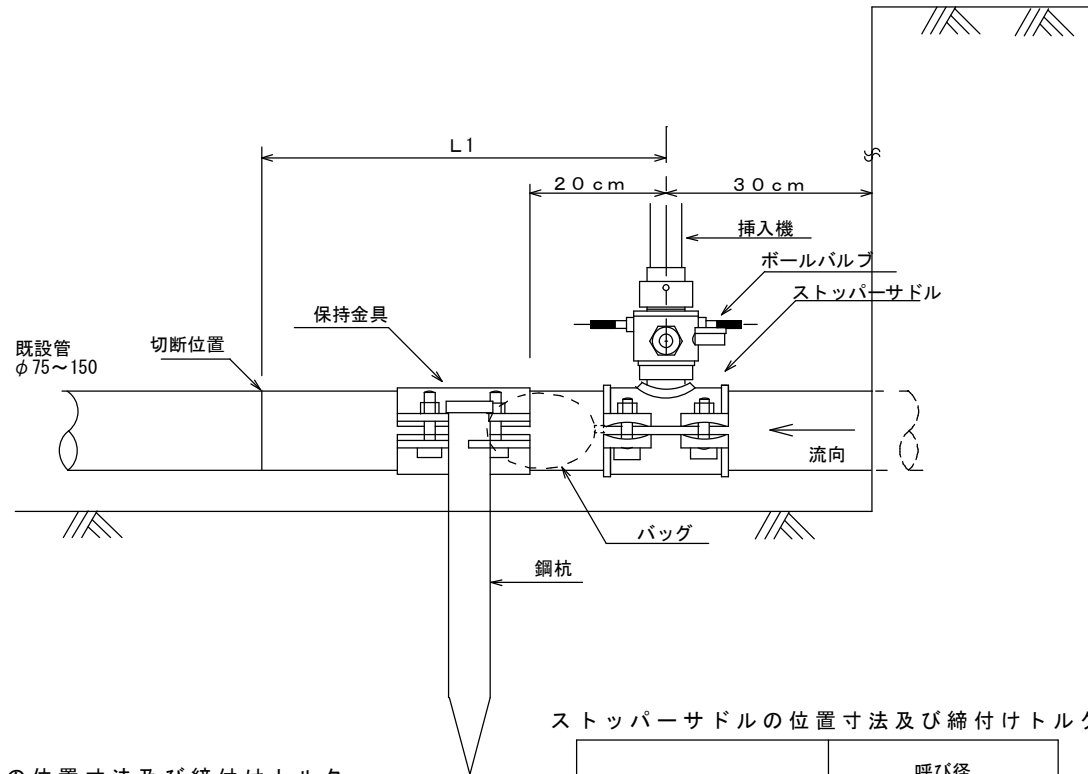
名称	型式	適用呼び径	適用管種			許容圧力
			铸铁管	鋼管	塩ビ管	
止水機具	THS-100	75	○	○	○	0.75MPa
	THS-100H	100	○	○	○	
	THS-150	150	○	○	○	
エアバッグ	SB-75H	75	管種の制限なし			0.95MPa
	SB-100H	100	管種の制限なし			
	SB-150H	150	管種の制限なし			
栓装着機具	THP-100	75	管種の制限なし			0.75MPa
	THP-150	150	管種の制限なし			
ストッパーサドル	SS-CP 75	75	○	-	-	0.75MPa
	SS-VP 75	75	-	○	○	
	SS-CP100	100	○	-	-	
	SS-VP100	100	-	○	○	
	SS-CP150	150	○	-	-	
	SS-VP150	150	-	○	○	

図名	エアバッグ式止水工法（１）（参考図）			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				5-5-3

ABS工法（I）

専用のストッパーサドルを用いる工法

（φ75・100・150）



ストッパーサドルの位置寸法及び締付けトルク

	呼び径	
	75・100	150
切断予定位置からサドルの中心までの距離（L1）	60cm以上	80cm以上
ボルト・ナットの締付けトルク	40N・m	80N・m
分水径	40mm	50mm

保持金具の位置寸法及び締付けトルク

	呼び径	
	75・100	150
ボルト・ナットの締付けトルク	60N・m	100N・m
サドルの中心から保持金具までの距離	20cm	20cm

エアバック式止水工法（２）

ABS工法専用機具及び機材

表 19-1 止水機具の構成一覧表

名 称	数量	備 考
挿入機	1	
エアポンプ	1	
圧力計付き蓋	1	管内水圧の測定用
スパナ	2	バッグの取付け用
保持金具	—	種類は、表19-2のとおり。（各2枚）
鋼 杭	—	THS-100は2本、THS-100H及びTHS-150は4本
ボルト・ナット	—	THS-100・THS-100H及びTHS-150は8本

表 19-3 栓装着機具の構成一覧表

名 称	数量	備 考
栓装着機	1	
ボールバルブ	1	
片ロスパナ	1	ストッパーサドルのキャップ締付け用
ソケットドライバー	1	ストッパーサドルの栓ナット締付け用
ホース	1	ボールバルブからの放水用

表 19-4 ストッパーサドルの構成一覧表

名 称	数量	備 考
サドル	1	
バンド	1	
栓	1	
キャップ	1	
ボルト・ナット	4	サドルとバンド締付け用
ポリエチレンシート	1	防食用
ゴムバンド	4	ポリエチレンシートの固定用

表 19-2 保持金具の一覧表

型 式	THS-100 THS-100H		THS-150
	呼び径		
呼び径	75	100	150
鋳鉄・塩ビ・鋼管用	○	○	○

施工上の注意

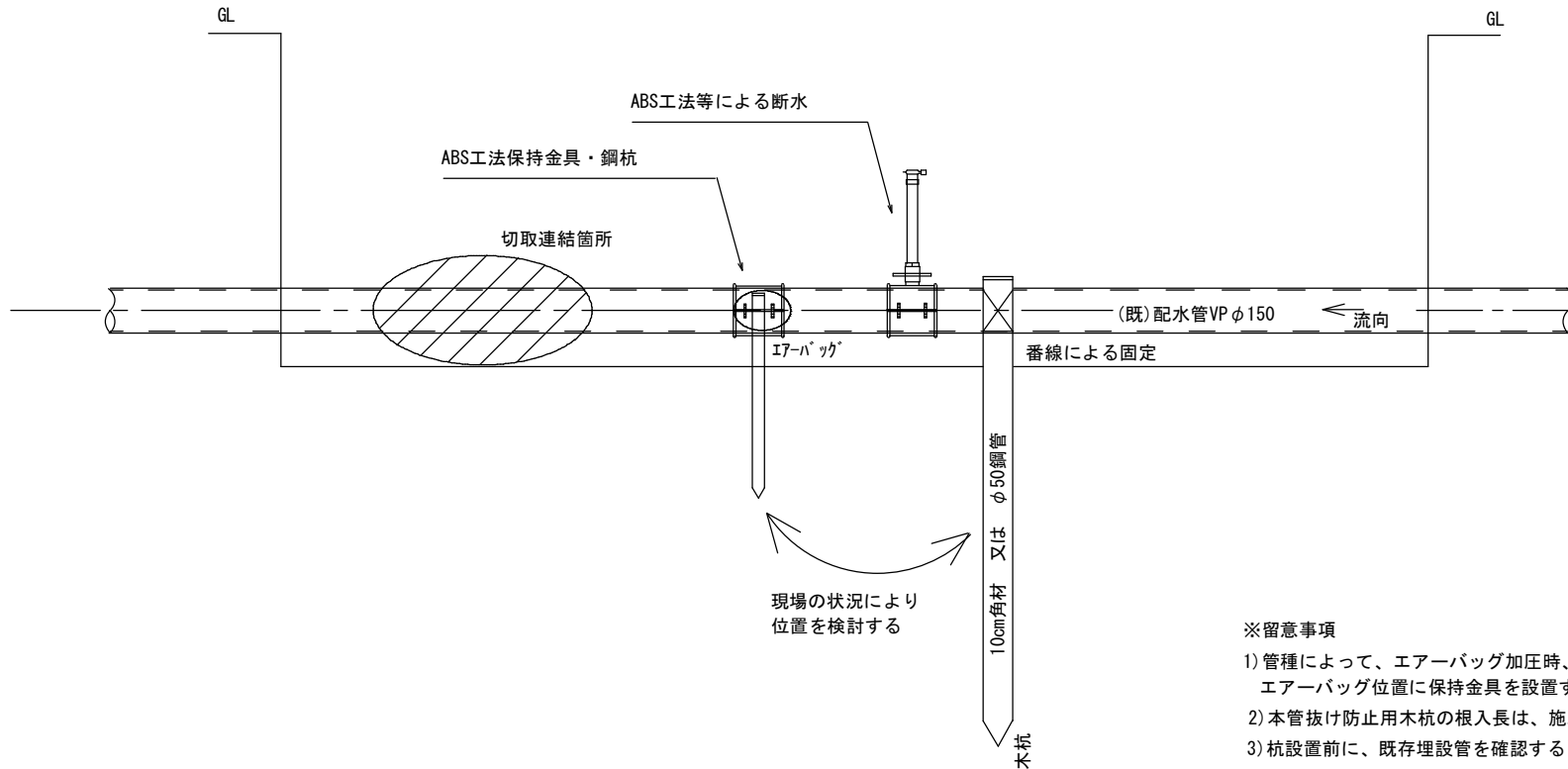
ABS工法で使用使用するバッグには、気密保持の為にゴムを使っており、使用を誤ると破裂し、管内の水が噴出して、思いがけない事故が発生する可能性があるため、その点を充分、理解の上、次の事項を必ず守ること。

- 1) 使用有効期限の切れたバッグ及び、冷暗所以外にて放置されたバッグは使用しないこと。
- 2) バッグは、一回限りの使用として、再使用は絶対にしないこと。
- 3) 各圧力計は、指針が正しくゼロを示しているか、フレームが変形していないか等を常に点検して、正確な圧力が指示されるような状態にしておくこと。
- 4) バッグを管内に挿入する前に、挿入機とバッグを組み立てて、空気圧0.1Mpaを加え、3分以上保持して、空気の漏れが無いことを確認すること。
- 5) 管路内の水圧は、止水する前に、止水可能な限界水圧以下で、給水できる最小限の水圧に調整すること。
- 6) バッグの空気圧は、管路内の水圧に0.15Mpaプラスした値にすること。
ただし、バッグの許容圧力を超える圧力には絶対にしないこと。
- 7) 止水時間は、極力短くなるようにすること。
- 8) 管を切断した後のバッグへの再加圧は、絶対にしないこと。
- 9) バッグの減圧・撤去は、なるべく管路内に充水した後に行うこと。また、バッグの減圧は、ウォーターハンマーが発生しないように、できるだけゆっくり行うこと。
- 10) バッグの管内への挿入については、多少の熟練を要します。従って、安全性、確実性を確保する為に、責任者にて実施すること。
- 11) 鋳鉄管等で防食のコア等を使用する場合は、止水工事完了後に装着すること。

図名	エアバック式止水工法（２）			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				5 - 5 - 4

エアバッグ式止水工法（3）（参考図）

ABS工法による切取連結工（施工例）



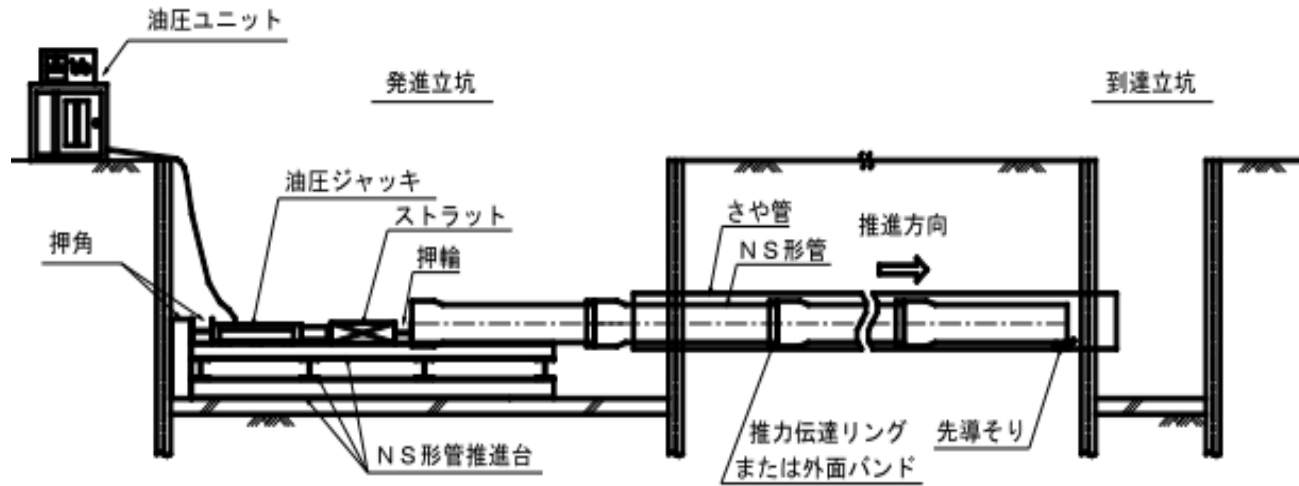
※留意事項

- 1) 管種によって、エアバッグ加圧時、管破損の可能性があることから、エアバッグ位置に保持金具を設置すること。（原則、サドル中心から20cm）
- 2) 本管抜け防止用木杭の根入長は、施工する配水管の土被り以上とする。
- 3) 杭設置前に、既存埋設管を確認すること。

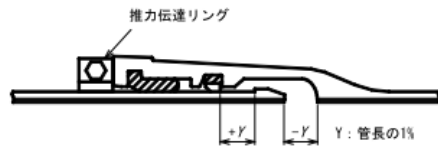
図名	エアバッグ式止水工法（3）（参考図）			
制定	2015.	4.	1	整理
改定	2020.	7.	1	番号
				5 - 5 - 5

推進工法さや管内挿入工法（参考図）

1. さや管挿入工法の概要



2. 推力伝達リングの構造

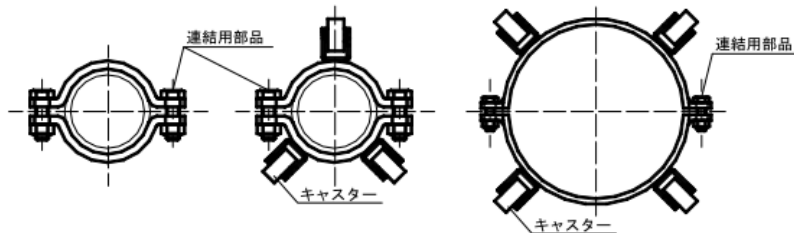


[キャスター無し]

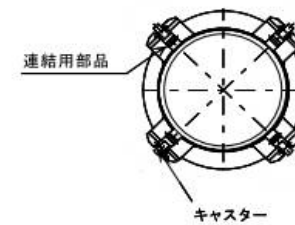
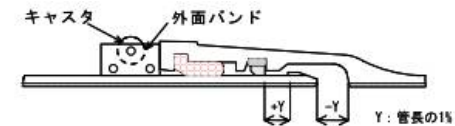
[キャスター有り]

(呼び径75~250)

(呼び径300~450)



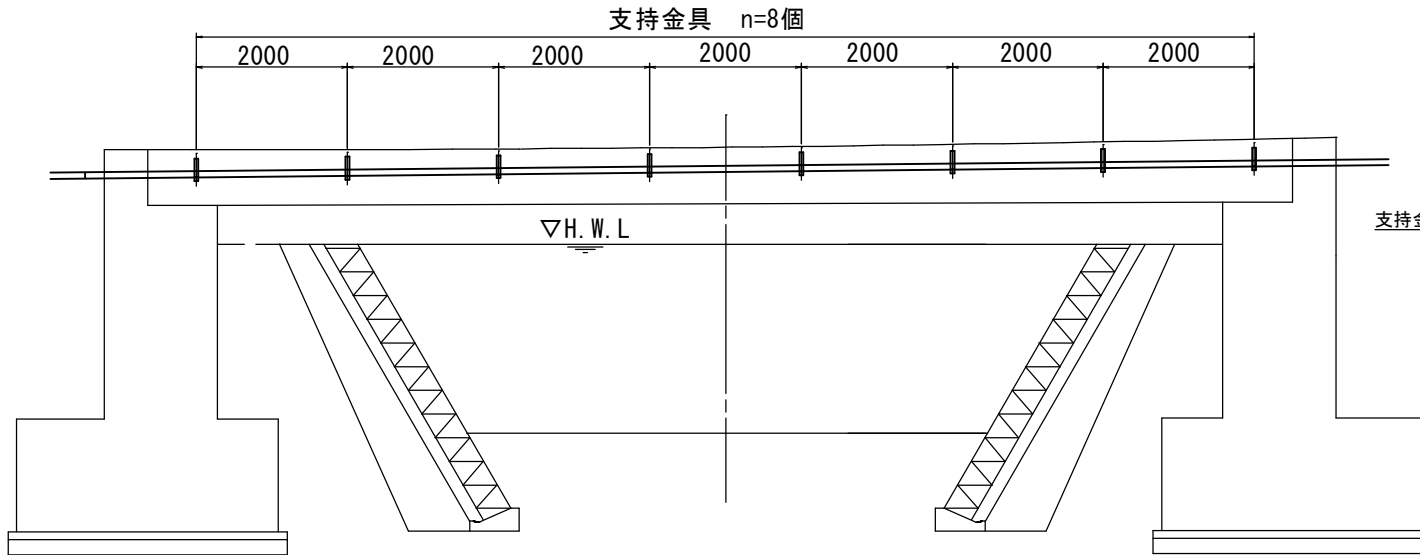
3. 外面バンドの構造



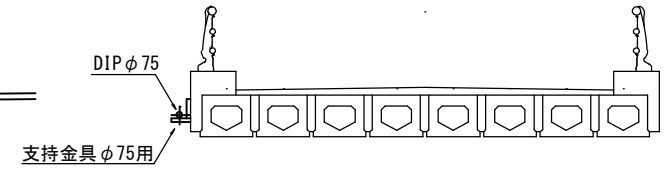
図面	推進工法さや管内挿入工法参考図		
制定	2015. 4. 1	整理	5-6-1
改定	2020. 7. 1	番号	

橋梁添架等露出管【参考例】

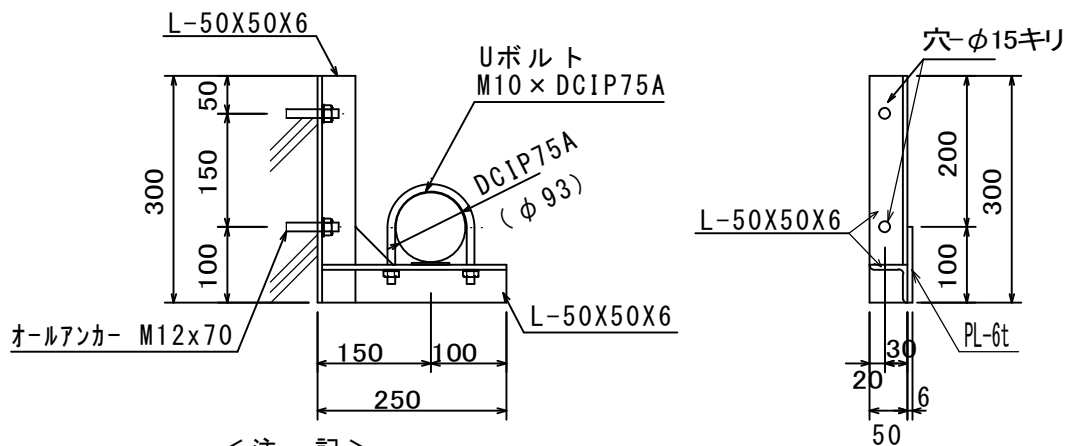
縦断面
S=1:100



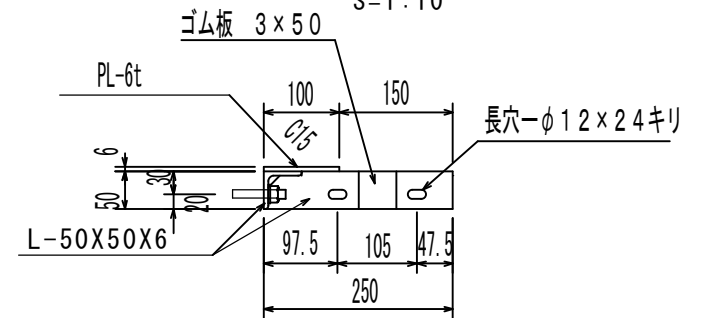
横断面
S=1:100



支持架台詳細図 (参考図)
S=1:10



支持金具
S=1:10



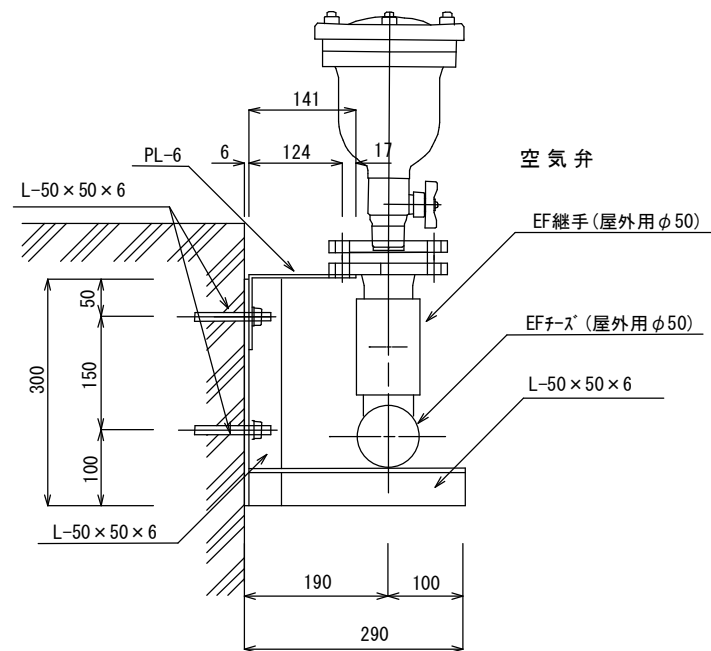
<注 記>
※使用鋼材は、全てSUS304とする。

図名	橋梁添架等露出管【参考例】		
制定	2015.	4.	1 整理
改定	2020.	7.	1 番号
			5-7-1

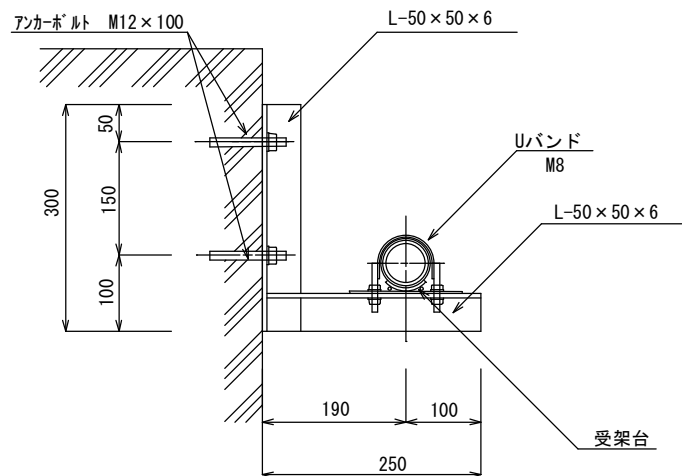
支持架台詳細図 (PEPφ50) (参考例)

S=1:10

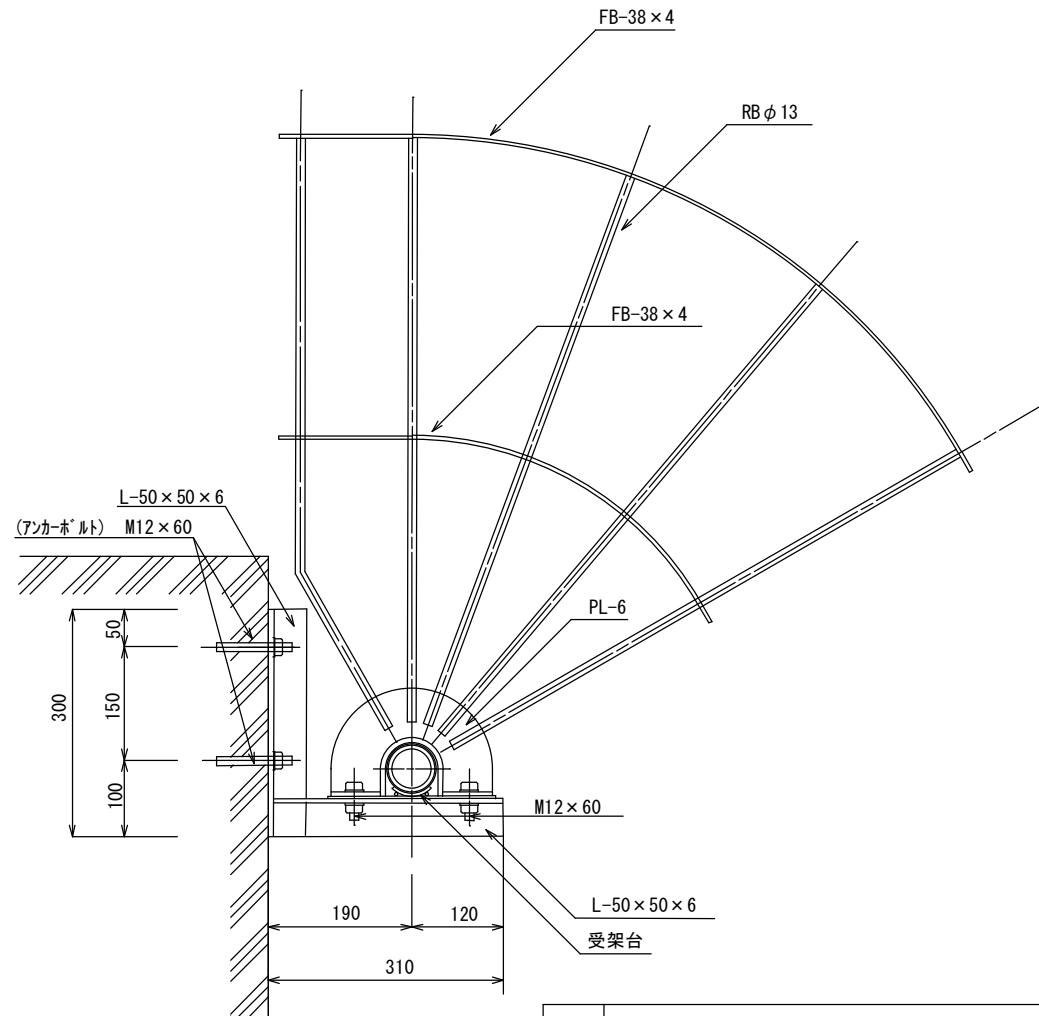
ブラケット (空気弁転倒防止付)



ブラケット



ブラケット・歩行防止柵付



図名	支持架台詳細図 (参考例)		
制定	2015.	4.	1
改定	2020.	7.	1
	整理	番号	5-7-2